



**718**

**Good to know – 取扱説明書**

「Porsche」、「Porsche Crest」、「718」、「PCCB」、「PCM」、「PDK」、「PSM」、「PTM」、「Equipment」およびその他の商標はDr. Ing. h.c. F. Porsche AGの登録商標です。登録商標です。  
Printed in Germany.

本書の一部または全部の複製は、ポルシェ社の文書による許可がない限り禁止いたします。登録商標です。

© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG  
Porscheplatz 1  
70435 Stuttgart  
Germany

## 車載マニュアル

取扱説明書や整備手帳など、車両に付属の印刷物は車内に常備してください。車両を売却するときは、次に購入されるお客様にお渡しください。

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。

ご連絡先：

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG  
Vertrieb Customer Relations  
Porscheplatz 1  
70435 Stuttgart  
Germany

「Apple」、Apple ロゴ、「Apple CarPlay」、「iPhone」、「iPod」、「iOS」、「Siri」は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。「App Store」は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. のサービス マークです。

## 車両の装備について

ポルシェでは絶えず車両やアプリケーションの開発と改良が行われています。そのため、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明

書の内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。装備品はオプションである場合や、車両が販売される国によってこの取扱説明書の内容と異なる場合があります。追加装備品の詳細については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店はすべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

## 警告およびシンボル

この取扱説明書にはさまざまな警告およびシンボルが使用されています。



**危険**

重傷または致命傷を負う危険があります

「危険」の欄の警告を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。



**警告**

重傷または致命傷を負う恐れがあります

「警告」の欄の警告を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。



**注意**

怪我または軽傷を負う恐れがあります

「注意」の欄の警告を守らなかった場合、怪我または軽傷を負う恐れがあります。

**知識**

「知識」の欄の警告を守らなかった場合、車両を損傷する恐れがあります。

## i インフォメーション

補足情報は「インフォメーション」の表示を使って記載しています。

✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件

▶ お守りいただく必要のある指示

1. 指示が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。

1. PCMでお守りいただく必要のある指示です。

▷ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている参照先を示します。

## エアバッグ警告ラベル



**危険**

助手席でのチャイルドシートの使用

チャイルドシートを助手席に取り付けた場合、助手席エアバッグが作動したときに重傷または致命傷を負う危険があります。

▶ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートは**使用しないでください**。フロントエアバッグが作動した場合、お様が**重傷または致命傷を負う危険があります**。

▷ 「チャイルドシート」(151ページ)を参照してください。



# マニュアルのレイアウト

## 目次



8000\_253

本書の目次から確認したいトピックを探することができます。

▷ 1ページ～

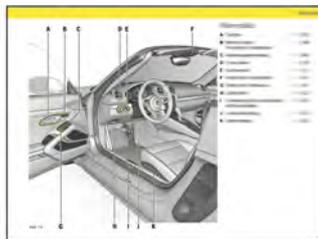
## 安全性とドライビングプレジャー



ポルシェ車に安全にお乗りいただくためにお守りいただきたいことを記載しています。

▷ 3ページ～

## 概要図



構成部品や操作系について十分にご理解ください。

▷ 15ページ～

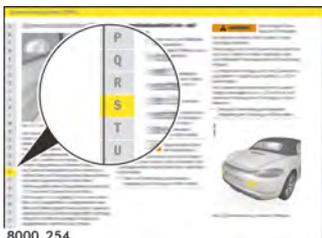
## 実用的なヒント



新しい機能に関する補足情報を記載しています。

▷ 25ページ～

## 五十音順トピック

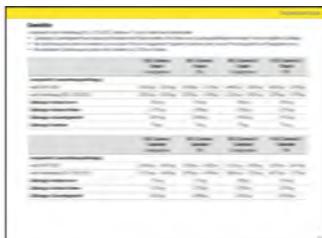


8000\_254

構成部品や操作系の機能および操作方法についてお読みください。

▷ 29ページ～

## テクニカルデータ



車両固有データについて記載されています。

▷ 278ページ～

## 索引



探したい情報を簡単に見つけることができます。

▷ 297ページ～

## 目次

## 安全性とドライビングプレジャー ..... 3

## 概要図

運転席 .....	16
オーバーヘッド コンソール .....	20
コントロールパネル .....	19
ステアリングホイールおよびインス トルメントパネル .....	17
センターコンソール .....	18
テキストおよび文字をPCMに入力する .....	24
PCMドライブ .....	22
PCMの各操作部 .....	21
PCMの基本操作 .....	23

## 実用的なヒント ..... 25

## 開閉操作とロック

ウィンドウ .....	44
キー .....	73
コンバーチブルトップ .....	104
セントラルロック .....	135
ラゲッジコンパートメントリッド .....	261
警報システム .....	101

## エアコンおよび人間工学

インストルメントおよびインテリア ライト .....	42
エアコン[2ゾーンオートエアコン] .....	50
エアコンシステム[マニュアル] .....	47
エアバッグシステム .....	56
サンバイザー .....	109
シート .....	110
シートベルト .....	114
ステアリングホイール .....	120
チャイルドシート .....	151
パーソナル設定 .....	190

ミラー .....	244
リヤウィンドウヒーター/ ドアミラーヒーター .....	267

運転/ドライバーアシスタンスシ  
テム

HOLD機能 .....	276
アダプティブクルーズコントロール .....	30
エンジンの始動および停止 .....	61
オートスタート/ストップ機能 .....	63
クルーズコントロール .....	80
スポーツエキゾーストシステム .....	121
スポーツクロノストップウォッチ .....	122
スポーツクロノモードスイッチ .....	126
スポーツモード .....	129
ドライビングデータの表示 (トリップ情報) .....	172
トランスミッション .....	173
トランスミッションおよびシャーシ コントロールシステム .....	178
パークアシスト .....	188
ブレーキ .....	202
フロントワイパー .....	205
ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) .....	215
ボルシェ カーコネクト .....	216
ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) .....	227
ボルシェ トラックプレジジョン アプリ .....	230
ライト .....	252
リヤスポイラー .....	268
レーンチェンジアシスト (LCA) .....	269
盗難防止機能 .....	171

インストルメントパネルおよびマル  
チファンクションディスプレイ

インストルメントパネル .....	39
マルチファンクションディスプレイ .....	231
マルチファンクションディスプレイを 使用した車両設定 .....	237
警告および情報メッセージ .....	82

エンターテイメントおよびコミュニ  
ケーション

ボイスコントロール* .....	210
ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) .....	219
メディア .....	248
ラジオ .....	264
電話 .....	163

## ナビゲーションおよび接続

Apple CarPlay .....	274
デバイス マネージャー .....	161
ナビゲーション .....	179
ボルシェ コネクト アプリ .....	217
ボルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) .....	219
接続 .....	131

## 荷物および運搬

カップホルダー .....	72
スモーカーズ パッケージ .....	130
ラゲッジコンパートメント .....	257
収納スペース .....	118
電気ソケット .....	162

## モビリティおよび軽修理

ウォッシュャー液 .....	46
エンジン オイル .....	58
お手入れ .....	66
クーラント (冷却水) .....	78
けん引およびけん引によるエンジンの 始動 .....	102
ジャッキおよびリフティング プラットフォーム .....	116
ジャンパー ケーブルによるエンジンの 始動 .....	117
セレクター レバーの緊急解除 .....	134
タイヤおよびホイール .....	142
テスト スタンドでの測定 .....	160
バッテリー .....	192
パンクしたとき .....	195
ヒューズ .....	198
ブレーキフルード .....	204
ヘッドライト .....	209
ワイパーブレード .....	273
給油 .....	76

## テクニカルデータ

テクニカルデータ .....	279
無線装置 (EU の地域外) .....	294

索引 .....	297
----------	-----

## 安全性とドライビングプレジャー

ポルシェ車は最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性を誇り、駆るもののみが知る興奮。その味わいを常に大切にしたい。そのためポルシェ社では、安全とは究極の品質であると考えます。この章では、ポルシェ車に安全にお乗りいただくためにお守りいただきたいことを記載しています。

### 完璧な技術 - これこそが、安全の前提条件です。

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができるでしょう。そのため、確かな性能を維持するにはお客様による車両のお手入れと思いやりが不可欠となります。それによって、危険な状況においてもポルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

### 損傷および正常な作動状態の点検



技術的な不備のある車両は予期せぬ挙動に陥り、事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ 車両を定期的に点検し (少なくとも 1 か月に 1 度および長時間のドライブの前)、良好な状態であることを確認してください。特に、以下の点に注意してください。
  - タイヤに損傷がなく空気圧は適正で、トレッドの残り溝も十分にある
  - ヘッドライト、ブレーキライトおよび方向指示灯がすべて正常に機能している

- 空力部品に損傷がない
- ワイパーブレードに損傷がない
- ウィンドウに亀裂や損傷がなく、視界が遮られていない
- ドア ミラーおよびルーム ミラーに損傷がなく、適切な位置に調整されている
- センサーおよびカメラに亀裂や損傷がない
- クーリング エア ダクト、センサーおよびカメラが (フィルム、ストーンガード、ナンバープレートホルダー等で) 覆われていない

- ▶ 自動車電話や無線装置は必ず外部アンテナに接続して使用し、車内の電磁波のレベルが限界値を超えないようにしてください。

### タイヤの損傷点検



損傷したタイヤは走行中にバースト (破裂) する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行頻度や状態に応じて少なくとも 1 か月に 1 度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがないか確認してください。タイヤの側面も必ず点検してください。
- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。

- ▶ 損傷したタイヤを装着したまま運転を続け **ない** ください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### タイヤ空気圧の調整

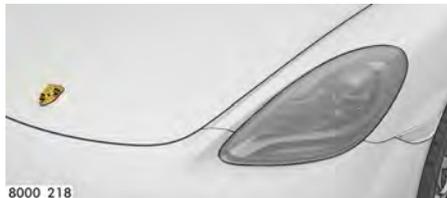


タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるばかりか、制動距離が長くなったり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧が低すぎる場合は、燃費が著しく低下する恐れがあります。

- ▶ 装着タイヤに合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧」(286ページ) を参照してください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ圧力 (TPM) メニューの設定が、車両に装着されているタイヤと一致していることを確認してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」(142ページ) を参照してください。
- ▶ 赤色のタイヤ空気圧警告がマルチファンクションディスプレイに表示されたときは、直ちに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。損傷したタイヤを装着したまま運転を続け **ない** ください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。

▷ 「パンクしたとき」(195ページ)を参照してください。

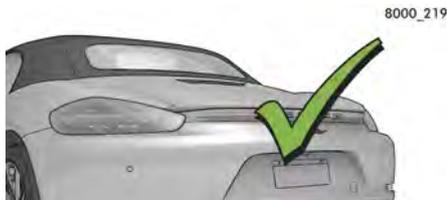
## ライト類の点検



ライトが故障すると、夜間や周囲が暗いときに視界を確保できなくなります。他のドライバーがあなたの車両に気づくのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。以下のライト類を点検してください：

- パーキングライト、ロービーム、ドライビングライト、ハイビーム
  - 方向指示灯、ブレーキライト、リバースライト
  - フォグライト
- ▷ すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。

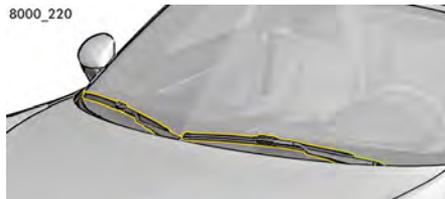
## 空力部品の点検



空力に影響する部品(リヤスポイラーやアンダーパネルなど)が損傷または欠損すると、走行安定性に悪影響を及ぼす危険性があります。

- ▷ 損傷していないか車両を点検してください。
- ▷ 構成部品が損傷または欠損している場合は、速やかに交換してください。

## ウィンドウおよびワイパーブレードの清掃およびメンテナンス



ウィンドウの汚れやワイパーブレードに不具合があると、事故を起こす危険が著しく高まります。

- ▷ 車両およびウィンドウは常にきれいな状態に維持してください。
  - ▷ ワイパーブレードの凍結を溶かしてから、フロントウィンドウから剥がしてください。
  - ▷ ワイパーブレードは定期的に変換してください。特にフロントウィンドウに筋が残るようになったら交換が必要です。
- ▷ 「ワイパーブレード」(273ページ)を参照してください。

## ポルシェ正規販売店によるメンテナンスおよび仕様変更



車両を改造すると、安全機能に悪影響を与えるばかりでなく、その機能が失われる恐れがあります。保証期間内に不適切なメンテナンス作業を実施すると、保証が適用されないことがあります。

- ▷ 車両のすべてのメンテナンスおよび仕様変更は必ずポルシェ正規販売店で行ってくだ

さい。これにより、車両の信頼性と走行安全性を保証し、損傷を防ぐことができます。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 故障診断用ソケット



故障診断用ソケットはポルシェ正規販売店で診断装置を接続するためのものです。イグニッションをオフにした状態で、外部装置(ナビゲーションユニット、ヘッドアップディスプレイなど)を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたしたり、バッテリーが完全に消耗し、損傷する(完全に上がる)可能性があります。外部機器またはケーブルは、制動時またはカーブ走行時にペダル作動の障害となったり、ペダル間に挟まったりする可能性があります。

- ▷ いかなる機器も故障診断用ソケットに接続しないでください。
- ▷ 運転席の足元に機器またはケーブルなどの物を置かないでください。

## ポルシェ車に使用するスペアパーツ

8000\_222



- ▶ 部品交換やアクセサリーの取り付けには、ポルシェ純正部品、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準に適合する同等部品のみを使用してください。これにより、車両の信頼性と走行安全性を保証し、損傷を防ぐことができます。これらの部品は、ポルシェ正規販売店から入手できます。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ アクセサリーを取り付けるときは、ポルシェテクニク製品またはポルシェ社がテストを実施し、承認した部品のみをお選びください。ポルシェテクニク製品に関するインフォメーション:ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## i インフォメーション

他社製のスペアパーツまたはアクセサリーを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ポルシェ社はいかなる責任も負いかねます。スペアパーツやアクセサリーを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。ポルシェ社の承認していないスペアパーツまたはアクセサリーを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

## 荷物、安全装備、車両に子供をのせるとき：ポルシェドライバーへの注意事項

ポルシェ車は、100 km/h までわずか数秒という加速タイムを誇ります。このパワーを思いのままに操るには、走行前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。このため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

## あなたの命を守るもの：シートベルトの適切な着用



シートベルトは適切に着用し、正常に機能している場合のみ乗員保護効果を発揮できます。

## i インフォメーション

たとえば、30 km/h 程度での走行中であっても、シートベルトを着用していないと重大な傷害を負う恐れがあります。安全装備はシートベルトと組み合わせることで乗員を保護します。たとえば、エアバッグはシートベルトも適切に着用している場合にのみ、適切な保護効果を発揮することができます。

- ▶ 短時間の運転であっても、シートベルトは必ず着用してください。
- ▶ 乗員1名に対して必ず1つのシートベルトを使用してください。
- ▶ コートなどの厚手の衣類は脱いでください。
- ▶ ボールペンや眼鏡など、堅い物や壊れやすい物の上にシートベルトがかからないようにしてください。

- ▶ シートベルトがねじれていないことを確認してください。
- ▶ 使用していないシートベルトは完全に格納されていることを必ず確認してください。
- ▶ 妊娠中の方：腰部ベルトを腹部を避けて腰骨の低い位置にかけ、肩ベルトは胸部に密着させてください。
- ▶ 摩耗または損傷したベルトやバックル、固定具などは交換してください。
- ▶ 「シートベルト」(114ページ)を参照してください。

## エアバッグシステム

8000\_224



すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合のみ、エアバッグシステムは保護効果を発揮することができます。荷物は必ず安全に収納してください。

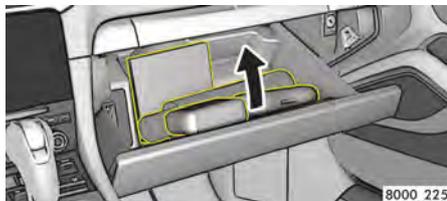
- ▶ 乗員とエアバッグが膨らむ空間との間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
- ▶ エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートクッションの上に足を乗せないでください。

変更を加えたエアバッグシステムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、まったく機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。

- ▶ ステアリング ホイール、助手席エアバッグ付近、サイドエアバッグ付近、ヘッドエアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品（ステアリング ホイール、フロントシート、ヘッドライナーなど）を取り外さないでください。
- ▶ エアバッグシステムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ 「エアバッグシステム」（56ページ）を参照してください。

## 車内の荷物はすべて固定



荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せると、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に荷物が飛び出すことがあります。これにより、乗員に危害が及んだり怪我をしたりする恐れがあります。

## **i** インフォメーション

たとえば、50 km/h で走行中に衝突した場合は、固定されていない荷物がその重量の 50 倍の力で前方に放り出されます。たとえば、1.5 L の水が入っているペットボトルは 75 kg の力で車内に放り出されます。

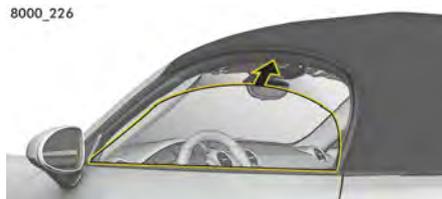
- ▶ 荷物を載せるときは必ず固定してください。
- ▶ ラゲッジコンパートメントなどの荷物は必ず固定して積載してください。
- ▶ 小物類は小物入れに収納し、確実に閉じてください。必ず小物入れから荷物が飛び出さないようにしてください。

- ▶ ダッシュボードの上には絶対に物を置かないでください。
- ▶ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▶ すべての乗員に安全対策を周知させてください。

荷物の適切な運搬および収納については：

- ▶ 「荷物の積載」（257ページ）を参照してください。

## 狭み込みの防止



人や動物が以下の車両部品の作動範囲内にいると、挟み込まれたり怪我をしたりする恐れがあります。以下の部品が挙げられます。

- 調整式フロントシート
- ドア
- ウィンドウ
- フラップおよびリッド
- 小物入れのリッド
- ▶ これらの車両部品を操作する際は、人や動物が作動範囲内にいないことを確認してください。

## お子様の動きの監視



多くの場合、お子様は危険を判断したり、危険な状況で正しく振る舞ったりすることができません。

お子様がシート調整などの自動設定を誤って作動させると、怪我をする原因になります。お子様は密閉された車内が高温になった場合など、緊急時に車外に脱出することができません。このような状況では、特に小さいお子様の場合、生命に関わる恐れがあります。

- ▶ テールパイプなどの高温部品や作動中の部品にお子様を近づけないでください。
- ▶ タイヤシーラントやエンジンオイルなどの有害物質は、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。

## チャイルドシートの安全な使用



チャイルドシートは適切に装着した場合のみ機能します。

- ▶ ポルシェ社で承認されたチャイルドシートのみを使用してください。
- ▶ チャイルドシートを使用する前に、この取扱説明書に加え、チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、指示に従ってください。
- ▶ 「チャイルドシート」（151ページ）を参照してください。

## 安全で適切な運転：常に正しい判断をする

ポルシェ車はオールラウンダーです。ローンチコントロールから緊急ブレーキ機能まで、走り出せばすべてが可能になります。その一方で、最終的にこの能力を常に制御下におく責任はドライバーにあります。

### 注意力低下の防止



運転中にPCM やその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

- ▶ 走行中は決してミラーやシート、ステアリングホイールの位置を調整しないでください。シートやステアリングホイールが予期せず大きく移動する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。ミラーやシート、ステアリングホイールは、お出かけ前に適切な位置に設定してください。
- ▶ マルチファンクションステアリングホイール、インフォテインメントシステムなどは、交通状況が許す場合に限り操作することができます。安全を確保できない場合は、適切な場所に停車してください。
- ▶ 運転中に携帯電話やその他の携帯機器を使用しないでください。
- ▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。
- ▶ 運転中にステアリングのスポークの間からボタンを押さないでください。危険な状況に素早く反応することができなくなります。

### 雨天時や積雪時のブレーキ挙動への注意



激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後などは、ブレーキ表面に水膜が形成されブレーキの効きが悪くなり、ブレーキペダルの踏力が重くなる恐れがあります。

また、凍結防止剤（融雪塩）が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

- ▶ 特に駐車する前には何回かブレーキをかけ、ブレーキを乾燥させてください。これにより腐食を防ぐことができます。
- ▶ 腐食したブレーキは「振動」が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキシステムの点検を受けてください。

### 適切なタイヤと適切な運転スタイル



- ▶ 「タイヤおよびホイール」（142ページ）を参照してください。

走行中にハンドルをとられたり、振動が発生したりする場合の適切な反応

走行時にハンドルをとられたり、振動が発生したりして、タイヤや車両が損傷する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具合の原因がわからないときは、慎重に運転し、不具合の修理を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### タイヤの安全な状態を維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- ▶ 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

### 新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリッピーやすくなります。

- ▶ 新品のタイヤを装着してから最初の 200 km は、ゆっくりとした速度で慣らし運転を行ってください。

### ウィンタータイヤでの走行

ウィンタータイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- ▶ 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。

- ▶ マルチファンクションディスプレイで最高許容速度を制限速度として設定する：
- ▶ 「制限速度の設定」(234ページ)を参照してください。

## サマータイヤでの走行

外気温が15°C以下のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

- ▶ 外気温が7°Cを下回った場合、ウインタータイヤに交換してください。

## スポーツタイヤでの走行

特別なスポーツタイヤ(ウルトラハイパフォーマンスタイヤ)がサマータイヤとして車両に装備されている場合があります。このタイプのタイヤは一般道路での使用が認証されており、法的要件および安全基準に適合しています。このタイヤはレースサーキット(安全運転トレーニングコース、スポーツドライビングスクール、クラブスポーツイベント)での使用に適した設計になっており、通常のタイヤに比べて、ドライ時のグリップおよび摩耗の面で優れた特徴を備えています。スポーツタイヤは、-7°Cを下回る非常に低い温度下では硬化します。このような状態は、タイヤのひび割れや摩耗につながります。

- ▶ 外気温度が約-7°Cを下回るときは車両を走行させないでください。

特殊なトレッドパターンおよびカーカス、浅めのトレッド溝が主な特徴です。

これらのスポーツタイヤのデザイン特性として、通常の走行条件で使用する場合、従来のサマータイヤに比べて、以下のような影響があります。

- スポーツタイヤはトレッドが浅めのため、摩耗が早まる場合があります。
- すべてのタイヤにおいて走行可能距離は個々のドライビングスタイルおよび使用状況に応じて決まります。
- トレッドが浅いので、濡れた路面、特にハイドロプレーニング現象が発生しやすい状況(冠水路、水たまり、轍など)に注意し、

状況に合わせて速度を適切に調節してください。

- パフォーマンスの限界域付近で使用すると、タイヤの性能限界を超える危険性も増大するため、十分注意を払ってください。
- ▶ 本車両を使用する人に、上記の特性とその影響について知らせてください。

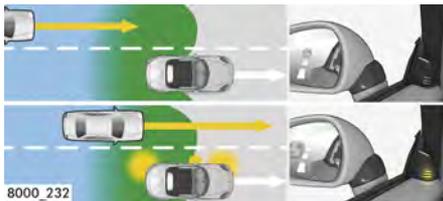
タイヤのトレッドが摩耗している場合、濡れた路面でハイドロプレーニング現象を起こす危険性が增大します。車両が路面から浮き上がり、コントロールや制動力を失う可能性があります。

- ▶ 濡れた路面や泥でぬかるんだ路面を走行する場合は十分に減速してください。

スポーツタイヤはトレッドが浅めのため、摩耗が早まる場合があります。

- ▶ 定期的にトレッドの深さを点検してください。

## アシスタンスシステムとその限界



車両には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンスシステムが装備されています。

ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アシスタンスシステムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。
- ▶ アシスタンスシステムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- ▶ 使用する前に、アシスタンスシステムについて十分に理解してください。

アシスタンスシステムの参照先は次の通りです。

	ページ
アンチロックブレーキシステム (ABS)	227
HOLD 機能	276
ボルシェアクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	215
ボルシェスタビリティ マネージメント (PSM)	227
ボルシェトルクベクトリング (PTV)	178
PADM	178
タイヤ空気圧モニタリング (TPM)	142
レーンチェンジアシスト (LCA)	269
オートマチックヘッドライト、ダイナミックハイビーム	252
パークアシスト、リバースカメラ	188
クルーズコントロール	80
アダプティブクルーズコントロール (ACC)	30
ナビゲーションシステム	179

## 緊急ブレーキ機能



たとえば、フットブレーキが故障した場合はエレクトリックパーキングブレーキを使用して急制動をかけることができます。

緊急ブレーキ機能は非常に高い制動力を発揮するため、後続車を危険にさらす場合があります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は通常の制動時ではなく、緊急時にのみ使用してください。
- ▶ 緊急ブレーキ機能を作動させるには、**(P)**スイッチを押し続けてください。ブレーキを解除するには、スイッチを放してください。
- ▶ 「ブレーキ」(202ページ)を参照してください。

### 荷物積載時の運転

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

### ローンチコントロールを使用した発進



発進時にローンチコントロールが作動していると車両は非常に早く加速します。特定の状況(路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)では、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険が及んだりする恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチコントロールを使用してください。
- ▶ ロンチ コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。

▶ 「トランスミッション」(173ページ)を参照してください。

- ▶ スポーツ エキゾースト システムを排気音最適化モードに切り替えて非常にスポーティな走行を行うと、ノイズがかなり大きくなります。そのため、特に夜間は近隣の方のご迷惑にならないようご注意ください。

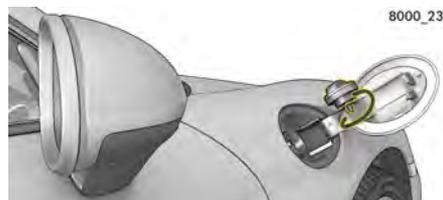
### 警告シグナルへの適切な反応



センサーが異常や部品の不具合を検出すると、ライトやメッセージを使用して警告を発します。車両の警告シグナルを無視すると、事故やケガを招く危険性が高まります。

- ▶ 走行前に警告灯およびメッセージの意味を理解し、警告に対して適切に対処できるようにしてください。必要であれば停車してください。
- ▶ 「警告灯および表示灯」(40ページ)を参照してください。
- ▶ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

### 給油時の危険



燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。また、燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料を給油するときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙したりしないでください。
- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。
- ▶ 「給油」(76ページ)を参照してください。

車両の燃料タンクが事故で損傷した場合は、燃料が流出して発火や爆発を起こす恐れがあります。

- ▶ 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。

### 有害な液体類



燃料だけでなく、エンジンオイル、トランスミッションオイル、バッテリー液、クーラントおよびブレーキ液も人体に有害です。

- ▶ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。
- ▶ オイルや液体類の容器には適切なラベルを貼り、お子様の手が届かない所に保管してください。
- ▶ 残った液体類は、環境に考慮した方法および条例に遵守して処分してください。

エンジンオイルは発火することがあります。エンジンオイルが付着した布を投げ捨てたり、換気せずに保管したりすると自然発火して火災の原因になります。

- ▶ 布で飛散したエンジンオイルを吸い取ってください。

- ▶ エンジン オイルがしみ込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。

## 有毒な排気ガス



8000\_238

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中傷を起こす恐れがあります。

- ▶ 停車中はエンジンを切ってください。密閉された空間でエンジンを不必要にアイドリングしないでください。
- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

## 安全な駐車



8000\_239

車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出し人や物に損傷を与える恐れがあります。車両から離れる前に、以下の点に注意してください。

- ▶ エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
- ▶ PDK 装備車：セレクター レバーを P 位置に入れてください。  
インストルメント パネルのセレクター レバー位置Pが点滅している場合、パーキング

ロックが正しくかかっていません。この場合は、セレクター レバーを R の位置に動かしてから P の位置に入れ直してください。

- ▶ マニュアル トランスミッション 装備車：1 速またはリバースギヤに入れてください。
- エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾースト システムが非常に高温になっています。火傷を負ったり、火災が発生したりする恐れがあります。
- ▶ 可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温のエキゾースト システムに接触する恐れのある場所に駐車しないでください。
  - ▶ 車両後方に近づくときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。
  - ▶ お子様かテール パイプの熱で火傷をしないように注意してください。

## 万一のときには：故障および緊急時の安全確保

故障した場合は、安全を確保するために次の点に注意してください。

### 緊急時はボイス コントロールを使用しない



8000\_241

緊急時は緊張のために声が変わり、ボイス コントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- ▶ 緊急時はボイス コントロールを使用しないでください。

## 消火器を取り外す



9000\_65

車両に消火器が装備されている場合、助手席シートの下に取り付けられています。

- ▶ 片手で消火器を押さえて、消火器ホルダーの PRESS ボタンをもう片方の手で押してください。

消火器を正しく安全に使用するために、以下の点に注意してください。

- ▶ 消火器の定期点検時期を遵守してください。定期点検の期間を過ぎた消火器は正しく作動しないことがあります。
- ▶ 必ず消火器の取扱説明書の指示に従ってください。
- ▶ 消火器のハンドルに貼付されている消火器メーカーの安全に関する指示に従ってください。
- ▶ 消火器は 1~2 年毎にボルシェ正規販売店で点検を行ってください。
- ▶ 消火器を使用した後は消火剤を再充填してください。

## 車両への作業に関する注意事項



エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾーストシステム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラントタンクには圧力がかかっています。クーラントタンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときは、クーラントリザーバータンクのキャップを**開かない**でください。水温計の表示が60℃を下回るまで待ってください。
- ▶ 「クーラント [冷却水]」(78ページ)を参照してください。

車両への作業を行う場合、その種類によっては負傷を防ぐために保護手袋を装着する必要があります。

- ▶ 車両への作業を行う場合は、ボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動



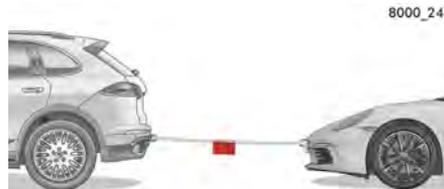
不適切なジャンパー ケーブルを使用したり、不適切な始動手順を行ったりすると、回路がショートして火災が発生する恐れがあります。ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動中に、爆発性の高い電解質のガスがバッテリー周囲で発生します。

また、エンジンコンパートメント内でバッテリー液に接触したり、ラジエーターファンなどの部品が自動的に作動したりすると、怪我をする恐れがあります。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動を行う前に：

- ▶ 「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」(117ページ)を参照してください。

## けん引



けん引時は事故を起こす危険が高まります。パワーアシスト機能が作動しないため、操舵力が増加します。ブレーキブースターが作動しない場合は、ブレーキ操作に大きな踏力が必要となります。

- ▶ けん引時にエンジンが停止している場合、またはパワーアシスト機能またはブレーキブースターが作動しない場合は十分に注意してください。
- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▶ 地上高が低いため、けん引時または他の車両にけん引される時は十分に注意してください。
- ▶ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(102ページ)を参照してください。

## パンクしたとき

8000\_244

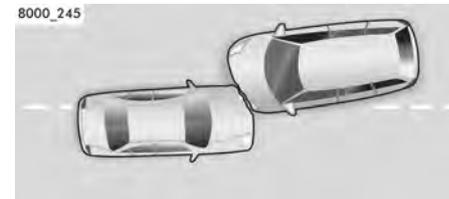


損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

- ▶ 決してパンクしたタイヤで走行しないでください。
- ▶ 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。
- ▶ 「パンクしたとき」(195ページ)を参照してください。

## 万一事故が起きたとき

8000\_245



事故の後には、シートベルトプリテンショナーやエアバッグなどの安全装備が作動しなくなる恐れがあります。その場合は、安全装備が乗員保護効果を発揮できなくなります。

- ▶ 安全装備が作動しなかった場合でも点検を受けてください。
- ▶ 作動した安全装備は交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



## 発炎筒

発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、周囲に危険を知らせるために使用します。発炎筒は、助手席足元前部のドア側に固定してあります。

### 警告

火傷や火災につながる恐れがあります

- ▶ 燃料などの可燃物の近くでは使用しないでください。引火する恐れがあります。
- ▶ 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向けたり、近づけたりしないでください。火傷をする恐れがあります。
- ▶ お子様さがさわらないように注意してください。誤って使用すると火傷をしたり、車両を損傷する恐れがあります。

### 注意

トンネルの中などで使用すると、事故につながる恐れがあります

- ▶ トンネルの中など換気が悪い場所で使用すると、発炎筒の煙で視界が遮られて事故につながる恐れがあります。必要に応じてハザード・ライトを使用してください。

### 発炎筒の使い方

1. キャップを外してください。本体をひねりながら、ケースから取り出してください。
2. 本体を逆に向けて、ケースに差し込んでください。
3. 本体の点火部を、キャップの擦り薬でこすると着火します。

### 知識

- ▶ 発炎筒の燃焼時間は約5分間です。

発炎筒には有効期限があります。表示してある有効期限が切れる前に、新しい発炎筒に交換してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## お出かけの前に車両に関する重要な情報

### 車両の慣らし運転



新車の場合、走行距離が3,000 kmに達するまでは可動部品同士を馴染ませる慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転中は、次の点に注意してください。

- ▶ 慣らし運転中はなるべく長距離を運転することを推奨いたします。できるだけ冷間始動と近距離運転の繰り返しを避けてください。
- ▶ 自動車レース、スポーツドライビングスクールなどに参加しないでください。
- ▶ エンジン回転数が4,000 rpmを超えないようにしてください。エンジン冷間時は低回転域で運転してください。

### 新しいブレーキパッドの慣らし運転



新品のブレーキパッドおよびブレーキディスクも、エンジンと同様に慣らし運転が必要です。新しい部品を装着してから最初の数百kmは、ブレーキ性能を完全には発揮できません。多少ブレーキの効きが弱くなるため、強めにブレーキを踏む必要があります。

ブレーキパッドやブレーキディスクを新品に交換した場合も、同様に慣らし運転が必要です。

### 地上高に注意する



この車両は地上高が低いため、路面に接触しやすくなります。

- ▶ 急な傾斜路での走行は避けてください。

- ▶ 以下の状況では注意して運転してください。
  - 立体駐車場などの急な坂道
  - 縁石
  - 凹凸のある路面を走行するとき
  - リフティングプラットフォーム

## サーキット走行



8000\_250

公道走行とくらべ、サーキット走行には過度に大きな車両負荷を伴うため、純粋なレーシングカーでは短い間隔でのメンテナンスおよび構成部品の整備を行うことでこれに対処しています。これには、サーキット走行後毎の点検の実施および必要な場合の各構成部品の交換、規定期間の経過後のアッセンブリ全体のオーバーホールが含まれます。

- ▶ レースサーキットでの走行前には、最新の規定についてお近くのポルシェ正規販売店にご確認ください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

サーキット走行終了後は「クーリングラップ」走行を実施し、大きな熱負荷が加わったシャーシコンポーネントの温度を下げる必要があります。車両をすぐに停車すると、熱を効果的に冷却できないことによって構成部品の温度を更に上昇させる結果に繋がります。これにより、個々の構成部品に修復不能な損傷を与える恐れがあります。

## ブレーキシステム

ブレーキ液には吸湿性があり、長期間使用すると大気中の水分を吸収します。水分を吸収すると沸点が低下し、高温時にブレーキの効きが大幅に低下することがあります。

- サーキット走行時はブレーキパッドおよびブレーキディスクに高負荷がかかります。
  - ▶ 使用開始から12カ月以上経過したブレーキフルードは、サーキット走行前に交換してください。
  - ▶ サーキット走行の前後に、ブレーキパッドやブレーキディスクに摩耗がないか点検を受けてください。

## タイヤ

サーキット走行時はタイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- ▶ サーキット走行の前後に、タイヤに摩耗がないか点検を受けてください。
- ▶ レース用タイヤは装着しないでください。ポルシェ社はレース用タイヤを承認していません。

## エンジンオイル

- ▶ サーキット走行の前後に、エンジンオイルレベルを点検してください。
- ▶ 「エンジンオイル」(58ページ)を参照してください。

## 国外で走行する前に



9000\_293

すべてのポルシェモデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スペアパーツが入手できない、あるいは、ポルシェ正規販売店で修理作業が行えない場合があります。国外で走行する前に以下の点を確認してください。

- 車両が故障した場合、修理は可能ですか?
- 車両の技術的な調整が必要ではありませんか?

- 十分なオクタン価の燃料が入手可能ですか?
- ヘッドライトは左側/右側通行向けに変更する必要はありませんか?
- ▶ 「左側/右側通行でヘッドライトを切り替える」(240ページ)を参照してください。

## 車両データ処理



8000\_252

この車両は電気制御ユニット装備車です。これらの一部は車両の操作安全性に必須で、その他は走行アシスト機能(ドライバースタシスシステム)を提供します。またこの車両はECU制御式のコンフォートまたはエンターテインメント機能装備車です。

## 車両へのテクニカルデータの保存

ECUは、車両の状態、コンポーネント負荷、サービス要件、事象、故障などに関する技術的な情報を一時的、または永久的に保存するデータメモリーを備えています。一般に、この技術的情報には以下のような構成部品、モジュール、システムまたは環境の状態が保存されています：

- システム構成部品の作動状態 (例：充填レベル)
- 車両または各構成部品に関するステータスメッセージ (例：ホイール回転数、速度、減速度、横加速度)
- 重要なシステム構成部品 (例：ライトやブレーキ)の作動不良や故障
- 車両を損傷する恐れのある事象についてのインフォメーション
- 特別な走行状況での車両の反応 (例：エアバッグの展開、スタビリティコントロールシステムの作動)
- 環境条件 (例：温度)

実際の車両機能に加えて、このデータを使用して故障の検出および修正を実施し、メーカーが車両機能を最適化することができます。このデータの大部分は揮発性で、車両自体で処理されるのみです。データのわずかな一部のみが故障メモリに保存されます。またこの車両はECU制御式のコンフォートまたはエンターテインメント機能装備車です。

### テクニカルデータの読み出し

車両の整備時、サービス ネットワーク作業者(例：ワークショップ、ロードサービス、メーカー)は、車両からこの技術情報を読み出すことができます。整備には修理、サービス点検、保証での作業、品質保証対策などが含まれます。データは車両のOBD(「オンボード診断」)用に法的に規定された接続を使用して読み出されます。製品のモニタリング要件、または品質要件を満足するために、データの収集、処理、および関連サービス ネットワーク作業員による使用およびポルシェへの送信が実施されます。車両の故障およびイベント メモリーは修理またはメンテナンス中にサービス センターによるリセットが可能です。

### 車両の機能を使用して

選択した機器に応じて、車両のコンフォートおよびインフォテインメント機能のその他の設定に加えてマルチメディアおよびアドレスブックデータ、またはナビゲーション目的地等の情報をご自身で追加できます。このデータは車両で局所的に保存されたり、車両に接続した機器に保存されたりします(スマートフォン、USB スティックまたはMP3 プレーヤーなど)。車両にデータを保存している場合はいつでも消去可能です。ご要望に応じて、オンラインサービスの使用中はデータを第三者に送信できます。これは選択された設定に従ってのみ実施されます。

車両に必要な機器が装備されている場合は、車両に内蔵された制御装置を使用して接続したスマートフォンまたは他の携帯機器を制御可能です。スマートフォンからの画像および音はマ

ルチメディアシステムにより出力可能です。特定の情報をスマートフォンに送信することもできます。これは一般的な車両情報または位置データを含みます。装備品のタイプにより異なります。これにより、ナビゲーションシステムの使用または音楽の再生など選択したスマートフォンのアプリを最適に使用できます。スマートフォンを使用して車両データに自動アクセスすることはできません。データ処理のタイプはご使用のサプライヤーにより異なります。

設定可能であるかどうか、またどの設定が設定可能かは、ご使用のスマートフォンのアプリおよびオペレーティングシステムにより異なります。

### オンラインサービスの使用

車両にワイヤレス ネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステム間でデータの交換が可能です。車両の送信ユニットまたは接続した携帯機器(スマートフォンなど)によりワイヤレスネットワークに接続可能です。ワイヤレス ネットワーク接続により、オンライン機能を使用できます。これにはポルシェまたは他のプロバイダーにより利用可能なオンライン サービスおよびアプリケーション/アプリが含まれます。

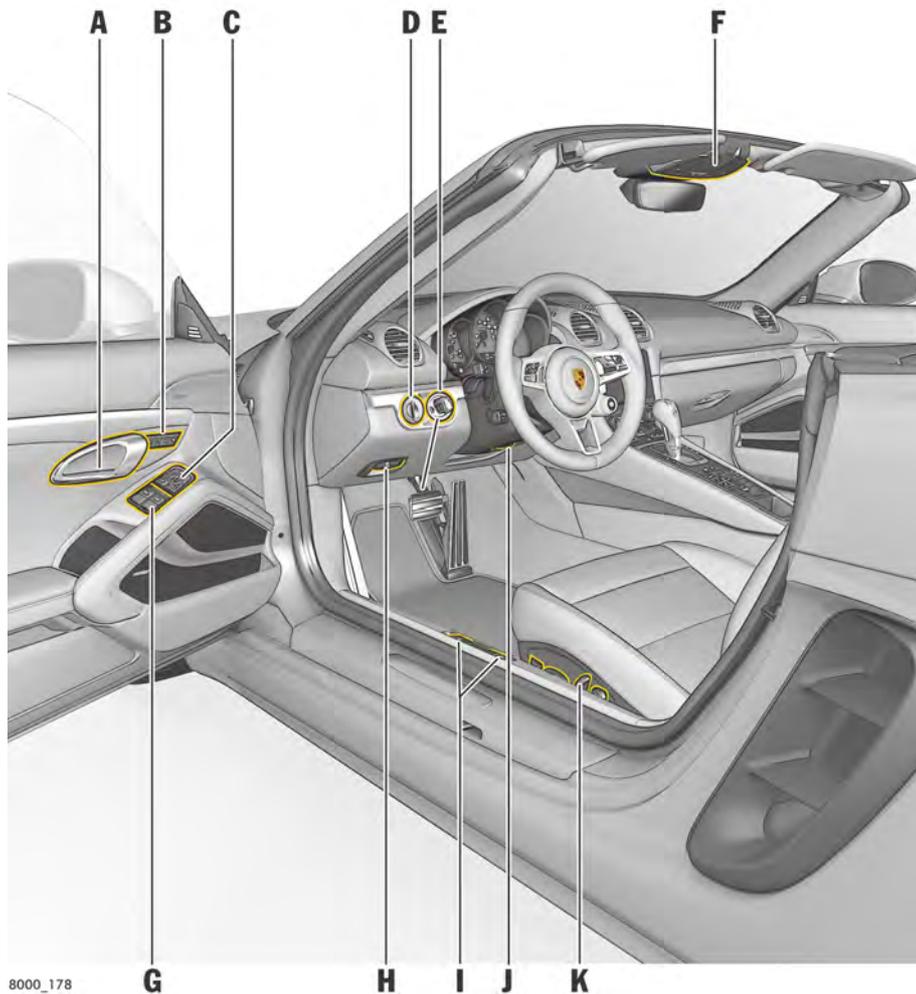
ポルシェ オンライン サービスの場合は、各種機能についての説明が適切な場所(例：ポルシェ コネクト ウェブサイト)に提供されており、関連するプライバシー通知も提供されています。個人データはオンライン サービスの規定に従って使用されます。このデータは、ポルシェの専用ITシステムなど、安全性が確保された接続方法により送受信されます。サービスの規定以外の目的での個人データの収集、処理および使用は、法律またはお客様の同意に従ってのみ実施されます。

通常、(料金ベース) サービスや機能、または車両のデータ接続自体の有効化/無効化は、ユーザー側の判断にて行うことが可能です。これは特に、法的要件機能およびサービスには適用されません。

他のプロバイダーからオンライン サービスを利用する可能性がある場合、責任は各プロバイダーにあり、各プロバイダーのデータ保護要件および使用規約に従うものとします。ポルシェはこのようなデータ交換について関与しません。第三者が提供するサービスにおける個人情報の取り扱いや、収集する個人情報の種類、範囲、またその目的については、各サービスプロバイダーに直接お問い合わせください。

## 概要図

以降のページには、車両の一部の部位の概観図が簡略な説明とともに掲載されています。詳しい情報は該当するページをご覧ください。



## 運転席

- A インナー ドア ハンドル ▷ P136
- B パーソナル設定用メモリー  
ボタン ▷ P191
- C ドアミラーの調節 ▷ P244
- D ライトスイッチ ▷ P252
- E イグニッションロック ▷ P61
- F オーバーヘッドコンソール ▷ P20
- G パワーウィンドウ ▷ P44
- H エレクトリックパーキング  
ブレーキ ▷ P202
- I フロント/リヤラゲッジコン  
パートメントリッドのリリース ▷ P257
- J ステアリングホイール調節 ▷ P120
- K シート調節 ▷ P110

8000\_178

G

H

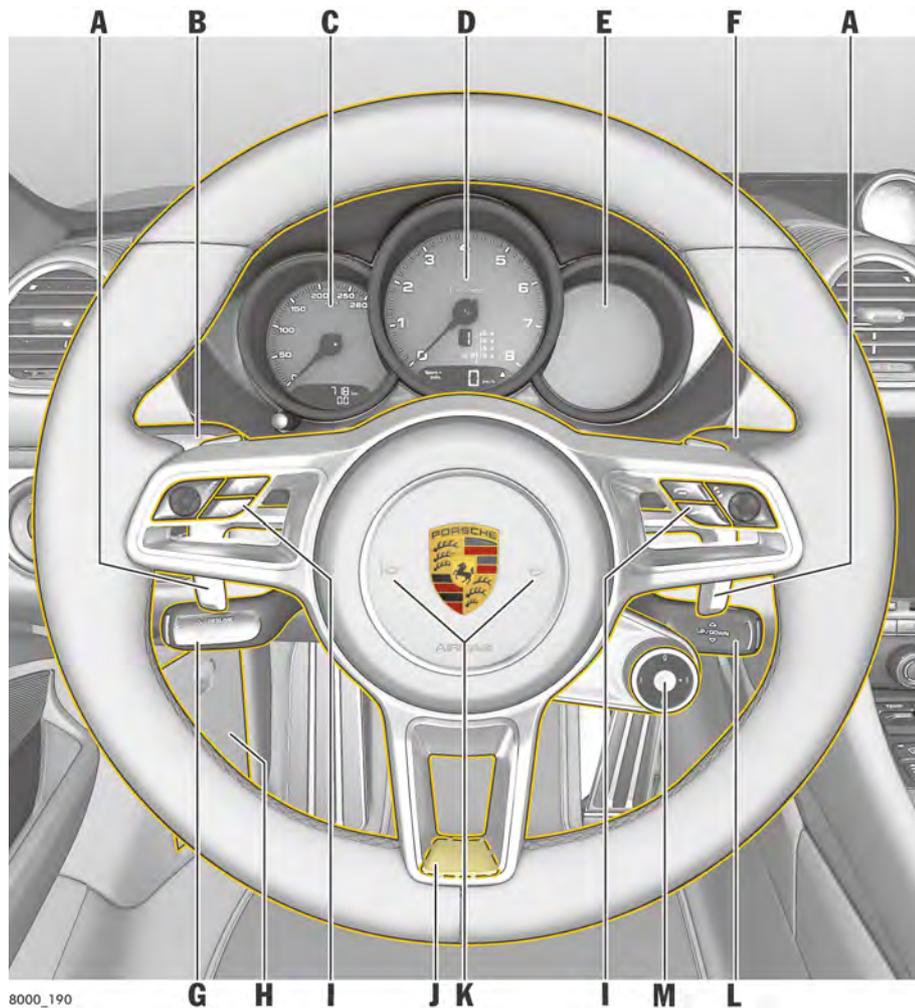
I

J

K

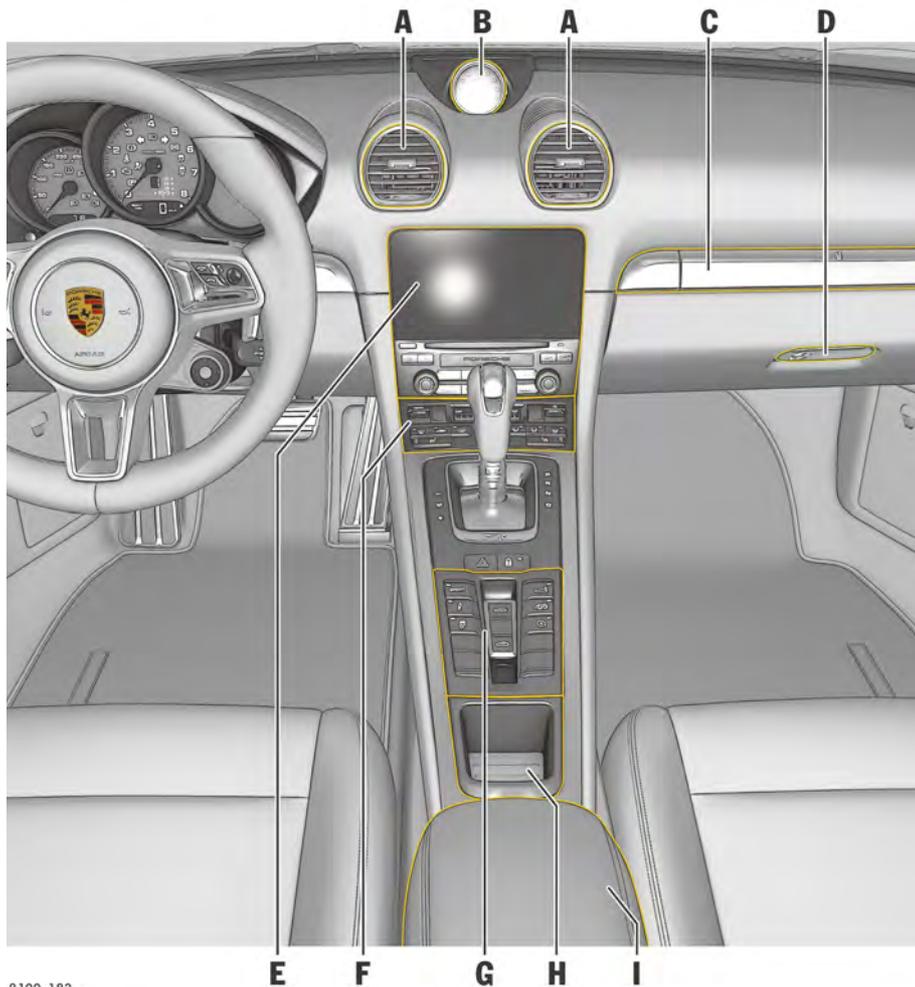
## ステアリングホイールおよびインストルメントパネル

- A PDK シフトパドル ▷ P174
- B 方向指示灯およびハイビーム ▷ P255
- C スピードメーター ▷ P39  
警告灯および表示灯 ▷ P40
- D タコメーター(回転計) ▷ P39  
警告灯および表示灯 ▷ P39
- E マルチファンクションディスプレイ ▷ P39  
警告およびインフォメーションメッセージ ▷ P82
- F フロントワイパー ▷ P205
- G クルーズコントロール ▷ P80  
ACC ▷ P30
- H 故障診断用ソケット ▷ P4
- I 電話、ラジオ、マルチファンクションディスプレイのマルチファンクションボタン ▷ P231
- J ステアリングホイールヒーター ▷ P120
- K ホーン
- L マルチファンクションディスプレイのレバー(マルチファンクションステアリングホイール非装備車) ▷ P231
- M モードスイッチ ▷ P126



8000\_190

G H I J K I M L

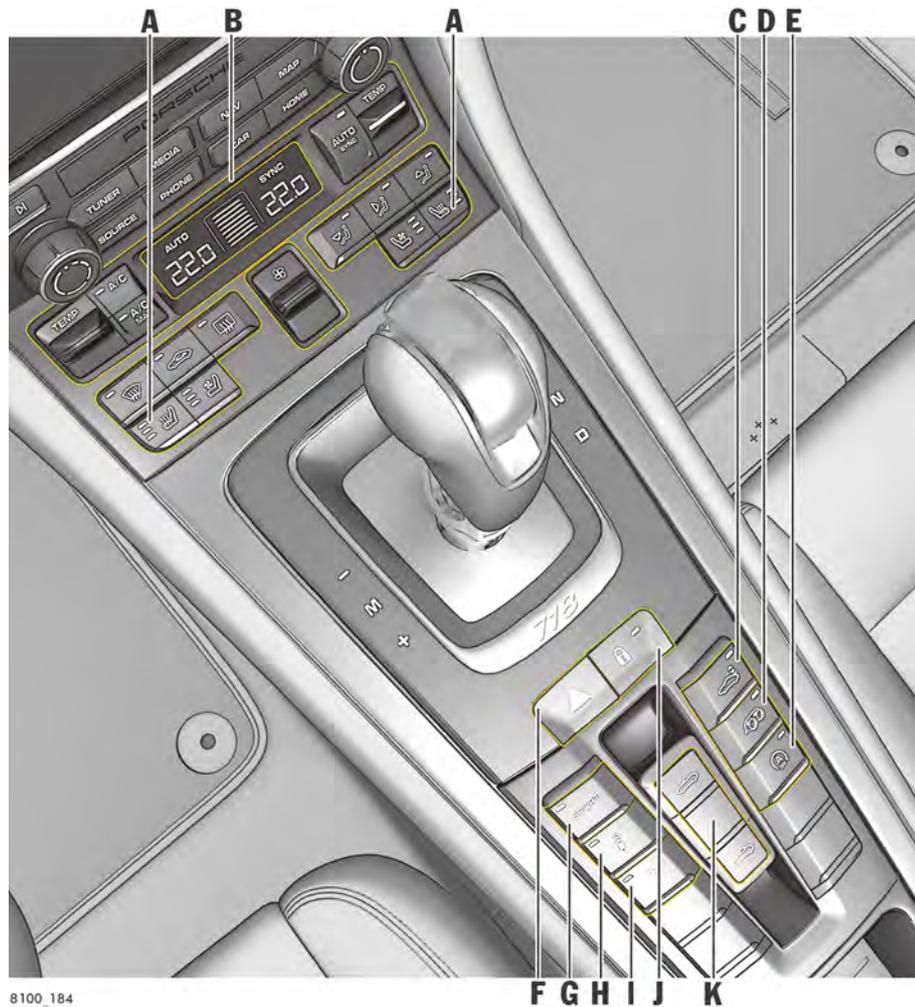


## センターコンソール

- |   |                                |        |
|---|--------------------------------|--------|
| A | エアベント                          | ▷ P50  |
| B | スポーツクロノ<br>ストップウォッチ            | ▷ P122 |
| C | カップホルダー                        | ▷ P72  |
| D | グローブボックス                       | ▷ P118 |
| E | ボルシェコミュニケーション<br>マネージメント (PCM) | ▷ P21  |
| F | エアコンコントロールパネル                  | ▷ P18  |
| G | コントロールパネル                      | ▷ P19  |
| H | 灰皿、シガーライター                     | ▷ P130 |
| I | 小物入れ                           | ▷ P119 |

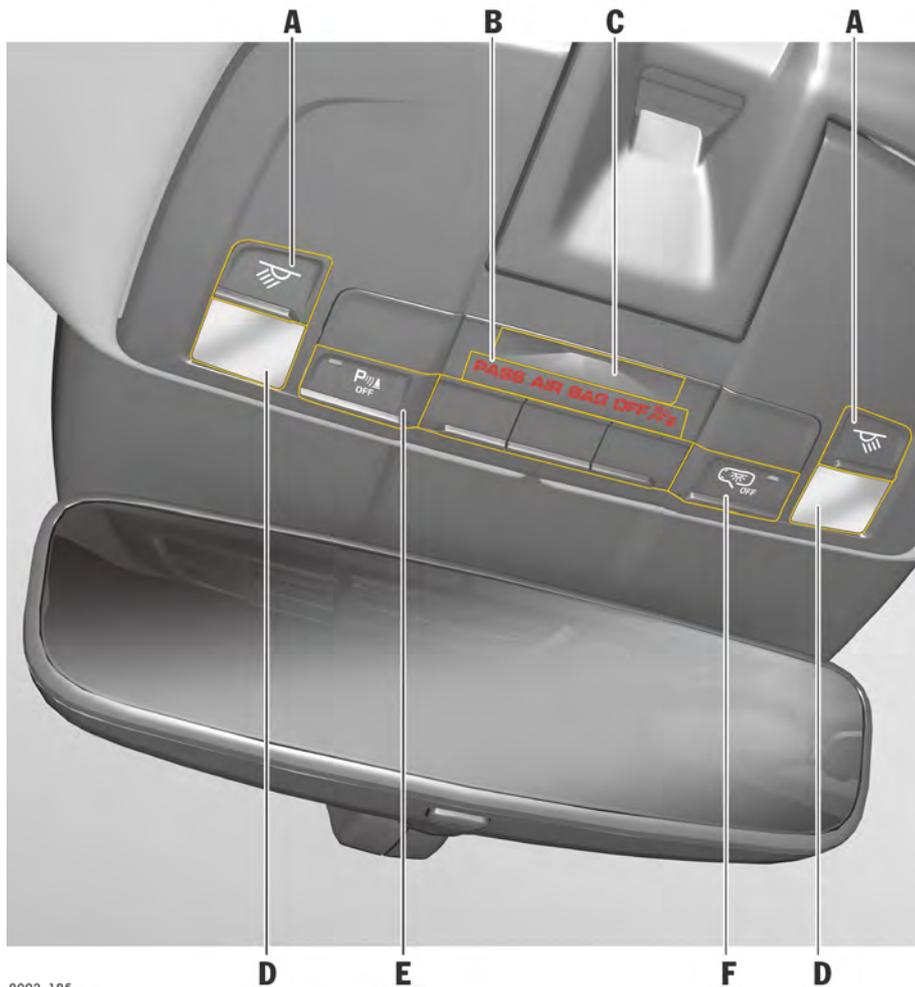
## コントロールパネル

- A シートヒーター/シートベンチレーター ▷ P113
- B エアコンコントロールパネル ▷ P50
- C リヤスポイラー ▷ P268
- D スポーツエキゾーストシステム ▷ P121
- E オートスタート/ストップ ▷ P63
- F ハザードライト ▷ P256
- G スポーツモード (装備により異なる) ▷ P129
- H ポルシェアクティブサスペンションマネージメント (PASM) ▷ P215
- I ポルシェスタビリティマネージメント (PSM) ▷ P227
- J センtralロック ▷ P135
- K コンバーチブルトップ用コントロールパネル ▷ P104



8100\_184

## オーバーヘッドコンソール



- A インテリアライト / 読書灯用ボタン ▷ P42
- B 助手席エアバッグ OFF 警告灯 ▷ P157
- C インテリアライト ▷ P42
- D 読書灯 ▷ P42
- E パークアシスト ▷ P188
- F 自動インテリアライト ▷ P42

## PCM の各操作部

- A 音量調節、PCM の ON/OFF の切り替え ▷ P226
- B ラジオ ▷ P264
- C メディアおよびラジオ音源 ▷ P249
- D ミュージックおよびビデオ ▷ P249
- E 電話、メッセージ、Eメール ▷ P163
- F ナビゲーション ▷ P179
- G 車両およびシステムの設定 ▷ P225
- H 地図および交通情報通知 ▷ P183
- I メインメニュー、サウンド設定 ▷ P221
- ポルシェ コネクト サービス ▷ P132
- Apple CarPlay ▷ P274
- MyScreen ▷ P221
- J ロータリープッシュボタン (PCM の操作) ▷ P221
- K バック ボタン：前の操作を取り消す、選択を中止する、または 1 つ前のメニューに戻る
- L メインメニュー、サウンド設定に応じた設定
- M 時刻の設定 ▷ P220
- N タッチスクリーン (PCM の操作) ▷ P221
- O デバイス マネージャー (電話を接続する、ワイヤレスインターネット アクセスを設定する、Bluetooth® 機器を接続する、Apple CarPlay の接続状態を表示する) ▷ P161
- P スキップ ボタン (曲 / 放送局の設定)

P170\_60



P170\_61

## PCMドライブ

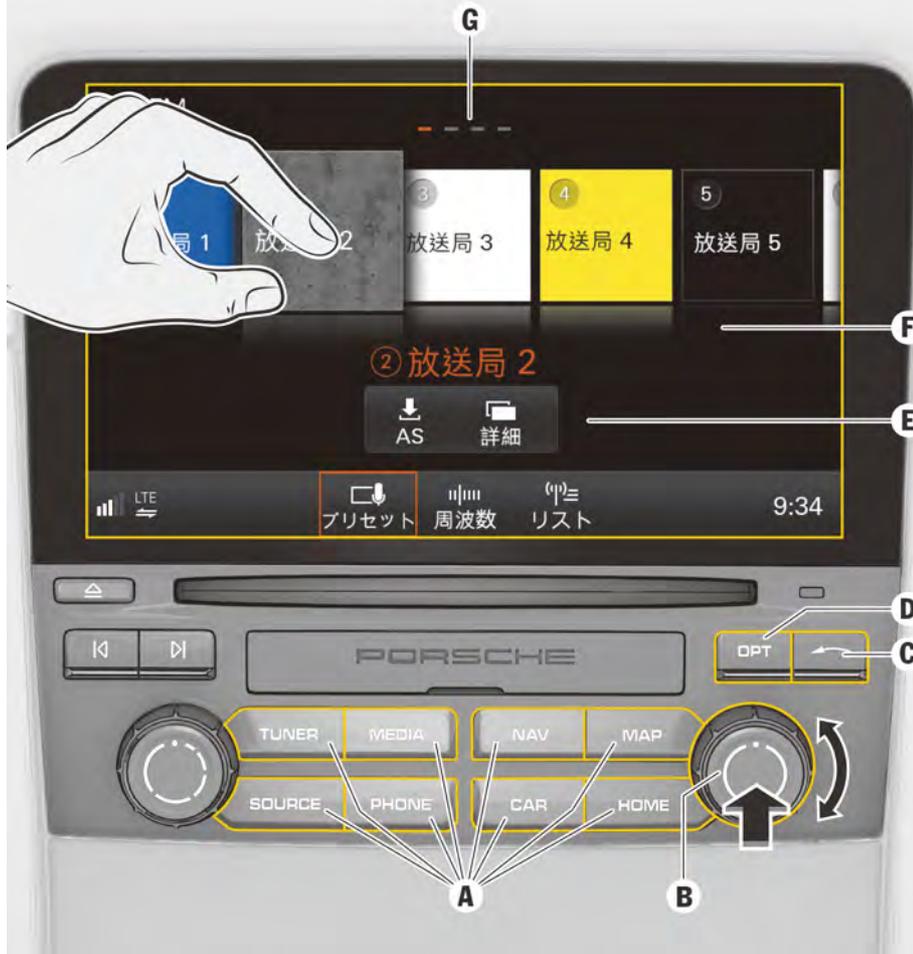
- |   |                |   |      |
|---|----------------|---|------|
| A | CD/DVDドライブ     | ▷ | P224 |
| B | SDカードリーダー1     | ▷ | P224 |
| C | SIMカードリーダー     | ▷ | P224 |
| D | SDカードリーダー2     | ▷ | P224 |
| E | CD/DVDイジェクトボタン | ▷ | P224 |



## PCMの基本操作

- A** メインメニューを開く
- ▶ ボタン(例: **TUNER**) を押してください。
  - または-
  - メインメニューの機能 **HOME** を選択してください。
- B** PCMの操作用ロータリープッシュボタン
- ▶ **P221**
  - ▶ ロータリープッシュボタン **B** を回して機能を選択してください。
  - ▶ ロータリープッシュボタン **B** を押して選択内容を確定してください。
- C** バックボタン: 前の操作を取り消す、選択を中止する、または1つ前のメニューに戻る
- D** メインメニュー、サウンド設定に応じた設定
- E** コントローラーの機能を開く
- ▶ **P221**
  - (近接センサーがアクティブの場合は、手をPCMの近くに動かすだけです)
- F** PCMの操作用タッチスクリーン
- ▶ **P221**
  - ▶ タップ(指で軽く触れる)
  - ▶ 長押し(指を押し付けてそのままにする)
  - ▶ スクロール(上下にスワイプする)
  - ▶ スワイプ(左右にスワイプする)
  - ▶ ドラッグ&ドロップ(項目をタッチして、希望の位置までドラッグして放す)
  - ▶ ズーム(2本の指をディスプレイに触れたまま広げるまたは狭める)
- G** 他のページを表示: 左右にスワイプして他のページを開く

P170\_62



P170\_63



## テキストおよび文字を PCM に入力する

- A 現在のカーソル位置 ▶ P221
- B 候補のリスト ▶ P221
- C 大文字と小文字を切り替える ▶ P221
- D 文字、数字および特殊文字の入力を切り替える ▶ P221
- E キーボードを表示する / 隠す ▶ P221
- F 手書き文字認識機能 (タッチスクリーンを使用して文字を入力する) ▶ P221
- G キーボードの調整 ▶ P221
- H スペースの挿入 (手書き文字認識: タッチスクリーン上で指を左から右にスワイプする) ▶ P222
- I 入力を決断する ▶ P221
- J 項目を削除する (手書き文字認識: タッチスクリーン上で指を右から左にスワイプする) ▶ P221
- K 英語、ひらがな、カタカナ、ローマ字、漢字の手書き認証: 代替文字の表示 / 非表示の切り替え ▶ P221

## 実用的なヒント

以降のページには、車両の各エリアに関する実用的なヒントが掲載されています。

## 実用的なヒント

### エアコン

トピック	ヒント
アップパーベンチレーションパネルのON/OFF	2ゾーンエアコン装備車の場合、アップパーベンチレーションパネルは、マルチファンクションディスプレイで <b>車両 ▶設定 ▶エアコン ▶ベンチレーションフィールド</b> の順に選択することで、ON/OFF を切り替えることができます。
空気の状態に応じて、外気導入と内気循環を自動的に切り替える	2ゾーンエアコン装備車の場合、自動内気循環は、マルチファンクションディスプレイで <b>車両 ▶設定 ▶エアコン ▶自動内気循環</b> の順に選択することで、ON/OFF を切り替えることができます。
ドライバーが1人で乗車するときのエアコン設定	ドライバーが1人で乗車するときは、運転席側のエアコン設定を車両全体に適用します。 ▶ エアコンコントロールパネルの <b>AUTO SYNC</b> ボタンを、エアコンディスプレイに <b>SYNC</b> が表示されるまで長押ししてください。

### 接続

トピック	ヒント
デバイスマネージャーを開く	デバイスマネージャーは、機器の接続(電話またはBluetooth®オーディオプレーヤーの接続、PCMの外部WiFiホットスポットへの接続、Apple CarPlayおよびアプリの使用など)を集中管理します。 ▶ PCMのフッターの  または  シンボルを選択してください(接続状態により異なる)。 または <b>PHONE</b> ボタン ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ <b>デバイスマネージャー</b>

### マルチファンクションステアリングホイール

トピック	ヒント
マルチファンクションステアリングホイールの◇ボタンを割り当てる	マルチファンクションステアリングホイールの◇ボタンに、マルチファンクションディスプレイまたはPCMの任意の機能を割り当てることができます。 マルチファンクションディスプレイで希望の機能を選択してください。 <b>車両 ▶設定 ▶ステアリングホイール操作 ▶◇キー ▶PCM機能</b> または <b>組み合わせ機能</b>

## ナビゲーション

トピック	ヒント
目的地の検索または入力	<p>検索または<b>オンライン検索</b>機能により、希望の目的地を入力または検索することができます。<b>検索</b>機能では、PCMに内蔵されたデータベースにアクセスします。インターネットで目的地を検索するには、<b>オンライン検索</b>機能を利用してください。</p> <p>▶ <b>NAV</b> ボタンを押します ▶<b>検索</b>または<b>オンライン検索</b> ▶検索ワード(市、通り、名称など)を入力し、リストから希望する項目を選択して▶<b>開始</b> を押します。</p>

## ボイスコントロール

トピック	ヒント
ボイスコントロールの作動	<p>ステアリング ホイール左側のレバーにある  ボタンを押すと、アプリケーションに応じてさまざまな機能が起動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 短く押す：PCMのボイスコントロールが有効になります。</li> <li>- 長押しする：Siri 音声認識機能が有効になります (Apple CarPlay を組み合わせた場合のみ)。</li> </ul>
乗員による音声操作	<p>ボイスコントロール用のハンズフリーマイクroフォンはドライバー側に向いています。そのため、ドライバーのみがボイスコントロールを使用してください。</p>

## 補給

トピック	ヒント
フィルターフラップの位置の表示	燃料計の矢印は、車両のフィルターフラップの付いている側面を示しています。 ▶ 「インストルメントパネル」(39ページ) を参照してください。

## 電話

トピック	ヒント
対応している Bluetooth® プロファイル	携帯電話で使用されているプロフィールのリストを表示するには、 <b>PHONE</b> ボタン ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ <b>電話設定</b> ▶ <b>Bluetooth</b> ▶ <b>Bluetooth デバイス</b> ▶ 該当する機器 ▶ <b>詳細</b> の順に押してください。 また、携帯電話の取扱説明書に記載されている情報にも注意してください。
接続された2つの携帯電話の切り替え	携帯電話が既に PCM に接続されている場合は、もう1台の携帯電話を PCM に接続し、ユーザーが2つの携帯電話を切り替えることも可能です。 ▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ ヘッドラインの <b>G1</b> または <b>G2</b> を選択します。
携帯電話の連絡先を PCM に転送する	どの携帯電話が接続されているか、または SIM カードを使用しているかに関係なく、PCM の範囲内にある携帯電話から Bluetooth® 経由で連絡先を転送することができます。 ▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ <b>電話設定</b> ▶ <b>連絡先</b> ▶ <b>連絡先を同期</b> ▶ <b>連絡先の同期</b> に使用する携帯電話を選択してください。

## セントラルロック

トピック	ヒント
車両のロックを解除して、1つのドアのみロックが解除する	ドアロックおよびロック解除の設定が変更されました。 設定内容に関係なくすべてのドアを開くことができます。 ▶ キーの <b>🔓</b> ボタンを5秒以内に2回押してください。 設定を変更するには、マルチファンクションディスプレイで <b>車両</b> ▶ <b>設定</b> ▶ <b>ロック</b> を選択してください。

## トピック

以降のページには、五十音順に項目が掲載されています。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC)

✓ PDK 装備車。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) を使用すると、前走車のいない道路を走行する場合に、約 30~210 km/h の範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

アダプティブクルーズコントロールは自車と同一車線上に、設定した速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

アダプティブクルーズコントロールは前走車との車間距離が短くなると減速し、車間距離が長くなると設定速度の範囲内で加速します。

### ▲ 警告

集中力の低下

アダプティブクルーズコントロールにより快適性は向上しますが、ドライバーは運転に責任を持ち、安全運転を心がけてください。ドライバーは、アダプティブクルーズコントロールが作動していても、安全な車間距離を保ち、適切なスピードで走行するなどの安全運転に努めてください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ アダプティブクルーズコントロールの減速が不十分な場合は、直ちにフットブレーキをかけて車両を減速させてください。
- ▶ 常に車両がコントロールできるか確認してください。

### ▲ 警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により前走車と安全な距離を保って一定の車速で走行できない場合は、アダプティブクルーズコントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- ▶ 激しい渋滞、道路工事区間、市街地、カーブの多い道、路面状態が悪い場合 (冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面) などでアダプティブクルーズコントロールを使用しないでください。

### ▲ 警告

アダプティブクルーズコントロールにより他の車両や障害物を検出できない場合

アダプティブクルーズコントロールは、停車中または低速走行中の車両、歩行者、路上の障害物、同一車線上の対向車、前方を斜め方向に横切る車両などは検出できません。

- ▶ 必要に応じて適切な運転操作をしてください。
- ▶ 進行方向の状況に常に気を配ってください。

## レーダーセンサー

アダプティブクルーズコントロールは、フロントバンパー中央 (矢印) のレーダーセンサーを使用します。

8000\_137



図1: レーダーセンサーの取り付け位置

### i インフォメーション

- ▶ システムの正常な機能を維持するために、レーダーセンサーに付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。

車両のお手入れについて:

- ▷ 「お手入れ」(66ページ) を参照してください。

### ▲ 警告

レーダーセンサーの視界不良

雨水、雪、氷、多量の水しぶきなどでレーダーセンサーの機能が阻害される場合があります。前走車を正しく検出できないことや、全く検出できなくなることがあります。

- ▶ 上記のような状況下ではアダプティブクルーズコントロールを使用しないでください。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) の操作



図2：アダプティブクルーズコントロール (ACC) レバー

R ACC の ON/OFF 切り替え

- 1 設定 / 希望する速度を上げる
- 2 設定速度を下げる
- 3 中断 (OFF)
- 4 クルーズコントロールの再開 (RESUME)

### **i** インフォメーション

ブレーキペダルまたはアクセルペダルを操作した場合、いつでもドライバーの意志が優先されます。

### 例外

レーダーセンサーの汚れが激しい場合や雪などで覆われているとき、豪雨など悪天候のとき、トンネルを通過中などにアダプティブクルーズコントロールが自動的に作動を停止することがあります。

マルチファンクションディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。

- ▷ 「警告および情報メッセージ」(82 ページ) を参照してください。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) の基本的な作動

### 前方に車両がないとき - 一般道路での運転

アダプティブクルーズコントロールは車両の速度を調節します。設定された希望の速度が常に維持されます。

### 前走車を検出したとき - フォローモード

アダプティブクルーズコントロールは、自車と同一車線上に希望した設定速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

前走車が停止すると、アダプティブクルーズコントロールの制御範囲内で減速して停車します。

アダプティブクルーズコントロールは前走車が発進するまで停車状態を維持します。

前走車が発進すると、アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) を再開することができます。

### 追い越し加速

アクセルペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。

設定速度よりも高速で走行すると、アダプティブクルーズコントロール (ACC) が解除されます。

マルチファンクションディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。設定された希望の速度は保存されています。

アクセルペダルを放すと、ACCは、前走車がない場合は希望の速度まで加速し、前走車がいる場合は車間距離を制御します。

ACCの作動状態に関するインフォメーション：

- ▷ 「アダプティブクルーズコントロール (ACC) のON時の作動モード」(32ページ) を参照してください。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) の表示

アダプティブクルーズコントロールに関するすべての重要な情報、メッセージおよび警告はマルチファンクションディスプレイのACCメインメニューに表示されます。

8070\_20



図3：マルチファンクションディスプレイのACC

- A 前走車との設定車間距離
- B ステータス表示と目標速度
- C 先行車両の検知
- D 先行車両からの現在の距離
- E 先行車両の現在の速度
- F 速度制御範囲のバー表示 (0~210 km/h)
- G 実際の速度

アダプティブクルーズコントロールをONにすると、マルチファンクションディスプレイ左下にステータスディスプレイBが表示されます。

アダプティブクルーズコントロールが作動すると、ステータスディスプレイBが橙色に変わります。

アダプティブクルーズコントロールの作動を中断すると、ステータスディスプレイBが灰色になります。

アダプティブクルーズコントロールをONにすると、クルーズコントロールのシンボルマークが表示されます。ただし設定速度を設定するまでは、速度表示が空欄になります。

設定速度を設定した後、前走車を検出していないときは、クルーズコントロールのシンボルマークと設定速度が表示されます。

設定速度を設定した後で前走車を検出した場合、車両のシンボルマークと設定速度が表示されます。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) のON/OFF

### アダプティブクルーズコントロール (ACC) をONにする

- ▶ レバーのRボタンを押してください。マルチファンクションディスプレイに灰色のシンボルマークが表示されます。アダプティブクルーズコントロールはスタンバイ状態になります。

### アダプティブクルーズコントロール (ACC) をOFFにする

- ▶ レバーのRボタンを押してください。マルチファンクションディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。保存されていた設定速度が削除されます。設定車間距離が初期値(デフォルト値)にリセットされます。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) のON時の作動モード

アダプティブクルーズコントロールON時には、3種類の作動モードがあります。

### アダプティブクルーズコントロール (ACC) の作動

アダプティブクルーズコントロールが、速度および前走車との車間距離を自動的に制御します。

ステータスディスプレイBが橙色になります。

### アダプティブクルーズコントロール (ACC) のスタンバイ

ブレーキペダルを踏んだときや、クルーズコントロール操作レバーを下方(3の位置、OFF)に押したときは、アダプティブクルーズコントロール(自動車速制御および自動車間距離制御)が解除されます。

設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。

ステータスディスプレイBが灰色になります。アダプティブクルーズコントロール(自動車速制御および自動車間距離制御)の再開に関するインフォメーション：

- ▶ 「RESUME(自動車速制御と自動車間距離制御の再開)」(35ページ)を参照してください。

### アダプティブクルーズコントロール (ACC) の速度超過

アクセルペダルを踏むと、クルーズコントロールおよび車間距離制御が解除されます。

マルチファンクションディスプレイにACCが停止中であることを示すメッセージが表示されます。

設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。

ステータスディスプレイBが灰色になります。アクセルペダルを放した後、アダプティブクルーズコントロール(自動車速制御および自動車間距離制御)は再開されます。

## 速度の設定 / 設定速度の変更

- ✓ アダプティブクルーズコントロールがONになっている。
- ✓ 車両が動いている。
- ✓ 前方に静止した物体を検出していない。

### 速度の設定

- ステアリングホイールのレバーを前方 (図2、1) に押してください。  
そのときの走行速度が希望速度として保存され、自動的に維持されます (約30~210 km/hの制御範囲内)。ステータスディスプレイBが橙色になります。  
速度制御範囲のバーグラフの下部に表示されている赤色の▲マークGが、現在の速度を示しています。
- アクセルペダルから足を放してください。  
自車よりも遅い速度の前走車が検出されるまで、設定速度が自動的に維持されます。

### **i** インフォメーション

停止中にレバーを前方 (1の位置) に押すと、マルチファンクションディスプレイに「ACC cannot be activated when parked (ACC 不可 停車中)」のメッセージが表示されます。

前方に静止した物体を検出すると、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

### 設定速度を上げる

- ▶ ステアリングコラムのレバーを前方 (図2、1の位置) に短く押してください。  
速度が1 km/h単位で上がります。  
または  
ステアリングコラムのレバーを前方 (1の位置) で保持してください。  
速度が10 km/h単位で上がります。  
ステータスディスプレイBが新しく設定した速度を表示します。  
速度制御範囲のバーグラフの下部に表示されている赤色の▲マークGが、現在の速度を示しています。

### 設定速度を下げる

- ▶ ステアリングコラムのレバーを手前 (図2、2の位置) に短く引いてください。  
速度が1 km/h単位で下がります。  
または  
ステアリングコラムのレバーを希望の速度になるまで手前 (2の位置) で保持してください。  
速度が10 km/h単位で下がります。  
ステータスディスプレイBが新しく設定した速度を表示します。  
速度制御範囲のバーグラフの下部に表示されている赤色の▲マークGが、現在の速度を示しています。

## 車間距離の設定

前走車との車間距離を4段階に設定できます。



図4：車間距離の設定

### **i** インフォメーション

車間距離を設定すると、マルチファンクションディスプレイに「ACC」(アダプティブクルーズコントロール)のメインメニューが一時的に表示されます。

最初にロッカースイッチZを操作すると、設定車間距離を変更することなく、「ACC」メインメニューが表示されます。

### **i** インフォメーション

実際の車間距離は速度に応じて変化します。速度が低いときは車間距離が短くなり、速度が高くなると車間距離が長くなります。

## 車間距離を長くする

- ▶ スイッチ Z を上方向に押してください。前走車との設定車間距離を示す橙色のセグメント A の数が増えます。

## 車間距離を短くする

- ▶ スイッチ Z を下方向に押してください。前走車との設定車間距離を示す橙色のセグメント A の数が減ります。

## 前走車との車間距離を表示する

前走車を検出すると、マルチファンクションディスプレイまたはステータスディスプレイ B に車両のシンボルマーク C が表示されます。灰色のゾーン D が、前走車との現在の車間距離を示します (図3)。



走行速度が高い道路での走行に適した車間距離です。前走車との車間距離は 1 秒です。この場合、120 km/h のときに約 33 m の車間距離になります。



少し余裕のあるドライビングに適した車間距離です。前走車との車間距離は 1.3 秒です。この場合、120 km/h のときに約 43 m の車間距離になります。



初期設定値  
道路運行上の安全基準に即した車間距離です。前走車との車間距離は 1.8 秒です。この場合、120 km/h のときに約 60 m の車間距離になります。



郊外路を走行するときに適しています。前走車との車間距離は 2.3 秒です。この場合、120 km/h のときに約 77 m の車間距離になります。

## 自動ブレーキ制御での停止

アダプティブクルーズコントロールが作動しているときに前走車が停止すると、制御範囲内で減速して停車します。

インストルメントパネルの HOLD インジケータライトが点灯します。

車両は前走車が発進するまで停止状態を維持します。

HOLD 機能に関するインフォメーション:

- ▶ 「HOLD 機能」(276ページ)を参照してください。

## インフォメーション

周囲の交通の流れによっては (たとえば、ゆっくりとした交通の流れの中では)、車両はゆっくりと徐行してから停車します。

## インフォメーション

アダプティブクルーズコントロールが正常に機能している場合や、HOLD 機能が作動したときは、ブレーキペダルの感触が変化したり、ブレーキシステムの油圧作動音が聞こえたりすることがあります。これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

## 再発進

アダプティブクルーズコントロールの作動モードに応じて、停車後に再発進し、自動車速制御と自動車間距離制御を再開することができます。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) の作動

- ▶ ステアリングコラムのレバーを上方 (4 の位置、RESUME) に押してください。

または

アクセルペダルを短く踏んでください。

車両が自動的に再発進します。

## インフォメーション

前走車が停止しているときは発進できません。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) のスタンバイ

車両が動いているときのみ、自動車速制御および自動車間距離制御を再開することができます。

1. 通常の運転操作で発進してください。
2. ステアリングコラムのレバーを上方 (4 の位置、RESUME) に押してください。

または

速度を設定する、または設定速度を変更してください。

## アダプティブクルーズコントロール (自動車速制御および自動車間距離制御) の中断と再開 自動車速制御と自動車間距離制御の中断 - OFF

- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。または

ステアリングコラムのレバーを下方 (3 の位置、OFF) に押してください。

アダプティブクルーズコントロールの制御が中断されます。

設定された希望速度および設定車間距離は保存されたままになります。

ステータスディスプレイ B が橙色から灰色になります。

## RESUME (自動車速制御と自動車間距離制御の再開)

▶ ステアリングコラムのレバーを上方 (4 の位置、RESUME) に押してください。  
 自車よりも遅い速度の前走車を検出し、あらかじめ設定した車間距離よりも接近するまでは、車両は設定速度まで加速します。  
 ステータスディスプレイ B が灰色から橙色になります。

または

ステアリングコラムのレバーを上方 (4 の位置、RESUME) で保持してください。  
 車両が設定した希望速度まで加速します。

## i インフォメーション

レバーを 3 の位置 (OFF) に動かして、自動車速制御および自動車間距離制御を中断した場合、発進後に前方に静止した物体を検出していないときのみ制御を再開できます。

## 警告シンボル



図5：マルチファンクションディスプレイの警告シンボルマーク

## 制御モード (ACC 作動中) でのドライバーへの運転操作の要求

アダプティブクルーズコントロールが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合、警告音が鳴り、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルマークが表示されます。

### ▲ 警告

アダプティブクルーズコントロールによるオートブレーキ時の不十分な制動力

このような場合、アダプティブクルーズコントロールによる制動力は衝突を回避するには不十分です。

▶ 直ちにブレーキをかけてください。

## アダプティブクルーズコントロール (ACC) の例外

次のような状況では、アダプティブクルーズコントロールは利用できません。

- イグニッションが OFF のとき
- PSM が OFF のとき
- 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していないとき
- 駐車時や操舵時など、ステアリングホイールをいっばいに切ったとき
- エレクトリックパーキングブレーキが作動しているとき
- セレクターレバーが N、R または P の位置にあるとき
- 上り坂や下り坂の傾斜が 20% 以上のとき

アダプティブクルーズコントロール ON 時に、上記のいずれかの例外状況があてはまる場合、アダプティブクルーズコントロールは OFF になります。

マルチファンクションディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

## レーダーセンサーが前走車を正常に検出できない状況

アダプティブクルーズコントロールのレーダーセンサーは、自車正面の比較的狭い範囲を円錐状に監視します。

このため周囲の道路状況や、前走車の大きさによっては、レーダーセンサーが前走車を検出できない、または検出が遅れる場合があります。その結果、アダプティブクルーズコントロールの制動が遅れたり、ブレーキが突然かかることがあります。

停止中の車両は検出されません。アダプティブクルーズコントロールは停止中の車両に反応できません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

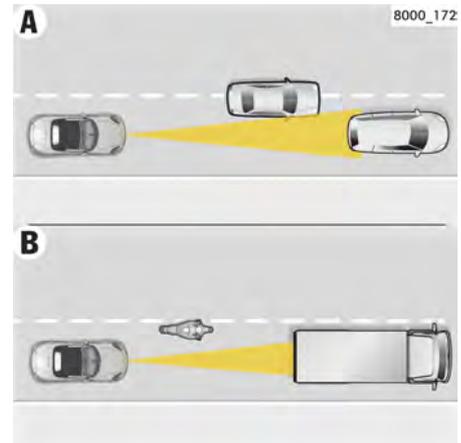


図6：前方への割り込み、幅の狭い車両

A - 前走車の車線変更 / 前方への割り込み  
 他の車両が自車の車線に割り込んだときや離れる場合、自車と同一車線に完全に移動するまでその車両を検出しません。

**B - 投影面積が小さな車両 / 幅の狭い車両**  
 小さな車両や幅の狭い車両は検出できないか、または検出のタイミングが遅れます。

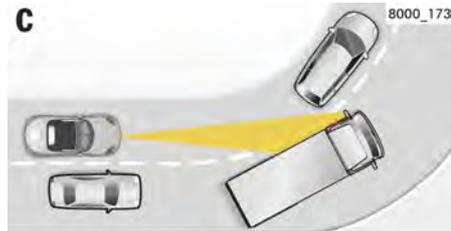


図7: コーナリングおよび停車中の車両

### C - コーナーへの進入 / 脱出

コーナーにさしかかったときは、前走車を検出できなかったり、遅れて検出する場合があります。また、隣の車線を走行する車両に反応する場合があります。

### D - 停止中の車両

レーダーセンサーの監視エリアに突然停車中の車両が現れたとき(前走車が車線変更したときなど)は、アダプティブクルーズコントロールはその車両を検出しません。

#### 警告

アダプティブクルーズコントロールの停止車両の不検出

アダプティブクルーズコントロールのレーダーセンサーは停車中の車両を検出しません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。



図8: オーバーハングの長い車両

### E - オーバーハングの長い車両

木材運搬トラックなどの車両後端部は正しく検出できません。

#### 警告

前走車の後端が正しく検出されない

前走車のオーバーハングが長い場合、アダプティブクルーズコントロールのレーダーセンサーはその車両の後端を検出できない、または距離を正しく検出することができません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 必要に応じて減速してください。

## ポルシェ アクティブ セーフ (PAS)

アダプティブクルーズコントロールセンサーは「ポルシェアクティブセーフ (PAS)」機能に使用されます。

機能内容:

### - ブレーキシステムプレフィル

前走車に危険なほど近づいていることをレーダーセンサーが検出すると、ブレーキシステムの圧力をあらかじめ僅かに高めて制動時の応答性を向上させます。

### - ブレーキアシスト

急ブレーキ操作時にブレーキペダルを踏む力が弱いと、ブレーキアシストが4輪すべてのブレーキシステムの圧力を高めて最大の制動力をかけます

前走車に危険なほど近づいていることをレーダーセンサーが検出すると、ブレーキアシスト機能の作動開始が早まります。ブレーキアシストの作動は状況の危険度に応じて3段階で早まります。

### - ターゲットブレーキ

前走車に危険なほど近づいていることをレーダーセンサーが検出し、さらにブレーキ制動力が不十分な場合、状況に応じてブレーキ圧力を増加します(必要に応じて最大の制動力まで)。

### i インフォメーション

すべてのポルシェアクティブセーフ (PAS) 機能は、約 30 km/h 以上の速度で作動します。

## 潜在的な警告 (表示)

8070\_23



図9：潜在的な警告 (表示)

車間距離が短い状態で長い時間走行している場合、前走車がブレーキをかけたときに衝突することを防ぐため、マルチファンクションディスプレイに潜在的な警告 (黄色のマーク) を表示してドライバーに警告します。

- ▶ 必要に応じて前走車との車間距離を十分に確保してください。

## 予期警告 (警告音、表示)

8070\_22



図10：事前警告作動

前走車に危険なほど近づいていて、前走車と衝突しそうなことをレーダーセンサーが検出すると、警告音と表示で予期警告を行います。この危険な状況では、ドライバーが適切に対応することで衝突を回避できます。

**⚠ 警告** 車間距離の不足

- 前走車に追突する恐れがあります。
- ▶ 直ちにブレーキをかけてください。

## 緊急警告 (警告音、表示、ブレーキ振動)

8070\_22



図11：事前警告作動

ドライバーが予期警告に対応せず、ブレーキをかけなかった場合、直ちに緊急警告が作動し、警告音と表示に加えてブレーキ振動で知らせます。

ドライバーの注意を交通状況に向けるため、ブレーキ圧を急上昇させてブレーキ振動を発生させます。

この危険な状況では、ドライバーが適切に対応することで衝突を回避できます。

**⚠ 警告** 車間距離の不足

- 前走車に追突する恐れがあります。
- ▶ 直ちにブレーキをかけてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

## **i** インフォメーション

下記の状況ではドライバーは慎重に運転していると想定され、予期警告や緊急警告機能は作動しません：

- 急カーブを走行しているとき
- ブレーキをかけているとき
- 追い越ししようとしている場合などドライバーが急加速したとき

---

## ポルシェ アクティブ セーフ (PAS) 警告の ON/OFF

潜在のおよび予期警告機能は初期設定では OFF になっていますが、緊急警告機能は作動状態になっています。マルチファンクションディスプレイで潜在のおよび事前警告機能を ON にする：

- ▷ 「ポルシェ アクティブ セーフ (PAS) の ON/OFF」(239ページ) を参照してください。

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

# インストルメントパネル

8070\_1



図12：インストルメントパネルの表示

## A-スピードメーター

## B-タコメーター（回転計）

タコメーターの目盛りが赤色の部分は、エンジン回転数の許容上限を示しています。

## C-マルチファンクションディスプレイ

▶ 「マルチファンクションディスプレイ」  
(231ページ)を参照してください。

## D-トリップメーターリセットボタン/ インストルメントライトおよびPCMの 明るさ調節ボタン

▶ 「インストルメントおよびインテリア ライト」(42ページ)を参照してください。

## E-積算距離計/トリップメーター

ディスプレイの上段は総走行距離を表示し、下段は区間走行距離を表示しています。

9,999 km を超えると、トリップメーターの表示が「0」に戻ります。

トリップメーターの手動リセット：

▶ トリップメーターリセットボタンDを約1秒間押し続けてください。

トリップメーターが「0」に戻ります。

## F-デジタルスピードメーター

## G-シフトアップインジケーター

経済的な運転を促すシフトアップインジケーターは、選択しているギヤ、エンジン回転数お

よびアクセルペダルの踏み込み量に応じて点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

PDK 装備車の場合、マニュアルモードでのみシフトアップインジケーターが使用可能です。

▶ シフトアップインジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

## H-セレクターレバーポジションインジケーターおよびギヤシフトインジケーター

## I-フィルターフラップ位置の表示

矢印は車両のフィルターフラップの付いている側面を示しています。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## J- 燃料計

イグニッションが ON のときに燃料の残量を示します。

▷ 「給油」(76ページ)を参照してください。

坂道などで車体の傾きが変化すると、燃料計の表示位置が少し変化することがあります。

### 燃料残量警告灯

燃料タンクの残量が規定値(モデルにより異なる)または最小残可走距離を下回り、イグニッションが ON、またはエンジン作動している場合、燃料警告シンボルが表示されます。

▶ 最寄りの給油所で給油してください。

### 知識

燃料が不足した状態で走行を続けると、エミッションコントロールシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▶ 警告灯が点灯したり、燃料警告メッセージが表示されたりした場合は、カーブを曲がるときにスピードを出さないようにしてください。

## 警告灯および表示灯

### 知識

イグニッションを ON にすると、すべての警告灯および一部のインジケーターライトが短時間点灯します。不具合は警告灯により示されます。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

- イグニッションを ON にしたときに警告灯が点灯しないとき。
- エンジン作動中または走行中に、警告灯が点灯または点滅するとき。

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### i インフォメーション

不具合の原因が解消した場合のみ、該当する警告灯が消灯します。

## スピードメーター内

**HOLD** HOLD 機能インジケーターライト



タイヤ空気圧警告灯

警告灯が点滅または点灯し続ける原因:

- 新しく装着したホイール(タイヤ空気圧センサー)を学習している、またはホイールを認識できない場合
- タイヤ空気圧モニタリングシステム(TPM)の故障または一時的な不具合
- タイヤ空気圧の低下

▶ 空気圧が低下した場合:適切な場所に停車してください。運転を続けしないでください。

▷ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

▷ 「タイヤ空気圧モニタリング(TPM)」(142ページ)を参照してください。



PDLS 警告灯



ロービームインジケーターライト



ダイナミックハイビームインジケーターライト



リヤフォグライトインジケーターライト

タコメーター内

- 



ABS 警告灯
- 

スポーツ / スポーツプラス / パーソナルインジケータースタイル
- 

PSM 警告灯
- 

PSM OFF 警告灯
- 

エレクトリック パーキング ブレーキ 警告灯
- 

エミッションコントロール警告灯  
(チェックエンジン)

警告灯が点滅または点灯し続ける原因：汚染物質の排出量を増加させ、損傷を引き起こす原因となる作動不良(エンジンの失火など)

  - ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
  - ▶ 必要に応じて、安全な場所に停車してください。可燃物(乾燥した草や枯れ葉など)が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。
  - ▶ 必要な措置を講じて、エミッションコントロール システムの不具合を解消してください。
  - ▶ 「警告および情報メッセージ」(82 ページ) を参照してください。
- 

エアバッグ警告灯
- 

シートベルト警告灯
- 

ブレーキ警告灯
- 

方向指示灯、左
- 

ハイビームインジケータースタイル
- 

方向指示灯、右

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## インストルメントおよび インテリアライト

### インストルメントライトの明 るさ調節



図13：調節ボタン

ライトセンサーにより、周囲の明るさに応じて照明が自動的に調節されます。

さらに、車両のライトスイッチがONのときはインストルメントパネルおよびスイッチの照明を手動で調節することができます。

- ▶ 調節ボタンAを、希望の明るさになるまで左右どちらかに回して保持してください。

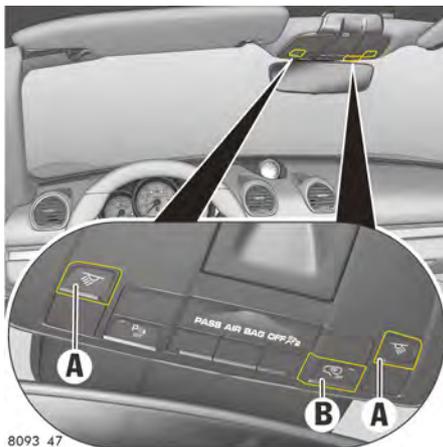
#### ▲ 警告

運転中の明るさ調節

運転中に明るさ調節を行うと、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中は、ステアリングホイールのスポークの間に手を入れないでください。

## インテリアライトのON/OFFの 切り替え



8093\_47

図14：インテリアライト/読書灯用ボタン

A インテリアライト/読書灯用ボタン

B 自動インテリアライトのON/OFFの切り替え

### インテリアライト/読書灯のON/OFFの 切り替え

- ▶ ボタンAを押してください。

### 明るさを調節する(減光)

- ▶ ボタンAを希望の明るさになるまで少なくとも1秒間押し続けてください。

### 自動インテリアライトのON/OFFの切り 替え

装備仕様により、自動インテリアライトはボタンBを使用して、またはマルチファンクションディスプレイのメニューからON/OFFを切り替えることができます。

#### ボタンBを使用する：

- ▶ ボタンBを押してください。  
インテリアライトをOFFにすると、ボタンのインジケータライトが点灯します。

インテリアライトをONにすると、周囲が暗いときに次のように作動します。

- 以下の場合に点灯します。ドアをロック解除したとき、開いたとき、またはキーをイグニッションロックから抜いたとき
- 以下の場合に消灯します。両方のドアを閉じたとき、約120秒の遅延後に消灯します。この遅延消灯時間は、マルチファンクションディスプレイで変更できます。イグニッションをONにしたときや、車両をロックしたときは、直ちにインテリアライトが消灯します。

#### マルチファンクションディスプレイでの操作：

- ▶ 「ドアを開いたときのインテリアライト自動点灯の有効/無効」(241ページ)を参照してください。

### バッテリー保護のためのインテリアライ トの自動消灯機能

周囲が暗いときは、バッテリー上がりを防止するためにエンジンを停止してから約15分後にインテリアライトが自動的に消灯します。

周囲が明るいときは、インテリアライトを手動で点灯した後、約1分が経過すると自動的に消灯します。

## オリエンテーションライト

オーバーヘッド コンソールおよびイグニッション ロック部のライトにより、周囲が暗いときに車両の主要な装備の位置を照らして乗降性を高めます。これらのライトは車両のロックを解除したときに点灯し、車両をロックすると自動的に消灯します。

オリエンテーションライトの明るさはマルチファンクションディスプレイで調節(減光)することができます。

▷ 「オリエンテーション ライトの明るさを調節する」(241ページ) を参照してください。

## アンビエントライト

夜間の運転中、控えめな明るさのライトが車内をやわらかく照らします。アンビエントライトは、車両をロックすると自動的に消灯します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ウィンドウ

### サイドウィンドウの開閉



**警告**

サイドウィンドウの開閉

サイドウィンドウを開閉するとき、特にワンタッチ作動で閉じる時は、動いているサイドウィンドウと車両の固定部分に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。

- ▶ サイドウィンドウを開閉するときは、作動中のサイドウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両を離れるときは必ずキーを抜いてください。またはポルシェエントリー&ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。車両から離れるときは、必ずキーを携行してください。乗員がパワーウィンドウを誤って操作し、怪我をする恐れがあります。
- ▶ 危険が発生した場合：直ちにキーのボタンを放してください。ポルシェエントリー&ドライブ装備車は、直ちにドアハンドルの近接センサーを放してください。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。



図15：運転席ドアのパワーウィンドウスイッチ

- A 左側パワーウィンドウスイッチ
- B 右側パワーウィンドウスイッチ

- ✓ イグニッションがONになっている。  
または
- ✓ イグニッションを10分以内OFFにして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態。

#### サイドウィンドウを開く

- ▶ サイドウィンドウが希望の位置になるまで希望のウィンドウのスイッチを押してください。

#### サイドウィンドウを閉じる

- ▶ サイドウィンドウが希望の位置になるまで希望のウィンドウのスイッチを引いてください。

ロッカースイッチには2段階の作動位置があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

#### 1 段階 - 手動操作

- ▶ 該当するスイッチを1段階まで押すか、または引いてください。  
サイドウィンドウが手動で開閉します。  
ボタンを放すとウィンドウが止まります。

#### 2 段階 - ワンタッチ操作

- ✓ イグニッションがONになっている。
- ▶ 該当するスイッチを2段階まで素早く押すか、または引いてください。  
サイドウィンドウが完全に開閉します。
- ▶ サイドウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう1度スイッチを操作してください。



#### インフォメーション

サイドウィンドウを閉じるときに障害物で作動が妨げられると、ウィンドウが停止した後、再び数センチ下がります。

サイドウィンドウの作動が約10秒以内に2回妨げられると、そのサイドウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。

サイドウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、サイドウィンドウを手動操作で一度完全に閉じてください。



**警告**

サイドウィンドウの手動閉操作

ワンタッチ操作がサイドウィンドウの抵抗を感じて無効になった場合、手動閉機能を使用してサイドウィンドウを閉じると、最大の力で閉じようとします。

- ▶ サイドウィンドウを閉じるとき、乗員が挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。

キーによるサイドウィンドウの開閉



図16：キーによるサイドウィンドウの開閉

- ▶ サイドウィンドウが希望の位置になるまでキーのウィンドウ開閉ボタンを押し続けてください。

ドアハンドルの近接センサーでサイドウィンドウを閉じる(ポルシェエントリー&ドライブ装備車)



図17：ドアハンドルの近接センサーでサイドウィンドウを閉じる(ポルシェエントリー&ドライブ装備車)

- ▶ 車両をロックするときにサイドウィンドウが希望の位置になるまで、ドアハンドルの近接センサーに触れ続けてください。

サイドウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを外したり、再接続したりした場合、サイドウィンドウの停止位置が消去されます。サイドウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのサイドウィンドウに以下の作業を行ってください。

1. スイッチを2段階まで引いて、一度サイドウィンドウを完全に閉じてください。
2. サイドウィンドウが完全に閉じた後、スイッチを再度短く2段階まで3回引いてください。
3. スイッチを押して、一度サイドウィンドウを完全に開いてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

わ

A-Z

## ウォッシャー液



8000\_48

図18：フロントウィンドウおよびヘッドライト用ウォッシャー液タンク

下記の点を必ず守ってください。

- ▶ 季節に合わせて、水と適切な添加剤（ウィンドウクリーナー濃縮液、不凍液）を混ぜ合わせてください。正しい混合比を遵守し、使用する添加剤の容器に記載されている注意事項に従ってください。
- **夏季**：水とウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください。
- **冬季**：水、不凍液、およびウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください。

次の条件を満たしているウィンドウクリーナー濃縮液のみを使用してください。

- 濃度 1:100
- 無リン
- プラスチック ヘッドライト レンズに適しているもの

ポルシェ社が推奨するウォッシャー液濃縮液については：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

### 警告シンボルへの対応

ウォッシャー液のレベルが低下すると、インストルメントパネルのマルチファンクションディスプレイに  シンボルが表示されます。

- ▶ 次の機会にウォッシャー液を補充してください。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」（82ページ）を参照してください。

### ウォッシャー液の補充

#### 知識

ヘッドライトを損傷する恐れがあります。

- ▶ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開いてください。
2. ウォッシャー液を補充してください。
  - ▷ 「充填容量」（280ページ）を参照してください。
3. キャップを慎重に閉じてください。

## エアコンシステム(マニュアル)

### 一般的なインフォメーション



図19：エアコンコントロールパネル

マニュアルエアコンシステムの風量、エア配分および温度設定は手動で調節することができます。

#### 冷房機能

冷房機能は空気を冷やしたり除湿したりします。

### **i** インフォメーション

- エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が一時的に OFF になり、エンジンの過熱を回避します。外気温度が約 2℃ を下回ると自動的に OFF になり、このときは手動操作でも ON にできません。
- 冷房機能は、サイドウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。車内に熱がこもっている場合は、しばらくの間サイドウィンドウを開いて車内を換気してください。
- 外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。
- バッテリー電圧が極端に低い場合は、フレッシュエアブローおよび冷房機能が制限され OFF になります。

### 温度の設定



図20：温度設定および送風量調節

- A 温度の設定
- B 送風量の設定

### 温度を上げる/下げる

- ▶ **TEMP** ボタンを上方向または下方向に押ししてください。  
温度設定が**最高温度**に設定されているときは、エアコンディスプレイに**すべてのバー**が表示されます。  
温度設定が**最低温度**に設定されているときは、エアコンディスプレイに**バーは表示されません**。

### 送風量の設定

設定した送風量は、**⊞** ボタンの隣りにあるエアコンディスプレイにバーで表示されます。バーの数が多くなるほど、風量が多いことを示しています。

### 送風量を上げる/下げる

- ▶ **⊞** ボタンを上方向または下方向に押ししてください。

送風量を最小にすると、エアコンディスプレイに**OFF**と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコンシステムが OFF になります。



**警告**

風量 OFF による視界の妨げ

送風量を **OFF** にした状態では、サイドウィンドウが曇りやすくなります。

- ▶ **⊞** ボタンを上方向に押ししてください (送風量が増加します)。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

ら

わ

ら

わ

A-Z

## 送風口を切り替える



8000\_167

図21：送風口切り替えボタン

### 送風方向の設定

- ✓ エアイベントが開いている。
- ▶ ボタンを押してください。フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。
- ▶ ボタンを押してください。中央および左右エアイベントからの送風を開始します。
- ▶ ボタンを押してください。足元への送風を開始します。該当するボタンのインジケータライトが点灯します。

## エアイベントの調整



8000\_11

図22：エアイベントの調整

### 知識

エアイベントを損傷する恐れがあります。

- ▶ 携帯電話のクレードルやプラグイン式のエアフレッシュナーなど、エアイベントには何も挟まないでください。

### エアイベントの開閉

- ▶ エアイベントのロータリーノブを時計回りまたは反時計回りに回してください。

### 送風方向の調節

- ▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

### 冷房機能のON/OFF

外気温度よりも低い温度で室内を冷房したいときは、冷房機能をONにしてください。



8000\_168

図23：冷房機能のON/OFF

### 冷房機能をONにする

- ▶ A/C ボタンを押してください。ボタンのインジケータライトが点灯します。冷房機能が作動します。

### 冷房機能をOFFにする

- たとえば、燃料を節約したいときなどには冷房機能をOFFにすることができます。
- ▶ A/C ボタンを押してください。ボタンのインジケータライトが消灯します。冷房機能が解除されます。

### A/C MAXモード(最大冷房出力)のON/OFF

A/C MAX モードでは、エアコンシステムが最大出力で車内を冷却します。



8000\_169

図24：A/C MAXモードの選択

### A/C MAXモードをONにする

- ▶ **A/C MAX** ボタンを押してください。ボタンのインジケータライトが点灯します。

### A/C MAXモードをOFFにする

- ▶ **A/C MAX** ボタンを押してください。ボタンのインジケータライトが消灯します。

## 内気循環モードのON/OFF



8100\_165

図25：内気循環ボタン

### 内気循環モードをONにする



**警告**

内気循環モードでの視界の低下

内気循環モードではサイドウィンドウが曇る場合があります。外気が導入されないため、倦怠感を引き起こし、集中力が低下する恐れがあります。

- ▶ 内気循環モードは長時間 ON にしないでください。

- ▶  ボタンを押してください。ボタンのインジケータライトが点灯します。

### 内気循環モードをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。ボタンのインジケータライトが消灯します。

## **i** インフォメーション

手動または自動で冷房機能をオフにすると、約3分後に内気循環モードが停止します。

## フロントウィンドウデフロスター



8100\_164

図26：フロントウィンドウデフロスターボタン

### デフロスターをONにする

- ▶  ボタンを押してください。ボタンのインジケータライトが点灯します。フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。フロントウィンドウの曇りや水結を素早く取り除きます。

### デフロスターをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。ボタンのインジケータライトが消灯します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## エアコン(2ゾーンオートエアコン)

### 概要

この概要説明は後述の「エアコン(2ゾーンオートエアコン)」の広範囲な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



8100\_202

運転者が何をしたいか?	操作方法	ページ
オートエアコンを使用する	ボタンCを押してください。	51
温度の設定	車内左側：ボタンAを上(温度を上げる)または下(温度を下げる)に押してください。 車内右側：ボタンBを上(温度を上げる)または下(温度を下げる)に押してください。	52
送風量を手で設定する	ボタンGを上(多くする)または下(少なくする)に押してください。	52
送風口を手動で切り替える	フロントウィンドウ/サイドウィンドウへの送風ボタンDを押してください。 中央およびサイドベントからの送風：ボタンEを押してください。 足元への送風：ボタンFを押してください。	52
フロントウィンドウデフロスター	ボタンJを押してください。	55
リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをONにする	ボタンHを押してください。	267
手動で内気循環モードをONにする	ボタンIを押してください。	54

## 一般的なインフォメーション



図27：エアコンコントロールパネル

オートモードでは、さまざまな環境条件(日射量、空気の状態など)に応じて室内の設定温度を維持するように、エアコンシステムが送風温度、送風量、送風口を全自動で制御します。温度は、**左と右**のゾーンで個別に設定できます。エアコンシステムの設定を手動で変更すると、オートモードが直ちに解除されます。ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。

### **i** インフォメーション

追加のエアコン設定は、マルチファンクションディスプレイで行うことができます。

▶ 「エアコン設定」(242ページ)を参照してください。

メモリーパッケージ装備車では、エアコンシステムの設定は各キーに保存されます。

▶ 「パーソナル設定」(190ページ)を参照してください。

### センサーを覆わない



図28：エアコン用車内温度センサー

エアコンシステムの能力を維持するために、次のことを遵守してください。

▶ エアコンシステムの室内温度センサーの上にカバーを付けたり、ステッカー類を貼り付けたりしないでください。

### 冷房機能

冷房機能は空気を冷やしたり除湿したりします。

### **i** インフォメーション

- エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が一時的にOFFになり、エンジンの過熱を回避します。外気温度が約2℃を下回ると自動的にOFFになり、このときは手動操作でもONにできません。
- 冷房機能は、サイドウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。車内に熱がこもっている場合は、しばらくの間サイドウィンドウを開いて車内を換気してください。
- 設定温度を一時的に希望の温度より上げ下げしても、希望する温度に到達する時間は変わりません。
- 外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。
- バッテリー電圧が極端に低い場合は、フレッシュエアブローおよび冷房機能が制限されOFFになります。

## オートモードをONにする

各ゾーンはオートモードに切り替えることができます。

▶ エアコンコントロールパネルの **AUTO SYNC** ボタンを押してください。

エアコンディスプレイの **AUTO** インジケーターが点灯します。

温度、送風量および送風口が自動的に制御されます。

**i** インフォメーション

必要であればオートモードの制御を手動調節できます。手動で設定を変更すると、その機能の設定を再度変更するか、または **AUTO SYNC** ボタンを押すまで設定が維持されます。

温度の設定

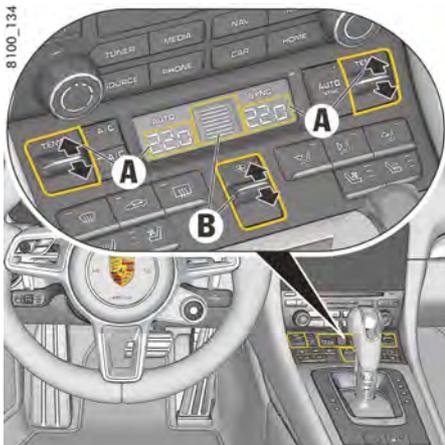


図29：温度設定および送風量調節

- A 各ゾーンの温度設定
- B 送風量の設定

各ゾーンの温度は 16.5℃～29℃の範囲で個別に調整できます。推奨：22℃。選択した温度がディスプレイに表示されます。

温度を上げる/下げる

- ▶ 該当するゾーンの **TEMP** ボタンを上方向または下方向に押ししてください。

ディスプレイに **LO** または **HI** が表示された場合、エアコンの作動は最大の冷房または暖房になっています。このときオートモードは **OFF** になります。

**i** インフォメーション

**SYNC** モード選択時にいずれかのゾーンで温度設定を **LO** または **HI** にすると、他のゾーンも **LO** または **HI** に設定されます。

**AUTO SYNC** ボタンを押すと、初期設定温度の 22℃ に切り替わります。

- ▶ 「運転席のエアコン設定を車内全体に適用する (**SYNC** モード)」(55ページ) を参照してください。

送風量の設定

設定した送風量は **FAN** ボタンの上部にあるエアコンディスプレイにバーで表示されます。バーの数が多くなるほど、風量が多いことを示しています。

送風量を上げる/下げる

- ▶ **FAN** ボタンを上方向または下方向に押ししてください。

**AUTO SYNC** ボタンを押すと、オートモードに戻ります。

送風量を最小にすると、エアコンディスプレイに **OFF** と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコンシステムが **OFF** になります。

**警告** 風量 **OFF** による視界の妨げ

風量を **OFF** にした状態ではウィンドウが曇りやすくなります。

- ▶ 風量を再度強くする場合は、**FAN** ボタンを上方向に押すか、またはオートモードを再度 **ON** にします。

送風口を切り替える



図30：送風口切り替えボタン

送風口を手動で切り替える

- ✓ エアイベントが開いている。
- ▶ **FRONT** ボタンを押してください。フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。
- ▶ **REAR** ボタンを押してください。中央および左右エアイベントからの送風を開始します。
- ▶ **FEET** ボタンを押してください。足元への送風を開始します。該当するボタンのインジケータライトが点灯します。

## 送風口の手動切り替えの解除

- ▶ インジケーター ライトが点灯している (手動で切り替えた) 送風口切り替えボタンを再度押してください。

該当するボタンのインジケーター ライトが消灯します。

または

AUTO SYNC ボタンを押してください。

送風量および送風口が自動的に制御されます。

## エアイベントの調整



図31：エアイベントの調整

### 知識

エア イベントを損傷する恐れがあります。

- ▶ 携帯電話のクレードルやプラグイン式のエアフレッシュナーなど、エア イベントには何も挟まないでください。

## エアイベントの開閉

- ▶ エアイベントのロータリーノブを時計回りまたは反時計回りに回してください。

## 送風方向の調節

- ▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

## アッパーベンチレーションパネルのON/OFF

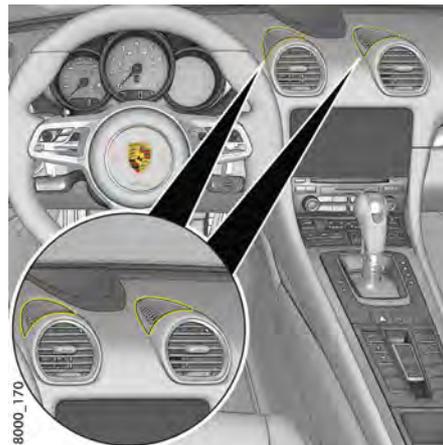


図32：アッパーベンチレーションパネル

ダッシュボード上にあるベンチレーションパネルは、個別にON/OFFを切り替えることができます。

ベンチレーションパネルをOFFにすると、室内で乗員に直接当たる風が和らぎます。エアコンシステムは送風量を自動的に調整します。

アッパーベンチレーションパネルのON/OFFの切り替えに関するインフォメーション：

- ▶ 「エアコン設定」(242ページ)を参照してください。

## 冷房機能のON/OFF

オートモードでは、冷房機能が常にONになります。冷房出力は完全に自動制御されます。

- ▶ 「オートモードをONにする」(51ページ)を参照してください。



図33：冷房機能のON/OFF

## 冷房機能をONにする

- ▶ A/C ボタンを押してください。ボタンのインジケーターライトが点灯します。

または

AUTO SYNC ボタンを押してください。

冷房機能が作動します。

## 冷房機能を OFF にする

たとえば、燃料を節約したいときなどには冷房機能を手で OFF にすることができます。

- ▶ **A/C** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーターライトが消灯します。  
冷房機能が解除されます。

## A/C MAXモード(最大冷房出力)のON/OFF

A/C MAXモードでは、エアコンシステムが最大出力で車内を冷却します。

このとき車内温度は自動調節されません。



図34：A/C MAXモードの選択

## A/C MAXモードを ON にする

- ▶ **A/C MAX** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーターライトが点灯します。

## A/C MAXモードを OFF にする

- ▶ **A/C MAX** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーターライトが消灯します。  
または  
**AUTO SYNC** ボタンを押してください。

## 内気循環モードの ON/OFF



図35：内気循環モード ボタン

## 手で内気循環モードを ON にする



**警告**

手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを長時間 ON にすると、ウィンドウが曇る恐れがあります。外気が導入されないため、倦怠感を引き起こし、集中力が低下する恐れがあります。

- ▶ 手動内気循環モードは長時間 ON にしないでください。

- ▶  ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーターライトが点灯します。

## 手で内気循環モードを OFF にする

- ▶  ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーターライトが消灯します。  
または  
**AUTO SYNC** ボタンを押してください。

## i インフォメーション

手動または自動で冷房機能をオフにすると、約3分後に内気循環モードが停止します。

## 自動内気循環モードの設定

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。外気温度が約5℃を下回ると、サイドウィンドウの曇りを防止するため、内気循環モードが自動的に停止します。

自動内気循環モードの設定に関するインフォメーション：

- ▶ 「エアコン設定」(242ページ)を参照してください。

## i インフォメーション

通常は自動内気循環モード(初期設定)にしておくことを推奨いたします。

## 運転席のエアコン設定を車内全体に適用する(SYNCモード)

SYNCモードでは、運転席のエアコン設定が車内全体に適用されます。

### SYNCモードをONにする

- ▶ エアコンディスプレイに SYNC が表示されるまで、**AUTO SYNC** ボタンを押し続けてください。
- ▶ 運転席側の **TEMP** ボタンを操作して、運転席側および助手席側の温度を調整してください。

### SYNCモードをOFFにする

- ▶ **AUTO SYNC** ボタンを押ししてください。  
または  
助手席側の **TEMP** ボタンを押ししてください。  
エアコンディスプレイの **SYNC** インジケータが消灯します。

## 風量調節

オートモードでは3段階で送風の強さを調節できます。

送風の強さ調節に関するインフォメーション：

- ▶ 「エアコン設定」(242ページ)を参照してください。

## フロントウィンドウデフロスター



図36：フロントウィンドウデフロスターボタン

### デフロスターをONにする

- ▶  ボタンを押ししてください。  
ボタンのインジケータライトが点灯します。  
フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。  
フロントウィンドウの曇りや氷結を素早く取り除きます。

### デフロスターをOFFにする

- ▶  ボタンを押ししてください。  
ボタンのインジケータライトが消灯します。  
または  
**AUTO SYNC** ボタンを押ししてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## エアバッグシステム 適切なシート位置の選択



不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合にのみ、エアバッグシステムは保護効果を発揮することができます。荷物は必ず安全に収納してください。

- ▶ **必ずシートベルトを着用してください。**
- ▶ 運転席と助手席の間、あるいは乗員とエアバッグが膨らむ空間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。
- ▶ ステアリングホイールは、必ずリムの外側から持つようにしてください。
- ▶ エアバッグが保護効果を発揮するには、乗員との間に一定の空間が必要です。エアバッグに必要以上に近づきすぎない位置に、シート位置を調節してください。ドアの内側（サイドエアバッグの拡張エリア）にもたれかからないでください。
- ▶ ドアの小物入れから中身がはみ出ないようにしてください。走行中はドアの小物入れを常に閉じておいてください。
- ▶ 重い荷物をシートの上や前方に積載して輸送しないでください。
- ▶ ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▶ 走行中はグローブボックスを閉じてください。
- ▶ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートクッションの上に足を乗せないでください。
- ▶ 運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

## 機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、運転者や乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を守ります。

**フロントエアバッグ**は、運転席側ではステアリングホイールのパッド内、助手席ではダッシュボードの中に取り付けられています。

**サイドエアバッグ**はシート側面のシートボルスターに格納されています。

**ヘッドエアバッグ**はドアトリムの側面に取り付けられています。

それぞれのエアバッグは、衝撃の角度および強さに応じて作動します。



エアバッグシステムに変更を加えたことが原因の不具合

変更を加えたエアバッグシステムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、まったく機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

- ▶ エアバッグシステムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ ステアリングホイール、助手席エアバッグ付近、サイドエアバッグ付近、ヘッドエアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品を取り外さないでください。



作動済みエアバッグシステムの交換

エアバッグシステムは1回のみ作動するように設計されています。

- ▶ 作動したエアバッグは直ちにボルシェ正規販売店で交換してください。

## 警告灯への対応

エアバッグシステムが故障した場合、タコメーターの赤い**エアバッグ警告灯**によって表示されます。

- ▶ 次の場合は、必ずボルシェ正規販売店にご相談ください。
  - イグニッションを ON にしたときに警告灯が点灯しない  
または
  - イグニッションが ON のときに警告灯が消灯しない  
または
  - 走行中に警告灯が点灯する

ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 助手席エアバッグをOFFにする

8093\_42



図37：助手席エアバッグOFF警告灯



**危険**

助手席エアバッグを  
OFFにする

チャイルドシートを取り外した後も、助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。



**危険**

助手席エアバッグの  
故障と作動不良

助手席エアバッグをOFFにして、イグニッションをONにしたときに**助手席エアバッグOFF**警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席エアバッグをOFFにするキースイッチ、**助手席エアバッグOFF警告灯**およびISOFIXアタッチメントブラケットは、特定の装備仕様にのみ取り付けられています。ポルシェ正規販売店でオプションとして装着してください。

- ▶ 「助手席エアバッグのON/OFF - 助手席エアバッグOFF警告灯」(157ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## エンジンオイル

### エンジンオイルレベルの点検

オイルレベルは定期的に点検してください(車両に燃料を補給するときなど)。

▷ 「サーキット走行」(13ページ)を参照してください。

#### オイルレベル警告への対応

オイルレベルが低過ぎる場合、マルチファンクションディスプレイに  または  のシンボルが警告メッセージとともに表示され、直ちにエンジンにオイルを補充する必要があることを知らせます。

▷ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

#### エンジンオイルレベルのチェックと表示

##### 知識

オイルレベルが下限マークより下にある場合、エンジンが適切に潤滑されません。これによりエンジンが損傷する恐れがあります。

- ▶ オイルレベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイルレベルが下限マークを下回らないように注意してください。

#### エンジンオイルレベルの表示

##### i インフォメーション

特定の状況下では、オイルレベルが表示されないことがあります。以下の場合に発生します。

- エンジン冷間時。
- フルスロットで高速走行後の停車時。
- 油温が高すぎる。
- リヤラゲッジコンパートメントリッドが開いている。

マルチファンクションディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

- ✓ 車両が平坦な場所に駐車されている。
- ✓ エンジンが作動温度に達した状態で、1分以上停止している。

#### ▶ 車両 ▶ オイルレベル

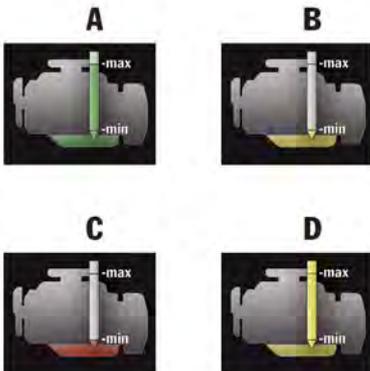


図38：オイルレベル表示

- A オイルレベルは適正 - 上限に達している
- B オイルレベル下限に達している
- C オイルレベルが下限を下回っている
- D オイルレベルが上限を超えている

表示が緑色 A の場合、オイルレベルは適正です。

最下部が黄色 B で表示されている場合、オイルレベルが下限まで低下しています。オイルレベルが低下していることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ 次の機会にマルチファンクションディスプレイに表示されているエンジンオイルの量を補充してください。

- ▶ 表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約1リットルです。

最下部が赤色 C で表示されている場合は、オイルレベルが下限を下回っています。オイルレベルが低過ぎることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ 運転を続けしないでください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイに表示されているエンジンオイルの量を直ちに補充してください。
- ▶ 表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約1リットルです。

最上部 D まで黄色で表示されている場合、エンジンオイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。これによって車両が損傷する恐れがあります。

エンジンオイルの補充量が多すぎたときは、オイルレベルが上限を超えていることを知らせるメッセージが表示されます。

次の機会にオイルレベルを適正に戻してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

#### エンジンオイルの補充

- ▶ 「エンジンオイルの選択と補充」(59ページ)を参照してください。

SA1-357

## 故障

オイル レベル測定が失敗した場合、オイル測定機能に不具合があることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## エンジンオイルの選択と補充

## 警告

エンジンオイルの  
発火

エンジン オイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジン オイルを吸い取ってください。
- ▶ エンジンオイルがしみ込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。

## 警告

高温のエキゾースト  
システム

エンジン稼働中はエンジン、周辺部品、およびエキゾーストシステムが高温になります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ エンジンオイルの補充はエンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。

## 知識

エンジン オイルの過不足はエンジンに損傷を与えます。エンジン オイルが多すぎると青煙の原因になり、長期的には触媒コンバーターに損傷を与えます。

- ▶ オイル レベルが下限マークを下回らないように注意してください。
- ▶ 上限マークを超えるまでエンジン オイルを補充しないでください。補充しすぎた場合、次の機会にオイル量を適正に戻してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 知識

エンジン オイルがあふれて損傷する恐れがあります。ラゲッジ コンパートメントとラゲッジ コンパートメント内の荷物が汚れる恐れがあります。

- ▶ エンジン オイルを点検したり補充したりするときは、こぼしてラゲッジ コンパートメントや荷物を汚さないように注意してください。

下記の点を必ず守ってください。

- ポルシェ社が認証したエンジン オイルのみを使用してください。定期点検時期(サービスインターバル)を遵守してください。
- エンジンに適合するオイルであれば、互いに混ぜ合わせることができます。
- オイル添加剤を混ぜないでください。

## エンジンオイルの選択

ポルシェでは、**Mobil 1** を推奨します。

車両	認証オイル	SAE 粘度等級
すべて:	Porsche C40 または VW	SAE 0W-40 <sup>1)</sup> SAE 5W-40 <sup>2)</sup> 511 00

1) すべての温度範囲に適応

2) -25°C を超える温度範囲に適応

## i インフォメーション

一般に、メーカーが認定するエンジン オイルの仕様や規格は、オイル缶に記載されているかまたは販売店に表示されています。認定品かどうかを確認するには：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## エンジンオイルの補充

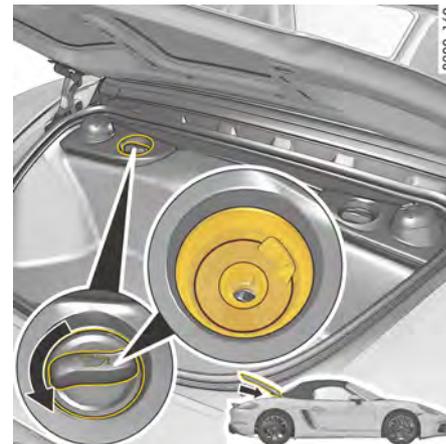


図39：Boxsterのオイルフィルター キャップ

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



図40：Caymanのオイルフィラー キャップ

## 7. オイル フィラー キャップを慎重に取り付けてください。

1. マルチファンクションディスプレイのエンジンオイルレベルを確認してください。
  - ▷ 「エンジンオイルレベルのチェックと表示」(58ページ)を参照してください。
2. リヤラゲッジコンパートメントを開いてください。
3. Cayman：キャップを反時計回りに回して取り外してください。
4. オイル フィラー キャップを緩めて取り外してください。
5. マルチファンクションディスプレイに表示されている量のエンジンオイルを補充してください。
 

表示された補充量以上のエンジンオイルを補充しないでください。下限マークと上限マークの差は約1リットルです。

  - ▷ 「エンジンオイルレベルのチェックと表示」(58ページ)を参照してください。
6. Cayman：キャップを取り付けた後、時計回りに回してください。

## エンジンの始動および停止

### イグニッションロック

キーは、ステアリングコラム左側のイグニッションロックに差し込んでください。

#### 知識

過剰な重さにより損傷する恐れがあります。差し込んだキーに過剰な重さ(キーの束、キーホルダーなど)がかかると、イグニッションロックが損傷する恐れがあります。

▶ 差し込んだキーに過剰な重さがかからないようにしてください。

ポルシェ エントリー&ドライブ 装備車では、キーは携行するだけでイグニッションロックに差し込む必要がありません。キーはイグニッションロック内のコントロールユニットに変更されました。このコントロールユニットは、けん引のときを除いて常時イグニッションロックに差し込んでおいてください。



図41：イグニッションロックへのキーの差し込み

#### i インフォメーション

キーを差し込んだまま放置するとバッテリーが消耗します。

バッテリー上がりの場合には、キー抜き取りの緊急操作を行った場合のみイグニッションロックからキーを抜き取ることができます：

▶ 「キー/コントロールユニットの緊急ロック解除」(74ページ)を参照してください。

イグニッションロックには3つのスイッチ位置があります。

イグニッションロックの位置

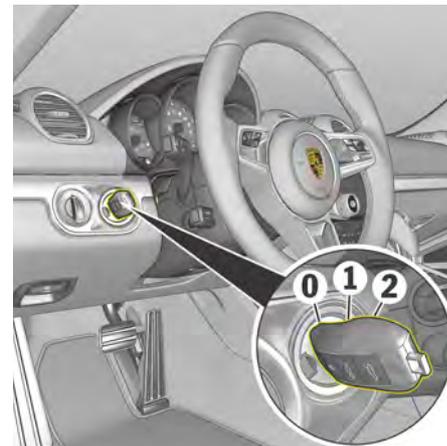


図42：イグニッションロックの位置

0 初期位置

1 イグニッション ON

2 エンジン始動

#### 0-イグニッション OFF (初期位置)

イグニッションロックが位置0のとき、エンジンとイグニッションはOFFになっています。キーはこの位置にあるときのみ抜き取ることができます。

#### 1-イグニッション ON

ほとんどの電装品が作動可能になります。インストルメントパネルの警告灯が点灯し、ライトの作動を点検します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## **i** インフォメーション

イグニッションを ON にしてから 10 分以上電装品を ON にしなかった場合、再度イグニッションを ON にする必要があります。まずキーをロック位置 0 (初期位置) に回してください。イグニッションを、またはエンジンを始動すると、キーが抜き取れなくなります。

## 2- エンジン始動

エンジンが始動すると、キーがロック位置 2 から 1 に自動的に戻ります。

## ステアリングホイールのロック/ロック解除

▶ 「ステアリング コラムのロック解除/ロック」(171ページ) を参照してください。

## エンジンの始動

1. フットブレーキを踏んでください。
2. マニュアルトランスミッション装備車：クラッチペダルをいっばいに踏み込み続けてください。
3. ギヤレバーをニュートラルに、あるいはセレクターレバーを P または N の位置にしてください。
4. アクセルペダルは踏まないでください。
5. キーまたはコントロールユニット (ポルシェ エントリー & ドライブ 装備車) をロック位置 2 に回してください。エンジンスターターを約 10 秒以上連続して作動させないでください。

イグニッション ロック位置 2 (エンジン始動) にすると、直ちにエンジン始動制御が実行され、エンジンが自動的に始動します。

- ▶ エンジンが始動しない場合は、10 秒程度間をおいてから再度始動させてください。再始動する場合は、はじめにキーをロック位置 0 (初期位置) に戻してください。停車した状態での暖機運転は行わず、直ちに発進

してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないように注意して運転してください。

## 触媒コンバーターの加熱フェーズ (モデルおよび国によって異なります)



図43：触媒コンバーターの加熱フェーズ中の表示

触媒コンバーターの加熱フェーズ中はトルクが低下します。この間、インストルメントパネルのマルチファンクションディスプレイには  の記号が表示されます。触媒コンバーターが作動温度に達すると、この記号の表示は消えます。

## エンジンの停止



警告

パワー ステアリングおよびブレーキブースターの作動が停止します。

パワー ステアリングおよびブレーキブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンが停止しているときは、ステアリングホイールやブレーキペダルの操作に強い力が必要になります。

- ▶ イグニッションを OFF にする前に、必ず車両を停車させてください。

1. 停車してください。
  2. キーまたはコントロールユニットをイグニッション ロック位置 0 に戻してください。
- ▶ 降車時はキーを抜き取り、エレクトリックパーキングブレーキを作動させ、PDK 装備車の場合はセレクターレバーを P 位置に、マニュアルトランスミッション装備車の場合はギヤレバーを 1 速またはリバースにしてください。

## オートスタート/ストップ機能

たとえば、信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するためのすべての条件が満たされると、オートスタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。車両が徐行中に停車した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。これにより、オートスタート/ストップ機能は燃料の消費を節減します。

エンジンが自動停止した後もイグニッションがONの状態が維持され、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

## アダプティブシリンダーコントロール

✓ 718 Boxster GTS 4.0、718 Cayman GTS 4.0

アダプティブシリンダーコントロールは、エネルギー効率を高めるために、特定の条件下で3つのシリンダーを自動的に停止します。

この3気筒休止機能はエンジンノイズに影響を及ぼします。

## アダプティブシリンダーコントロールをOFFにする

- ▶ オートスタート/ストップ機能をOFFにします。
- ▶ 「オートスタート/ストップ機能のON/OFF」(65ページ)を参照してください。

## エンジン自動停止の条件

- ✓ オートスタート/ストップ機能がONになっている。
- ✓ ラゲッジコンパートメントリッドが閉じている。
- ✓ エンジン、トランスミッション、エアコンが作動温度に達している。
- ✓ 前回エンジンが自動停止してから、車両が徐行運転した。
- ✓ **PDK装備車**：  
ブレーキペダルを踏んでいる  
セレクターレバーがDまたはNの位置にある、あるいは1速または2速ギヤを手動で選択している  
運転席ドアが閉じている状態で、セレクターレバーがP位置にある
- ✓ **マニュアルトランスミッション装備車**：  
シートベルトを着用し、運転席ドアが閉じられている  
シフトレバーがニュートラル位置で、クラッチペダルを踏んでいない

## マニュアルトランスミッション装備車：エンジンの自動停止および自動始動

### 自動停止

1. ブレーキペダルを踏んで停車してください。
2. ギヤシフトレバーはニュートラルにしてください。
3. クラッチペダルから足を放してください。エンジンが停止します。

### 自動始動

- ✓ シートベルトが着用されている。
- ✓ 運転席ドアが閉まっている。
- ▶ クラッチペダルを踏んでください。エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

## i インフォメーション

坂道などで車両が動き始めたときや、エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

## PDK 装備車：エンジンの自動停止および自動始動

### 自動停止

1. ブレーキペダルを踏んで停車してください。
2. ブレーキペダルを踏み続けてください。

### または

停車中にセレクターレバーをPの位置に動かしてください。

## i インフォメーション

停車中にブレーキペダルを素早くいっばいまで踏み込むと、HOLD機能が作動します。この機能は、ブレーキペダルを踏まなくても車両を停止した状態に維持します。エンジンはアクセルペダルを踏む、またはエンジンを始動する必要が生じたときに自動的に始動します。

- ▶ 「HOLD機能」(276ページ)を参照してください。

## i インフォメーション

アダプティブクルーズコントロール(ACC)がONの場合、前走車が停車すると車両は走行を停止し、エンジンが自動的に停止します。

車両はHOLD機能によって停止状態に維持されます。

## 自動始動

- ✓ セレクターレバーがP、DまたはNの位置にある、あるいは1速または2速ギヤを手動で選択している。
  - ▶ ブレーキペダルを放してください(セレクターレバーがPの位置にない)。  
または  
アクセルペダルを踏み込んでください。  
または  
ステアリングホイールを動かしてください。  
または  
PDKセレクターレバーをRの位置にしてください。
- エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

## i インフォメーション

坂道などで車両が動き始めたときや、エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

## i インフォメーション

アダプティブクルーズコントロール(ACC)の作動中は、前走車が発進するとエンジンが自動的に始動します。

## 降車後の作動(セレクターレバーがPの位置にあるとき)

エンジンが自動停止した後、PDKセレクターレバーをP位置にして、ガレージドアを開くためなどの理由で車両から降車する場合(運転席ドアが開いていて、ブレーキペダルが踏まれていない場合)、エンジンは自動的に**始動しません**。

ドライバーが車両から離れてから30秒以内に車両に戻り、運転席ドアを開けてブレーキをか

けると、オートスタート/ストップ機能が再開します。

上記の条件のいずれかが満たされなかった場合、エンジンは**手動で始動する必要があります**。エンジンを手動で始動する必要があることを示すメッセージが、マルチファンクションディスプレイに表示されます。

▶ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

## 降車後の作動(セレクターレバーがDまたはNの位置にあるとき)

エンジンが自動停止した後、PDKセレクターレバーをD、MまたはNの位置にして降車しようとした場合(運転席ドアが開いていて、ブレーキペダルが踏まれていない場合)、エンジンが**自動的に始動し**、オートスタート/ストップ機能がまだ作動中であることをドライバーに知らせます。

セレクターレバーがDまたはMの位置にある場合、エレクトリックパーキングブレーキも作動します。

(P)スイッチのインジケーターライトとブレーキ警告灯(ⓘ)が点灯します。

▶ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

## オートスタート/ストップ機能の例外

たとえば、次のような状況でオートスタート/ストップ機能は使用できません。

- スポーツ/スポーツプラスモードが作動しているとき
- PSMがOFFのとき、またはPSMがスポーツモードのとき
- クリーピング時
- AC MAXモード(最大冷却出力)の作動中
- 「フロントデフロスター」が作動しているとき
- 標高が高いとき

たとえば、次のような状況ではオートスタート/ストップ機能が一時的に制限されます。

- エアコンやヒーターを高負荷で作動させているとき
- バッテリーの充電状態が低いとき
- 上り坂や下り坂
- オートエンジンチェック機能など車両が初期点検を実行しているとき
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いまたは高いとき
- 渋滞中で短時間の停車を繰り返すとき(国別仕様により異なる)

## i インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの条件が満たされると、エンジンが自動的に再始動します。

## オートスタート/ストップ機能のON/OFF



図44：オートスタート/ストップボタン

### OFFにする

- ▶ **A** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーターライトが点灯します。  
エンジンの自動停止およびアダプティブシリンダーコントロール (718 Boxster GTS 4.0、718 Cayman GTS 4.0のみ) は作動解除されます。

### ONにする

- ▶ **A** ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーターライトが消灯します。  
アダプティブシリンダーコントロール (718 Boxster GTS 4.0、718 Cayman GTS 4.0のみ) が作動状態のとき、車両を停止するとエンジンは自動的に停止します。

アダプティブシリンダーコントロールに関するインフォメーション：

- ▶ 「アダプティブシリンダーコントロール」 (63ページ) を参照してください。

## オートスタート/ストップ機能の表示

### **A** エンジンの自動停止および再始動の準備

オートスタート/ストップ機能でエンジンが自動停止した場合、マルチファンクションディスプレイのインジケーターライトが緑色に点灯します。

### **A** エンジンが自動停止しない、または再始動可能な状態になっていない

オートスタート/ストップ機能が利用できない、またはエンジンが自動停止した後に再始動しない場合は、停車中にマルチファンクションディスプレイのインジケーターライトが黄色に点灯します。

以下の原因によります。

- エンジンを自動停止するための条件のいずれか1つが満たされていない。  
**または**
- オートスタート/ストップ機能の例外条件が、少なくとも1つ以上満たされている。
- ▶ 「エンジン自動停止の条件」 (63ページ) を参照してください。
- ▶ 「オートスタート/ストップ機能の例外」 (64ページ) を参照してください。

### 故障の表示

故障したときは、オートスタート/ストップ機能が解除されたことを示すメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## お手入れ

## ▲ 警告

ブレーキディスクの  
水膜

洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならぬ場合があります。

- ▶ 洗車後はブレーキを点検してください。
- ▶ ブレーキを乾燥させるため、後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

## i インフォメーション

適切な方法で定期的に車両のお手入れを行うことは、車両の価値を長持ちさせるだけでなく、保証を受ける際の有利な条件になります。ポルシェ社では、ポルシェテクニップメント製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

- ▶ カーケア用品の使用に際しては、パッケージ等に記載された注意事項を必ず守ってください。
- ▶ これらの製品は、お子様の手が届かない安全な場所に保管してください
- ▶ 不要になった製品は、適切な方法で廃棄してください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには、ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店ではコンディションレポートを発行し、「整備手帳」にその結果を記録します。

## 知識

高圧洗浄機およびスチーム クリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります：

- コンパチブル トップ (Boxster)
- タイヤ
- ロゴ、エンブレム、デコラティブ フィルム
- 塗装面
- エンジン コンパートメント内の構成部品と電装部品 / 装備品スペース
- パークアシスト センサー
- アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) 用レーダー センサー
- リバース カメラ
- ワイパー ブレード
- ▶ 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
- ▶ デコラティブ フィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチーム クリーナーを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから 50 cm 以上離してください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチーム クリーナーと丸型ジェット ノズルを組み合わせ使用しないでください。高圧洗浄機またはスチーム クリーナーと丸型ジェット ノズルを組み合わせ使用すると、車両が損傷する原因になります。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェット ノズルで洗浄しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェット ノズルを直接向けないでください。
- ▶ エンジン コンパートメント内の作業を行う前に、エンジンを OFF にし、十分に冷やしてください。
- ▶ 高圧洗浄機のジェットは、絶対に開口部 (スパークプラグ シャフト、エア クリーナー ハウジング、エア フィルターなど) に向けしないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。

## 知識

ポルシェ エントリー & ドライブ 装備車を清掃する場合、ラゲッジ コンパートメント リッドが不意に開き、ラゲッジ コンパートメント内に水が侵入する場合があります。

- ▶ 車両を清掃するときは、キーをラゲッジ コンパートメント リッド センサーの範囲外に置いてください。

## 車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。解氷剤 (塩分)、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の排せつ物、樹液や花粉などは、車体に付着してから時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両またはコンパチブル トップは、完全な防漏構造ではありません。車両 / コンパチブル トップの洗浄時、車内に水が入る事もあります。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください。

- ▶ 車両下部は汚れが激しいため、少なくとも季節の変わり目には洗車して汚れを落としてください。
- ▶ ばい煙、油脂類、オイル、および重金属などが適切に処理できる場所でのみ洗車を行ってください。
- ▶ 直射日光の下や、塗装面の温度が高いときは洗車しないでください。
- ▶ 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カー シャンプーを使用して多量の水で洗ってください。ポルシェ社では、ポルシェ テクニップメント 製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ 洗車を開始するときは、はじめに車両にたっぷり水をかけ、表面の主な汚れを洗い流してください。

- ▶ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

## 自動洗車機

### 知識

自動洗車機を使用すると、取り付けたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツが損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、すべてのスポイラーを格納してください。

以下の表を参考にし、車両を安全かつ慎重に洗車してください。

危険	守るべきこと
コンバーチブルトップのファブリックを損傷する恐れがあります (Boxster)	▶ コンバーチブルトップ部にホットワックス処理をしないでください。
ウィンドウが下がっていると車内に水が入ります (Boxster)	▶ イグニッションをOFFにしないでください。 または ▶ 車両をロックしてください。
洗車機で洗車中にワイパーが不意に作動して損傷する恐れがあります	▶ フロント/リヤウィンドウのワイパーをOFFにしてください。 ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライトウォッシャーを操作しないでください。

危険	守るべきこと
外装部品への損傷	▶ ドアミラーを格納してください。 ▶ リヤスポイラーを展開している場合、格納してください。

ホイールへの損傷 ▶ 洗車機のガイドレールの寸法をよく確認してください。  
タイヤのリム径が大きく高さが低くなるに従い、損傷のリスクも大きくなります。

ハイグロスまたはシルクグロスホイールへの傷	▶ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。
-----------------------	------------------------------

## コンバーチブルトップの清掃 (Boxster)

### 知識

- 高圧洗浄機の洗浄ジェット、不適切な自動洗車機、またはホットワックス処理により、コンバーチブルトップを損傷する恐れがあります。
- ▶ 高圧洗浄機やスチームクリーナーをコンバーチブルトップの洗浄に使用しないでください。
  - ▶ カブリオレでは、洗浄プログラムのある自動洗車機を使用してください。
  - ▶ コンバーチブルトップ部にホットワックス処理をしないでください。

正しいお手入れと洗浄のために以下のことを守ってください。

- ▶ コンバーチブルトップは車両を洗車する度に毎回洗う必要はありません。通常は、清潔な水でコンバーチブルトップを洗うのみで十分です。

- ▶ 雪や氷を縁の鋭いもので取り除かないでください。
- ▶ 毛の柔らかいブラシを使用して、織目に沿ってブラッシングしコンバーチブルトップのほこりを取り除いてください。
- ▶ 汚れが頑固な場合にのみ、シャンプー & コンバーチブルトップクリーナーを混ぜたぬるま湯で洗浄し、スポンジか柔らかいブラシで軽く擦ってください。
- ▶ その後きれいな水でシャンプー & コンバーチブルトップクリーナーを残さず洗い流してください。ポルシェ社では、ポルシェテクイップメント製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ 洗車後、少なくとも年に1度はコンバーチブルトップケア製品を使用してコンバーチブルトップカバーのお手入れを行ってください。コンバーチブルトップ用のケア用品が塗装面やガラスに付着しないよう注意してください。塗装に付着した場合はすぐに取り除いてください。
- ▶ コンバーチブルトップカバー本体または縫い目や折り目から漏れが生じた場合は、コンバーチブルトップ専用ケア用品を使用してください。容器に記載されている指示に従ってください。ポルシェ社では、ポルシェテクイップメント製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ 鳥の排せつ物は直ちに除去してください。排せつ物に含まれる酸がコンバーチブルトップのゴムを膨張させ、水漏れを起こす原因となります。
- ▶ 染みや擦り切れを防ぐため、コンバーチブルトップおよびコンバーチブルトップエレメントは天候が良いときにのみ開いてください。
- ▶ コンバーチブルトップカバーから染みを落とす際は、柔らかいラバー スポンジで慎重に擦って除去してください。

## 塗装面のお手入れ

### 知識

塗装面に付着した汚れの粒子は、適切にお手入れをしないと塗装に損傷を与える場合があります。

- ▶ 乾いた布でほこりを拭きとらないでください。

## 知識

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

- ▶ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を使用しないでください。

## 塗装面の保護

塗装面は経年変化により光沢が失われていくため、洗車後は塗装保護剤等で定期的に保護する必要があります。この作業により塗装の光沢と強度を保つことができます。また、塗装面に新しい汚れが付着しにくくなり、ばい煙が浸透しにくくなります。

## 塗装面の艶出し

通常のワックスでは塗装の艶が戻らないときのみ、光沢剤を使用してください。ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

## 汚れ、染みの除去

タール、グリース、昆虫の死骸などは適切な洗剤で速やかに除去した後、丁寧に水で洗い流してください。長時間放置すると、塗装が変色する原因となります。ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

## 小さな傷の補修

- ▶ 亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー（防錆剤）を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

ペイントデータは車両のデータバンクに表示されています。

- ▶ 「車両の識別データ」（279ページ）を参照してください。

## ウィンドウの清掃

- ▶ 「ワイパー ブレード」（273ページ）を参照してください。

## i インフォメーション

フロントサイドウィンドウには、ガラスの汚れを抑制する（疎水性の）撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

- ▶ 定期的にウィンドウクリーナーを使用して、ウィンドウの内側と外側を清掃してください。ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ ボディを拭き取ったセームで乾いたウィンドウを拭かないでください。ワックスや光沢剤がウィンドウに付着し、視界が悪くなる恐れがあります。
- ▶ 昆虫の死骸は、ポルシェ推奨のインセクトリムーバーで取り除いてください。ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメント製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

## アンダーコーティングの補修

## ⚠ 警告

エキゾーストシステム付近の可燃物

エキゾーストシステム部に防錆剤やアンダーコーティング剤を塗布すると、運転中に過熱して引火する恐れがあります。

- ▶ エキゾースト マニホールド、エキゾーストパイプ、触媒コンバーター、ヒートシールド、およびその周囲には、アンダーコーティング剤や防錆剤を塗布しないでください。

車両下部は、化学的および物理的なダメージに耐えるよう保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ▶ ポルシェ正規販売店で車両底部を定期点検し、必要に応じて保護コーティングを修復してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## デコラティブフィルムの清掃

## 知識

清掃中にデコラティブフィルムが剥がれ損傷する恐れがあります。

- ▶ ポリッシュやホットワックスを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機やスチームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

## ヘッドライト、ライト類、プラスチック製部品と表面、アダプティブクルーズコントロールレーダーセンサーおよび車両カメラの清掃

### 知識

洗剤がコントローラまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗浄剤を使用するとプラスチック面に損傷を与える場合があります。

- ▶ 車内のプラスチック製部品に直接水や室内用ウィンドウクリーナーをスプレーしないでください。
- ▶ ヘッドライト、ライト類、プラスチック部品とその表面、アダプティブクルーズコントロールのレーダーセンサーおよび車両カメラの清掃には、きれいな水と少量の中性洗剤または室内用ウィンドウクリーナーのみを使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ▶ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

## ホイールのお手入れ

### ▲ 警告

クリーナーなどの溶剤によるブレーキディスク上の膜の発生

ブレーキディスクにクリーナー（リムクリーナーなど）が付着した場合、ブレーキディスクに膜ができて制動力が低下する恐れがあります。

- ▶ ブレーキディスクにホイールクリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
- ▶ ブレーキディスクにホイールクリーナーなどの溶剤が付着した場合、高圧洗浄機などで完全に洗い流してください。
- ▶ 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキディスクを乾かしてください。

合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子（ブレーキダストに含まれる黄銅や銅など）は、長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴（ピッチング）が生じます。

塗装の被膜を破壊するような光沢剤や pH 値が不適切なクリーナー、研磨機具、研磨剤などは使用しないでください。

- ▶ 軽合金製ホイールには、中性洗剤のみを使用してください（pH 値：4～10）。pH 値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。ボルシェ社では、ボルシェテイクアップメント製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ 可能であれば、2 週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。
- ▶ 「自動洗車機」（67 ページ）を参照してください。

## ドア、ルーフ、コンバーチブルトップ、リッドおよびウィンドウシールの清掃

### 知識

インナー ドア シールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダメージを受けることがあります。

- ▶ 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
- ▶ 防錆剤を使用しないでください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

- ▶ すべてのシールの汚れ（凍結防止剤、砂塵など）を、温かい石鹸水で定期的に清掃してください。
- ▶ 凍結する恐れがある場合は、適切なカーケア用品でアウトードアシール、リッドやフリップのシールを保護してください。

## 革製品のお手入れ

### 知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な処理を行ったりすると、革製品を痛める場合があります。

- ▶ 刺激性の強い洗剤や、硬い清掃用品を使用しないでください。
- ▶ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- ▶ 革製品に付着した水滴は直に取り除いてください。

正しいお手入れと洗浄のために以下のことを守ってください。

- ▶ 無色の柔らかい毛織物または市販のマイクロファイバー布を湿らせて、表面の細かい汚れを拭き取り、すべてのタイプの本革を定期的にお手入れしてください。
- ▶ 汚れがひどいときは（水などによる染み以外）レザークリーナーで取り除いてください。
- ▶ 容器にある使用上の注意を確認してください。ボルシェ社では、ボルシェテイクアップメント製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ 清掃後は、本革専用のケア剤でお手入れしてください。ボルシェ社では、ボルシェテイクアップメント製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

## シート ベンチレーション付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革シートに染みが付く可能性があります。

### 水染み / 湿気による染みを取り除く

- ✓ シートヒーターとシートベンチレーションが OFF になっている。
- ✓ 直射日光を避ける。
- 1. 清潔な吸水性スポンジと蒸留水を使用して、シートクッションまたはバックレストの表面全体を拭き取ってください。表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。

- シートカバーは直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。シートカバーを乾かす際、シートヒーターやシートベンチレーションをONにしないでください。
- 乾いた後、シートカバーを乾燥した不織布で拭いてください。

## カーペット、フロアマットの清掃

### ⚠ 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマットや正しく固定されていないフロアマットはペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルが不意に作動したり、ブレーキペダルが妨げられたりする可能性があります。これにより、予期しない加速やブレーキ操作が難しくなる場合があります。

- ▶ 車両に適切なフロアマットのみを使用してください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ いくつものフロアマットを重ねて置かないでください。
- ▶ 清掃などの際に、フロアマットを取り外した後、再び正しく固定されていることを確認してください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

- ▶ 掃除機か、中程度の硬さのブラシで清掃してください。
- ▶ ひどい汚れや染みは、染み抜き剤で除去してください。ポルシェ社では、ポルシェテクニクアップメント製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

フロアカーペットの汚れや傷付きを防ぐため、この車両に適したサイズの固定具付きフロアマットをカーアクセサリとして用意しています。

## エアバッグカバーの清掃

### ⚠ 危険

不適切な清掃

エアバッグの周りを不適切なクリーナーやケア製品で清掃してエアバッグシステムに浸透させたり、不適切な取り扱いを行ったりすると、システムに損傷を与える恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグシステムが作動しない危険があります。

- ▶ ステアリングホイールのカバー、ダッシュボード、フロントシート、ドアパネルなどの部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの周囲には洗剤や液体を使用しないでください。

## 内張りの清掃

ピラー、ヘッドライナー、サンバイザーなどのファブリックライニングは、素材に適した洗剤やドライフォームと柔らかいブラシを使用して清掃してください。

## Alcantara® / Race-Tex / その他の生地のお手入れ

Alcantara® / Race-Tex / その他の生地できたマイクロファイバーカバーの清掃には、皮革ケア製品を使用しないでください。日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。研磨剤を使用したり、強く擦ったりすると、Alcantara® の表面が傷むので注意してください。

- ▶ 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹼水で濡らして、汚れを拭き取ってください。
- ▶ 汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を濡らし、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

Alcantara® / Race-Tex 製のマイクロファイバーカバーが装備されたステアリングホイールは、常に肌と接触するため、汚れの度合いが高くなります。

- ▶ 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹼水で濡らして、汚れを拭き取ってください。
- ▶ 汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を濡らし、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

## シートベルトの清掃

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

- ▶ ベルトの汚れには中性洗剤を使用してください。
- ▶ シートベルトを乾燥させるときは、直射日光を避けてください。
- ▶ 適切な洗剤のみを使用してください。
- ▶ シートベルトを染色および脱色しないでください。シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

## ポルシェコミュニケーション マネージメント (PCM) の清掃

### 知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用するとPCMに浸透し、不適切な取り扱いを行うとPCMに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類(エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール)などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- ▶ PCMに直接クリーナーや他の液体を吹きかけないでください。
- ▶ 湿らせた布で慎重に画面を拭いてください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

- ▶ 画面は傷が付きやすくなっています。時々、清潔で柔らかい乾いた布(マイクロファイバークロス)やクリーニング用ブラシで慎重にPCMを清掃してください。清掃の際、表面に大きな力を加えないでください。

- ▶ 指紋は少し湿らせた布や刺激性の少ない洗剤で取り除いてください。

## 車両の保管

車両を長期保管する場合ポルシェ正規販売店にご相談ください。腐食保護対策、お手入れとメンテナンス、および保管に関する情報およびアドバイスを提供いたします。

- ▶ 「バッテリー」(192ページ)を参照してください。

バッテリーを切り離れた状態で車両をロックする場合のインフォメーション：

- ▶ 「緊急ドア ロック」(140ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## カップホルダー

### カップホルダーを使用する

グローブボックス上側のパネル後部に折り畳み式カップホルダーが2個装備されています。



図45：カップホルダー

#### ⚠ 注意

熱い飲み物がこぼれる恐れ

熱い飲み物がこぼれて火傷をする恐れがあります。

- ▶ カップホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 中身がいっぱいに満たされた容器をカップホルダーに置かないでください。
- ▶ 熱い飲み物が入った容器には適していません。
- ▶ 運転中はカップホルダーを収納しておいてください。

#### 知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。

- ▶ カップホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 中身がいっぱいに満たされた容器をカップホルダーに置かないでください。

### カップホルダーを開く

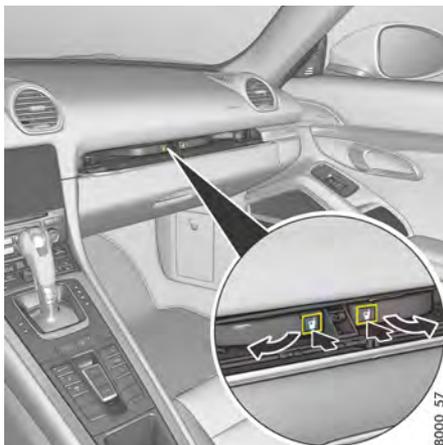


図46：カップホルダーを開く

1. カップホルダーパネルを押してください(図45)。パネルが開きます。
2. 左右どちらかのカップホルダーのマークを押してください。カップホルダーが開きます。
3. パネルの中央を閉じて、カップホルダーを固定してください。

### カップホルダーを引き出す

カップホルダーを引き出すと、大きな容器を置くこともできます。

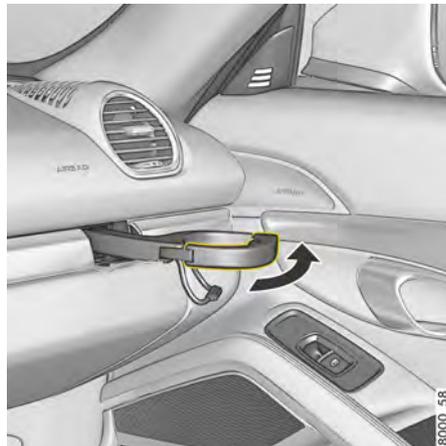


図47：カップホルダーを引き出す

1. ホルダーを引き出してください(図47)。
2. カップ/容器を入れてください。
3. 慎重にホルダーを押し込み、カップ/容器のサイズに合わせてください。

### カップホルダーを折り畳む

1. カップホルダーを押し込んでください。
2. 中央のパネルを開いてください。
3. カップホルダーを折り畳み、はめ込んでください。
4. 中央のパネルを閉じてください。

8000\_58

8000\_57

## キー

## キーを使用する

**i** インフォメーション

- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っているときだけにしてください。

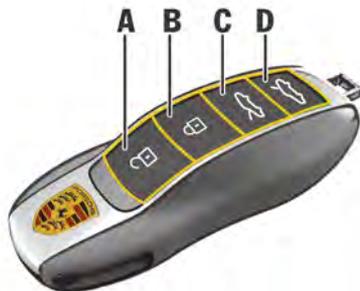


図48：キー

- A ロック解除する
- B ロックする
- C フロントラゲッジコンパートメントリッドおよびドアをロック解除する
- D リヤラゲッジコンパートメントリッドおよびドアをロック解除する

各キーにはエマージェンシーキーが内蔵されています。これらのキーを使用して、車両のすべてのロックを操作できます。

- ▶ キーの取り扱いには細心の注意を払ってください。特別な状況を除いて、キーを放置しないでください。

- ▶ わずかな時間でも車両から離れるときは、キーを抜き取り、携行してください。
- ▶ キーを車内に残さないでください。

## エマージェンシーキーを使用する場合

## エマージェンシーキーを取り出す

8000\_199



図49：エマージェンシーキーを取り出す

1. リリースボタンを横に押ししてください(図49)。
2. エマージェンシーキーを抜き取ってください。

## エマージェンシーキーを元に戻す

- ▶ リリースボタンのロック音が聞こえるまで、エマージェンシーキーを押し込んでください。

## キーの電池交換

**▲ 警告**

リチウムバッテリーを誤って飲み込んだ場合、体内で火傷を引き起こし、死に至る危険性があります。

キーの中にはリチウムバッテリーが収納されています。

リチウムバッテリーを誤って飲み込んだ場合、2時間以内に体内で火傷を引き起こし、死に至る危険性があります。

- ▶ 新品または使用済みバッテリーは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ キーをお子様に近い近づけないでください。お子様がキーを開いて、バッテリーを取り外す恐れがあります。
- ▶ リチウムバッテリーを誤って飲み込んでしまった場合、すぐに医師の診察を受けてください。

キーの電池が弱まり交換が必要になると、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

**i** インフォメーション

- ▶ 電池の廃棄に関する指示を遵守してください。



図50：電池の交換

**電池の交換 (CR 2032、3V)**

1. エマージェンシー キーを取り出してください。
2. 適切な物 (エマージェンシー キーなど) を使用して、キーハウジング背面のカバーを持ち上げてください。
3. 電池を交換してください (電極の向きに注意してください)。
4. カバーを元通りにして、しっかりとはめ合わせてください。
5. エマージェンシー キーを元に戻してください。

9000\_232

**キー/コントロールユニットの緊急ロック解除**

車両のバッテリーが上がった場合、キーを抜き取るには、緊急解除を行う必要があります。車両とキーの電波通信が混信したときや、キーのバッテリー残量が低下すると、ボルシェエントリー&ドライブが正常に機能しなくなります。

このような場合、イグニッションロックからコントロールユニットを取り外し、キーで車両を始動することができます。



図51：メタルフックの取り外し

1. 運転席側のヒューズボックスカバーのハンドルをつかみ、引いて取り外してください。
2. ヒューズボックスカバーの裏に収納してあるメタルフックAを取り出してください。

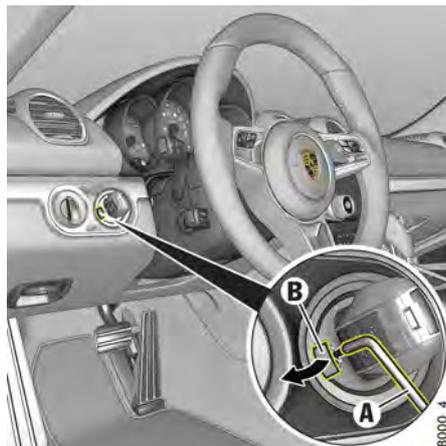


図52：イグニッションロックからのプラスチックカバーの取り外し

3. メタルフックAを使用して、イグニッションロックからプラスチックカバーBを取り外してください。
4. 取り外したプラスチックカバーBは紛失しないように十分注意してください。

8000\_4

8000\_3

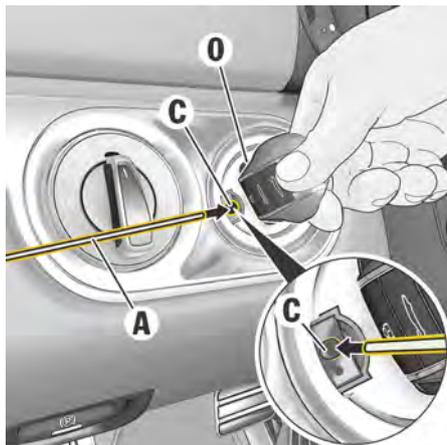


図53：緊急ロック解除

5. コントロールユニット/キーをイグニッションロック位置 **O** (初期位置) に回してください。
6. メタルフック **A** を開口部 **C** に押し込みます。キー/コントロールユニットの解除音が聞こえます。
7. 初期位置 **O** でコントロールユニット/キーを取り外してください。
8. プラスチックカバー **B** を元の位置に取り付けてください。

## スペアキーの注文と登録

車両のスペアキーは、ボルシェ正規販売店のみでお求めいただくことができます。新しいキーを注文してからお手元に届くまでには大変時間がかかる場合がございます。

- ▶ いつでもスペアキーを使えるように、あらかじめご用意いただくことを推奨いたします。
- ▶ スペアキーは安全な場所に保管し、決して車内や車両の近くには置かないでください。

新しいキーを車両に登録するには：

- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 車両のすべてのキーを再登録してください。

### **i** インフォメーション

最大で8本のキーを登録することができます。

### **i** インフォメーション

- ▶ キーを紛失した場合または盗難にあった場合は、ボルシェ正規販売店でこのキーを無効にし、必要に応じてメカニカルロックを交換してください。
- ▶ キーを紛失したり盗難に遭ったりしたとき、またはスペアキーを追加したり交換したりしたときは、ご契約の損害保険会社に連絡してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 給油

**警告**

給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる恐れがあります。

- ▶ 燃料を取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしたりしないでください。

**警告**

燃料蒸発ガスの吸引、および燃料の皮膚への付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

**i** インフォメーション

場合により燃料に硫黄が多く含まれることがあります。このため、エンジンで燃焼する際に特定の運転条件下で不快な臭い(いわゆる腐った卵の匂い)が発生する可能性があります。ボルシェ社にはこの特性に対する責任はなく、車の故障を示すものではありません。

イグニッションをONにすると、インストルメントパネルに燃料の残量が表示されます。

- ▶ 「J-燃料計」(40ページ)を参照してください。

タンク内の燃料残量が一定量(モデルによって異なる)を下回り、イグニッションがON、またはエンジンは作動している場合、マルチファンクションディスプレイの警告灯  が点灯します。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▶ 「充填容量」(280ページ)を参照してください。

## 適切な燃料の選択

## 知識

不適切な燃料を使用すると、エンジン、燃料系統、およびエキゾーストシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 下記の仕様に準拠する燃料のみを使用してください。
- ▶ メタノールを含む燃料を使用しないでください。

**i** インフォメーション

通常、燃料のオクタン価に関する情報は、ガソリンスタンドの給油機に掲載されています。ガソリンスタンドのスタッフからも情報が得られます。

エンジンは **金属系添加物を含まない無鉛プレミアムガソリン** を使用した場合に最適に作動するよう設計されています。

モデル	推奨燃料	代替燃料
	最低オクタン価：	
すべて：	RON 98/ MON 88	RON 95/ MON 85

エンジンはエタノール含有量 10% 以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。

E5

E10

**i** インフォメーション

推奨燃料が入手困難な場合は、緊急措置としてオクタン価 **91 RON/82.5 MON** の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- ▶ オクタン価が **91 RON/82.5 MON** 以上の**金属系添加物を含まない無鉛ガソリン**を使用してください。
- ▶ オクタン価が 91 RON/82.5 MON の無鉛ガソリンを使用した場合は、フルスロットルで走行しないでください。

## オクタン価の低い燃料と添加剤の使用

## 知識

ボルシェ社が承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾーストシステムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ ボルシェ社が承認した添加剤のみを使用してください。

地域によっては、燃料の析出挙動がボルシェ社の基準を満たしていないことがあります。ボルシェ社の基準を満たす燃料を入手できない場合は、推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ボルシェ部品番号：000 043 209 02

- ▶ 混合比率は、添加剤に付属の取扱説明書に従ってください。
- ▶ 定期点検時期(サービスインターバル)、特にオイル交換時期を遵守してください。

## 燃料の給油

### 知識

デコラティブ フィルムに燃料が付着すると、フィルムが色褪せる原因になります。

▶ デコラティブ フィルムに燃料が付着したときは、直ちに拭き取ってください。

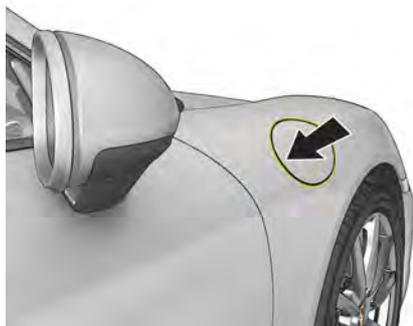


図54：フィルラ フラップを開く

8000\_23



図55：タンク キャップを開く

- ✓ エンジンが停止している。
  - ✓ イグニッションが OFF になっている。
  - ✓ 車両のロックが解除されている。
1. フィララ フラップの後部 (図54) を押すと、フラップが開きます。  
この車両に使用できる燃料の種類については、フィルラ フラップの裏のステッカーに明示されています。
  2. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
  3. 取り外したキャップをホルダー (図55) にかけてください。
  4. 給油ノズルは確実にフィルラの奥まで差し込み、注入時はノズルを下に向けて給油してください。
  5. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。給油ノズルが自動停止したら、それ以上給油を続けしないでください。無理に給油すると、タンクの燃料が吹き返したり、燃料が温まったときにあふれ出したりすることがあります。
- ▶ 「充填容量」(280ページ)を参照してください。

8000\_24

6. 給油後は直ちにキャップを取り付けて、ロック音と手ごたえを感じるまで、しっかりと締め込んでください。
7. フィララ フラップを開いてフィルラ フラップの後部を押し、しっかりと閉じてください。

### i インフォメーション

タンクのキャップを紛失したときは、必ずボルシェ純正部品を使用してください。

### フィルラ フラップの緊急操作

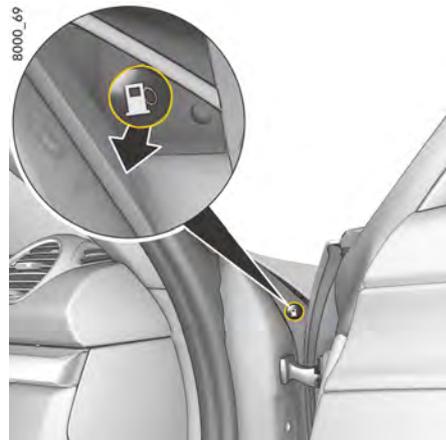


図56：緊急時のフィルラ フラップの操作

フィルラ フラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手動でフィルラ フラップを開くことができます。

1. 助手席側ドアを開いてください。
2. 助手席ドア開口部にあるボタン (図56) を引いてください。  
フィルラ フラップが開きます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## クーラント(冷却水)

エンジンクーラントには年間を通じた腐食防止と、-37℃までの凍結防止の働きがあります。クーラントレベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。

▶ ポルシェ社が認証した凍結防止剤のみを使用してください。

ポルシェ社では、Glysantin® G40® (G12++/VW TL 774 G に準拠した同等の不凍液) または Glysantin® G65® (G12evo/VW TL 774 LJ に準拠した同等の不凍液) の使用を推奨いたします。これらの不凍液は、互いに混ぜ合わせることができます。

## 警告シンボルへの対応

### 知識

冷却水温度が高温になりすぎると、マルチファンクションディスプレイに **上** シンボルが表示されます。**上** シンボルが表示された場合は、クーラントレベルが低くなりすぎている。

赤色の警告メッセージが表示された後も走行を続けると、エンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ エンジンを OFF にして冷やしてください。
- ▶ クーラントレベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けしないでください。故障を修理してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 「警告および情報メッセージ」(82 ページ)を参照してください。

## クーラントレベルの点検と補充

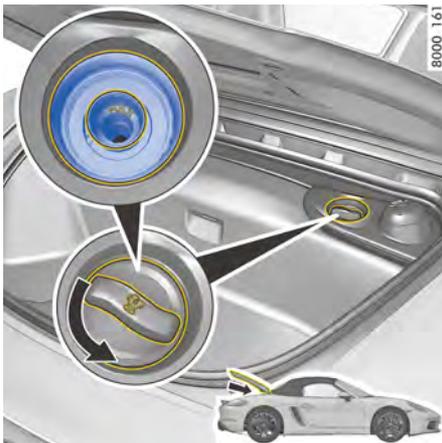


図57：Boxsterのクーラントリザーバータンク



図58：Caymanのクーラントリザーバータンク

### 警告

高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾーストシステム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラントタンクには圧力がかかっています。クーラントタンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾーストシステムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イグニッションを OFF にしてから行ってください。
- ▶ エンジンが熱いときは、クーラントリザーバータンクのキャップを**開かない**でください。水温計の表示が 60℃を下回るまで待ってください。
- ▶ 「B - 冷却水温度」(237ページ)を参照してください。

8000\_267

8000\_161

- ✓ 車両が平坦な場所に駐車されている。
  - ✓ エンジンが冷えていて、クーラント温度が60°C以下である場合。
  - ✓  または  のシンボルがクーラントの補充を促すメッセージとともにマルチファンクションディスプレイに表示されている。
  - ✓ クーラントの補充を促すメッセージとともに  または  のシンボルが**表示されていない**場合は、給水パイプ基部でクーラントが目視確認できない場合のみクーラントを補充します。給水パイプ内のクーラントレベルは初回のエンジン始動後に低下するため、MAX マークは補充中のみの目安となります。
1. リヤラゲッジ コンパートメントを開いてください。
  2. Cayman：キャップを反時計回りに回して取り外してください(図58)。
  3. 慎重にクーラントリザーバータンクのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。
  4. キャップを完全に取り外してください。
  5. クーラント レベルを読み取ってください。クーラントレベルがMAX マークを超えないように注意してください(給水パイプ基部でクーラントレベルが目視で確認できない)。
  6. 必要に応じてクーラントをMAX マークまで補充してください。MAX マークを**超えない**ように注意してください。不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。給水パイプ内のクーラントレベルは初回のエンジン始動後に低下するため、MAX マークは補充中のみの目安となります。
  7. クーラント リザーバー タンクのキャップを動かなくなるまで回して閉めてください。

8. Cayman：キャップを取り付け、時計回りに回してください(図58)。
9. 冷却システムを点検してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。

クーラントの減りが著しい場合は、冷却システムに漏れが発生しています。

- ▶ 早急に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## クルーズコントロール

クルーズコントロールを使用すると、約 30～240 km/h の範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。



図59：クルーズコントロールレバー

- A クルーズコントロールのON/OFF
- 1 設定速度の設定 / 加速
  - 2 減速
  - 3 クルーズコントロールの中断 (OFF)
  - 4 クルーズコントロールの再開 (RESUME)

### i インフォメーション

アクティブブレーキ機能は、特に下り坂などで設定速度を維持するため、自動的に作動します。

### ▲ 警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により十分な距離と一定の速度での走行に適さない場合、クルーズコントロールの使用が事故の原因となる場合があります。

- ▶ 激しい渋滞、カーブの多い道、路面状態が悪い場合 (冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など) でクルーズコントロールを使用しないでください。

## クルーズコントロール ON (スタンバイ)

- ▶ レバーのボタン A を押してください。



**クルーズコントロールスタンバイ**  
マルチファンクションディスプレイのグレーのアイコンは使用可能状態を示します。

## 速度の維持と保存

1. アクセルペダルの操作で希望する速度まで加減速してください。
2. ステアリングコラムのクルーズコントロールレバーを前方 (1 の位置) に押してください。



### 設定速度

オレンジ色に変わったクルーズコントロールアイコンの下に走行中の速度が表示され、自動的に維持されます。

## 速度の変更

- ▶ 速度を上げるには、ステアリングホイールのレバーを前方に押します (図59、1)。短く押す = 1 km/h、長く押す = 10 km/h

- ▶ 速度を落とすには、ステアリングホイール側にレバーを引きます (図59、2)。短く引く = 1 km/h、引き続ける = 10 km/h  
新しく設定した速度がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

### i インフォメーション

通常走行と同じようにアクセルペダルを踏みと加速します。これにより保存された速度は変更されません。アクセルを緩めると保存した速度に戻ります。

## クルーズコントロールの中断 - OFF

クルーズコントロールを中断したときは、直前の設定速度が保存され、クルーズコントロールのレバーを押すと設定速度を呼び出すことができます。

- ▶ 「クルーズコントロールの再開 - RESUME」 (81ページ) を参照してください。
- ▶ レバーを下に押してください (図59、3)。  
**または**
- ▶ ブレーキペダルまたはクラッチペダルを踏んでください。  
**または**
- ▶ セレクターレバーを N の位置にしてください。

### クルーズコントロールの自動中断：

- 設定速度より約 25 km/h 以上速い速度で、20 秒以上走行した場合。
- 上り坂などで、設定速度より約 60 km/h 以上遅い速度で 60 秒以上走行した場合。
- ポルシェスタビリティマネージメント (PSM) が 0.5 秒以上作動した場合。

## クルーズコントロールの再開 - RESUME

- ▶ レバーを上を押してください(図59,4)。設定速度に加減速します。

## クルーズコントロール OFF

- ▶ レバーのボタンAを押してください。設定速度が消去され、シンボルマークが消灯します。

### **i** インフォメーション

イグニッションを OFF にすると保存した速度が消去されます。

---

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 警告および情報メッセージ

警告メッセージが表示されたときは、本書の該当する章を必ずお読みください。

一部の警告灯には、点灯すると警報も同時に鳴るものがあります。

すべての前提条件が満たされた場合にのみ、警告シンボルが表示されます。そのため、すべてのフルードレベルは定期的に点検してください。

## 警告と情報メッセージの分類

赤色

システムの故障または警告

黄色

故障、システム故障、情報、または指示

白色

故障、システム故障、情報、または指示

## 安全性

インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
 点灯	 安全ベルトを装着します	シートベルトが着用されていません。 ▶ シートベルトを着用してください。
	 助手席エアバッグ ON/OFF	助手席エアバッグが ON または OFF になります。
	 故障 エアバッグ表示灯 要修理	エアバッグ警告灯が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	 ステアリングを解除します	ステアリング ロックに大きく負荷がかかっています。 継続走行可能です。 ▶ ステアリング ホイールを左右に回して、ステアリング ロックを解除してください。
	 完了するとハンドルがロック されます	ステアリング ロックが作動していません。 ▶ ステアリング ホイールをロックするには、車両をロックしてください。
	 パワー ステアリング故障 操舵力増大 継続走行可	パワー ステアリングは利用できません。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

安全性		
インストルメントパネルの表示	マルチファンクションディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	 ステアリングサポート制限中 相応の継続走行可	パワー ステアリングが一時的に制限されます。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
(!) 点灯	 ブレーキ液レベル 安全な場所に停車して下さい	ブレーキ液レベルが低すぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
(!) 点灯	 故障 制動力配分 安全な場所に停車して下さい	制動力配分に故障があります。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
(!) 点灯	 ブレーキ冷却 故障	ブレーキ温度が高すぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
(ABS) 点灯	 故障 ABS/PSM 慎重に走行してください	ABSまたはポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
(!) 点灯	 ブレーキパッド要交換 継続走行可能	ブレーキパッドが摩耗しています。 ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
(!) 点滅	 緊急ブレーキ	エレクトリックパーキングブレーキの緊急ブレーキ機能が作動中です。 緊急ブレーキの後、シンボルは消灯します。
(P) 点灯	 故障 パーキングブレーキ	パーキングブレーキに故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

安全性			
インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置	
		<b>電動パーキングブレーキが サービスモードです</b>	パーキングブレーキがサービスモードになっています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点滅		<b>パーキングブレーキ解除</b>	パーキングブレーキが作動しています。 ▶ エレクトリックパーキングブレーキのスイッチを引いてください。 ▶ 「エレクトリックパーキングブレーキ」(202ページ)を参照してください。
 点灯		<b>ブレーキペダルを操作</b>	パーキングブレーキが作動しています。 ▶ エレクトリックパーキングブレーキを解除するときは、ブレーキペダルを踏んでください。
		<b>雨/光センサー 故障修理が必要です</b>	雨/光センサーが故障しています。 ▶ フロントワイパーおよびライトを手動でONにしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点滅		<b>ベンディングライト 故障要修理</b>	コーナリングライトが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点灯		<b>ビームライト制御 故障要修理</b>	ドライビングライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		<b>ヘッドライトレベリング 制御 故障要修理</b>	ヘッドライトレベリング制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
 点滅		<b>ヘッドライト 制御故障要修理</b>	ヘッドライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		<b>例：左側ウィンカーを 点検します</b>	インジケーターライトが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

安全性		
インストルメントパネルの表示	マルチファンクションディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	ハイビームアシスト使用不可 ハイビーム 手動で操作 要修理	ハイビームアシスタントが故障しています。 ▶ ハイビームを手動で点灯してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ハイビームアシスト 制限中カメラ視野 無場合により要ガラス洗浄	カメラの不具合により、ハイビームアシスタントが一時的に使用できなくなっています。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。  故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	PDLS+制限中カメラ視野無 場合により要ガラス洗浄	カメラの故障により、ポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS Plus) は一時的に使用できません。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。  故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 PDLS+ ハイビーム 手動で操作 要修理	ポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS Plus) が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	サイドマーカーランプ点灯 パーキングライトオン	ドライビングライトまたはパーキングライトが点灯しています。 左または右のパーキングライトが点灯しています。
	ワイパー故障 要修理	ワイパーが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 安全性

インストルメント  
パネルの表示マルチファンクションディスプレイの  
メッセージ

意味および必要な措置

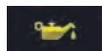
あ		点灯		タイヤ 要点検	1つまたは複数のタイヤに著しい空気圧の低下があります。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 ▶ 「タイヤ損傷の点検」(146ページ)を参照してください。 ▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。 ▶ 「パンクしたとき」(195ページ)を参照してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 「タイヤ空気の充填」(145ページ)を参照してください。
か		点灯		空気を充填	1つまたは複数のタイヤの空気圧が不足しています。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 「タイヤ空気の充填」(145ページ)を参照してください。
さ		点滅または 点灯		故障 監視 タイヤ圧 要修理	タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) が故障しています。 タイヤ空気圧は監視されません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
た		点滅または 点灯		監視 タイヤ圧 短時間 無効	タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) に一時的な故障が発生しています。 タイヤ空気圧は監視されません。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
な		点滅または 点灯		監視無 タイヤ圧 システム 学習 25 km/h 以上	タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) がタイヤの登録を完了するまでには一定の時間が必要です。 このプロセスを実行中は、マルチファンクションディスプレイに現在のタイヤ空気圧が表示されません。 ▶ 後ほどタイヤ空気圧モニタリングを再実行してください。
は		点滅または 点灯		タイヤを交換しますか? 設定を更新	タイヤを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。 ▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ設定を更新してください。 ▶ 「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」(142ページ)を参照してください。
ま		点灯		コンフォートプレッシャー/ タイヤ空気圧 速度を落としてください	設定したタイヤ空気圧の最高速度を超過しています。 ▶ 速度を落としてください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 「タイヤ空気の充填」(145ページ)を参照してください。

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## エンジン

インストルメント  
パネルの表示マルチファンクションディスプレイの  
メッセージ

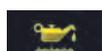
意味および必要な措置

**油量最低以下直ちにオイル  
充填**

- オイルレベルが最低値を下回りました。
- ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。
  - ▶ 運転を続けしないでください。
  - ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けしないでください。
  - ▶ マルチファンクションディスプレイ上でオイル測定を選択してください。
  - ▷ 「エンジンオイルレベルのチェックと表示」(58ページ)を参照してください。
  - ▶ 必要に応じてエンジンオイルを補充してください。
  - ▷ 「エンジンオイルの選択と補充」(59ページ)を参照してください。

**油量上限超過 整備工場へ  
継続走行可**

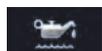
- オイルレベルが最大値を超過しています。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

**故障 油量測定 整備工場へ  
継続走行可**

- オイルレベル測定に故障があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

**オイル下限に到達  
オイル要充填**

- オイルレベルが最低値に達しました。
- ▶ エンジン オイルを補充してください。
  - ▷ 「エンジンオイルの選択と補充」(59ページ)を参照してください。

**現在オイルレベル表示は不可**

- 特定の状況下では、オイルレベルが表示されないことがあります。以下の場合に発生します。
- エンジン冷間時。
  - エンジンを高回転で全負荷運転した後の停車時。
  - 油温が高すぎます。
  - ▶ オイルレベル測定を再度実施してください。
  - ▷ 「エンジンオイルレベルのチェックと表示」(58ページ)を参照してください。

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

88

## エンジン

インストルメント  
パネルの表示マルチファンクションディスプレイの  
メッセージ

意味および必要な措置

**油圧が低すぎます  
停車して下さい**

エンジン油圧が低すぎます。

- ▶ 直ちに適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。
- ▶ 運転を続けしないでください。
- ▶ 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイ上でオイル測定を選択してください。
- ▶ 「エンジンオイルレベルのチェックと表示」(58ページ)を参照してください。
- ▶ 必要に応じてエンジンオイルを補充してください。
- ▶ 「エンジンオイルの選択と補充」(59ページ)を参照してください。
- ▶ オイルレベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示されるときは、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

**故障 オイル圧力測定  
継続走行可  
整備工場へ**

オイル圧力測定に故障があります。  
継続走行可能です。

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

**油温 高過ぎ  
負荷軽減**

エンジン油温が高すぎます。

- ▶ 適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてください。
- ▶ 運転を続けしないでください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイ上でオイル測定を選択してください。
- ▶ 「エンジンオイルレベルのチェックと表示」(58ページ)を参照してください。
- ▶ 必要に応じてエンジンオイルを補充してください。
- ▶ 「エンジンオイルの選択と補充」(59ページ)を参照してください。

**故障 表示 油温 整備工場へ  
継続走行可**

エンジン油温計が故障しています。  
継続走行可能です。

- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。\*

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン			
インストルメントパネルの表示	マルチファンクションディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置	
クーラント表示が最高マーク		<p>すぐに冷却水を充填して下さい 継続走行不可</p>	<p>クーラントレベルが低すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンをOFFにして冷やしてください。</li> <li>▶ クーラントレベルを点検し、必要に応じてクーラントを補充してください。</li> <li>▷ 「クーラントレベルの点検と補充」(78ページ)を参照してください。</li> </ul> <p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
		<p>冷却水要充填 エンジン温度 要監視</p>	<p>クーラントレベルが低くなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ クーラントレベルを点検し、必要に応じてクーラントを補充してください。</li> <li>▷ 「クーラントレベルの点検と補充」(78ページ)を参照してください。</li> </ul> <p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
クーラントまたはエンジンオイルの温度表示が最高マーク		<p>エンジン温度超過 停車して冷まして下さい</p>	<p>クーラント温度または油温が高すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンをOFFにして冷やしてください。</li> <li>▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。</li> <li>▶ クーラントおよびエンジンオイルのレベルを点検してください。</li> <li>▷ 「クーラントレベルの点検と補充」(78ページ)を参照してください。</li> <li>▷ 「エンジン オイル レベルのチェックと表示」(58ページ)を参照してください。</li> <li>▶ クーラントまたはエンジンオイルを、必要に応じて補充してください。</li> </ul> <p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
		<p>冷却水温の表示故障 継続走行可 整備工場へ</p>	<p>冷却水温度計が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
		<p>故障冷却システム 整備工場へ 要修理</p>	<p>冷却システムが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

90

エンジン		
インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
	<b>故障 エンジンルームファン 全負荷回避 継続走行可能</b>	エンジン コンパートメントブロワーが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>出力低下 継続走行可 整備工場へ</b>	エンジン出力が低下しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>故障 エンジン制御 整備工場へ 継続走行可能</b>	エンジン制御システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
水温計の警告灯が 点滅します。	<b>故障 エンジン制御</b>	エンジン制御システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		モデルおよび国によって異なります： 触媒コンバーターの加熱フェーズ。 触媒コンバーターが作動温度に達すると、この記号の表示は消えます。

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン	マルチファンクションディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置	
インストルメントパネルの表示		<p><b>粒子フィルターを点検してください。取扱説明書をお読みください</b></p>	<p>モデルおよび国によって異なります： 粒子フィルターがすすでいっぱいです。 フィルターが自動清掃できるドライビングスタイルで運転してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ スポーツモードを選択します。</li> <li>▶ クルーズコントロールおよびアダプティブクルーズコントロール(ACC)をOFFにします。</li> <li>▶ 選択モードDを選択、またはマニュアルトランスミッションを搭載している車両は、シフトアップインジゲーターによる指示があった場合にのみ次のギヤにシフトアップしてください。</li> <li>▶ (可能であれば路上で)最高許容速度まで加速し、アクセルペダルから足を完全に離して再度減速します。</li> <li>▶ 法定速度を遵守してください。</li> <li>▶ メッセージが表示されなくなるまでこの手順を繰り返します。</li> </ul> <p>故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>
	<p><b>粒子フィルター 継続走行可整備工場へ</b></p>	<p>モデルおよび国によって異なります： 粒子フィルターがすすでいっぱいです。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</p>	
	<p><b>粒子フィルター 安全な場所に停車して下さい</b></p>	<p>モデルおよび国によって異なります： 粒子フィルターがすすでいっぱいです。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。*</p>	
<p>* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。</p>			

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 車両

インストールメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
	<b>故障 ジェネレータ</b> 安全な場所に停車して下さい	オルタネーターが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してエンジンを OFF にしてください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>バッテリー機能制限中</b> 整備工場へ	バッテリー機能が制限されています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>バッテリー弱</b> エンジンを始動ししばらく稼働させて下さい	バッテリーの充電状態が低すぎます。 ▶ バッテリーを充電するため、エンジンを始動してください。
	<b>バッテリー弱</b> 電力消費物オフ	バッテリーの充電状態が低すぎます。 バッテリーの放電を防ぐため、コンフォート機能への電源供給が停止されます。 継続走行可能です。
	<b>停車中にバッテリー保護が有効でした</b>	バッテリー保護が有効です、または有効でした。 バッテリーの放電を防ぐため、停車時に電装品の作動が停止されました。 継続走行可能です。
	<b>バッテリーの放電保護が有効です容量 xx%</b>	バッテリー放電保護が有効です、または有効でした。 バッテリーの放電を防ぐため、車両電装品の作動が停止されました。 継続走行可能です。 ▶ バッテリー容量を監視してください。必要に応じてバッテリーを充電してください。 ▶ 「バッテリーの充電」(194ページ)を参照してください。
	<b>バッテリー要充電</b> 正しい極性に注意	バッテリーの充電状態が低すぎます。 ▶ バッテリーを充電してください。 ▶ 「バッテリーの充電」(194ページ)を参照してください。
	<b>エンジンを手動で始動してください</b>	▶ イグニッションを使用して、手動でエンジンを始動してください。

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両		
インストルメントパネルの表示	マルチファンクションディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
セレクターレバーポジションディスプレイが点滅	 <b>ギヤセレクター 正確に入れて下さい</b>	PDK 装備車：セレクターレバーが2つのポジションの間にある可能性があります。 ▶ セレクターレバーを正しい位置にシフトしてください。
	 <b>選択レバーをP位置にします</b>	PDK 装備車：キーを抜き取る前や駐車する場合は、選択レバーをP位置にします。 ▶ 選択レバーをP位置にします。
	 <b>選択レバーをP位置またはN位置にします</b>	PDK 装備車：エンジンを始動できるのは、セレクターレバーがPまたはNの位置にあるときのみです。 ▶ 選択レバーをP位置またはN位置にします。
	 <b>ブレーキを踏みます</b>	PDK 装備車：ブレーキペダルが踏まれているときのみ始動可能です。 ▶ 始動時はフットブレーキを踏んでください。
セレクターレバーポジションディスプレイが点滅	 <b>T/M故障 安全な場所に停車して下さい</b>	PDK 装備車：トランスミッションが故障しています。インストルメントパネルにセレクターレバーの位置が表示されなくなります。次に停車するまでは走行が可能です。運転を続けしないでください。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ▶ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(102ページ)を参照してください。
	 <b>変速機 温度超過 停車して冷まして下さい</b>	PDK 装備車：トランスミッションの温度が高すぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。トランスミッションを冷やしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
セレクターレバーポジションディスプレイが点滅	 <b>故障Rギア不可 継続走行可能</b>	PDK 装備車：トランスミッションが故障しています。リバースギヤに入らないことがあります。スムーズな変速ができなくなりますが、継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 車両

インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
	T/M温度 高すぎる 負荷を下げる	<p>PDK 装備車：トランスミッションの温度が高すぎます。継続走行可能です。車両発進時に異常を知らせる不自然な動きが感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車してください。</li> <li>▶ エンジンにかかる負荷を小さくしてください。</li> <li>▶ アクセルペダルで車両を保持せず、ブレーキを使用してください。</li> <li>▶ 警告が消えるまでセレクターレバーをPまたはNの位置にしてエンジンをアイドリングさせてください。</li> </ul>
	クラッチを踏みます	<p>マニュアルトランスミッション装備車：クラッチペダルが踏まれているときのみ始動可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 始動時はクラッチペダルを踏んでください。</li> </ul>
	非常通報が有効です	車両からの緊急通報がSOCで確認されました。
	緊急通報故障 整備工場へ	<p>緊急通報機能が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	緊急通報が故障しました	車両からの緊急通報をSOCに転送することができませんでした。
	非常通報のサービス契約が終了しました	緊急通報サービスのサービス契約期間が終了しましたが、ポルシェサービスポータルで延長可能です。
	表示 外気温 故障 要修理	<p>外気温表示に故障があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	故障 スпойラー 要減速	<p>走行安定性が損なわれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	減速 幌を停止位置へ移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コンバーチブルトップを全開または全閉にしてください。</li> </ul>
	サービスポジションの幌 車両 運転不可	<p>コンバーチブルトップがサービスポジションにあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ サービスポジションから移動させてください。</li> </ul>

\*ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両		
インストルメントパネルの表示	マルチファンクションディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
	フードを開きます/フードを閉じます	終端位置になるとメッセージが消えます。
	ルーフコントロールの故障 要修理	▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	例： xxx kmでのサービス	▶ 表示されている距離/期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。
燃料計の警告灯が点灯	目的地までの距離に 注意してください	燃料タンクが空です。 ▶ 最寄りの給油所で給油してください。 ▷ 「給油」(76ページ)を参照してください。
	故障 燃料計 修理が必要です	燃料計が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	扉/後ろカバーが開いています	▶ 該当する車両のドアまたはカバーを閉じてください。
	洗浄水を補充します	ウォッシャー液が空です。 ▶ ウォッシャー液を補充してください。 ▷ 「ウォッシャー液」(46ページ)を参照してください。
	故障 ポルシェ エントリ& ドライブ	ポルシェ エントリー & ドライブが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	キーが見つからない/障害あり キーの位置を変更して下さい	ポルシェ エントリー & ドライブ 装備車： キー位置が正しくありません。 ▶ キーを携行するか、キー位置を変更してください。
	キーをトランクから 抜いて下さい	ポルシェ エントリー & ドライブ 装備車： キーがラゲッジコンパートメント内にあります。 ▶ ラゲッジコンパートメントからキーを取り出してください。
	車両内に複数のキーが 検知されました	ポルシェ エントリー & ドライブ 装備車： 複数のキーが車内にあります。(乗員の荷物の中など)

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 車両

インストール  
パネルの表示マルチファンクションディスプレイの  
メッセージ

意味および必要な措置

**車両キー内のバッテリーを  
交換します**

キーの電池が消耗しています。

- ▶ バッテリーを交換してください。
- ▷ 「キーの電池交換」(73ページ)を参照してください。

**イグニッションキーを  
抜いて下さい**

- ▶ イグニッションキーを抜き取ってください。

**操作部：左へ回し、取り外し、  
キーを差し込んでください**

ポルシェ エントリー & ドライブ 装備車：  
車内にキーが検出されません。  
イグニッションを ON にできず、エンジンを始動できません。

- ▶ コントロールユニットをイグニッションロック位置0に戻し、イグニッションロックから取り外してください。
- ▶ キーを使用してイグニッションを ON にしてください (エマージェンシーキーは除く)。

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ドライビングシステム

インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
 点灯  	 <p><b>システムエラー PSM</b> 安全な場所に停車して下さい</p>	<p>ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) システムが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 適切な場所に停車してください。</li> <li>▶ 運転を続けしないでください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
 点灯	 <p><b>故障 ABS/PSM</b> 整備工場へ相応の 継続走行可</p>	<p>ポルシェ スタビリティ マネージメントが故障しています。 継続走行可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
 点灯	 <p><b>PSM オフ</b></p>	<p>ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が OFF になっています。</p>
	 <p><b>PSM オン</b></p>	<p>ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が ON になっています。</p>
 点滅   	 <p><b>PSM が診断モードです</b></p>	<p>ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が診断モードです。</p>
	 <p><b>PADM 無効 要修理 継続走行可</b></p>	<p>ポルシェ アクティブ ドライブトレインマウント (PADM) が無効になっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ドライビング システム		
インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
	<b>故障シャーシシステム</b>	サスペンション システムが故障しています。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けしないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>故障サスペンションシステム 慎重に走行してください</b>	サスペンション システムが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出ます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>故障アシスタントシステム/ カメラ 要修理</b>	アシスタンス システムまたは車両カメラが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>視野前面カメラ 制限中 場合により 要ガラス洗浄</b>	アシスタンス システムまたはカメラが天候状態やウィンドウの汚れにより一時的に使用できなくなっています。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。  故障が継続する場合： ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>ラUNCH コントロールが 有効です</b>	ローンチ コントロールが作動しています。
	<b>システムエラー 継続走行可能 要修理</b>	複数の電気系統のシステムが故障している可能性があります。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>故障インストルメントクラス ター/パークアシスタント 前要修理</b>	警告音およびパークアシストなどの距離信号が使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>故障音声出力 パークアシスタント 要修理</b>	警告音およびパークアシストの距離信号が使用できません。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ドライビング システム

インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
	<b>駐車アシスト 故障</b>	<p>パークアシストが故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ 駐車時に問題が起きる可能性があります。</li> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	<b>車間距離 ブレーキを操作</b>	<p>前走車との車間距離が十分ではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ 先行車両との車間距離を大きくしてください。</li> </ul>
	<b>ACC 使用不可 センサーに汚れ 要洗浄</b>	<p>車両前部のセンサーの汚れまたは天候によってアダプティブ クルーズ コントロール (ACC) が悪影響を受けている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> <li>▶ センサーの清掃が必要な場合があります。</li> </ul> <p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	<b>ACC/PAS 使用不可 要修理</b>	<p>アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) が故障しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。</li> </ul> <p>故障が継続する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*</li> </ul>
	<b>ACC / 走行制御 不可 ギアセレクト ター D/Mへ切替</b>	<p>PKD 装備車： アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) はセレクトター レバーが <b>D</b> 位置または <b>M</b> 位置にある場合にのみ可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ セレクトター レバーを <b>D</b> 位置または <b>M</b> 位置に入れてください。</li> </ul>
	<b>制限 1/2 を 越えました</b>	<p>設定した速度制限 1 または 2 を超過しています。</p>

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ドライビング システム

インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
	<b>LCA 現在 使用不可</b>	レーンチェンジアシスト (LCA) が天候状態や粉塵により一時的に利用できなくなっています。
	<b>LCA 故障 要修理</b>	レーンチェンジアシスト (LCA) が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	<b>LCA センサー 視野遮断 リアバンパー 要洗浄</b>	レーンチェンジアシスト (LCA) センサーが、ステッカー、汚れ、または氷結などにより遮断されています。 ▶ センサーの清掃が必要な場合があります。

\* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 警報システム

警報システムは、次の警報接点を監視します。

- ドア、ラゲッジ コンパートメント リッド、およびヘッドライトの警報接点
- 室内モニタリングシステム：車両をロックした後の車内への侵入(例：サイドウィンドウを壊して車内に侵入したとき)
- 傾斜センサー（国別の装備仕様：車両の傾き(例：車両をけん引して盗難しようとしたとき)。

これらの警報接点のいずれか1つでも作動すると、アラーム ホーンが約30秒間鳴り、ハザードライトが点滅します。

その後、5秒間警告が中断され、再度警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します(国により異なる)。

### i インフォメーション

国別の仕様によっては、キーをイグニッションロックから抜き取った場合は、最後にドアまたはラゲッジコンパートメントリッドを開くと、警報が作動します。これは車両をロックしていない場合でも同様です。

室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーが解除されます。ドアまたはラゲッジコンパートメントリッドを開くと、警報が作動します。

- ▶ 降車時は常に車両をロックしてください。
- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

作動した警報システムを解除するには：

- ▶ ドアをロック解除するまたはイグニッションをONにしてください。

## 警報システムのON/OFFを切り替える

- ▶ 車両をロックすると、警報システムが作動します。
- ▶ 車両をロック解除すると、警報システムが解除されます。

### i インフォメーション

ドアロックにエマージェンシーキーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしなければなりません。

警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

## 作動した警報システムをOFFにする

- ▶ ロック解除  
または

イグニッションをONにしてください。

## 室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーをOFFにする

車内に人や動物を残して車両をロックするときや、鉄道または船舶などで車両を輸送する場合、室内モニタリングシステムと傾斜センサーを一時的にOFFにする必要があります。

- ▶ 「ドアのロック」(137ページ)を参照してください。
- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

### i インフォメーション

室内モニタリングシステムと傾斜センサーは、ロック解除後いずれのドアも開かず、30秒後に自動的にロックされた場合、OFFの状態を維持します。

## 機能表示

ポルシェ エントリー & ドライブ非装備車の場合、セントラル ロッキング ボタンのライトの点滅速度により車両のロック状態が示されます。ポルシェ エントリー & ドライブ装備車の場合、ドア内のインジケータライトの点滅速度により車両のロック状態が示されます。

### 警報システムを起動させたとき

車両をロックしたときにインジケータライトが素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

### 警報システムを起動させたとき(室内モニタリングシステムと傾斜センサーがOFFのとき)

車両をロックしたときにインジケータライトが素早く点滅し、10秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

### セントラル ロッキングシステムと警報システムの故障

インジケータライトが10秒間点灯した後、短く2回ずつ20秒間点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## けん引およびけん引によるエンジンの始動

### **i** インフォメーション

- けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- 車両をけん引するときは十分注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引時の通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
- 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリックパーキングブレーキやステアリングコラムロックを解除するために外部電源の接続が必要なことがあります。

## けん引または押しがけによる始動

- Porsche Doppelkupplung (PDK) 装備車では、トランスミッションに重大な損傷を与える恐れがあるため、けん引または押しがけによるエンジンの始動はできません。
- マニュアル トランスミッション装備車のけん引または押しがけによるエンジンの始動は、エンジン冷間時にもみ実施してください。エンジンが熱いと、未燃焼ガスにより触媒コンバーターが損傷する場合があります。

## けん引ロープまたはけん引バーの使用

- けん引ロープ / けん引バーの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
- けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重を遵守してください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。

- ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。

### けん引ロープを使用する

- 車両をけん引するときは、けん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープをけん引フックに取り付けてください。
- 「けん引フックの取り付け」(103ページ)を参照してください。
- けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

### けん引バーを使用する

- けん引バーを斜め方向に取り付けしないでください。

## けん引

### ▲ 警告

パワーアシスト機能が作動しないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

けん引される車両のエンジンが停止している場合、ステアリングアシストが働きません。ブレーキやステアリング操作に大きな力が必要となります。ステアリング操作およびブレーキ操作に大きな力が必要となります。

- 車両をけん引するときは十分注意してください。

車両をけん引する場合、この車両より車両重量の大きい車両はけん引しないでください。エンジンが停止している場合、トランスミッションオイルが循環しません。トランスミッションの損傷を回避するため、次の点に注意してください。

### PDK 装備車に関する重要なインフォメーション:

- セレクターレバーの緊急解除を行った場合、または PDK トランスミッションが緊急作動モードになっている場合(警告メッセージがトランスミッションの故障を表示している)、絶対に車両をけん引しないでください。車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。

- 「セレクターレバーの緊急解除」(134ページ)を参照してください。
- 「鉄道、船舶、積載車での輸送」(103ページ)を参照してください。

### バッテリーに不具合がある、またはバッテリーが完全に上がってしまった車両に関する注意事項

- バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパーケーブルを使用してエンジンを始動させてください。
- 「バッテリー」(192ページ)を参照してください。
  - 「ジャンパーケーブルによるエンジンの始動」(117ページ)を参照してください。

### 4輪が接地した状態でのけん引時の注意事項

- けん引される車はイグニッションスイッチを ON にして、ブレーキライトや方向指示灯が機能し、ステアリングロックが解除されるようにしてください。ポルシェエントリー&ドライブ装備車では、コントロールユニットをイグニッションロックから取り外して、キーを挿入してください。

### 片側のアクスルを持ち上げた状態でのけん引時の注意事項

- イグニッションを OFF にしてください。キーをイグニッションロックに残し、ステアリングロックがかからないようにしてください。ポルシェエントリー&ドライブ装備車では、コントロールユニットをイグニッションロックから取り外して、キーを挿入してください。
- 「キー/コントロールユニットの緊急ロック解除」(74ページ)を参照してください。
- 車両のライトが十分に点灯していることを確認してください。

### けん引

- マニュアルトランスミッション装備車: シフトレバーをニュートラルにしてください。
- PDK 装備車: セレクターレバーを N の位置にしてください。セレクターレバーの表示も含めて正しく N の位置にするには、車両

をけん引する前にエンジンを一度始動しなければなりません。セレクターレバーがNの位置にあり、ディスプレイ上でもセレクターレバー位置がNになれば、車両をけん引できます。

- ▶ けん引されるときは速度は 50 km/h 以下にしてください。けん引距離は 50 km 以内にしてください。50 km を超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーで車両を輸送してください。
- ▶ 「鉄道、船舶、積載車での輸送」(103ページ)を参照してください。

## 雪や砂などで立ち往生した車両の救援

- ▶ 車両を救出するときは十分に注意してください。
- ▶ 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。
- ▶ 可能な限り、立ち往生した車両を進入したタイヤの軌跡に沿って元の方向に引き出してください。

## けん引フックの使用



図60：リヤのけん引フック

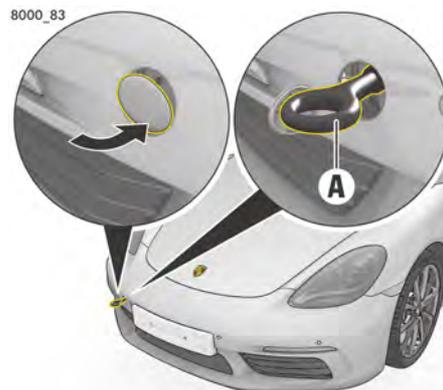


図61：フロントのけん引フック

## けん引フックの取り付け

けん引フックは工具セットに収納されています。  
▶ 「タイヤ シーラント (Tire Mobility System – TMS) または工具セットの取り外しおよび収納」(257ページ)を参照してください。

1. プラスチックカバーのフロント下端およびリヤ上端をバンパー内に押し込む、または適切な工具を使用して慎重にプラスチックカバーを取り外してください。
2. プラスチックカバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フックAを反時計回りにいっぱいねじ込み(逆ねじ)、手で締め付けてください。

## けん引フックの取り外し

1. けん引フックAを時計方向に回して外してください(逆ねじ)。
2. プラスチックカバーのフロント側を開口部の下端に、リヤ側を開口部の上端に差し込んでください。
3. プラスチックカバーをかぶせ、端部を押してバンパーにはめ込んでください。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

## 鉄道、船舶、積載車での輸送

- ▶ ロープ等で車両を固定するときは、ホイール部のみを固定してください。絶対にけん引フックにひもを取り付けしないでください。
- ▶ 室内モニタリングシステムと傾斜センサーを解除してください。
- ▶ 「室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーをOFFにする」(101ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## コンバーチブルトップ

- ▶ 「お手入れ」(66ページ)を参照してください。
- ▶ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

### 知識

コンバーチブルトップとコンバーチブルトップ機構を損傷する恐れがあります。

- ▶ 次の場合には、コンバーチブルトップを操作しないでください。
  - 温度が0℃以下のとき。
  - 車両の片側が縁石、リフト、ジャッキなどで持ち上がっているとき。
- ▶ エンジンを停止した状態でコンバーチブルトップを何度も操作しないでください。車両のバッテリーがすぐに消耗します。
- ▶ 走行するときは、コンバーチブルトップは必ず完全に開いた状態か完全に閉じた状態にしてください。
- ▶ コンバーチブルトップの開閉はコンバーチブルトップの上方に十分な空間があることを確認してから行ってください。ガレージなどでは特に注意が必要です。
- ▶ 染みや擦り切れを防ぐため、コンバーチブルトップは乾いた清潔な状態のときのみ開いてください。
- ▶ 日光を長時間浴びると、布地やラバーが傷んだり色褪せが起こったりするため、可能であれば車両は日陰に駐車してください。
- ▶ コンバーチブルトップは、水平な路面を走行しているときのみ操作できます。
- ▶ 強風や嵐のときはコンバーチブルトップを作動させないでください。

## コンバーチブルトップの開閉操作

### ▲ 警告

コンバーチブルトップの開閉操作

コンバーチブルトップを開閉するときは、コンバーチブルトップ機構またはコンバーチブルトップコンパートメントリッドと車両の固定部品との間に身体の各部が挟まれないように十分に注意してください。

- ▶ コンバーチブルトップ機構またはコンバーチブルトップコンパートメントリッドによって乗員がケガをしないように注意してください。
- ▶ 車両が見えない状況でキーによるコンバーチブルトップの操作はしないでください。
- ▶ 万一、危険な状況になった場合は、直ちにボタンもしくはキーのボタンから手を放し、操作を中止してください。
- ▶ コンバーチブルトップを閉じるときは、サンバイザーのバニティーミラーのカバーを閉じておいてください。

コンバーチブルトップの全開または全閉後にコンバーチブルトップの開閉操作をすると、**コンバーチブルトップが開閉するときに、フロントサイドウィンドウが自動で開いて、その後再び自動で閉じます。**

### 車内のボタンを使用したコンバーチブルトップの開閉

- ✓ イグニッションがONになっている。
- ✓ 速度が約50 km/h以下のとき。  
制限速度を超えると開閉操作は中断します。



図62：ボタンによるコンバーチブルトップの開閉操作

### コンバーチブルトップを開く(約10 km/h以下、国により異なる)

- ▶ コンバーチブルトップが終端位置に達するまで、またはサイドウィンドウが希望の位置になるまでコンバーチブルトップ開ボタンを引き続けてください。マルチファンクションディスプレイの該当するメッセージが消えます。

危険が発生した場合：

- ▶ ボタンを放してください。  
コンバーチブルトップは作動を停止します。

### コンバーチブルトップを開く(約10 km/h～50 km/hの間、国により異なる)

- ▶ コンバーチブルトップ開ボタンを短く引いてください。  
コンバーチブルトップが自動で開きます。マルチファンクションディスプレイの該当するメッセージが消えます。

危険が発生した場合：

- ▶ もう一度ボタンを短く引いてください。  
コンバーチブルトップは作動を停止します。



図63：ボタンによるコンバーチブルトップの閉操作

#### コンバーチブルトップの閉操作

- ▶ コンバーチブルトップが終端位置に達するまで、またはサイドウィンドウが希望の位置になるまでコンバーチブルトップ閉ボタンを引き続けてください。  
マルチファンクションディスプレイの該当するメッセージが消えます。

危険が発生した場合：

- ▶ ボタンを放してください。  
コンバーチブルトップは作動を停止します。

#### 車両キーを使用してコンバーチブルトップを閉じる（国別仕様）

1. ドアをロック解除してください。
2. コンバーチブルトップが終端位置になるか、サイドウィンドウが希望の位置になるまで、キーの  ボタンを押し続けてください。

危険が発生した場合：

- ▶ ボタンを放してください。  
コンバーチブルトップは作動を停止します。

#### ウィンドディフレクターの取り外し/取り付け

##### 知識

- ▶ すべてのウィンドディフレクター部品が正しい位置にしっかり固定されていることを確認してください。特にコンバーチブルトップを開いて走行するときは注意してください。

#### アウターウィンドディフレクターの取り付け

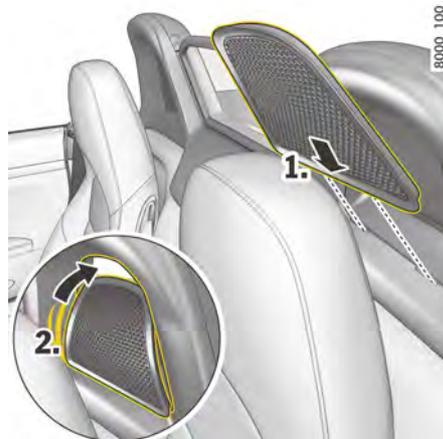


図64：アウターウィンドディフレクターの取り付け

1. ウィンドディフレクターを前方からロールオーバーバーの底部に差し込んでください。
2. ウィンドディフレクターをわずかに曲げて、ロールオーバーバーの上部にはめ込んでください。

3. ウィンドディフレクターがロールオーバーバーに完全にはまっているか確認してください。

#### アウターウィンドディフレクターの取り外し

- ▶ ウィンドディフレクター部を前方に押してロールオーバーバーから取り外してください。

#### センターウィンドディフレクターの取り付け

8000\_111

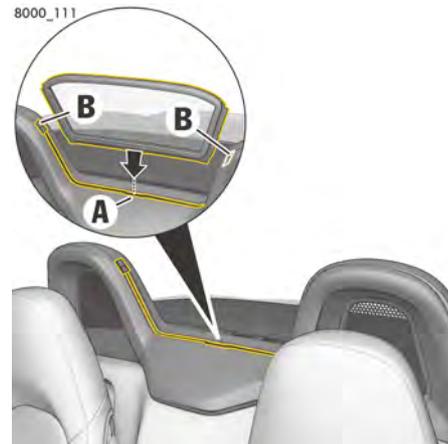


図65：センターウィンドディフレクターの取り付け

- ▶ ウィンドディフレクターを上方からマウントAに差し込み、次に固定箇所Bでカチッと音がするまでウィンドディフレクターを押し下げてください。

#### センターウィンドディフレクターの取り外し

- ▶ 固定箇所Bの1つを押して、ウィンドディフレクターをマウントAから引き上げて取り外してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## i インフォメーション

コンバーチブルトップが閉じているときに、センター ウィンド デフレクターを取り外すと車内の換気が促進され、リヤウィンドウの曇りを防ぐことができます。特に寒く湿度の高い場合に有効です。

## コンバーチブルトップの緊急操作

### ⚠ 警告

緊急操作中のコンバーチブルトップの作動

- ▶ 緊急操作を行うときは十分に注意してください。
- ▶ 緊急操作を行っている間は、ボタンまたはキーを使用してコンバーチブルトップを操作しないでください。

### 知識

コンバーチブルトップとコンバーチブルトップ機構を損傷する恐れがあります。

- ▶ 緊急操作中または直後、ボタンまたはキーを使用してコンバーチブルトップを操作しないでください。
- ▶ ゆっくりと慎重に運転してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## コンバーチブルトップシステムの点検

緊急操作を行う前に以下を点検します。

- コンバーチブルトップをボタンで操作するとき、イグニッションをONにしましたか?
- ヒューズに不具合がありませんか?

- ▶ 「ヒューズの点検および交換」(198ページ)を参照してください。
- ▶ ウィンド デフレクターおよびコンバーチブルトップが不意に動き出さないよう、キーを抜き取ってください。

## 手順1：コンバーチブルトップ機構へのアクセス

1. 運転席と助手席のシートを前方に動かして、バックレストを前に倒してください。

### ⚠ 注意

鋭い外端部

ベルト リール トリムの鋭い外端部で皮膚を傷つける恐れがあります。

- ▶ これらのトリムの取り扱いには特に注意してください。

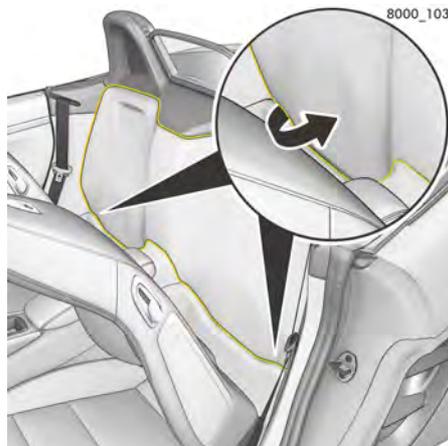


図66：コンバーチブルトップ機構へのアクセス

2. カーペットの隙間(図66)に手を入れて、ベルト リール トリムに沿って下からカーペットを注意深く引き出して折り畳んでください。

## 手順2：コンバーチブルトップドライブの解除

1. 車載工具から両口スパナ(13 A/F)を取り出してください。
- ▶ 「タイヤシーラント(Tire Mobility System – TMS)または工具セットの取り外しおよび収納」(257ページ)を参照してください。

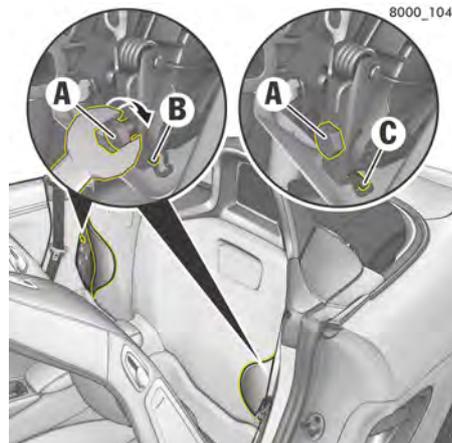
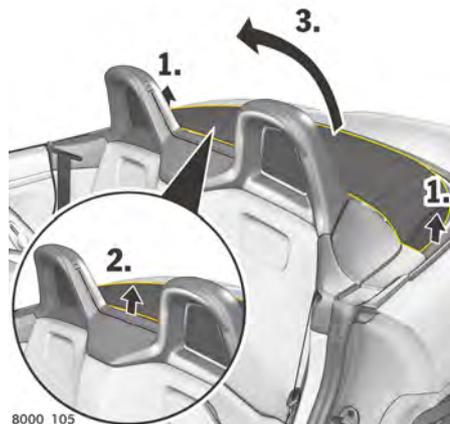


図67：コンバーチブルトップドライブの解除

2. 両口スパナを使用して、ガイドピンBがC位置になるまで、スクロースAを時計方向に約3回転回してください。
3. 反対側でも同じ手順を繰り返してください。

手順3：コンバーチブルトップ機構を小物入れから引き出す

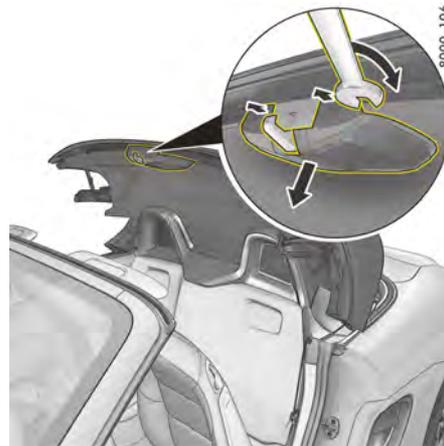


8000\_105

図68：コンバーチブルトップ機構を小物入れから引き出す

- ▶ 車両に乗ってください。
- 1. 片方の手でコンバーチブルトップの右または左側を持ち上げてください。
- 2. もう片方の手でコンバーチブルトップの中央をつかんでください。
- 3. コンバーチブルトップを収納部から約半分閉じる位置まで引き出してください。

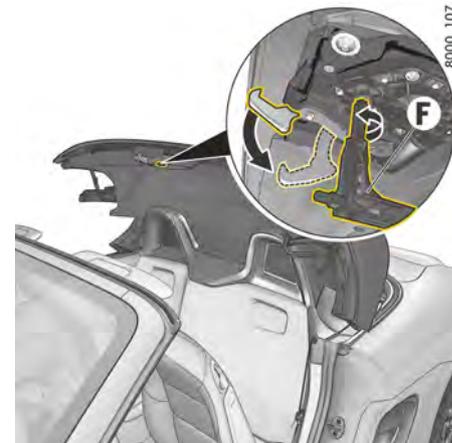
手順4：コンバーチブルトップの閉操作



8000\_106

図69：コンバーチブルトップロックカバーの取り外し

1. スパナを使用して注意深くこじり、コンバーチブルトップロックのプラスチックカバーを固定箇所(図69)から外してください。



8000\_107

図70：コンバーチブルトップラッチフックの展開

2. コンバーチブルトップの緊急操作用キー F を車載工具から取り出してください。
  - ▶ 「タイヤ シーラント (Tire Mobility System - TMS) または工具セットの取り外しおよび収納」(257ページ) を参照してください。
3. キー F をコンバーチブルトップロックに差し込み(図70)、反時計方向に回してラッチフックを完全に開いてください(回すときに抵抗を感じます)。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

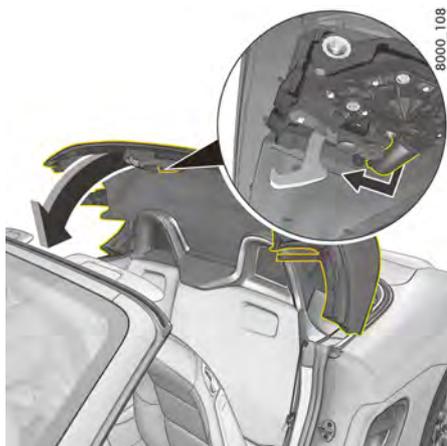


図71：コンバーチブルトップをフロントウィンドウのフレームに引き寄せる

4. コンバーチブルトップのコンバーチブルトップモーター部(図71)を手でつかみ、フロントウィンドウフレームに引き寄せてください。

**▲ 注意**

閉じるときに挟まれて怪我をする恐れがあります

閉じるときに、コンバーチブルトップが作動する範囲内またはコンバーチブルトップロック付近に身体の一部があると、挟まれる恐れがあります。

- ▶ 以下に注意してください。
- 閉じるときは、コンバーチブルトップの作動範囲内に誰もいないこと。
- コンバーチブルトップの可動部やコンバーチブルトップロック周辺のエリアに手をいれないでください。

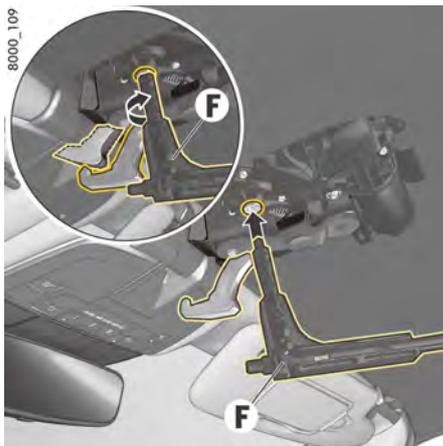


図72：コンバーチブルトップのロック

5. コンバーチブルトップを完全に閉じる場合、ラッチフックがキャッチに完全に噛み合い、コンバーチブルトップが完全に閉じるまで、キーFを時計回りに回してください(回すときに抵抗を感じます 図72)。

## サンバイザー サンバイザーの調整



図73：サンバイザーの調整

- ▶ サンバイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。

## バンティーマラーを開く

### ▲ 注意

バンティーマラーの  
カバーを開くとき

カバーを開いている状態で事故が起きた場合、ミラーが割れて車内にガラスの破片が散乱する恐れがあります。

- ▶ 走行中はカバーを閉じてください。



図74：バンティーマラーを開く

- ▶ サンバイザー内側にあるバンティーマラーのカバーを開きます。  
バンティーマラーのライトが点灯します。

### 知識

バンティーマラーのカバーを損傷する恐れがあります。

- ▶ カバーを全開位置から無理に開かないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## シート

## 適切なシート位置の選択

安全で疲れにくい運転には、正しい着座姿勢が重要です。運転席シート位置を調整するには、以下の手順を実施してください。

1. シートの高さを、頭上の空間に余裕があり、周囲がよく見える高さに調節してください。
2. シートの前後位置を調節し、ブレーキペダルをいばいに踏み込んだときに、足が伸びきらない状態になる位置に調節してください。
3. ステアリングホイールの上部分を握ってください。シートバックレストの角度(フルバケットシートを除く)とステアリングホイールの位置は、肘が少し曲がる位置に調節してください。
4. 必要に応じて、シートの前後位置を調節してください。

## シートの調節

## ▲ 警告

運転中のシート調節

運転中にシート調節を行うと、シートが必要以上に大きく動き、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中はシート調節を行わないでください。

## ▲ 注意

シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の一部が圧迫されたり挟まれたりする恐れがあります。

- ▶ シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。

## 知識

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。

## i インフォメーション

チャイルドシートシステム用 ISOFIX リテーニングラグを助手席に取り付けた車両では、助手席シートバックレストの調節範囲が制限されます。

## スポーツシート / スポーツシートプラスの調整

8000\_37

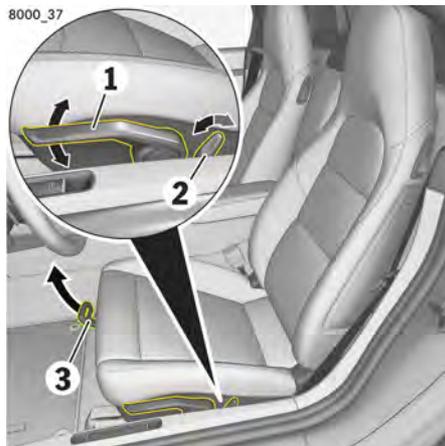


図75：スポーツシート / スポーツシートプラスの調整

- 1 シートの高さ調節
- 2 シートバックレストの角度調整
- 3 シートの前後調節

- ▶ レバー1を操作して、シートを希望の高さに調節してください。  
レバーを上げる = 座面が上昇します。  
レバーを下げる = 座面が下降します。
- ▶ スイッチ2を操作して、シートバックレストを希望の角度に調節してください。
- ▶ ロックレバー3を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。  
シートがしっかり固定されていることを確認してください。

## フル電動スポーツシートの調節

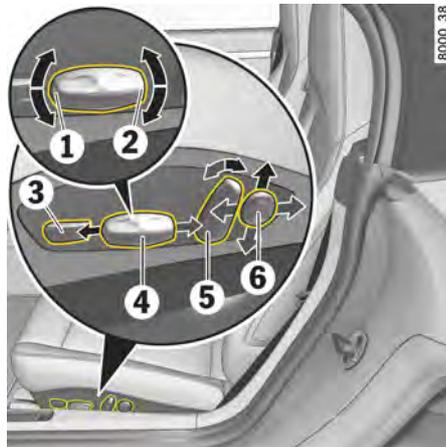


図76：フル電動スポーツシートの調節

- 1 シートの角度調節
- 2 シートの高さ調節
- 3 座面の深さ調節
- 4 シートの前後調節
- 5 シートバックレストの角度調整
- 6 ランバーサポートの調節

8000\_38

- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押し、希望のシート位置、または終端位置まで調節してください。

### アダプティブスポーツシートプラスの調節

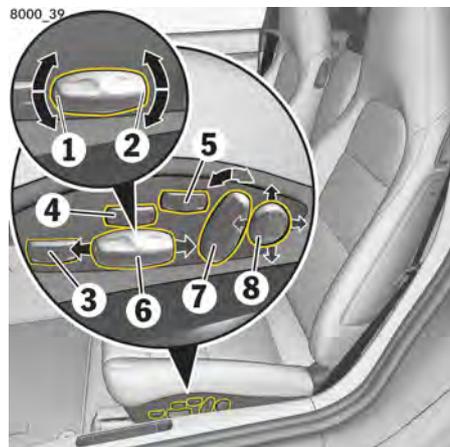


図77：アダプティブスポーツシートプラスの調節

- 1 シートの角度調節
- 2 シートの高さ調節
- 3 座面の深さ調節
- 4 座面のサイドサポートの調節
- 5 バックレストのサイドサポートの調節
- 6 シートの前後調節
- 7 シートバックレストの角度調整
- 8 ランバーサポートの調節

- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押し、希望のシート位置、または終端位置まで調節してください。

### フルバケットシートの調節

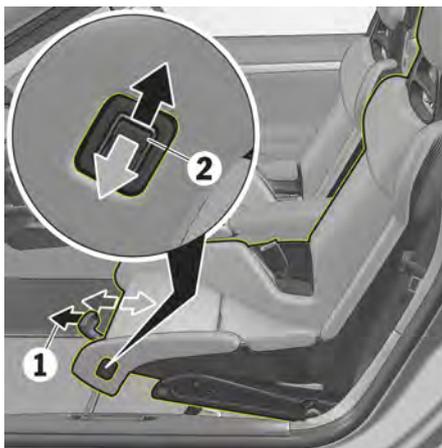


図78：フルバケットシートの調節

#### ⚠ 危険

#### チャイルドシートの使用

フルバケットシートでのチャイルドシートの使用は、重傷または致命傷を負う危険があります。フルバケットシートでチャイルドシートを使用した場合、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ フルバケットシートではチャイルドシートを使用しないでください。
- ▶ ロックレバー1を引き上げ、シートを希望の前後位置に移動させてからレバーを放してください。シートがしっかり固定されていることを確認してください。
- ▶ スイッチ2を矢印方向に押し、希望のシート位置、または最低/最高位置になるまで調節してください。

### シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関するインフォメーション:

- ▶ 「パーソナル設定」(190ページ)を参照してください。

### バックレストを倒す

8000\_40



図79：バックレストを倒す

#### バックレストを倒す

- ▶ シートバックレストの側面にあるレバーを引き上げて(図79)、バックレストを前方に倒してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## バックレストを垂直位置に調節する

### 警告

バックレストが固定されていない

シートのバックレストが固定されていないと怪我を負う危険があります。

- ▶ シート バックレストを後方へ倒した場合、固定されていることを確認してください。
- ▶ シート バックレストをカチッとほまるまで後方へ倒してください。

## イージー エントリー機能を使用する

イージー エントリー機能は、車両への乗り降りをしやすくするための装備です。

- ▷ 「イージー エントリーの ON/OFF」(242 ページ) を参照してください。

### 注意

運転席シートの自動調節

自動シート調節により、運転席の後ろにいる乗員や動物がシートに挟まれる恐れがあります。

- ▶ 運転席の真後ろに乗員がいるときはイージー エントリー機能を OFF にしてください。

## 降車するとき

- ✓ 機能が作動している。

### ボルシェ エントリー & ドライブ 非装備車：

1. キーを抜き取ってください。  
ステアリング ホイールが上方に移動します。
2. 運転席 ドアを開いてください。  
運転席シートが後方に移動します。

### ボルシェ エントリー & ドライブ 装備車：

- ▶ イグニッションを OFF にし、さらに運転席 ドアを開いてください。  
ステアリング ホイールが上方に移動します。  
運転席シートが後方に移動します。

## 乗車するとき

- ✓ 機能が作動している。
- ✓ 運転席シートおよびステアリング ホイールがイージー エントリー位置にある
- ▶ 運転席ドアを閉じてキーを挿入する、またはボルシェ エントリー & ドライブ 装備車の場合はイグニッションを ON にしてください。  
運転席シートとステアリング ホイールが保存した位置まで戻ります。

## インフォメーション

キーを交換した場合、シートおよびステアリング ホイールはそのキーに保存された位置に移動します。

## インフォメーション

シート設定を手動で変更すると、イージー エントリー機能が中断します。

- ▶ ドライビング ポジションを手動で調節してください。

## シートヒーター / シートベンチレーターを ON/OFF にする



図80：シートヒーター ボタン



図81：シートベンチレーターボタン

### シートヒーター/シートベンチレーターをONにする

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ 該当のボタンを押してください(数回)。  
ヒーターまたはベンチレーターの設定に応じた数のインジケータライトが点灯します。

### シートヒーター/シートベンチレーターをOFFにする

- ▶ 該当のボタンをすべてのインジケータライトが消灯するまで(数回)押してください。

### i インフォメーション

車内の温度が高いときはシートヒーターを使用できません。

室内の温度が15℃を下回っているときは、シートベンチレーターを使用できません。

バッテリー電圧が低すぎると、シートヒーター/シートベンチレーターの作動が制限され、その後OFFになります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## シートベルト

## シートベルトの適切な着用

## ⚠ 危険

シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していないと、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用することが義務付けられています。
- ▶ 1本のシートベルトを同時に2人で使うことは、絶対に避けてください。
- ▶ だぶついた衣服やかさばる衣服（ジャケットなど）は、シートベルトを正しく装着できない上に動きが制限されるので、乗車時には脱ぐようにしてください。
- ▶ 硬い物または壊れやすい物（メガネ、ボールペン、携帯電話など）の上からシートベルトを締めないでください。衝突の際に怪我をする危険性が高くなります。
- ▶ シートベルトがねじれていないか、またはゆるんでいないかを確認してください。
- ▶ 運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

## ⚠ 危険

損傷したシートベルトの使用

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。シートベルトプリテンショナーシステムは1回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- ▶ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またシートベルトバックルと取り付け部が正常に機能することを確認してください。
- ▶ シートベルトバックルは汚れないように保護し、清潔に保ってください。
- ▶ 損傷している、または事故によって大きな負荷がかかったりしたシートベルト、および作動したシートベルトプリテンショナーシステムとフォースリミッターは、早急に交換してください。
- ▶ さらに、シートベルトのアンカー部分についても点検してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ シートベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。
- ▶ 「シートベルトの清掃」（70ページ）を参照してください。

## シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルトプリテンショナーの作動条件：

- 前方または後方から強い衝撃を受けた場合
- 側面から強い衝撃を受けた場合
- 車両が転倒した場合

## i

## インフォメーション

シートベルトプリテンショナーが作動すると、煙が発生する場合があります。しかし、この煙は必ずしも車両火災の兆候ではありません。

## シートベルト警告灯および警告メッセージを確認する

イグニッションをONにすると、インストルメントパネル内の赤色の警告灯  が、運転席シートベルトが着用されるまで数秒間点灯します。

さらに、マルチファンクションディスプレイに警告が表示されます。

速度が約 24 km/h を超えると、インストルメントパネルの赤色の警告灯  が点滅し、警告音も鳴ります。

## シートベルトを着用する

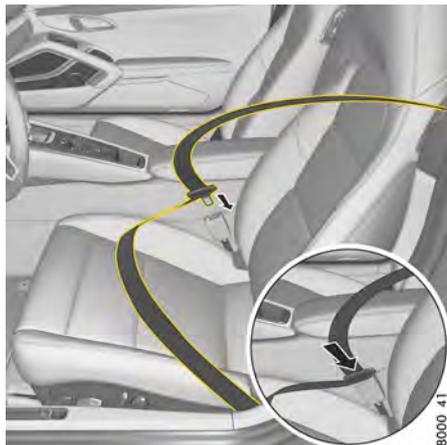


図82：シートベルトを着用する

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座してください。
2. シートベルトを着用したときに、ベルトが肩の中央を通して上半身を斜めに横切るように、シートのバックレストを調節してください。
3. シートベルトのラッチを手で持ち、ゆっくりと一定の速さで引き出して、腰の低い位置および胸部にかかるように着用してください。

### **i** インフォメーション

シートベルトは、次のような場合にロックされません。

- 車両が傾いた場合。
- シートベルトが突然引き出された場合。
- 加速時または減速時、コーナリング時または登坂時。

4. シートベルトのラッチは、着座しているシート側部のバックルにカチッと音がするまで確実に差し込んでください(図82)。
5. シートベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置(骨盤)にぴったりとかかるように確認してください。そのため、シートベルトを装着した後、肩ベルトを上引っ張ってください。  
妊婦：腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けるようにしてください。
7. 走行中も肩ベルトを定期的に取り上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

## シートベルトバックルを解除してシートベルトを外す

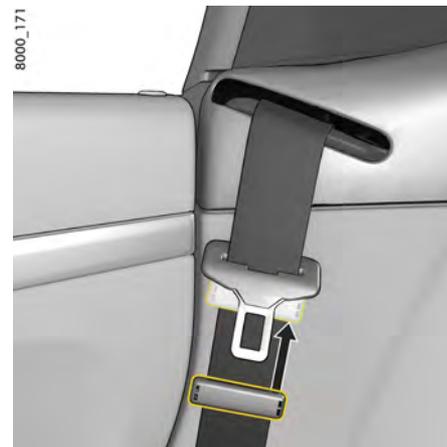


図83：シートベルト解除

1. シートベルトのラッチを手で持ってください。
2. バックルの赤色のボタンを押してください。
3. ベルトラッチは、シートベルト引き出し口の約7cm下にプラスチックスライドで固定してください(図83)。プラスチックスライドがシートベルトラッチを手の届きやすい位置で保持します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ジャッキおよびリフティングプラットフォーム

サイド スカートのジャッキアップ ポイントのエリアには矢印マークがあります。

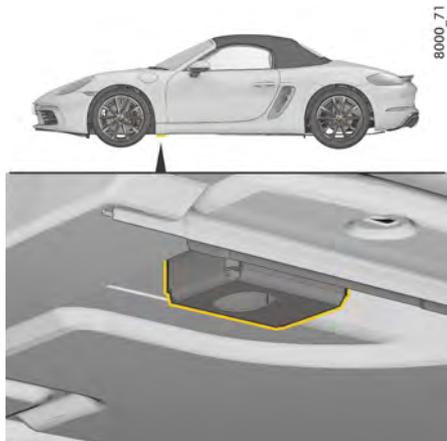


図84：フロント側のリフティングプラットフォームおよびジャッキ用のジャッキポイント

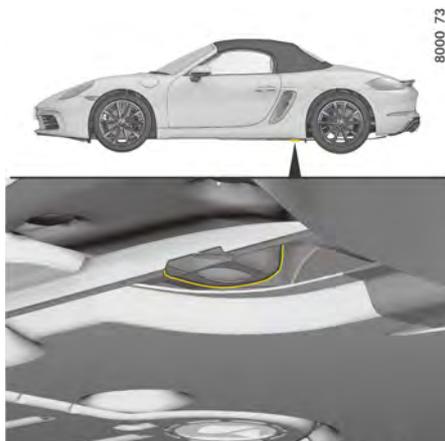


図85：リヤ側のリフティングプラットフォームおよびジャッキ用のジャッキポイント

### 警告

不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
  - ▶ 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップポイント(図84、図85)で持ち上げてください。
  - ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。
  - ▶ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。
  - ▶ エンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリックパーキングブレーキを作動させて**なおかつ**、ギヤレバーをニュートラル位置に入れるか、セレクターレバーをPの位置にしてください。
- 
- ▶ 「ホイール交換」(148ページ)を参照してください。

## ジャンパーケーブルによるエンジンの始動

バッテリーが上がったときは、他の車両のバッテリーを使用してエンジンを始動したり、ジャンパーケーブルを使用して外部電源を接続することができます。どちらの車両も12Vバッテリー搭載車でなくてはなりません。支援車側のバッテリーの容量(Ah)が、バッテリーが上がった車両のバッテリーの容量に比べて低すぎないように確認してください。上がったバッテリーを車両電気系統に正しく接続してください。

▶ 「バッテリー」(192ページ)を参照してください。

通常の作動状態でジャンパーケーブルによるエンジンの始動を繰り返す行わなければならない場合は、バッテリーの損傷が考えられます。

### ⚠ 警告 不適切なジャンパーケーブルや始動手順

不適切なジャンパーケーブルを使用した場合や、ジャンパーケーブルによるエンジンの始動が適切に行われなかった場合、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ ジャンパーケーブルはエンジン始動に適した製品を使用し、バッテリー容量に対して十分な断面積があることを確認してください。また、端子接続部のクリップが完全に絶縁体で覆われているものを使用してください。ジャンパーケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。
- ▶ 車両同士を接触させないでください。電流が流れ、ショートする恐れがあります。
- ▶ 指輪、ネックレス、時計バンドなど、電気を通す装飾品が通電部に触れないように注意してください。
- ▶ ジャンパーケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。ジャンパーケーブルは、必ずジャンパーケーブル接続用端子に接続してください。

### ⚠ 警告

凍結または損傷したバッテリーのジャンプスタート

凍結または損傷したバッテリーをジャンプスタートすると、爆発したり酸による火傷を負ったりする危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーには決してジャンパーケーブルを接続しないでください。

### ⚠ 注意

腐食性のある電解液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。

## ジャンパーケーブルによるエンジンの始動

8000\_80

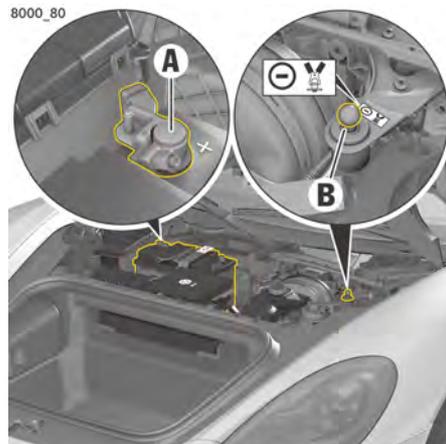


図86：バッテリー端子

- A プラス端子+
- B アース箇所(マイナス端子)-

1. フロントラゲッジコンパートメントリッドを開いてください。  
▶ 「ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除」(263ページ)を参照してください。
2. フロントラゲッジコンパートメントのカバーを取り外してください。  
▶ カバーを取り外すには:「タイヤシールド(Tire Mobility System - TMS)または工具セットの取り外しおよび収納」(257ページ)を参照してください。
3. 充電器の赤色のプラスケーブルを放電したバッテリーのプラス端子Aに接続してください。
4. 赤色のプラスケーブルを支援車バッテリーのプラス端子に接続してください。
5. 黒色のマイナスケーブルを支援車バッテリーのマイナス端子に接続してください。
6. 黒色のマイナスケーブルをアース箇所(マイナス端子)Bに接続してください。マイナス側ケーブル(黒色)は絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。
7. 支援車のエンジンを始動し、回転数を上げてください。
8. エンジンを始動してください。ジャンパーケーブルを使用してエンジンを始動するときは、スターターを15秒以上作動させないでください。始動に失敗したときは、1分以上待ってから再試行してください。
9. エンジンが作動状態のまま、最初に、黒色のマイナス側ケーブルをアース箇所Bから外し、次に支援車のバッテリーのマイナス端子からケーブルを外してください。
10. エンジンが作動状態のまま、まず支援車のバッテリープラス(+)端子から赤色のプラスケーブルを外してください。次に、ジャンプスタートした車両のバッテリーのプラス端子Aからケーブルを外してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 収納スペース 荷物の収納



**警告**

固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

荷物を固定しなかったり不適切な位置に積載したりすると、ブレーキをかけたりステアリングを操作したりしたとき、または事故の際に、荷物が飛び出して乗員が怪我をする恐れがあります。

- ▶ 乗員スペースに荷物や固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▶ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

### 知識

重く大きな荷物は収納ネットを損傷する恐れがあります。

- ▶ 収納ネット内には重たい荷物や大きな荷物を積載しないでください。

車両の装備仕様により、次のような収納オプションが利用できる場合があります。

- カップホルダー
- ペンホルダー付きグローブボックス
- ドアの収納ボックス
- 助手席シート側ドアシルの小物入れ
- センターコンソールアームレストの小物入れ
- 助手席足元の収納ネット
- シートバックレストの後ろ側の衣類用フック

## グローブボックスの開閉 グローブボックスを開く



図87：グローブボックスを開く

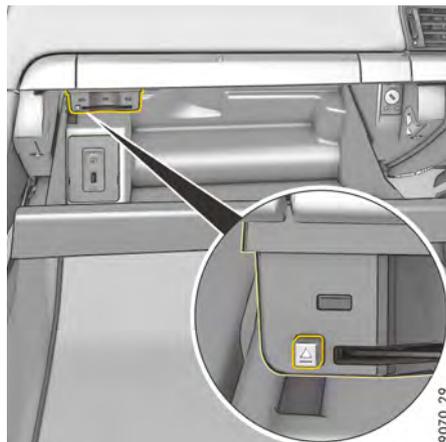
- ▶ ハンドル(図87)を引いて、リッドを開いてください。

### **i** インフォメーション

グローブボックスリッドの内側にはペンホルダーがあります。

## グローブボックスを閉じる

- ▶ 盗難防止のため、エマージェンシーキーでハンドルを常にロックしてください。
- ▶ 「エマージェンシーキーを使用する場合」(73ページ)を参照してください。



## ETC受信機

ETC本体、およびETC受信機は日本仕様では標準で装備されております。

ETC本体はグローブ・ボックス内に取り付けられています。ご利用前にETC専用カードの利用期限を確認し、カードがスロットに確実に挿入されているか確認してください。

## センターコンソールアームレストの小物入れを開く

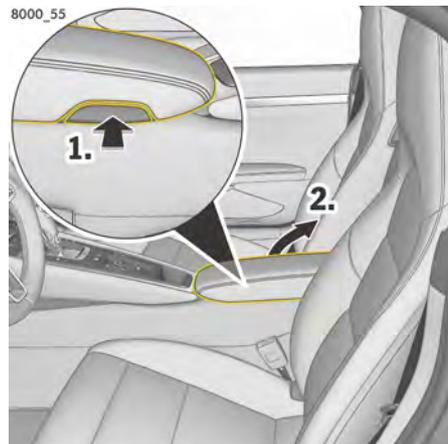


図88：センターコンソールアームレストの小物入れを開く

- ▶ アームレストの右側のボタン(図88)を押してください。  
リッドが自動的に開きます。

## シート後方の外側の小物入れを開く

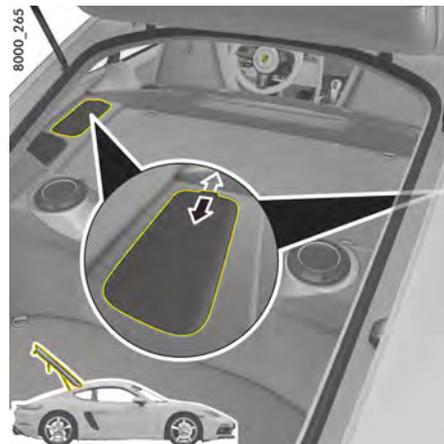


図89：カバー付きのシート後方の外側の小物入れ

### 開く

- ▶ カバーの取っ手を後方、矢印の方向に引いてください。

### 閉じる

- ▶ カバーの取っ手を前方、矢印の方向に押しつけてください。

## ドアの収納ボックスを開く

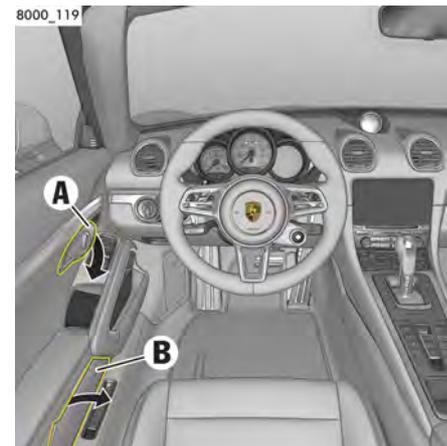


図90：ドアの収納ボックス

- A インナードアハンドル
- B ドアの収納ボックス

- ▶ リッドB(図90)を持ち上げてください。

### 知識

ドアを閉じるときに、ドアの収納ボックスを損傷する恐れがあります。

- ▶ ドアを閉じる前に、収納ボックスのリッドを閉じてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ステアリングホイール ステアリングホイールの調整

**▲ 警告** 運転中のステアリングホイールの調整

運転中にステアリングホイール調整を行うと、ステアリングが予期せず大きく動き、車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中はステアリングホイールの調整を行わないでください。

### ステアリングホイールの手動調整



図91：ステアリングホイール調整用ロックレバー

1. キーをイグニッションロックに完全に差し込んでください。
2. ロックレバーを押し下げてください。
3. シートバックレストの角度や着座位置に合わせて、ステアリングホイールを前後上下に動かし、希望の位置に調整してください。

4. ステアリングホイールが確実に固定されるまで、ロックレバーを元の位置まで戻してください。

### ステアリングホイールの電動調整

**▲ 注意** メモリー設定の不意の呼び出し

ステアリングホイールを調整するときに、人や動物がステアリングホイールの動く範囲にいますと、身体の一部が圧迫されたり挟まれたりする恐れがあります。

- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。



図92：ステアリングホイール調整用コントロールスイッチ

- ▶ ステアリングコラム下に取り付けられているコントロールスイッチを前後上下に動かして、ステアリングホイールを希望の位置に調整してください。

## ステアリングホイール設定の保存

メモリーパッケージ装備車では、ステアリングホイールの設定を運転席ドアやキーのメモリーボタンに保存することができます。

- ▶ 「パーソナル設定」(190ページ)を参照してください。

## ステアリングホイールヒーターのON/OFF



図93：ステアリングホイールヒーターボタン

- ✓ エンジンが作動している。
- ▶ マルチファンクションディスプレイに「ステアリングホイールヒーターON」または「ステアリングホイールヒーターOFF」のメッセージが短時間表示されるまで、センターステアリングホイールスポークのボタン(図93)を押し続けます。

## スポーツエキゾーストシステム

### スポーツエキゾーストシステムのON/OFF



図94：センターコンソールのスポーツエキゾーストシステム操作ボタン

✓ イグニッションがONになっている。  
スポーツエキゾーストシステムはイグニッションがONのときに排気音最適化モードに切り替えることができます。

- ▶  ボタンを押してください。  
スポーツエキゾーストシステムが作動すると、ボタンのインジケータライトが点灯します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## スポーツ クロノ ストップウォッチ

スポーツ クロノ ストップウォッチはレースサーキットや業務上の走行時等の時間計測にご使用いただけます。計測した時間は保存したり、評価したりすることができます。PCMのディスプレイが利用できます(装備によって異なります)。

以下の情報を保存および評価することができます。

- ラップ回数。
- ラップ距離。
- ラップタイム。
- オプション: その他の各種データ(車両位置、速度、または外気温度など)。

記録中、以下の項目を表示することができます。

- 現在のラップ回数。
- 最速ラップタイムおよび、それと比較した現在のラップタイム。
- 基準ラップに関して走行した距離の割合。
- 現在のラップタイムが最新のラップタイムより速いか、遅いか、または同一かを表示するカラーレート。
- 現在の燃費の残量で走行可能な残りの距離およびラップ回数。
- まだ残っている記憶時間。
- オプション: 現在のラップのトラック進捗状態と基準ラップ。

## ダッシュボードのストップウォッチ



図95: ダッシュボードのスポーツ クロノ ストップウォッチ

ストップウォッチにはアナログディスプレイとデジタルディスプレイがあります。

### アナログディスプレイ

- 大きい指針: 秒
- 小さい指針: 時間および分

このディスプレイは 12 時間が経過するとゼロから再スタートします。

### デジタルディスプレイ

- 秒、1/10 秒、および 1/100 秒。

デジタルディスプレイおよびマルチファンクションディスプレイは 99 時間と 59 分まで表示できます。

### ストップウォッチの明るさ調節

- ▷ 「インストルメントライトの明るさ調節」(42ページ) を参照してください。

### ダッシュボードのストップウォッチライトの ON/OFF

- ▷ 「インストルメントライトの明るさ調節」(42ページ) を参照してください。

### ストップウォッチ時刻の表示

- ▷ 「ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示」(239ページ) を参照してください。

### ストップウォッチタイムの表示

ラップタイムは異なる場所に表示することができます。

- ダッシュボードのスポーツ クロノ ストップウォッチ
- マルチファンクションディスプレイのクロノメニュー
- PCMの  メインメニューのSC

**CAR**

## マルチファンクションディスプレイでの実行

8070\_14



図96：クロノメニュー

- A ラップカウンター - 現在のラップ回数
- B 現在のラップタイム (緑色：最速ラップよりも速い、黄色：最速ラップと同タイム、赤色：最速ラップよりも遅い)
- C 最速のラップタイム
- D サークルディスプレイ (基準ラップと比較してどれだけラップを完了しているかを示す)

### **i** インフォメーション

ストップウォッチ作動中にクロノメニューを終了しても、計測は続きます。ストップウォッチはイグニッションをOFFにすると停止します。約4分以内にイグニッションを再度ONにすると、ストップウォッチは作動を再開します。

### 計時の開始

- ▶ **クロノ ▶ 開始**  
データの記録が開始されます。基準ラップがまだ保存されていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されます。

### 計時の停止

✓ 計時が開始されている。

- ▶ **クロノ ▶ 停止**

### 計時の継続

✓ 計時が停止している。

- ▶ **クロノ ▶ 停止 ▶ 継続**

### ラップの停止 / 新しいラップの開始

現在のストップウォッチタイムはラップタイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

✓ 計時が開始されている。

- ▶ **クロノ ▶ ラップ**  
ラップカウンターの値 (図96、A) が1ずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップタイム (図96、C) として保存されます。現在のラップタイム (図96、B) とサークルディスプレイ (図96、D) の色が変わることによって、現在のラップタイムが最速ラップより速いか、遅いか、または同一かを表示します。

### **i** インフォメーション

1回のセッションで最大99ラップを保存することができます。

### 中間ラップの保存

✓ 計時が開始されている。

- ▶ **クロノ ▶ 中間**  
中間タイムが短時間表示されますが、保存はされません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

### ストップウォッチタイムのリセット

✓ 計時が停止している。

- ▶ **クロノ ▶ 停止 ▶ リセット**  
すべてのストップウォッチタイムをゼロにリセットすることができます。

### PCMでの計時の表示

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(219ページ) を参照してください。

### ストップウォッチの表示

✓ 計時が開始されている。

- ▷ 「計時の開始」(123ページ) を参照してください。

1. **CAR** ボタン ▶ **SC**
2. ストップウォッチディスプレイをスクロール (スワイプ) してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

P170\_65



図97：ストップウォッチディスプレイ（記録中）

- A 現在の燃費の残量で走行可能なラップ回数
- B まだ残っている記憶時間
- C 最速のラップタイム
- D 現在のラップタイム（緑色：最速ラップよりも速い、黄色：最速ラップと同タイム、赤色：最速ラップよりも遅い）
- E ラップカウンター - 現在のラップ回数
- F サークルディスプレイ（基準ラップと比較してどれだけラップを完了しているかを示す）

## トラック進捗の表示

- ✓ 計時が開始されている。
  - ▷ 「計時の開始」（123ページ）を参照してください。
- ✓ **CAR** ボタン ▶SC ▶スポーツクロノ設定 追加データを記録機能が作動している。

1. **CAR** ボタン ▶SC
2. トラック進捗ディスプレイをスクロール（スワイプ）してください。

P170\_35



図98：記録中 - トラック進捗ディスプレイ

- A 基準ラップ（灰色）
- B 現在の車両位置
- C 現在のラップ（緑色：最速ラップよりも速い、黄色：最速ラップと同タイム、赤色：最速ラップよりも遅い）

## 記録の表示および編集

1回のセッションで最大 99 ラップを記録することができます。基準ラップがまだロードされていない場合は、記録の中の最初のラップが基準ラップとして使用されます。最大で 10 時間の記録が可能です。

### 記録の表示

- ✓ 計時が停止している。
  - ▷ 「計時の停止」（123ページ）を参照してください。

1. **CAR** ボタン ▶SC
2. 記録ページにブラウザ（スワイプ）してください。
3. 記録フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して（記録 001 など）、記録を表示させてください。

## 記録データの表示

1. **CAR** ボタン ▶SC
2. 記録ページにブラウザ（スワイプ）してください。
3. 記録フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して（記録 001 など）、記録を表示させてください。
5. コントローラーの統計 を選択してください。個別のラップに関する情報が表示されます。

## 記録のトラック進捗の表示

- ✓ **CAR** ボタン ▶SC ▶スポーツクロノ設定 追加データを記録機能が作動している。

1. **CAR** ボタン ▶SC
2. 記録ページにブラウザ（スワイプ）してください。
3. 記録フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して（記録 001 など）、記録を表示させてください。
5. コントローラーの地図 を選択してください。ラップのトラック進捗に関する情報が表示されます。

## ラップの表示および編集

1. **CAR** ボタン ▶SC
2. 記録ページにブラウザ（スワイプ）してください。
3. 記録フォルダーを選択してください。
4. 希望の記録を選択して（記録 001 など）、記録を表示させてください。

5. コントローラーの**統計**  を選択してください。  
個別のラップに関する情報が表示されます。
6. 希望のラップを選択してください。
7. コントローラーの希望の設定を選択してください。

- **保存** : 基準ラップとしてラップの保存
- **地図** : ラップのトラック進捗を表示
- **削除** : ラップの削除

### 基準ラップの設定

- ✓ 計時が停止され、リセットされている。
  - ▷ 「マルチファンクションディスプレイでの実行」(123ページ)を参照してください。

1. **CAR** ボタン ▶ **SC** 
2. 記録ページにブラウザ(スワイプ)してください。
3. 基準ラップより、希望の基準ラップを選択してください。  
希望の基準ラップが表示されます。
4. コントローラーの **Ref 設定** を選択してください。

## PCM の設定入力

### 記録および基準ラップの管理

1. **CAR** ボタン ▶ **SC**  ▶ **OPT** ボタン。
  2. 希望のオプションを選択してください。
- **データ名を変更する**: 基準ラップおよび記録のデータ名を変更することができます。

- **データを移動**: 記録および基準データを、SD カードまたは USB 大容量記憶装置に、エクスポートまたはインポートすることができます。
  - **インポート**: データをインポートできるようにするためには、データが記憶装置のスポーツクロノ フォルダに保存される必要があります。**選択**および**選択解除**で、インポートするデータを選択してください。**インポート**で、選択したデータをインポートしてください。
  - **エクスポート**: **選択**および**選択解除**で、エクスポートするデータを選択してください。**エクスポート**で、選択したデータをエクスポートしてください。
- **データを削除**: 基準ラップおよび記録のデータ名を削除することができます。

### その他の設定

1. **CAR** ボタン ▶ **SC**  ▶ **OPT** ボタン ▶ **スポーツクロノ設定**。
  2. 希望のオプションを選択してください。
- **追加データを記録**: ラップの長さおよびラップタイムとは別に、他の走行データ(速度など)を1秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。
    - ▷ 「記録の表示および編集」(124ページ)を参照してください。
  - **許容距離差**: 基準ラップの長さとは任意のラップの長さがどのくらい異なるかを表示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。
  - **評価の最大タイム差**: 記録時に速度が同一(黄色マーク)と評価されたラップ間の最大のタイム差を表示します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## スポーツ クロノ モード スイッチ

### モードスイッチでのモード選択

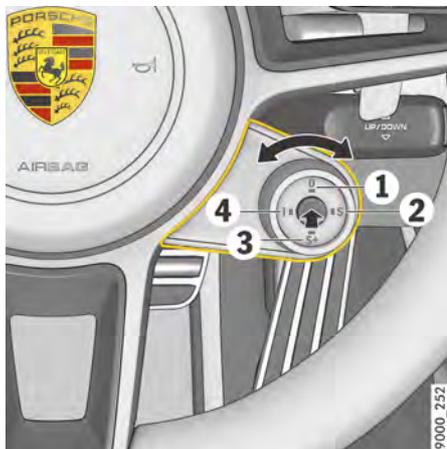


図99：ステアリングホイールのモードスイッチ

- 1 ノーマルモード
- 2 スポーツモード
- 3 スポーツプラスモード
- 4 パーソナルモード

#### スイッチ中央スポーツレスポンスボタン

- ▶ モードスイッチを左または右に回して、希望の走行モードを選択します。選択したモードのインジケータライトが点灯し、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

各モードの車両設定に関するインフォメーション：

- ▷ 「選択した走行モードの車両設定の概要」(127ページ)を参照してください。

## パーソナルモードの設定

パーソナルモードでは、PASM、スポーツエキゾーストシステム、オートスタート/ストップ機能、およびリヤスポイラーの設定を、ノーマル、スポーツ、またはスポーツプラスの各モードに基づいて個別に組み合わせることができます。保存した組み合わせは、次回の車両始動時にモードスイッチを回すことで呼び出すことが可能です。

マルチファンクションディスプレイでのパーソナルモードの設定に関するインフォメーション：

- ▷ 「パーソナルモードの調整」(240ページ)を参照してください。

## スポーツレスポンスモードの使用

- ✓ PDK 装備車。

8070\_25



図100：スポーツレスポンスの表示

スポーツレスポンスモードでは、エンジンおよびトランスミッションが時間制御されて、最大レスポンスに設定されます。

- ブーストプレッシャーの急速上昇
- PDKが専用の変速特性に切り替わる

## スポーツレスポンスモードの作動

- ▶ **スポーツレスポンス** ボタンを押してください。

マルチファンクションディスプレイ内の減少する円状に配置されたバーは、この機能が有効な残り時間を示しています。約20秒が経過すると、車両は前に選択していたモードに戻ります。

## スポーツレスポンスモードの作動停止

- ✓ **スポーツレスポンス** モードが作動していること
- ▶ **スポーツレスポンス** ボタンを再度押してください。車両は前に選択していたモードに戻ります。

## 選択した走行モードの車両設定の概要

走行モード	ノーマル	スポーツ	スポーツプラス	パーソナル	スポーツレスポンスボタン
<b>ドライブ</b>					
レスポンス	ノーマル	スポーツ	パフォーマンス	事前選択：ノーマル、スポーツ、またはスポーツプラス	パフォーマンス
レブリミッター	ノーマル	スポーツ	スポーツ		スポーツ
アイドル回転数上昇	---	作動	作動		作動
シフトダウン時のスロットルブリップ					
車内のエンジン サウンド最適化					
バックファイア	---	作動	---		---
ローンチ コントロール	---	---	作動		作動
PDK	ノーマル	スポーツ	パフォーマンス		スポーツレスポンス
オート スタート/ストップ	作動	---	---	 OFF/ON	---
<b>シャーシ</b>					
ダイナミック エンジン マウント	ノーマル	スポーツ	パフォーマンス	事前選択：ノーマル、スポーツ、またはスポーツプラス	事前選択：ノーマル、スポーツ、またはスポーツプラス
PTV	ノーマル	ノーマル	スポーツ		
PASM	ノーマル	ノーマル	スポーツ		
PSM	センター コンソールの PASM ボタンによる PSM スポーツ機能				
<b>その他</b>					
ライト システム	ノーマル	スポーツ	スポーツ	事前選択：ノーマル、スポーツ、またはスポーツプラス	事前選択：ノーマル、スポーツ、またはスポーツプラス
アダプティブ クルーズ コントロール					
スポーツ エキゾースト システム	---	作動	作動	 ON/OFF	
リヤ スポイラー	走行速度による			 展開 / 格納	

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

## ノーマル

日常の走行において、コントロール システムは快適性と経済性が両立するように作動します。

か

## スポーツ

日常の走行において、躍動感とダイナミズムを向上させるようコントロール システムを切り替えます。

さ

## パフォーマンス

レース サーキット走行のように、性能を最大限に発揮できる設定に切り替わります。

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## スポーツモード

全体的によりスポーティで多様なシャーシ設定が選択できます。

**スポーツモード**は日常の走行において、躍動感とパフォーマンスを向上させるようにコントロールシステムを切り替えます。

- 電子制御式エンジン マネージメント システムは、パワーユニットのより素早い制御を開始します。エンジンはよりダイレクトなダイナミクスを発揮します。
- PDK 装備車：スポーティなシフト特性に切り替わり、ギヤシフト時間が短くなります。
- オートスタート/ストップ機能は自動的に解除されます。
- オプションのスポーツ エキゾースト システムが自動的に作動します。

スポーツ クロノ パッケージ装備車の「**スポーツ**」および「**スポーツプラス**」モードでの車両の設定に関するインフォメーション：

- ▶ 「選択した走行モードの車両設定の概要」(127ページ)を参照してください。

## スポーツモードのON/OFF



図101：スポーツモードのON/OFF

- ▶ **SPORT** ボタンを押すか、またはステアリングホイールのモードスイッチを**S**に回します(車両装備によって異なる)。スポーツモードがONになると、ボタン/スイッチのインジケータライトが点灯します。デジタルスピードメーターに**SPORT**の文字が表示されます。

### **i** インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、スポーツモードは自動的にノーマルモードにリセットされます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## スモーカーズパッケージ 灰皿の使用

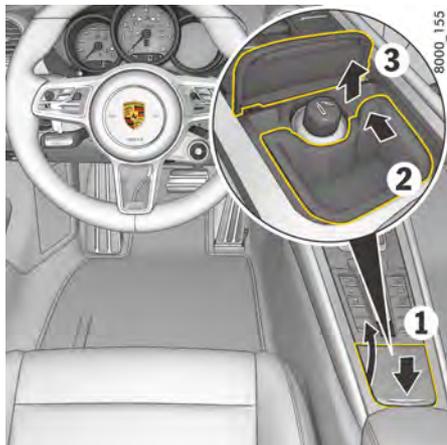


図102：灰皿を開く / 中身を空にする

### ▲ 警告

灰皿による火災の危険

灰皿に紙くずなどを入れると発火する恐れがあります。

▶ 絶対に灰皿を紙くず入れとして使用しないでください。

### 灰皿を開く

1. 灰皿のリッドを短く押してください (図102、1)。  
リッドは自動で開きます。

### 灰皿を空にする

2. 灰皿インサートの右上を前方に押して、ロック解除してください (図102、2、および3)。

3. 灰皿のインサートを引き上げて取り外してください。
4. 灰皿インサートを空にした後は、元の位置に戻し、手応えを感じるまで押し込んでください。

## シガーライターを使用する



図103：シガーライターを使用する

### ▲ 警告

高温のシガーライター

シガーライターの先端は、使用後は非常に熱くなります。

- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。
- ▶ ヒーター エレメントまたはシガーライターの側面部は絶対に触れないでください。
- ▶ 作動ボタン以外で高温のシガーライターを持たないでください。

1. 灰皿のリッドを軽く押します (図103、矢印)。

2. 作動ボタンをソケットに押し込んでください。  
ライターのフィラメントが赤熱すると、シガーライターが元の位置まで飛び出します。
3. シガーライターを取り外してください。

シガーライターソケットで充電アダプターを使用する際のインフォメーション：

▶ 「充電アダプターの接続」(162ページ)を参照してください。

### ▲ 危険

火のついた煙草の投げ捨てによる火災の恐れ

煙草が走行風によりエア インレットに入り込み、エンジン コンパートメント内で火災が起こる危険があります。

▶ 車内から煙草を投げ捨てないでください。

## 接続

### 外部SIMカード経由でデータ接続を確立する

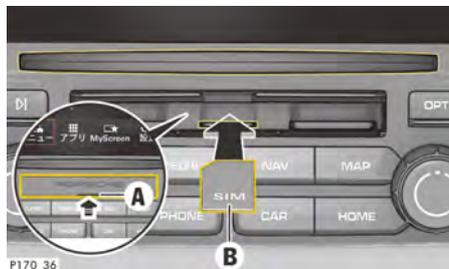


図104：外部SIMカードの挿入および取り出し

- ✓ SDおよびSIMカードリーダーのカバーAを開く

1. 外部SIMカードBを挿入します(ミニSIM、寸法：25 x 15 mm)を挿入してください(切り欠き部分を前方左側にして、チップ面を下にしてください)。
2. PIN付きSIMカード：
  - a. 外部SIMカードのPINを入力し、OKで確定します。
  - b. PINを保存を選択してください。
3. 有効を選択し、データ接続を有効にしてください。このメッセージが繰り返し表示されるのを防ぐには、常に許可するを選択してください。データ接続が確立されます。
  - ▶ 外部SIMカードを取り出すには、挿入されたカードを押して抜き出します。

#### 知識

SIMカードを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

SIMカードアダプターを使用すると、振動によりSIMカードがアダプターから外れ、カードピースがPCMから取り出せなくなる恐れがあります。

- ▶ SIMカードアダプターは使用しないでください。

#### i インフォメーション

複数のアクセスポイントが利用可能な場合は、**複数のアクセスポイント(APN)が使用できません。選択してください。**というメッセージが表示されます。利用可能なアクセスポイント(APN)のリストが表示されます。

- ▶ 希望のアクセスポイント(APN)を選択してください。
- ▶ 外部SIMカードにアクセスポイントが設定されていない場合は、携帯電話プロバイダーにAPNの設定を確認してください。アクセスポイント(APN)の設定をPCMで行うには、**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **電話設定** ▶ **データ接続** ▶ **アクセスポイントを設定**を選択してください。設定をリセットするには、**アクセスポイント設定をリセット**を選択してください。

#### i インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検してください。

- SIMカードのデータ容量が十分ある、および正しく挿入されている。
- SIMカードが損傷していない、および適切に作動している。
- APN設定(インターネットアクセス)が正常である。APN設定は通信事業者に連絡して点検してください。
- 車両が十分ネットワーク受信が可能な場所にある(遮蔽された場所でない)。
- 必要に応じてPCMを再始動してください。

データ接続の設定に関するインフォメーション：  
 ▶ 「データ接続設定」(170ページ)を参照してください。

SIMカードのPIN設定およびその他の電話設定に関するインフォメーション：  
 ▶ 「電話設定の変更」(169ページ)を参照してください。

Bluetooth®を用いて、PCMに携帯電話を接続する方法の詳細については：

- ▶ 「電話」(163ページ)を参照してください。

## 接続の利用

### ポルシェ コネクト サービスを起動する

ポルシェ コネクト サービスを初めて使用する前に、起動 / 設定が必要です。

- ▶ [www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) で、ポルシェ コネクト サービスを起動してください。

### ナビゲーション システムおよびボイス コントロール システムを使用する

✓ 外部 SIM カードにより、データ接続が正常に確立されている。

- ▶ 「接続」(131ページ) を参照してください。
- ナビゲーション目的地、ポータル POI、および他の POI カテゴリー入力のためのオンライン検索機能を、My Porsche から読み込んでください。
- 追加地図画面
- インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関するリアルタイム交通情報

### 「アプリ」メニューのサービスを使用する

✓ 外部 SIM カードにより、データ接続が正常に確立されている。

- ▶ 「接続」(131ページ) を参照してください。

- ▶ **HOME** ボタン ▶ **アプリ**  ▶ 利用可能なサービスが表示されます。

アプリの機能に関する詳細情報：

- ▶ 「ポルシェ コネクト アプリ」(217ページ) を参照してください。

### **i** インフォメーション

- ポルシェ コネクト サービス (カー コネクト サービスを含む、セーフティおよびセキュリティ サービスを除く) は期間はサービスパッケージにより異なりますが、少なくとも3カ月の無料利用期間を提供しております。無料利用期間についての詳細なインフォメーションおよびそれ以降の費用および各サービスの利用についてのインフォメーションは、[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) またはポルシェ正規販売店から入手できます。
- データ利用可能な外部 SIM カードからポルシェ コネクト サービスが利用できます。外部 SIM カードは、携帯電話プロバイダーとの料金ベースの個別契約が必要です。
- お使いの携帯電話の料金体系によっては、インターネットからデータ パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データ プランのご利用をお勧めします。
- サービスの利用可否、範囲およびプロバイダーは年式、機器および使用料金によって異なる場合があります。

## ポルシェ コネクトへのログイン

パーソナル設定を My Porsche から呼び出すためには、一部のサービスについて PCM にペアリングコードを入力する必要があります。

1. **HOME** ボタン ▶ **アプリ**  ▶ **OPT** ボタン
2. **ポルシェ コネクトへのログイン** ▶ **新しいユーザーの作成** ▶ **ペアリングコードを入力**。
3. My Porsche でサービスを正常に作動 / 設定した後に表示されたペアリングコードを入力してください。

## ポルシェ コネクトからのログアウト

✓ ポルシェ コネクト ユーザーが作成されており、登録されている。

1. **HOME** ボタン ▶ **アプリ**  ▶ **OPT** ボタン
2. **ポルシェ コネクトからのログアウト**  
現在ログインしているユーザーをログアウトします。

## コンテンツの更新

- ▶ **HOME** ボタン ▶ **アプリ**  ▶ **OPT** ボタン ▶ **更新**  
購入したサービスのコンテンツが更新されます。

## サービス情報の表示

- ▶ **HOME** ボタン ▶ **アプリ**  ▶ **OPT** ボタン ▶ **サービス情報**  
購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

## WiFi ホットスポット (ワイヤレスインターネットアクセス)の起動

ホットスポットに接続可能な WiFi 機器は最大 8 個です。

✓ 外部 SIM カード経由でデータ接続が確立されている。

1. フッターの  または  (接続状況により異なる) ▶ **ホットスポット** を選択してください。
2. **OK** でメッセージを確認してください。  
PCM の WiFi アクセスデータ (機器名および WiFi パスワード) が表示されます。
3. PCM の WiFi アクセスデータを機器の WiFi 設定に入力してください。  
PCM のワイヤレスインターネットアクセスへの接続が確立されます。

WiFi 設定に関するインフォメーション：

▷ 「WiFi設定の設定」(170ページ) を参照してください。

### インフォメーション

お使いの携帯電話の料金体系によっては、インターネットからデータパッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## セレクターレバーの緊急解除

### 知識

セレクターレバーを緊急解除した場合、車両が固定されずに動き出してしまうため、人身事故や器物の損壊を招く恐れがあります。

- ▶ エレクトリックパーキングブレーキを作動させ、車両が動き出さないように固定してください(車止めを使用するなど)。
- ▶ 「エレクトリックパーキングブレーキ」(202ページ)を参照してください。

PDK 装備車両の電気系統が故障した場合は、セレクターレバーの緊急解除を行ってセレクターレバーを N 位置に動かしてください。

### セレクターレバーの緊急解除

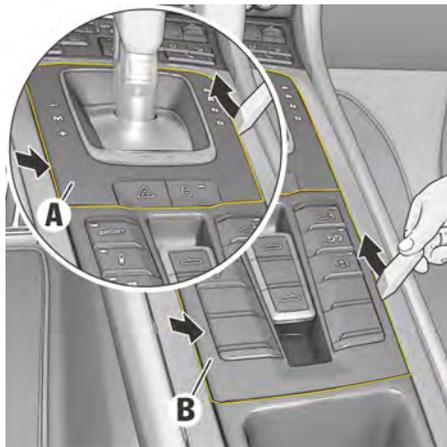


図105：セレクターレバーゲートおよびスイッチモジュールの取り外し

1. 工具セットからプラスチックウェッジを取り出してください。  
 ▶ 「タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) または工具セットの取り外しおよび収納」(257ページ)を参照してください。
2. セレクターレバーゲート A の両側のリヤ部分(矢印)をプラスチックウェッジで慎重にこじるようにして外してください。
3. ダッシュボード B の両側のフロント部分(矢印)をプラスチックウェッジで慎重にこじるようにして外してください。
4. スイッチモジュール B を取り外し、脇によけてください。スイッチモジュールのケーブルを引っ張らないようにしてください。



図106：セレクターレバーロックの解除

5. セレクターレバーロックを押したまま、セレクターレバーを N 位置に動かしてください。

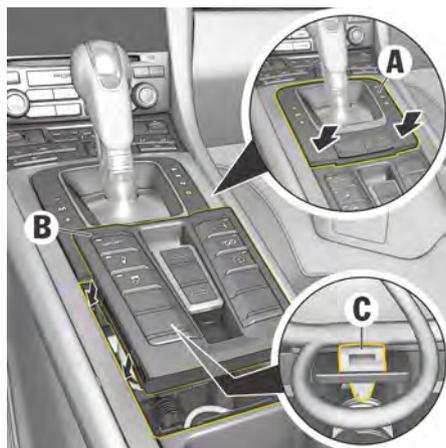


図107：スイッチモジュールおよびセレクターレバーゲートの取り付け

### スイッチモジュールおよびセレクターレバーゲートの取り付け

1. ケーブルクリップ C がセレクターサポートに正しくはまっていることを確認してください。スイッチモジュール B をフロントガイドにはめて、モジュールを完全に差し込み、しっかりと押し込んでください。
2. セレクターレバーゲート A がしっかりとハマるまで押し込んでください。

# セントラルロック

## 概要 - 車外からのドアの開閉 操作とロック

この概要説明は「セントラル ロッキング」に記載されているすべての情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図108：キー

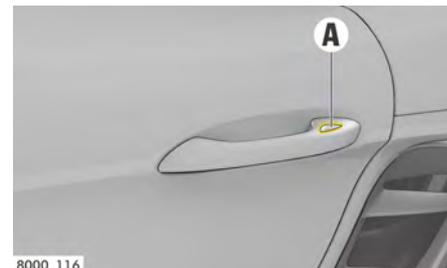


図109：ポルシェ エントリー & ドライブ

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	その結果は?	ページ
<b>ロック解除</b>	キーを使用する： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ キーの  ボタンを押してください。</li> </ul> ポルシェ エントリー & ドライブ 装備車： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ドアハンドルをしっかりと握ってください。</li> </ul>	ハザードライトが1回点滅します。 ドアを開くことができます。	136
<b>ロック</b>	キーを使用する： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ キーの  ボタンを押してください。</li> </ul> ポルシェ エントリー & ドライブ 装備車： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ドアハンドルの近接センサー A に触れてください。</li> </ul>	ハザードライトが2回点滅します。ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。 室内モニタリングシステム 装備車の場合：ドアは、インナー ドアハンドルを引いて車内から開くことができません(セーフロック)。	137
<b>室内モニタリングシステム 装備車両で人/動物を車内に残してロックする：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- セーフロックの作動を無効にする <b>および</b></li> <li>- 室内モニタリングシステムを OFF にする</li> </ul>	キーを使用する場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ キーの  ボタンを2回押してください(約2秒以内)。</li> </ul> ポルシェ エントリー & ドライブ 装備車： <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ドアハンドルにある近接センサー A に2回触れてください(約2秒以内)。</li> </ul>	ハザードライトがゆっくり1回点滅します。ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。	137
<b>アラームシステムのアラーム音を OFF にする</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ キーの  ボタンを押してください。またはイグニッションを ON にしてください。</li> </ul>	アラーム音が OFF になります。	101

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## セントラル ロッキング システムの使用

### **i** インフォメーション

キーを使用するのは、車両が視界に入っているときだけにしてください。

車両装備により、キーまたはポルシェ エントリー & ドライブ 装備車ではキーを使用せずにドアのロックおよびロック解除ができます。

セントラル ロッキング システムは、次の部位をロック / ロック解除します。

- ドア
- フィラー フラップ

### キーを使用する

- ▶ キーのボタンを使用します。

### **i** インフォメーション

ここでは初期設定の機能をもとに説明しています。

ロック / ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

- ▶ 「ドアロック機能を設定する」(242ページ)を参照してください。

### ポルシェ エントリー & ドライブ 装備車<sup>1)</sup>

ポルシェ エントリー & ドライブ 装備車の場合、キーを使用せずにロックおよびロック解除を行うことができます。車両がロックされていてもリッドを開くことができます。

第三者の不正なロック解除および車両の始動を防ぐため、車両キーを使用してポルシェ エントリー & ドライブを一時的に解除することができます。

1) ポルシェ エントリー & ドライブ システムは最先端技術です。しかし、無線キーのキーコードが傍受され、使用されて車両の盗難にあう、といった可能性を完全に排除できていません。

## 車両キーによるポルシェ エントリー & ドライブの解除

1.  ボタンを押し続けてください。
2. 同時に、 ボタンを1秒以内に押し、車両キーのインジケーターライトが継続して点灯するまで両方のボタンを押し続けてください。

車両キーのインジケーターライトが継続して点灯することで、車両キーによる解除を確認できます。

車両キーのボタンを押す、またはコントロールユニットを回転させると、ポルシェ エントリー & ドライブは自動的に起動します。

- ▶ キーを強い電磁波にさらさないください。ポルシェ エントリー & ドライブに悪影響を与える場合があります。

## ドアロックを解除してドアを開く

### ドアのロック解除機能の設定

設定により運転席ドアのみをロック解除する、または助手席ドアも同時にロック解除することができます。

- ▶ 「ドアロック機能を設定する」(242ページ)を参照してください。

選択した設定にかかわらず、両側のドアがロック解除します。

- ▶ キーの  ボタンを5秒以内に2回押ししてください。

## キーによるドアのロック解除



図110：キーによるドアのロック解除

1.  ボタンを押してください。ハザードライトが1回点滅します。ドアロックが解除されます。
2. ドアハンドルを引いてドアを開いてください。

## ポルシェエントリー&ドライブ(キーレス)によるドアのロック解除



図111: ポルシェエントリー&ドライブによるドアのロック解除

✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携帯する

1. ドアハンドルをしっかり握ってください。ハザードライトが1回点滅します。ドアロックが解除されます。
2. ドアハンドルを引いてドアを開けてください。

### i インフォメーション

車両のロックを一定時間以内に解除しなかった場合、ポルシェエントリー&ドライブの作動待機がOFFになります。運転席ドアは96時間後、助手席ドアは36時間後に作動待機がOFFになります。

1. ドアハンドルを1回引くと、ポルシェエントリー&ドライブが作動待機状態に戻ります。
2. ドアハンドルをもう1回引くと、ドアが開きます。

### i インフォメーション

ロックを解除した後、ドアまたはラゲッジコンパートメントリッドを開かなかった場合、30秒後に自動的に再ロックされます。警報システムは起動します。傾斜センサーと室内モニタリングシステムは解除されます(盗難防止機能が制限されます)。

この場合、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。  
▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。再度ロックされた後は、室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーが再び作動します。

### i インフォメーション

エアバッグが作動する事故が起きた場合、救助者が車両に入りやすくするためにドアが自動的にロック解除されます。さらに、ハザードライトも自動的に作動します。

## ドアのロック

### セーフロックの使用(国別仕様による)

セーフロック(室内モニタリングシステム装備車)は、ロックされた車両のインナードアハンドルとセントラルロックボタンを無効にし、不正な車内への侵入を難しくします。



**警告** 車外からのドアのロック

室内モニタリングシステム装備車の場合、車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります(セーフロック)。そのため、ロックする前に車両に人または動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

▶ 車両をロックするときは、車内に人や動物がいないことを確認してください。

## キーによるドアのロック

1. ドアを開けてください。
2.  ボタンを1回押します。ハザードライトが2回点滅します。

### 室内モニタリングシステム(セーフロック)装備車の場合:

インナードアハンドルを引いて、ドアを車内側から開くことはできません。

**室内モニタリングシステム非装備車の場合:** ドアはロックされますが、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

または

### 人や動物を車内に残してロックする場合(ロックされた車両のセーフロックの解除):

- ▶  ボタンを2秒以内に2回押してください。ハザードライトがゆっくり1回点滅します。ドアはロックされますが、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## **i** インフォメーション

- ドアまたはラゲッジ コンパートメント リッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。警告音が鳴り、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。ハザードライトは点滅しません。
- 運転席ドアのみが閉じている状態でロックすると、車両はプリロックされます。
- ▶ 残りのドアまたはラゲッジ コンパートメント リッドをロックするときは、キーを車内に置き忘れていないか確認してください。キーを車内に残したままにすると、スベアキーを使用しなければロックを解除することができなくなります。

## ボルシェ エントリー & ドライブ (キーレス) によるドアのロック

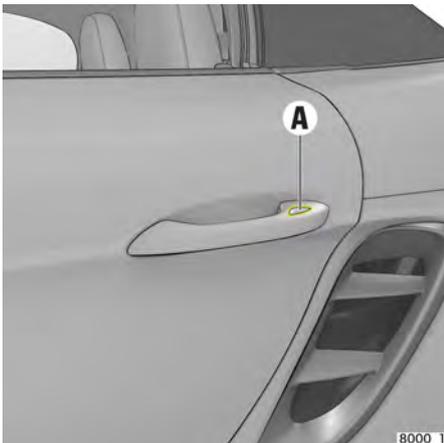


図112：ボルシェ エントリー & ドライブによるドアのロック

- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携帯する

1. ドアを閉じてください。

2. ドアハンドルの近接センサー A に触れてください。

ハザードライトが2回点滅します。

### 室内モニタリング システム (セーフロック) 装備車の場合：

インナー ドアハンドルを引いて、ドアを車内側から開くことはできません。

**室内モニタリング システム非装備車の場合：**ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

または

### 人や動物を車内に残してロックする場合 (ロックされた車両のセーフロックの解除)：

- ▶ ドアハンドルの近接センサー A に2秒以内に2回触れてください。ハザードライトがゆっくり1回点滅します。ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

## **i** インフォメーション

- ロックするときは、ドア ハンドルのタッチセンサーにのみ触れるようにしてください。ロック時にドアハンドルを握った場合、車両のドアはロックできません。
- ドアまたはラゲッジ コンパートメント リッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。警告音が鳴り、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。ハザードライトは点滅しません。
- ドアをロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあるとドアをロックできません。

## 車内からのドアの開閉操作とロック

### ドアのロック



図113：セントラルロックボタン

- ✓ ドアが開まっている。
- ▶  ボタンを押してください。すべてのドアがロックされます。イグニッションがONの場合、ボタンのインジケータライトが点灯します。ドアはインナー ドアハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。

### 自動ドアロック

この機能が有効になっているときは、車両の速度が約5 km/hを超えると自動的にロックされます。

- ▶ 「ドアロック機能を設定する」(242ページ)を参照してください。

## ドアロックの解除

- ▶ ボタンを押してください。  
すべてのドアがロック解除されます。  
ボタンのインジケーターライトが消灯します。

## 自動ドアロック解除

ポルシェ エントリー & ドライブ非装備車：  
キーを抜くと、車両のロックが自動的に解除されます。

ポルシェ エントリー & ドライブ装備車：  
運転席ドアを開くと、車両は自動的にロック解除されます。

- ▶ 「ドアロック機能を設定する」(242ページ)を参照してください。

## **i** インフォメーション

キーまたはスペアキーで車両をロックした場合、セントラルロックボタンでロックを解除することはできません。

## ドアを開く



図114：車内からドアを開く

- A インナードアハンドル
- B ドアの収納ボックス

- ▶ インナードアハンドルAを引いてください(図114)。

## **i** インフォメーション

ドア、フロントおよびリヤラゲッジコンパートメントリッドおよびエンジンコンパートメントリッドは開けられません。

## 緊急ドア操作

キーのリモコンが機能しない場合、リモコンなしでもドアを開閉することができます。  
リモコンが作動しない場合は、以下の原因が考えられます。

- 送信中に電磁波が干渉している場合があります(ポルシェ エントリー & ドライブの場合、キーと車両間の電波接点)。キーと電源の入った電子機器(携帯電話、ノートパソコン、充電ケーブルなど)と一緒に保管しないように注意してください。必要に応じて、キーの保管場所を変更してください。
- リモコンが作動しない場合、故障が原因と考えられます。
- キーのバッテリーが切れている場合があります。
  - ▶ 「キーの電池交換」(73ページ)を参照してください。

## 緊急ドアロック解除



図115：リモコンが故障した場合の緊急解除

- ▶ 助手席側のフロントガラスの外端部にキーを置き、同時に  ボタンを押してください(図115)。

車両のロックがまだ解除できない場合：

1. エマージェンシー キーをキーから取り外ししてください。  
 ▷ 「エマージェンシー キーを使用する場合」(73ページ) を参照してください。



図116：ドアロックシリンダー

2. エマージェンシー キーで運転席ドアのロックを解除し、ドアを開いてください：ドアハンドルを引いたまま保持してください。ドアロックにエマージェンシー キーを挿入し、90° 時計回りに回してエマージェンシー キーを再度抜き取ってください(図116)。
3. ドアハンドルから手を離し、もう 1 回引いてドアを開いてください。
4. 盗難防止警報システムの作動を回避するため、10 秒以内にイグニッションを ON にしてください。

## ボルシェントリー&ドライブ装備車の追加作業：

イグニッションを ON にできない、またはエンジンが始動しない場合は、マルチファンクションディスプレイにメッセージ「**キーが見つからない/故障、キーの位置を変更してください**」が表示されます。

5. コントロールユニットをイグニッションロック位置 0 に戻してください。
6. エンジンを再度始動してください。  
 エンジンが始動しない場合、メッセージ「**キーが見つからない/故障、キーの位置を変更してください**」が再度表示されます。
7. 約 1 秒後、メッセージ「**スイッチ部：左に回す、引き抜く、カギをさす**」が表示されます。
8. コントロールユニットをイグニッションロック位置 0 に戻し、イグニッションロックから取り外してください。  
 ▷ 「エマージェンシー キーを使用する場合」(73ページ) を参照してください。
9. キーを使用してイグニッションを ON にしてください(エマージェンシー キーは除く)。

## 緊急ドアロック

### **i** インフォメーション

緊急ロックをドアに使用する際は、必ずエンジンを停止してください。

- ▶ 運転を開始する前に、ドアのロックを解除してください。

1. エマージェンシー キーをキーから取り外ししてください。  
 ▷ 「エマージェンシー キーを使用する場合」(73ページ) を参照してください。
2. 運転席ドアを開いてください。

3. 運転席ドアのドアハンドルを持ち上げます(図116)。

ドアロックにエマージェンシー キーを挿入し、進行方向と反対に 90° 回してエマージェンシー キーを再度抜き取ってください。

ハザードライトが 2 回点滅して車両がロックされたことを知らせます。

4. ドアハンドルから手を離し、ドアを閉じてください。  
 運転席ドアがロックされます。
5. 助手席ドアの緊急ロックの場合、エマージェンシー キーを運転席ドアのドアロックに再び挿入し、進行方向と反対に 90° 回し、エマージェンシー キーを再び抜き取ります。  
 助手席ドアがロックされます。

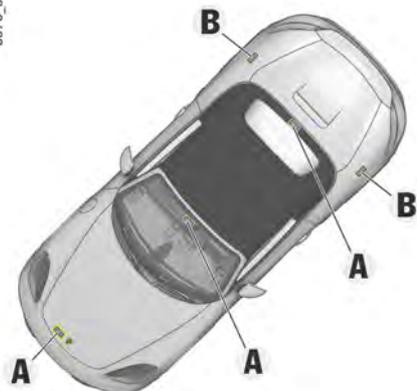
### **i** インフォメーション

セントラル ロッキング システムに異常があるときは、運転席ドアのドアロックにエマージェンシー キーを差し込んでロックすると、正常に機能しているロックのみが作動します。

- ▶ セントラル ロッキング システムの故障を修理してください。
- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ポルシェ・エントリー&ドライブ

8070\_30



### ポルシェ・エントリー&ドライブのアンテナの取り付け位置

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車は、リモート・コントロール付きキーと車両のアンテナが電波で通信することで、ドアやリヤ・リッドをロック/ロック解除できます。

植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器を装着されているお客様へ

#### ⚠ 警告

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室外アンテナAおよび車室内アンテナBから約22cm以内の範囲に、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を近づけないください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## タイヤおよびホイール

タイヤの寿命は、タイヤ空気圧やシャーシ設定以外に、お客様の運転スタイルにも大きく左右されます。

急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使用する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

▷ 「サーキット走行」(13ページ)を参照してください。

### 積載重量と速度

▷ 適切な速度で運転してください。

▷ 車両に規定重量を超える荷物を積まないようにしてください。

▷ 「重量」(281ページ)を参照してください。

### タイヤ空気圧の点検

#### 知識

タイヤ空気圧が不足していると、タイヤが過熱して目に見えない損傷が発生します。

▷ このような損傷が発生した場合は、空気圧を調整しても正常な機能を回復できません。

▷ タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない(空気を抜かない)でください。タイヤの温度が上昇すると、空気圧も上昇します。温度が下がったときに空気圧が不足する原因になります。

8000\_113



図117: ドアシル(ドア開口部)のタイヤ空気圧プレート

タイヤを規定の空気圧に保ってください。タイヤ空気圧は運転席側ドアシル(ドア開口部)にあるタイヤ空気圧プレート(図117)、および本書283ページの「テクニカルデータ」の章に記載されています。タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき(20℃)を基準にしています。

▷ 少なくとも2週間に1回はタイヤの冷間時にタイヤ空気圧を点検してください。

▷ 「タイヤ空気圧モニタリング(TPM)」(142ページ)を参照してください。

### タイヤ空気圧モニタリング(TPM)

タイヤ空気圧モニタリングシステムには次の機能があります。

- タイヤ空気圧および温度を常時監視します。
- 走行中の実際のタイヤ空気圧(実圧力)を表示します。

- 空気圧の低下を2段階(黄色/赤色)で警告します。
- 停車しているとき規定空気圧との差、選択されたタイヤ種類およびコンフォートプレッシャーを表示します。

#### 警告

不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が低いまは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるばかりか、制動距離が長くなったり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧モニタリングシステムの有無にかかわらず、タイヤ空気圧を適切に維持し、タイヤ空気圧メニューを適切に設定することは運転者の責務です。

▷ 装着タイヤに合わせてタイヤ空気圧を調整してください。

▷ 「タイヤ空気圧」(286ページ)を参照してください。

▷ マルチファンクションディスプレイのタイヤ圧力(TPM)メニューの設定が、車両に装着されているタイヤと一致していることを確認してください。

タイヤを交換したときは、タイヤ空気圧メニューの設定を更新してください。

▷ タイヤ/ホイールを交換したときは、新しく装着したタイヤ/ホイールの種類とサイズが従来と同一であっても、マルチファンクションディスプレイで改めて選択しなければなりません。

▷ マルチファンクションディスプレイへの入力情報が不足していたり、タイヤの選択を誤ると、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼします。

**警告**

不適切なタイヤ空気圧

- ▶ マルチファンクション ディスプレイに赤色のタイヤ空気圧警告が表示された場合は、速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。
- ▶ 「パンクしたとき」(195ページ)を参照してください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。  
ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 空気圧を調整しても短時間で空気が抜ける場合、そのタイヤでの運転を続けしないでください。ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。  
ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメントパネルのタイヤ空気圧警告灯  が点灯し、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

- ▶ 故障が継続する場合：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

以下の場合には監視が不完全になる場合があります。

- タイヤ空気圧モニタリングシステムが故障している場合
  - タイヤ空気圧モニタリングシステム用のホイールトランスミッターが取り付けられていない場合
  - タイヤの設定を更新した直後の登録プロセス中
  - ホイールを交換した後、設定を更新しなかった場合
  - タイヤの温度が高すぎる場合
- ▶ 「警告および情報メッセージ」(82 ページ)を参照してください。
- ▶ 「警告灯および表示灯」(40 ページ)を参照してください。



図118：タイヤ空気圧表示

- ▶ **タイヤ圧力メニュー**を選択します。

この空気圧表示は、情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

- ▶ いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

**タイヤ空気圧の確認**

**i** インフォメーション

**i** インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリングシステムは、自然放散による空気圧低下や、タイヤに異物が刺さったときなどの空気圧のゆっくりとした低下を検出して警告します。  
突発的な外的要因によるタイヤのパンクなど、急激な空気圧の低下は検出できず、警告しません。

**タイヤ空気圧モニタリングシステムの故障**

故障が発生すると、タイヤ空気圧モニタリングシステムはタイヤ空気圧の監視を行うことができません。

イグニッションを ON にした後、車両の速度が約 25 km/h を超えたときのみタイヤ空気圧が「登録」されて表示されます。空気圧を表示するまではダッシュ記号「-」を表示します。イグニッションを OFF にするか再度 ON にした場合、または車両を約 10 分以上停止した場合、タイヤ空気圧は表示されなくなります。タイヤに 0.1 bar 以上の空気を補充した場合、該当するタイヤ空気圧が更新されて表示されます。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## 充填情報を見る

8070\_8



図119：圧力差の例

✓ 車両が停止している。

### ▶ タイヤ圧力 ▶ 充填情報

該当するホイールの規定圧との差が表示されます。

例：右リヤ ホイールの位置に「-0.1 bar」と表示された場合は、このタイヤに0.1 barの空気を補充してください。

表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

▶ タイヤ空気圧を補正するときは、充填情報ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される圧力差を必ず使用してください。

タイヤをまだ登録していない場合、現在の圧力差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

▶ 「タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) の登録」(145ページ)を参照してください。

## タイヤ種類の選択(装着タイヤの種類とサイズ)

### i インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデルタイプにより異なります。このため本書で説明している選択項目の中には、マルチファンクションディスプレイで利用できないものが含まれることがあります。

▶ マルチファンクションディスプレイに登録されていないサイズのタイヤを装着するときは、そのタイヤを装着する前に、マルチファンクションディスプレイに不足情報を追加する必要があります。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ ポルシェ社が承認したタイヤのみを使用してください。

✓ 車両が停止している。

### ▶ タイヤ圧力 ▶ タイヤ種類。

### 選択できる設定と略語：

- 18" サマー：18" (S)
- 18" ウィンター：18" (W)
- 19" サマー：19" (S)
- 19" ウィンター：19" (W)
- 20" サマー：20" (S)

タイヤ圧力メインメニューの**タイヤ種類**の行に選択された設定の略語が表示されます。

### コンフォートまたは標準プレッシャーの選択

✓ 停車しているとき

### ▶ タイヤ圧力 ▶ コンフォートプレッシャー

- **コンフォート**：  
コンフォートプレッシャーが選択されます。
- **コンフォート**：  
標準プレッシャーが選択されます。

### i インフォメーション

タイヤ空気圧は乗り心地の快適性を向上させるために減圧することができます。「コンフォート」を選択した場合、空気圧モニタリングシステムは空気圧をモニターして自動的に低いプレッシャー値を使用します。

- ▶ コンフォートプレッシャーまたは標準プレッシャーにタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ 「充填情報を見る」(144ページ)を参照してください。
- ▶ 「タイヤ空気圧」(286ページ)を参照してください。

### タイヤ空気圧速度警告

設定したコンフォートプレッシャーの制限速度を超えたり、タイヤ空気圧が危険限界を下回ったりすると、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。

### ▲ 警告

コンフォートプレッシャーでの制限速度を超過して走行する

コンフォートプレッシャーでの制限速度を超過して走行するとタイヤおよびホイールの損傷につながります。

- ▶ 表示された最大速度まで車速を落としてください。
- ▶ 高速走行するときは、タイヤ空気圧を標準タイヤ空気圧まで充填してください。

▶ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

## タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM)の登録

タイヤ/ホイールを交換、ホイールトランスミッターを交換、またはタイヤの設定を更新すると、タイヤ空気圧モニタリングシステムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリングシステムが各タイヤとその装着位置を認識します。タイヤ空気圧モニタリングシステムが各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。

登録中に冷間時のタイヤ (20°C) の規定圧力が充填情報に表示され、**タイヤ圧力のモニタリングなし、システム学習 25 km/h 以上**というメッセージがマルチファンクションディスプレイに表示されます。

すべてのタイヤの登録が完了するまで、インストルメントパネルの**タイヤ空気圧警告灯** (⚠) が点灯したままになります。

▶ 「警告灯および表示灯」(40ページ)を参照してください。

## タイヤ空気圧警告

インストルメントパネルの**タイヤ空気圧警告灯** (⚠)、および**マルチファンクションディスプレイ**の警告メッセージは、空気圧低下の程度に応じて2段階(黄色/赤色)で異常を知らせます。

## i インフォメーション

タイヤ空気圧を適正值に調整すると、**タイヤ空気圧警告灯** (⚠) が消灯します。

車両を停止して**イグニッション**をOFFにする、または再び**イグニッション**をONにすると、黄色の**タイヤ空気圧警告**が約10秒間表示されます。**イグニッション**をONにすると、黄色の**タイヤ空気圧警告**を確認できます。赤色の**空気圧警告**は走行中でも表示され、異常を知ることができます。

▶ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

## タイヤ空気 の 充填

**▲ 注意** 高温の充填ホース

タイヤに空気を充填する間、コンプレッサーの充填ホースが高温になり、やけどの原因となります。

▶ 作業用手袋を着用してください。

コンプレッサーはフロントラゲッジコンパートメント内のカバーの下にあります。

▶ 「**タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納**」(258ページ)を参照してください。

▶ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。

1. 充填ホースをタイヤバルブにねじ込んでください。
2. コンプレッサーを車両のソケットに接続し、コンプレッサーをONにしてください。タイヤに空気が充填されます。
3. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であれば調整してください。もう1回**タイヤ空気圧**を点検してください。
4. コンプレッサーをOFFにしてください。
5. コンプレッサーの充填ホースを**タイヤバルブ**から取り外してください。

## i インフォメーション

また、ガソリンスタンドでも**タイヤ空気圧**の点検、および**タイヤ**に空気の充填ができます。

## タイヤ空気圧を下げる

1. コンプレッサーをOFFにしてください。
2. 充填ホースのエア抜きスクリューを規定の**タイヤ空気圧**になるまで開いてください。

## タイヤ表記の読み取り



図120: タイヤ表記

- A タイヤ幅(mm)
- B 偏平率(%)
- C タイヤ構造記号
- D リム径(インチ)
- E ロードインデックス
- F 速度記号

速度記号Fは、そのタイヤの許容最高速度を示します。

H 210 km/h まで V 240 km/h まで

W 270 km/h まで Y 300 km/h まで

(Y) 300 km/h まで (Y記号タイヤの場合)。タイヤのロードインデックス(最大積載容量)の85%までを積載した状態で300 km/h以上の速度で走行することが可能です(300 km/h以上で走行する場合はタイヤメーカーの確認が必要です)。

## ホイール表記の読み取り

ホイールの情報は、タイヤバルブの近くのホイールスポーク裏面に刻印されています。



図121：ホイール表記

- A リム幅(インチ)
- B リムフランジ形状記号
- C ドロップセンターリム記号
- D リム径(インチ)
- E ダブルハンプ
- F リムオフセット(mm)

## タイヤ損傷の点検



**警告**

見えないタイヤ損傷とリムフランジの損傷

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト(破裂)する恐れがあります。

- ▶ 定期的にタイヤの状態(側面も含めて)を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがないか確認してください。
- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体(石など)に強くぶつかったり乗り上げたりしないように注意してください。
- ▶ ホイールを損傷した可能性があるとき(特に内側)は、専門家による点検を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合に限り1回のみ、最寄りの修理工場までの短距離移動を可能にします。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください。

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき。
- タイヤ空気圧が不足しているときや損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、異常な負荷がかかったりした可能性があるとき。

## タイヤおよびリムの交換

- ▶ ホイールを交換するときは、イグニッションをOFFにしてください。



**警告** グリップしない

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- ▶ 最初の200 kmは、控えめな速度で走行して新しいタイヤを慣らしてください。これによりタイヤ寿命を伸ばし性能を最大限に引き出すことができます。

- ▶ 4 輪に装着するタイヤは同一メーカーの同一仕様(「N...」など)に統一してください。
- ▶ 新しいタイヤを取り付ける前に、最新の認可事情についてポルシェ正規販売店にお尋ねください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▶ ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- ▶ 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は30%を超えないようにしてください。
- ▶ 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- ▶ トレッド溝の深さの差を原因とする不必要な車両操作への影響を避けるため、同一アクスル上の両方のタイヤは必ず同時に交換してください。
- ▶ タイヤの交換は、必ず専門の整備工場で実施してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。



### インフォメーション

新しいホイールには、タイヤ空気圧モニタリング(TPM)のタイヤ空気圧センサーを取り付けなければなりません。

- ▶ この車両のTPMシステムに適合するホイールであることを確認してください。適正ホイールとTPMに関する情報：ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▶ タイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を点検してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

### **i** インフォメーション

フロントまたはリアタイヤのみを交換した場合は、前後タイヤのトレッド溝の深さに差があるため、それまでの走行とはっきりした違いが感じられます。この違和感は特にリアタイヤを交換した場合に顕著になります。この違和感は、走行距離が伸びるにつれて次第に減少します。

## バルブおよびバルブ キャップの点検と交換

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用のポルシェ純正バルブのみを使用してください。
- ▶ タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブ キャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- ▶ バルブ インサートの汚れを防ぐため、必ずバルブ キャップをしっかりと閉めてください。バルブが汚れると、タイヤ空気圧減少の原因となります。
- ▶ 紛失した場合は、直ちに新しいバルブ キャップを取り付けてください。

- ▶ プラスチック製のバルブ キャップのみを使用してください。

## ウィンター タイヤを使用する



**警告**

最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバースト (破裂) する恐れがあります。

- ▶ タイヤの最高許容速度を守ってください。
- ▶ タイヤの側面に「M+S」の表示があるタイヤに限り、許容最高速度がこの車両の最高速度に満たないウィンター タイヤを装着できます。オール シーズンおよびオールラウンド タイヤも速度制限の対象となり、これが表示されています。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ マルチファンクションディスプレイで最高許容速度を制限速度として設定する：
  - ▷ 「制限速度の設定」(234ページ) を参照してください。

- ▶ 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウィンター タイヤを装着してください。
- ▶ ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- ▶ 新しいタイヤに交換する前に、最新の承認タイヤについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

### **i** インフォメーション

このようなタイヤを気温が低い時に使用し続けると、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にジャダー ノイズが発生することがあります。

サマータイヤの走行性能は、気温が7°Cを下回ると低下し、快適性も損なわれます。このため、ポルシェ社では気温が7°Cを下回る時期にはウィンタータイヤへの交換を推奨しています。更に外気温度が極端に低くなると(-15°C以下)、サマータイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウィンタータイヤは、トレッド溝深さが4 mm以下になると性能が低下します。

## スノーチェーンを使用する

スノーチェーンはリアタイヤのみに装着してください。また「テクニカルデータ」の章のリストを参照して、スノーチェーンの装着に適したタイヤ/ホイールを使用しなければなりません。

- ▶ スノーチェーンとホイールハウジングのクリアランスを十分に確保するため、ポルシェ社が承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- ▷ 認定スノーチェーンに関するインフォメーション：「タイヤとホイール」(283ページ) を参照してください。
- ▶ スノーチェーンを装着する前に、ホイールハウジングの内側にこびりついた雪や氷を取り除いてください。
- ▶ 最高速度については各国の法規に従ってください。

## タイヤトレッドの点検

- ▶ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。
- ▶ 多くのタイヤはトレッド中央分にウェアインジケーターを備えています。ウェアインジケーターは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の1.6 mmになると現れます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

安全のため、ウェア インジケーターが現れる前にタイヤを交換してください。ウインタータイヤは、トレッド溝の深さが4 mm 以下になると性能が低下します。

## トレッド溝の深さの測定

- ▶ 市販のトレッド溝ゲージまたはキャリパーをタイヤトレッドに挿入し、タイヤトレッドの深さを測定してください。

## i インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## タイヤの保管

- ▶ タイヤは、常に乾燥した冷暗場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- ▶ 外気温が -15 °C 以下の場所にサマータイヤを保管したり、またはサマータイヤ装着車を駐車したりしないでください。
- ▶ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。
- ▶ 製造から6年以上が経過したタイヤは**使用しないでください**。年数が経過すると、ゴムに弾性を与えるために添加している化学添加物の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかります。たとえば、コードの下4桁が「3015」の場合、2015年の第30週に製造されたタイヤです。

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ホイールのバランス調整

安全で快適なドライブを楽しんでいただくために、サマータイヤは春に、M+S付きのタイヤは冬に入る前にホイールバランスの調整を受けてください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ホイール交換



警告

車両の下に入っての作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ▶ ジャッキ アップしてタイヤを交換する前に、すべての乗員を降ろしてください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両が斜面(上り坂や下り坂など)や道路脇に駐車されている場合は絶対にジャッキアップしないでください。
- ▶ ジャッキは、ホイール交換時に車両を持ち上げるためのみに使用してください。
- ▶ やむを得ず車体の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。ジャッキで車体を支えるのは危険ですのでおやめください。

## i インフォメーション

前輪と後輪のタイヤ / ホイール サイズは異なります。

ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

- ▶ 認可されたサイズの前輪 / 後輪用ホイール / タイヤを必ず使用してください。

## ホイール取り付け面のお手入れ

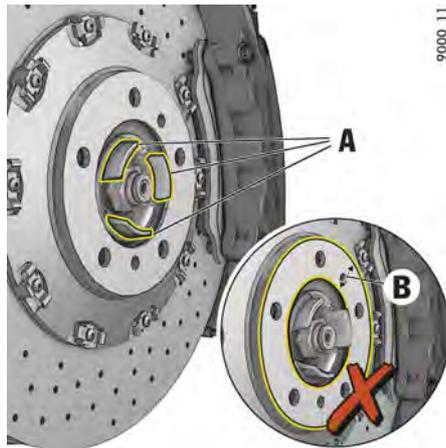


図122：ホイール取り付け面

## i インフォメーション

ホイール交換に必要な工具(ジャッキ、ホイールボルトレンチ、組み付け補助工具など)は車両に標準装備されておりません。

必要となる工具に関する情報：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ▶ ブレーキ ディスクのホイール取り付け面 B およびホイール本体の取り付け面に**油脂類を塗布しないでください。**
- ▶ A 部分のみに油脂類を塗布できます。この部分には Optimoly® TA グリースを薄く塗布してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。他の油脂類は使用しないでください。

ホイール ボルトのお手入れ

- ▶ ホイール ボルトは取り付ける前に、必ず清掃してください。
- ▶ ホイール ボルトには油脂類を塗布しないでください。
- ▶ 損傷したホイール ボルトは交換してください。この車両専用のポルシェ純正ホイールボルト、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- ▶ ホイール ボルトは160Nmの締め付けトルクで締め付けてください。

盗難防止ホイール ボルトの使用



図123：盗難防止ホイール ボルト アダプター

盗難防止ホイール ボルト用アダプターは、工具セットに収納されています。

- ▶ 盗難防止ホイール ボルトを脱着するときは、このアダプターをホイール ボルトとホイール ボルト レンチの間に入れて使用してください。
- ▶ アダプターを取り付けるときは、ホイールボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

ホイール交換

車両の準備

1. マニュアルトランスミッション装備車：1速ギヤ。  
または  
PDK 装備車：セレクター レバーを P 位置に入れてください。
2. エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
3. キーを抜き取ってください。ポルシェ エントリー & ドライブ 装備車：リモート コントロール ユニット。
4. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
5. 取り外すホイールのボルトを少しだけゆるめてください。
6. 車両のリフト アップは必ず所定のジャッキアップポイントで行ってください。  
▷ 「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」(116ページ)を参照してください。
7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## ホイール交換



図124：組み付け補助工具

1. PCCB非装備車:ホイール ボルト A を取り外してください(図124)。  
**または**  
PCCB装備車:ホイール ボルト A および B を取り外してください(図124)。
2. 取り外したホイール ボルトの代わりに、ホイール取り付け補助工具(図124)をねじ込んでください。

### 知識

正しくホイール交換を行わないと、ブレーキディスクを損傷する恐れがあります。特にPCCB 装備車の場合は注意してください。

- ▶ ホイールを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。

3. 残りのホイール ボルトを取り外してください。
4. 交換するタイヤを外し、新品のタイヤを取り付けてください。
  - ▷ 「ホイール取り付け面のお手入れ」(148ページ)を参照してください。
  - ▷ 「ホイール ボルトのお手入れ」(149ページ)を参照してください。
5. ホイール ボルトを挿入し、対角線方向の順に少しだけ締め付けてください。
6. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイール ボルトを仮締めしてください。すべてのホイール ボルトを対角線方向の順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。
  - ▷ 「タイヤ空気圧」(286ページ)を参照してください。
8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイール ボルトを対角線方向の順に完全に締め付けてください。  
**ホイール ボルトを締め付けたら、直ちにトルクレンチを使用してホイール ボルトを160 Nm の締め付けトルクで増し締めしてください。**

### i インフォメーション

ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリングシステム(TPM)の設定をマルチファンクションディスプレイで更新する必要があります。

- ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング(TPM)」(142ページ)を参照してください。

## チャイルドシート

### ⚠ 危険

チャイルドシート装置の誤った使用

チャイルドシートを正しく使用しなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。車種に適さないチャイルドシートを使用した場合、またはチャイルドシートを車両に正しく取り付けていない場合は、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ フルバケットシートではチャイルドシートを使用しないでください。
  - ▶ 「各種シートへのチャイルドシートの取り付け」(157ページ)を参照してください。
- ▶ チャイルドシートは道路交通法に従って使用してください。
- ▶ ポルシェ社が推奨するチャイルドシートのみを使用してください。ポルシェ社推奨のチャイルドシートは、ポルシェ社がテストを実施し、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。推奨外のチャイルドシートはテストされておらず、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- ▶ チャイルドシートを助手席で使用する前に、必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。

ポルシェ社では、ポルシェテクニク製品製のチャイルドシートを使用することを推奨いたします。取り付け方法に関するインフォメーション：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。

- ▶ 「チャイルドシートの使用(シートベルトによる固定)」(153ページ)を参照してください。
- ▶ 「推奨するチャイルドシートの使用(ISOFIXシステムによる固定)」(155ページ)を参照してください。

### ⚠ 危険

助手席でのチャイルドシートの使用

助手席エアバッグは、ある程度の体格と最低限の体重のある乗員にのみ保護効果を発揮しません。チャイルドシートを助手席に取り付けた場合、または小柄な乗員が助手席に乗り込んでいる場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けるときは、必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。
  - ▶ 助手席とチャイルドシートが確実に接するように助手席のシートバックレストの角度を調節してください。
- 
- ▶ 「助手席エアバッグのON/OFF - 助手席エアバッグOFF警告灯」(157ページ)を参照してください。
  - ▶ チャイルドシートを取り付けるときは、常にシートヒーターのスイッチをOFFにしてください。



図125：サンバイザーのエアバッグ警告ラベル

- ▶ エアバッグの警告ステッカー A は、剥がしたり、表面を汚したり、読み取りができない状態にしたりはしないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## チャイルドシートの体重グループによる分類



SF1-529

図126：チャイルドシートのECEラベルの例

- A サイズ分類
- B 「汎用(ユニバーサル)」または「準汎用(セミユニバーサル)」マーク
- C 体重グループ

### 体重グループ0、0+のお子様：

13 kg まで

この体重グループのお子様は、**後ろ向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを必ず使用してください。

### 体重グループIのお子様：

9～18 kg

この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを必ず使用してください。

### 体重グループIIのお子様：

15～25 kg

この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを必ず使用してください。

### 体重グループIIIのお子様：

22～36 kg

この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルドシートを必ず使用してください。

## チャイルドシートの使用(シートベルトによる固定)

## 推奨するチャイルドシート(シートベルトによる固定)

▷ 「チャイルドシートの使用(シートベルトによる固定)」(154ページ)を参照してください。

体重グループ	メーカー	形状	承認番号	ポルシェ部品番号	助手席への取り付け
<b>グループ0</b> および0+： 13 kg まで	Britax-Römer	ポルシェ ベビー シート G0+	E1 04301146	955.044.805.84	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 後ろ向きに取り付ける</li> <li>- 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節する</li> <li>- 助手席エアバッグが OFF の場合のみ</li> </ul>
<b>グループI</b> ： 9～18 kg	Britax-Römer	ポルシェ ジュニ アシート ISOFIX G1	E1 04301199	955.044.806.09	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 前向きに取り付ける</li> <li>- 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節する</li> <li>- 助手席エアバッグが OFF の場合のみ</li> </ul>
<b>グループII</b> ： 15～25 kg	Britax-Römer	ポルシェ ジュニ アプラス G2 + G3	E1 04301169	955.044.806.19	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 前向きに取り付ける</li> <li>- 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節する</li> <li>- 助手席エアバッグが OFF の場合のみ</li> </ul>
<b>グループIII</b> ： 22～36 kg	Britax-Römer	ポルシェ ジュニ アプラス G2 + G3	E1 04301169	955.044.806.19	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 前向きに取り付ける</li> <li>- 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節する</li> <li>- 助手席エアバッグが OFF の場合のみ</li> </ul>

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## チャイルドシートの使用 (シートベルトによる固定)

下表は、ECE-R16 規格を遵守し、シートベルトで固定して使用できるチャイルドシートの概要です。

「汎用 (ユニバーサル)」/ 「準汎用 (セミユニバーサル)」のマークは、チャイルドシートの ECE ラベル (オレンジ色) に表示されています (図126)。

体重グループ	チャイルドシートの助手席での使用 <sup>1)2)</sup>
グループ 0： 10 kg まで	U/L
グループ 0+： 13 kg まで	U/L
グループ I： 9～18 kg	U/L
グループ II： 15～25 kg	U/L
グループ III： 22～36 kg	U/L

1) 助手席エアバッグが OFF の場合のみ。153 ページの助手席へのチャイルドシート取り付けに関する注意事項を参照してください。

2) 助手席シートをいっぱいまで後方、**上方**に調節すること。

U：この体重グループに属する「汎用 (ユニバーサル)」のチャイルドシートの取り付けに適しています。

L：153 ページに記載されている特定のチャイルドシートの取り付けに適しています。

## 推奨するチャイルドシートの使用 (ISOFIX システムによる固定)

### 推奨するチャイルドシート (ISOFIX システムによる固定)

「チャイルドシートの使用 (ISOFIX システムによる固定)」(156ページ) を参照してください。

体重グループ	メーカー	形状	承認番号	ポルシェ部品番号	助手席への取り付け
<b>グループ 0</b> および 0+ : 13 kg まで	Britax-Römer	ポルシェ ベビー シート G0+ <b>使用部品 :</b> ISOFIX ベース	E1 04301146	955.044.805.84 <b>使用部品 :</b> 955.044.805.97	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 後ろ向きに取り付ける</li> <li>- 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節する</li> <li>- 助手席エアバッグが OFF の場合のみ</li> </ul>
<b>グループ I :</b> 9~18 kg	Britax-Römer	ポルシェ ジュニア シート ISOFIX G1	E1 04301199	955.044.806.09	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 前向きに取り付ける</li> <li>- 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節する</li> <li>- 助手席エアバッグが OFF の場合のみ</li> </ul>
<b>グループ II :</b> 15~25 kg	Britax-Römer	ポルシェ ジュニア プラス ISOFIX G2 + G3	E1 04301198	955.044.806.18	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 前向きに取り付ける</li> <li>- 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節する</li> <li>- 助手席エアバッグが OFF の場合のみ</li> </ul>
<b>グループ III :</b> 22~36 kg	Britax-Römer	ポルシェ ジュニア プラス ISOFIX G2 + G3	E1 04301198	955.044.806.18	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 前向きに取り付ける</li> <li>- 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節する</li> <li>- 助手席エアバッグが OFF の場合のみ</li> </ul>

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## チャイルドシートの使用 (ISOFIX システムによる固定)

下表は、ECE-R16 規格に従って ISOFIX システムで固定して使用できるチャイルドシートの概要です。

「汎用 (ユニバーサル)」または「準汎用 (セミ ユニバーサル)」のマークは、チャイルドシートの ECE ラベル (オレンジ色) に表示されています。

体重グループ	サイズ分類	固定具	助手席シートの ISOFIX リテーニングラグ <sup>1) 2) 3)</sup>	
ベビーシート (左向きまたは右向きチャイルドシート)	F	ISO/L1	X	
	G	ISO/L2	X	
グループ 0 : 10 kg まで	E	ISO/R1	IL/SU	
	グループ 0+ : 13 kg まで	E	ISO/R1	IL/SU
		D	ISO/R2	IL/SU
グループ 1 : 9~18 kg	C	ISO/R3	X	
	D	ISO/R2	IL/SU	
	C	ISO/R3	X	
	B	ISO/F2	IL/SU	
	B1	ISO/F2X	IL/SU	
グループ II : 15~25 kg	A	ISO/F3	IL/SU	
			IL/SU	
グループ III : 22~36 kg			IL/SU	

1) 助手席エアバッグが OFF の場合のみ。155 ページの助手席へのチャイルドシート取り付けに関する注意事項を参照してください。

2) 助手席シートをいっぱいまで後方、**上方**に調節すること。

3) **助手席シート**に ISOFIX 用のリテーニングラグが装備されている場合、「準汎用 (セミ ユニバーサル)」のチャイルドシートが取り付けに適しています。チャイルドシートに付属の車両リストおよびボルシェ社が推奨するチャイルドシート (155 ページ) を参照してください。

X : このサイズ分類のチャイルドシートには適していません。

SU : 「準汎用 (セミ ユニバーサル)」 ISOFIX システム認証のチャイルドシートの取り付けに適しています。チャイルドシートに付属の車両リストを参照してください。

IL : 155 ページに記載されている特定の ISOFIX チャイルドシートに適しています。

## チャイルドシートの取り付け 各種シートへのチャイルドシートの取り付け



図127：フルバケットシート

フルバケットシート(図127)ではチャイルドシートを使用しないでください。

その他の種類のシートでは、推奨するチャイルドシートが使用できます。

- ▶ 「シート」(110ページ)を参照してください。
- ▶ 「推奨するチャイルドシート(シートベルトによる固定)」(153ページ)を参照してください。
- ▶ 「推奨するチャイルドシート(ISOFIXシステムによる固定)」(155ページ)を参照してください。

### ベビーキャリア

サイズ分類FおよびGの左向きまたは右向きタイプのチャイルドシート(ベビーキャリアなど)は、いかなるシートにも使用できません。

- ▶ 「チャイルドシートの使用(ISOFIXシステムによる固定)」(156ページ)を参照してください。

ボルシェ社では、ボルシェテクイップメント製品のチャイルドシート(ボルシェベビーシートISOFIX GO+など)を使用することを推奨いたします。

- ▶ 「推奨するチャイルドシート(シートベルトによる固定)」(153ページ)を参照してください。
- ▶ 「推奨するチャイルドシート(ISOFIXシステムによる固定)」(155ページ)を参照してください。

### 助手席エアバッグのON/OFF - 助手席エアバッグOFF警告灯



図128：助手席エアバッグのON/OFF

1. イグニッションをOFFにしてください。
2. グローブボックスを開いてください。
3. エマージェンシーキーをキーから取り外してください。

- ▶ 「エマージェンシーキーを使用する場合」(73ページ)を参照してください。

### 知識

助手席エアバッグスイッチまたはエアバッグシステムが損傷することがあります。

- ▶ エマージェンシーキーは、キースイッチに入るところまで差し込んでから回してください。大きな力をかけずにキースイッチを回してください。
- ▶ 助手席エアバッグは、イグニッションがOFFのときにのみ、ONまたはOFFに切り替えてください。

4. エマージェンシーキーは、キースイッチに入るところまで差し込んでください。エマージェンシーキーの歯がキースイッチ内に約3/4まで挿入されます。
5. エマージェンシーキーに大きな力をかけずに回し、助手席エアバッグをOFF(解除)またはON(作動)にしてください。  
**助手席エアバッグOFF警告灯が点灯します。**

### ⚠ 危険

助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キースイッチにエマージェンシーキーを挿入したまま走行すると、振動によりエマージェンシーキーが不意に回転してエアバッグが作動する恐れがあります。

- ▶ エマージェンシーキーをキースイッチに挿入したまま走行しないでください。

6. エマージェンシーキーをキーから取り外してください。
7. グローブボックスを開いてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ⚠ 危険

助手席エアバッグを  
OFFにする

助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合のみ、助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

## i インフォメーション

助手席エアバッグをOFFにするキースイッチ、**助手席エアバッグOFF警告灯**、および助手席のISOFIXアタッチメントブラケットは、特定の装備仕様にのみ取り付けられています。ポルシェ正規販売店でオプションとして装着してください（フルバケットシート装備車には取り付けができません）。このシステムを取り付けた場合、助手席シートバックレストの調節範囲が制限されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席側（シート2）エアバッグをOFFにした場合、イグニッションをONにしたとき、またはエンジン作動中にオーバーヘッドコンソールの**助手席エアバッグOFF警告灯**が常時点灯します。

8093\_42



図129：助手席エアバッグOFF警告灯

## ⚠ 危険

助手席エアバッグの  
故障と作動不良

助手席エアバッグをOFFにして、イグニッションをONにしたときに**助手席エアバッグOFF警告灯**が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ISOFIXチャイルドシートの取り付け

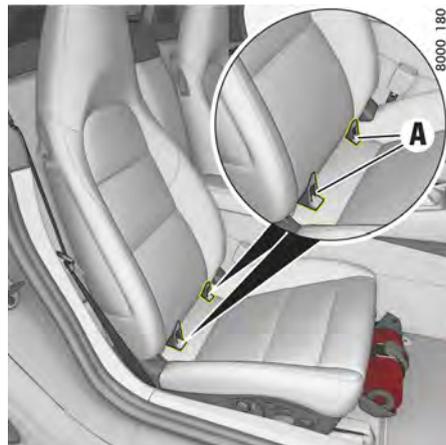


図130：助手席シートのISOFIXチャイルドシート

- ▶ 「推奨するチャイルドシート（ISOFIXシステムによる固定）」（155ページ）を参照してください。
- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

ISOFIXチャイルドシートを固定するリテーニングラグAの位置を示すマークは、助手席のシート面にあります（装備によって異なります）。

1. エマージェンシーキーを使用して、助手席エアバッグをOFFにしてください。オーバーヘッドコンソールの**助手席エアバッグOFF警告灯**が点灯します。
  - ▶ 「助手席エアバッグのON/OFF - 助手席エアバッグOFF警告灯」（157ページ）を参照してください。

8000\_180



図131：ISOFIX システム付きチャイルドシートの取り付け

- 2 チャイルドシートを付属の説明書に従ってリテーニングラグ A に固定してください。
- 3 チャイルドシートを引っ張って、両側のリテーニングラグに確実に固定されているか点検してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## テストスタンドでの測定

### ⚠ 警告

有毒な排気ガスの吸引

排気ガスを吸引して中毒を起こす恐れがあります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

- ▶ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

### ⚠ 警告

不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップポイント(図84、図85)で持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。
- ▶ 車両をジャッキアップした後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

## テストスタンド測定の実施

### パフォーマンステスト

ポルシェ社ではローラータイプテストスタンドでのパフォーマンステストを承認していません。

### ブレーキテストの実施

- ▶ ブレーキテストには、ローラータイプテストスタンドのみを使用してください。

以下の制限値を超えないでください。

- テスト速度：7.5 km/h
- 測定時間：20 秒

### 電気式パーキングブレーキのテスト

- ▶ ブレーキテストスタンドで電気式パーキングブレーキのテストを行うときは必ずイグニッションをONにし、マニュアルトランスミッション車ではギヤシフトレバーをニュートラルに、Porsche Doppelkupplung (PDK) 装備車はセレクトレバーをNの位置にします。

車両が自動的にブレーキテストモードに切り替わり、電気式パーキングブレーキのテストが可能になります。マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## デバイスマネージャー デバイスマネージャーを開く



図132：デバイスマネージャーを開く

- ▶ フッターの または (接続状態により異なる) を選択してください。  
または  
**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **デバイスマネージャー** を選択してください。

以下の接続は、デバイスマネージャーを使用して集中管理できます。

- **電話**：PCM を携帯電話に Bluetooth® で接続してください。
  - ▶ 「携帯電話を Bluetooth® で接続する（携帯電話の準備）」(164ページ) を参照してください。
  - ▶ 「別の携帯電話を接続して使用する」(165ページ) を参照してください。
- **Bluetooth オーディオ**：PCM を外部 Bluetooth® メディアソースに接続してください。
  - ▶ 「外部機器を Bluetooth® 経由で接続する」(225ページ) を参照してください。

- **データ接続設定**：外部 SIM カード経由でデータ接続を確立します。
  - ▶ 「接続」(131ページ) を参照してください。
- **ホットスポット**：PCM のワイヤレスインターネットアクセスを利用する
  - ▶ 「WiFi ホットスポット（ワイヤレスインターネットアクセス）の起動」(133ページ) を参照してください。
- **ポルシェ コネクトアプリ**：アプリを PCM に WiFi 経由で接続します。
  - ▶ 「ポルシェ コネクトアプリ」(217ページ) を参照してください。
- **スマートフォンリンク**：Apple CarPlay を使用します。
  - ▶ 「Apple CarPlay」(274ページ) を参照してください。

### 接続ステータスの表示

- ▶ 「接続ステータスの表示」(165ページ) を参照してください。

### インフォメーション

- ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：
- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(219ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 電気ソケット

12 ボルト プラグ ソケットの  
使用

12 ボルト プラグ ソケットには、12 V 仕様の電装品 (アクセサリ) を接続できます。

12 ボルト プラグ ソケットは助手席側の足元にあります。

## 充電アダプターの接続

## i インフォメーション

- 12 ボルト プラグ ソケットおよび接続している電装品 (アクセサリ) は、イグニッションが OFF のときでも、キーを抜いた状態でも使用できます。エンジンを停止したままアクセサリを使用すると、バッテリー上がりの原因になります。車両のバッテリーを保護するため、30 分後に電源の供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションを ON にしてください。
- 電装品が 1 つだけ作動している場合、12 ボルト プラグ ソケットまたはシガーライターの最大電流値は 20 A です。複数の電装品を同時に使用する場合は、12 ボルト プラグ ソケットまたはシガーライター 1 つ当たりの電流値が 10 A を超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、ラジオおよび車両電装品に対する電波干渉の原因となることがあります。

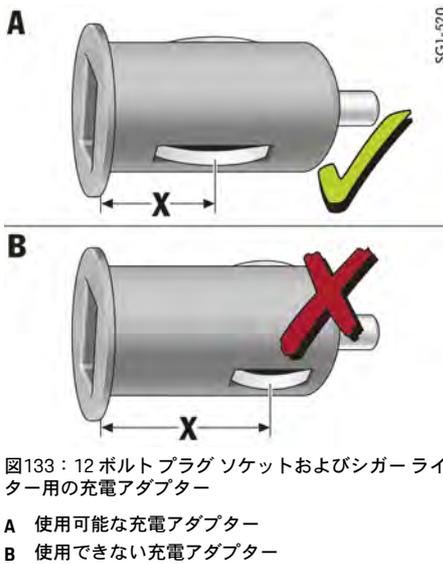


図133 : 12 ボルトプラグソケットおよびシガーライター用の充電アダプター

- A 使用可能な充電アダプター  
B 使用できない充電アダプター

## 知識

電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▶ 適切な充電アダプター (A) のみを使用してください：グラウンド端子部から充電アダプター上端までの寸法 X は約 16 mm 未満でなければなりません。
- ▶ グラウンド端子部から充電アダプター上端までの寸法 X が 16 mm 以上の不適切な充電アダプター (B) を使用すると、12 ボルトプラグソケットが損傷することがあります。

SG1-570

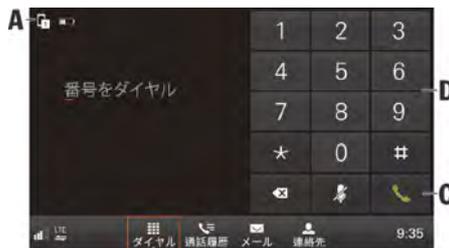
## 電話

## 概要

この概要説明は「電話」の章に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

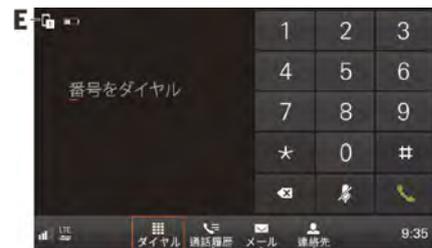
- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(219ページ) を参照してください。



P170\_14

B

図134：電話番号を入力する



P170\_53

F G H

図135：電話番号を入力する(キーパッド)

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
携帯電話を Bluetooth® で接続する (携帯電話の準備)	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ 電話を接続 ▶ 新しい電話を検索	164
接続された2つの携帯電話を切り替える	▶ ヘッドラインの  または  (AおよびEを参照) を選択してください。	165
データ接続を確立する (接続)	▶ ポルシェ専用 SIM カード経由でデータ接続を確立します。	133
番号をダイヤルする	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ キーパッド  (Bを参照) ▶ D を使用して番号を入力 ▶  を選択してください (Cを参照)。	165
着信に応答する / 拒否する	▶  応答 または  キャンセル を選択してください。	166
通話を終了する	▶ フッターまたは電話メニューの  を選択してください。	166
電話会議を開始する	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ 番号をダイヤル ▶ キーパッド  ▶  ▶ 他の参加者の番号をダイヤルします ▶  ▶	167
ボイスメールを聞く	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ キーパッド  ▶ 1... を押し続けてください。	166
通話履歴を表示する	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ 通話履歴  (Fを参照) ▶ 通話履歴を選択してください。	167
メッセージを表示する	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ メッセージ  (Gを参照) ▶ SMS または Eメール ▶ フォルダーを選択してください。	168
連絡先を表示する	▶ <b>PHONE</b> ボタン ▶ 連絡先  (Hを参照) を選択してください。	167

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

**⚠ 警告**

事故を起こす恐れがあります

走行中に携帯電話を使用すると、交通状況に対する注意力が低下する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。

**⚠ 警告**

怪我をする恐れがあります。

ガソリンスタンド、燃料貯蔵所、化学工場、およびの爆破作業の近くなど、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。携帯電話は車両の装備品と電波干渉を起こすことがあります。

- ▶ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

**i** インフォメーション

適合する携帯電話の一覧はウェブサイト ([www.porsche.com](http://www.porsche.com)) から入手することができます。

**携帯電話をBluetooth®で接続する  
(携帯電話の準備)****新しい携帯電話を接続する**

- ✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能が有効で、他の機器から探索可能な状態になっている。
- ✓ PCM の Bluetooth® 機能が有効になっている。
  - ▶ 「PCM の Bluetooth® 機能を有効にする」 (164ページ) を参照してください。

**1. PHONE ボタン ▶ 電話を接続  
または**

フッターの  または  (接続状態により異なる) ▶ 電話を選択してください。

**2. 新しい電話を検索**を選択し、機器リストから携帯電話を選択してください。6桁の Bluetooth® コードが生成され、PCM および携帯電話に表示されます。**3. PCM と携帯電話に表示された Bluetooth® コードを比較**してください。**4. PCM と携帯電話の Bluetooth® コードが一致**していれば確定してください。電話の接続に成功すると、数字入力 (キーパッド  メニュー) が PCM に表示されます。**i** インフォメーション

Windows® および iOS オペレーティング システムを搭載した携帯電話については、携帯電話から接続を開始することをお勧めします。

- ▶ 携帯電話の Bluetooth® メニューから利用可能な機器を検索してください。 **PHONE** ボタンを押して PCM を探索可能な状態にしてください。接続操作にはディスプレイに **電話を接続** を表示する必要があります。
- ▶ 利用可能な機器リストから PCM を選択してください。PCM の Bluetooth® デバイス名を表示させるには、 **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **電話設定** ▶ **Bluetooth** ▶ **Bluetooth名** を選択します。
  - ▶ 「Bluetooth® 機能とデバイスを管理する」 (169ページ) を参照してください。

**PCM の Bluetooth® 機能を有効にする****1. PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ 電話設定****2. Bluetooth ▶ Bluetooth を ON** を選択して、PCM の Bluetooth® 機能を有効にしてください。**i** インフォメーション

Bluetooth® 接続の場合、ハンズフリープロフィール (HFP) を介して、携帯電話を PCM に接続することができます。

ハンズフリープロフィールを使用すると、PCM は接続された携帯電話の Bluetooth® ハンズフリーユニットとして機能し、携帯電話によっては電話帳、通話履歴、およびメッセージの内容にアクセスすることができます。そのため、車両を停車した後に現在の通話を携帯電話に転送し、車両の外でも通話を継続することができます。

- ▶ Bluetooth® のプロフィールに関する詳細な情報は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

## 登録済みの携帯電話に接続する

- ✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能が有効で、他の機器から探索可能な状態になっている。
- ✓ PCM の Bluetooth® 機能が有効になっている。
  - ▷ 「PCM の Bluetooth® 機能を有効にする」(164ページ)を参照してください。
- ✓ 携帯電話が PCM に既に接続されている。

1. フッターの  または  (接続状態により異なる) を選択してください。

または

**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **デバイスマネージャー**

2. **電話 1** を選択してください。  
登録されている携帯電話のリストが最大 20 件表示されます。
3. リストから携帯電話を選択してください。  
携帯電話が Bluetooth® 経由で接続されます。

## 別の携帯電話を接続して使用する

- ✓ 携帯電話が PCM に既に接続されている。

1. フッターの  または  (接続状態により異なる) を選択してください。

または

**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **デバイスマネージャー**

2. **電話 2** を選択してください。
3. リストから携帯電話を選択するか、新しい携帯電話を接続してください。
  - ▷ 「新しい携帯電話を接続する」(164ページ)を参照してください。

接続された携帯電話は両方とも着信可能ですが、発信は有効な携帯電話でのみ行うことができます。

- ▷ ヘッドラインの  または  (A、図 134) を選択し、接続された 2 つの携帯電話を切り替えてください。

## Bluetooth® デバイスの削除、または Bluetooth® インフォメーションの表示

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **電話設定** ▶ **Bluetooth** ▶ **Bluetooth デバイス**

2. リストから携帯電話を選択してください。

3. 登録された Bluetooth® デバイスのリストから任意の携帯電話を削除するには、**削除** を選択してください。

または

Bluetooth® デバイスのインフォメーションを見るには、**詳細** を選択してください。

Bluetooth® アドレス、接続ステータス、および利用可能な Bluetooth® プロファイルが表示されます。

または

Bluetooth® デバイスと PCM 間の接続を確立する、または切断するには、**接続を確立する / 切断** を選択します。

## i インフォメーション

開始後、PCM は前のデバイス設定を自動的に復元します。デバイスが車内がない場合は、システムが他の認識済みデバイスを探索します。

## 電話をかけるには PCM を使用してください

アジア諸国では、データ接続を確立する際のみ外部 SIM カードを使用します。

データ接続に関するインフォメーション：

- ▷ 「接続」(131ページ)を参照してください。

## 接続ステータスの表示

以下のアイコンがフッターに表示されます (接続状態により異なる)。

### シンボル 意味

	電話が接続されていません。
	データ接続は使用できません (考えられる原因：接続が確立されていない、ネットワーク通信接続不良、または音声接続中のデータ接続中断)。
	LTE 携帯電話ネットワーク経由など、外部 SIM カードのデータ接続が確立されています。
	UMTS/HSPA 携帯電話ネットワーク (3G) 経由でデータ接続が確立されています。
	EDGE 携帯電話ネットワーク (GSM) 経由でデータ接続が確立されています。
	電話機能用の携帯電話ネットワーク受信強度を示しています。

## デバイスマネージャーを開く

- ▷ 「デバイスマネージャー」(161ページ)を参照してください。

## 電話番号をダイヤルする

### 電話番号を入力する (キーボード)

1. **PHONE** ボタン ▶ **キーボード** 
2. 数字フィールドから番号を入力してください。  
電話番号が既知の場合は、選択が提示されます (vCard が表示されます)。
3.  を選択してください。

**i** インフォメーション

DTMF(デュアルトーンマルチ周波数)トーンおよび付加サービス(\*及び#キーによるコードサービス)に対応しています。

## リダイヤル機能を開く

1. **PHONE** ボタン ▶ キーパッド 

2.  を選択し、キーパッドで前回ダイヤルした電話番号を表示させてください。

3.  を選択してください。

**i** インフォメーション

リダイヤルのメモリーはイグニッションをOFFにすると消去されます。

## 通話履歴から番号をダイヤルする

▶ 「通話履歴を表示する」(167ページ)を参照してください。

1. **PHONE** ボタン ▶ 通話履歴 

2. 希望の通話履歴を選択し、項目を選択してください。

3.  を選択してください。

## 連絡先から番号をダイヤルする

▶ 「連絡先を使用する」(167ページ)を参照してください。

1. **PHONE** ボタン ▶ 連絡先 

2. 希望の連絡先を検索し、選択してください。

3. 希望の電話番号をダイヤルしてください。

4.  を選択してください。

## ボイスメールを聞く

1. **PHONE** ボタン ▶ キーパッド 

2. ボイスメールを聞くには、 を押し続けてください。

**i** インフォメーション

この機能を最初に使用するときは、ボイスメール番号の入力プロンプトが1回表示されます。  
▶ 「電話設定の変更」(169ページ)を参照してください。

## 着信に応答する / 通話を終了する

## 着信に応答する / 拒否する

✓ 着信が入ったとき。

▶  応答を選択してください。

または  
携帯電話の通話ボタンを押してください。  
または  
ステアリングホイールの通話ボタンを押してください。

▶ 着信を拒否するには、 拒否を押してください。  
または  
携帯電話の終話ボタンを押してください。  
または  
ステアリングホイールの終話ボタンを押してください。

**i** インフォメーション

携帯電話で「ミュート」または「会議」プロファイルを設定している場合、一部のデバイスでは、着信があった場合にもPCMの呼び出し音が鳴らないことがあります。

## 通話を終了する

▶ フッターまたは電話メニューの  を選択してください。  
または  
携帯電話の終話ボタンを押してください。  
または  
ステアリングホイールの終話ボタンを押してください。

## 通話中の各種機能

## マイクのミュート

✓ 通話中である。

▶ マイクをミュートするには  を選択してください。

## 通話の保留

✓ 通話中である。

▶ 接続表示の隣にある  を選択してください。  
または  
**OPT** ボタン ▶ 通話を保留を選択してください。

▶ 通話を再開するには、保留中表示の隣にある  を選択してください。  
または  
**OPT** ボタン ▶ 通話するを選択してください。

## 電話会議を開始する

✓ 通話中である。

1. **PHONE** ボタン ▶ **キーパッド** 
2.  を選択して、新たな会議を追加してください。
3. 新しい会議を追加するには：  
数字フィールドを使用して新しい電話番号をダイヤルします。  
または  
通話履歴から電話番号を選択します。  
または  
電話帳にある既存の連絡先を選択します。
4.  を選択してください。
5. 会議を開始するには  を選択してください。  
または  
**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **会議**  
▶ 会議を保留にするには、**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **会議を保留** を選択してください。

## 2つの会議間の切り替え(スワッピング)

✓ 通話中である。

✓ 通話が保留中である。

- ▶ 保留中の通話を選択して有効にし、それまで有効だった通話を保留にします。  
または  
**PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **通話** を切り替える

## 通話履歴を表示する

### 通話の表示

1. **PHONE** ボタン ▶ **通話履歴** 
2. 希望のページをブラウザ(スワイプ)してください。
  - すべての通話
  - 不在着信
  - 発信
  - 着信
3. 通話履歴から項目を選択してください。  
詳細画面が表示されます。

### 通話を消去

✓ 携帯電話が Bluetooth® 経由で接続されている。

1. **PHONE** ボタン ▶ **通話履歴** 
2. 希望の通話履歴を選択し、発信者を選択してください。
3. **OPT** ボタンを押してください。
4. PCM の通話履歴から通話を消去するには、**通話を削除** を選択してください。

### インフォメーション

車両から発信された通話のみが消去されます。

## マルチファンクションディスプレイで電話を使用する

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▶ 「マルチファンクションディスプレイ」(231ページ)を参照してください。

## 電話番号をダイヤルする

1. 電話メニューを選択してください。
2. リストから希望の番号を検索し、項目を選択してください。

- 電話帳
- 発信履歴

### 着信に応答する / 拒否する

✓ 着信が入ったとき。

- ▶ 電話メニューを選択してください。

- 着信に応答する
- 着信を拒否する

### 同時に複数の通話を行う / 通話を終了する

✓ 通話中である。

- ▶ 電話メニューを選択してください。

- 新しい通話：通話中に別の参加者に電話します。
- 通話を切り替える：別の通話を行うために、参加者を切り替えます。
- 会議通話：電話会議に参加者を追加します。
- 通話終了：通話中の電話を終了します。

## 連絡先を使用する

### 連絡先の表示

1. **PHONE** ボタン ▶ **連絡先** 

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 連絡先の検索

1. **PHONE** ボタン ▶ **連絡先** ▶ **連絡先を検索**
2. 入力フィールドに名前を入力してください。結果リストが表示されます。
3. 希望の項目を選択してください。

## 連絡先の送信

1. **PHONE** ボタン ▶ **連絡先**
2. 連絡先を選択してください。連絡先詳細が表示されます。
3. **OPT** ボタンを押してください。
4. **vCard** で送るを選択してください。
5. 利用可能な状況に応じて、送信 (SMS、Eメール) またはメモリー オプション (SD、USB) を選択してください。

## 連絡先リストの並び替え

1. **PHONE** ボタン ▶ **連絡先** ▶ **OPT** ボタン ▶ **並べ替え条件**
2. 並べ替えの順序を姓、名または名、姓から選択してください。

## MyScreenにお気に入りを追加

1. **HOME** ボタン ▶ **個人画面** ▶ **OPT** ボタン ▶ **個人画面設定**
2. 個人画面 1、個人画面 2、または個人画面 3 を選択してください。
3. 電話カテゴリーを選択してください。

4. タイル山田太郎を左プレビュー側にある任意のコンテナにドラッグ & ドロップしてください。タイルは、緑色のエッジが見えたとすぐにコンテナに挿入することができます。
5. または で個人画面を設定メニューを終了してください。
6. ここをタッチして連絡先を選択してください。連絡先リストが開きます。
7. 希望する連絡先を選択してください。連絡先詳細が表示されます。
8. 電話番号をダイヤルしてください。選択した画面に連絡先がお気に入りとして保存されます。

## 個人画面のお気に入りを消去

▷ 「個人画面の設定」(223ページ) を参照してください。

## メッセージの表示および消去

メッセージ機能を使用することで、SMS や Eメールを読んだり、音声で読み上げさせたり、メッセージに書かれている電話番号に電話をかけたりできます。

この機能は、携帯電話が Bluetooth® メッセージアクセスプロファイルに対応している場合のみ利用することができます。携帯電話はテキストメッセージ機能に対応していても、Eメール機能には対応していないことがあります。この設定に関する詳しい情報は、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。

## インフォメーション

- 携帯電話がデバイスのメモリーに保存されているテキストメッセージしか表示できない場合、車両で受信したテキストメッセージは携帯電話メッセージリストには表示されません。
- PCM はマルチメディア メッセージング サービス (MMS) に対応していません。

## テキストメッセージの表示

1. **PHONE** ボタン ▶ **メッセージ** ▶ **SMS**
2. ▶ **フォルダー** を選択してください。
3. 希望のテキストメッセージを選択してください。

## Eメールの表示

1. **PHONE** ボタン ▶ **メッセージ** ▶ **Eメール**
2. Eメールアカウントを選択してください。受信トレイが開きます。最大で 100 件の Eメールが表示されます。
3. 必要に応じて、 ▶ **フォルダー** を選択してください。
4. 希望の Eメールを選択してください。

## インフォメーション

多く携帯電話は、複数のアカウントからの PCM への Eメール転送に対応していません。多くの場合、メーカー固有のアプリによって管理された Eメールのみが転送されます。

## メッセージを聞く (テキスト、Eメール)

1. **PHONE** ボタン ▶ **メッセージ**
2. **SMS** メニューまたは **Eメール** メニューを選択してください。
3. ▶ **フォルダー** を選択してください。
4. 希望のテキストメッセージまたは Eメールを選択してください。
5. **読み上げる** を選択してください。

## メッセージの削除(テキスト、Eメール)

1. **PHONE** ボタン ▶メッセージ 
2. **SMS** メニューまたは **Eメール** メニューを選択してください。
3.  ▶フォルダーを選択してください。
4. 希望のテキストメッセージまたはEメールを選択してください。
5. **OPT** ボタンを押してください。
6. メッセージの削除を選択してください。メッセージが消去されます。

## メッセージの作成

### テキストメッセージの作成

1. **PHONE** ボタン ▶メッセージ  ▶表示されているアカウントから1つを選択します。
2.  ▶新しいSMSを選択してください。
3. 入力フィールドに受信者の番号を入力してください。  
または  
電話帳にある既存の連絡先を選択します。
4. テキストボックスを選択してください。
5. 入力フィールドにテキストを入力し、OKで確定してください。
6. **送信**  を選択してください。メッセージが送信されます。

## Eメールの作成

1. **PHONE** ボタン ▶メッセージ  ▶Eメール
2.  ▶新しいEメールを選択してください。
3. 入力フィールドに受信者のEメールアドレスを入力してください。  
または
4. 電話帳にある既存の連絡先を選択します。
5. テキストボックスを選択してください(件名など)。
6. 入力フィールドにテキストを入力し、OKで確定してください。
7. **送信**  を選択してください。Eメールが送信されます。

## 設定の変更

### 通話中の設定(プライベートモード)

- ✓ 携帯電話がBluetooth®およびハンズフリープロファイル(HFP)を介して接続されている。
- ✓ 通話が確立している。

1. **PHONE** ボタン ▶**OPT** ボタン
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **プライベートモードを起動**: 通話はハンズフリー機器から電話に転送されます。

### 電話設定の変更

1. **PHONE** ボタン ▶**OPT** ボタン ▶電話設定 ▶電話
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **PCM 電話のON/OFF**: PCM内の電話モジュールをON/OFFにしてください。

- **通信事業者検索**: 通信事業者を選択するか、または自動通信事業者選択を起動します。
- **3者通話を有効にする**: 現在の通話に別の相手を追加することを許可します。
- **SIMカード**: 挿入された外部SIMカードの設定を変更します。
- **ボイスメールナンバー**: 接続している携帯電話のメールボックス電話番号を表示または変更します。
- **シリアルナンバー**: PCM電話モジュールのIMEIシリアルナンバーを表示します。

### Bluetooth®機能とデバイスを管理する

1. **PHONE** ボタン ▶**OPT** ボタン ▶電話設定 ▶Bluetooth
2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **新しいデバイスを追加する**: 新しいBluetooth®デバイスを検索し、PCMに登録します。
- **Bluetoothデバイス**: 登録したBluetooth®デバイスを管理し、登録したBluetooth®デバイスをPCMに接続します。
- ▷ 「Bluetooth®デバイスの削除、またはBluetooth®インフォメーションの表示」(165ページ)を参照してください。
- **Bluetoothを起動/Bluetoothを停止**: Bluetooth®機能を作動/停止します。
- **Bluetoothデバイス置き忘れ警告**: 車両を離れたときは、接続したBluetooth®デバイスのリマインダーを作動させてください。
- **Bluetooth名**: PCMのBluetooth®名を設定します。

## WiFi設定の設定

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **電話設定** ▶ **Wi-Fi 設定**

2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **WiFiを起動/停止**：PCMのWiFi機能をON/OFFにします。
- **PCMのWiFiホットスポット設定**：PCMのWiFiアクセスデータを表示し、設定します。このデータはデバイス(携帯電話など)をWiFi経由でPCMに接続したり、PCMのWiFiホットスポットを使用したりするために必要です。

## データ接続設定

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **電話設定** ▶ **データ接続設定**

2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **データ接続設定**：
  - **ON**：常にデータ接続を許可します。
  - **OFF**：データ接続をOFFにします。
  - **プロンプト**：データ接続を使用する前に、データ接続を許可するかを確認するメッセージが表示されます。
- **データ接続を共有する**：WiFiデバイス用のデータ接続を有効にします。
- **ローミング**：他のネットワークへのデータ接続を許可する/許可しません。
- **アクセスポイントを設定**：SIMカードのデータ接続用ネットワークアクセスデータ(APN名、ユーザー名、およびパスワード)を変更します。
- **設定をリセット**：APN設定を工場出荷時の設定に戻します。APNの設定に関するインフォメーション：
  - ▷ 「接続」(131ページ)を参照してください。

## 連絡先の管理

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **電話設定** ▶ **連絡先**

2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **連絡先メモ**：使用している連絡先メモリーを表示します。
- **並べ替え条件**：姓または名で、携帯電話に保存されている連絡先を並び替えます。
- **連絡先を同期**：Bluetooth® 経由で接続されている携帯電話の連絡先をPCMに手動で移動することができます。

## 着信音設定の変更

- ✓ 携帯電話がPCMに接続されている、またはSIMカードが挿入されている。

1. **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **電話設定** ▶ **着信音設定**

2. 以下から希望の設定を選択してください。

以下のオプションが設定可能です。

- **着信音を選択**：接続している携帯電話がBluetooth® 経由で着信音を送信しない場合、PCMの着信音を設定します。
- **着信音量**：着信音量を設定します。
- **マイク音量**：電話マイクの音量を設定します。
- **メッセージの受信音**：メッセージの受信音を設定またはOFFにします。

## 盗難防止機能

### 盗難防止機能

車両から離れるときは、必ず次のことを守ってください。

- ▶ サイドウィンドウを閉じてください。
- ▶ コンパーチブルトップを閉じてください。
- ▶ エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
- ▶ キーを抜き取ってください (またはボルシェ エントリー & ドライブ 装備車ではイグニッションを OFF にしてください)。
- ▶ グローブ ボックスを閉じてください。
- ▶ すべての小物入れを閉じてください。
- ▶ 貴重品、車両の登録書類、携帯電話機、自宅の鍵などは車内に残しておかないでください。
- ▶ ラゲッジ コンパートメント リッドを閉じてください。
- ▶ 車両をロックしてください。

### イモビライザー

各キーには、コード信号が保存されたトランスポンダー (電子回路) が組み込まれています。イグニッションを ON にする前に、イグニッションロックがコードを照合します。あらかじめ登録されているキーを使用したときのみイモビライザーが解除され、エンジンを始動することができます。

### ステアリング コラムのロック解除/ロック

#### ボルシェ エントリー & ドライブ 非装備車 ステアリング コラムを自動的にロック解除する

- ▶ キーで車両のロックを解除してください。  
または  
キーをイグニッション ロックに差し込んでください。

#### ステアリング コラムを自動的にロックする

- ▶ キーを抜き取ってください。

#### ボルシェ エントリー & ドライブ 装備車

#### ステアリング コラムを自動的にロック解除する

- ▶ ボルシェ エントリー & ドライブ を使用して、運転席ドアを開いてください。  
または  
イグニッションを ON にしてください。

#### ステアリング コラムを自動的にロックする

- ▶ イグニッションを OFF にした状態で、運転席ドアを開いてください。  
または  
車両をロックしてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ドライビングデータの表示 (トリップ情報)

トリップメニューには、走行時間、走行距離、平均車速、平均燃費などの一連のドライビングデータが表示されます。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(219ページ) を参照してください。

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション:

▷ 「マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」(231ページ) を参照してください。

▷ 「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」(231ページ) を参照してください。

## マルチファンクションディスプレイにドライビングデータを表示する

1. トリップメニューを選択してください。
2. リストから項目を選択してください。

- **開始**: 現在運転中のドライビングデータです。イグニッション OFF で 2 時間以上停車すると、ドライビングデータが自動的にリセットされます。
- **合計**: 手動でリセットするまでデータが蓄積されます。ドライビングデータは、イグニッションキーを OFF にして長時間駐車した場合でも保持されます。

- **目的地まで**: ルート案内を開始すると目的地までのドライビングデータが計算され、表示されます。

## マルチファンクションディスプレイでドライビングデータをリセットする

1. トリップ▶リセット
2. リストから項目を選択してください。

- **開始**
- **合計**
- **すべて**: **開始**および**合計**のドライビングデータをリセットします。

## PCMのドライビングデータを表示する/リセットする

1. **CAR** ボタン▶トリップ 
2. 希望の表示レベルをブラウズ (スワイプ) してください。

- **パーソナルトリップ**: 必要に応じて、ドライビングデータを4つのデータフィールドにグループ分けできます。
- **トリップデータ**: 現在運転中のドライビングデータです。イグニッション OFF で 2 時間以上停車すると、ドライビングデータが自動的にリセットされます。
- **トリップ合計**: 手動でリセットするまでデータが蓄積されます。ドライビングデータは、イグニッションキーを OFF にして長時間駐車した場合でも保持されます。

3. **リセット**を選択して、希望のドライビングデータをリセットしてください。

## PCMのパーソナルディスプレイの内容を設定する

パーソナルトリップメニューでは、個々のデータフィールドの内容を個別に設定することができます。日付、時刻、外気温、到着時刻、平均車速、燃費データなどの一般情報、およびナビゲーションエリアから選択されたさまざまなデータフィールドの車両パラメーターから選択することができます。

1. **CAR** ボタン▶トリップ ▶**パーソナルトリップ▶設定**
2. 変更したいデータフィールドを選択してください。
3. データフィールドの希望のコンテンツを選択してください。

## インフォメーション

メニュー項目次のガソリンスタンドまでの距離をデータフィールドに指定した場合、タッチスクリーンに表示されたシンボルを素早く押すと、このガソリンスタンドまでのルート計算が開始されます。このガソリンスタンドまでのルート案内開始を選択してください。

## トランスミッション マニュアルトランスミッションによる走行

8000\_51

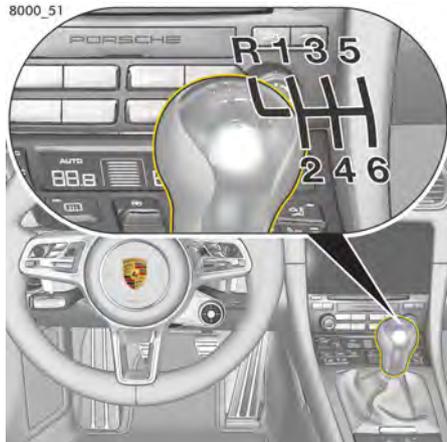


図136：ギヤレバーのシフトパターン

### 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマット、正しく固定されていないフロアマット、またはその他の障害物は、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作の妨げになったりする可能性があります。

- ▶ フロアマットなどでペダルの動きを妨げないようにしてください。
- ▶ 変速するときはクラッチペダルをしっかりと踏み込み、ギヤレバーを確実に操作してください。
- ▶ 上り坂ではエンジンパワーを有効に使用できるように、また下り坂では十分なエンジンブレーキがかかるように、適切な低いギヤにシフトダウンしてください。

## トランスミッションをニュートラルにシフトする

トランスミッションのニュートラル位置は3速ギヤと4速ギヤの間にあります。

### リバース(後退)に入れる

- ▶ ギヤをリバース(後退)に入れるときは完全に停車してから行ってください。
- ▶ リバースギヤには、ギヤレバーを左にいったいまで動かした後にシフトすることができます。イグニッションONでギヤレバーをリバース(後退)に入ると、リバースライトが点灯します。

### 締結ギヤを表示する

タコメーター内のギヤポジションディスプレイBは現在締結されているギヤを表示します。シフトアップインジケータを使用した走行

8000\_88



図137：シフトアップインジケータAおよびギヤインジケータB

燃費重視の運転を促すシフトアップインジケータAは、ドライバーが経済的な運転ができるように支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセルペダルの踏み込みに応じてこのインジケータが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップインジケータが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

### エンジン許容回転数を遵守する

- ▶ タコメーター(回転計)の指針が赤色のエリア(レッドゾーン)に到達する前に、1段高いギヤにシフトアップするか、アクセルペダルをゆるめてください。

加速中、エンジン回転数がタコメーターの赤色のエリア(レッドゾーン)に到達すると、燃料の供給が遮断されます。

### 知識

低いギヤにシフトダウンする場合に、エンジンの過回転(オーバーレブ)が原因でエンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ 低いギヤにシフトダウンするときは、エンジンが最高許容回転数を超えないように注意してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## Porsche Doppelkupplung (PDK) による走行

Porsche Doppelkupplung (PDK) は、オートマチックモードとマニュアルセレクションモードを備えた7段変速トランスミッションです。

**オートマチックモード**(セレクターレバーがDの位置)では、変速が自動的に行われます。ステアリングホイールのシフトパドルを操作することにより、一時的にオートマチックモードからマニュアルモードに切り替えることができます。

**マニュアルモード**(セレクターレバーがMの位置)では、セレクターレバーまたはステアリングホイールのシフトパドルの操作で変速できます。

セレクターレバーのDとMは、走行中でも切り替えることができます。

- ▶ オートマチックとマニュアルのどちらのモードにあるときでもステアリングホイールのシフトパドルを誤って操作しないように注意してください。トランスミッションが思わぬタイミングで変速されます。

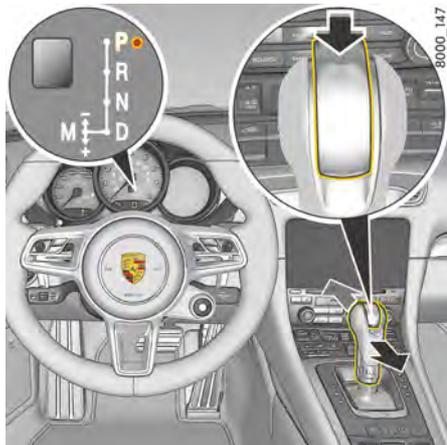


図138：セレクターレバーの操作

## セレクターレバーの操作

イグニッションがOFFのとき、セレクターレバーは動かないようにP位置に固定されます。イグニッションがONの場合、リリースボタンを押し、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、セレクターレバーをPおよびNの位置から動かすことができます。

## ロック解除ボタン

セレクターレバーのロック解除ボタン(矢印)は、ギヤシフトの誤操作を防止するための機構です。

セレクターレバーをRまたはPの位置にシフトするときは、このロック解除ボタンを押さなければなりません。

## エンジンの始動

セレクターレバーがPまたはNの位置にあり、ブレーキペダルを踏んだ状態でないとエンジンを始動することはできません。

## 車両の発進

- ▶ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、走行位置(D、M、またはR)にシフトしてください。
- ▶ セレクターレバーを走行位置に動かすと車両がゆっくりと動き出します。発進の準備が整うまでブレーキペダルから足を放さないでください。

## 坂道発進

発進アシスタントにより坂道で発進しやすくなります。ドライバーがフットブレーキを解除した直後にブレーキペダルからアクセルペダルに踏み替える時間を確保するため、短時間のみ車両がその位置に保持されます。

- ▶ 「HOLD機能」(276ページ)を参照してください。

## 停車

- ▶ 信号待ちなど短時間の停車時は、セレクターレバーを走行位置のまま保持し、ブレーキペダルを踏んでください。
- ▶ 上り坂ではアクセルペダルを踏みながら停止位置を保つようなことはしないでください。ブレーキペダルを踏むか、エレクトリック

クパーキングブレーキを作動させてください。

- ▶ 車両から離れるときは、必ずエレクトリックパーキングブレーキを作動させ、セレクターレバーをPの位置にしてください。

## 駐車

- ▶ アクセルペダルは慎重に操作してください。
- ▶ 特に、狭い場所で駐車や移動をする場合は、フットブレーキを使用して速度を調節してください。



図139：セレクターレバーポジションインジケーターおよびギヤポジションインジケーター

## セレクターレバーポジションインジケーターおよびギヤポジションインジケーターを読み取る

エンジン作動中に、セレクターレバー位置および選択されたギヤが表示されます。

セレクターレバーが2つのポジションの間にある場合は、該当するセレクターレバーポジションが点滅し、マルチファンクションディスプレイに警告が表示されます。

処置：

- ▶ フットブレーキを踏んで、セクターレバーを正しい位置に動かしてください。ブレーキを踏んでいない状態で不意にセクターレバーがPまたはN位置から動いてギヤに入ってしまった場合(故障または誤った操作で)、シフトインジケーターが点滅し、駆動力がカットされます。
- ▶ 発進するには、ブレーキペダルを踏み、セクターレバーを再びPまたはNから希望のギヤに入れてください。

### インストルメントパネルのセクターレバー位置RまたはDが点滅する

駆動力が伝達されません。

原因：

- フットブレーキを踏まずにセクターレバーを切り替えた。
- 最高許容速度以上でセクターレバーをRにシフトした。

処置：

- ▶ ブレーキペダルを踏み、セクターレバーを再びPまたはNから希望するギヤに入れてください。

### セクターレバー ポジション

#### P-パーキングロック

- ▶ 車両が完全に停止してからパーキングロックをかけてください。セクターレバーポジションPが点滅している場合、パーキングロックがかかっていません。車両が不意に動き出す恐れがあります。セクターレバーを再びRからPの位置に入れてください。

#### ポルシェ エントリー&ドライブ非装備車：

キーは、セクターレバーがPの位置にあるときのみ、抜き取ることができます。

#### R-リバースギヤ

- ▶ 車両が完全に停止し、ブレーキをかけてからシフトしてください。

#### N-ニュートラル

けん引するときや自動洗車機を使用するときなどは、セクターレバーをNの位置にしてください。

- ▶ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、走行位置(D、M、またはR)にシフトしてください。

#### D-オートマチックモード

- ▶ 「通常」の走行時には、セクターレバーのDの位置を使用してください。車速とアクセルペダルの踏み込み方により、ギヤが自動的に切り替わります。

#### インフォメーション

ステアリングホイールのシフトボタンを操作することにより、一時的にオートマチックモードDからマニュアルモードMに切り替えることができます。

たとえば、以下のような状況ではこの操作を行ってください。

- コーナー前でシフトダウンしたいとき
  - 下り坂でエンジンブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき
  - 急加速時にシフトダウンしたいとき
- 次の場合は、マニュアルモードが維持されます。
- オーバーラン時
  - 車両が交差点などで停車した場合
- 次の場合は、マニュアルモードが解除されます。
- オーバーラン時以外は、自動的に約6秒後
  - 発進後

#### M-マニュアルモード



図140：オートマチックモード

- ▶ セクターレバーをDからMの位置に押しってください。現在のギヤは、DからMにシフトしてもそのまま維持されます。MからDにシフトした場合は、現在のドライブングスタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z



図141：シフトパドル付きステアリングホイール

## セレクターレバーまたは右「+」シフトパドルでのシフトアップ

- ▶ セレクターレバーまたは右側シフトパドルを手前に引いてください。

## セレクターレバーまたは左「-」シフトパドルでのシフトダウン

- ▶ セレクターレバーを前方に押してください。または左側シフトパドルを手前に引いてください。

## シフトパドルを使用してN-ニュートラルにシフトする

- ▶ 両方のシフトパドルを同時に引いて、すぐに放してください。トランスミッションはN-ニュートラルにシフトします。車両はエンジンを切り離れた状態でアイドル回転数で走行し、エンジンブレーキの効果は得られません。ギヤインジケータの数値は消灯し、セレクターレバーポジションが点滅します。

いずれかのシフトパドルを引くか、セレクターレバーを操作すると、再びギヤが締結します。

## 低燃費走行のためのシフトアップインジケータ

燃費重視の運転を促すシフトアップインジケータAは、ドライバーが経済的な運転できるように支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセルペダルの踏み込みに応じてこのインジケータが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

- ▶ シフトアップインジケータが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。



図142：シフトアップインジケータA

## キックダウン機能を作動させる

キックダウン機能はセレクターレバーがDのときに作動します。

- ▶ 追い越し時などで大きな加速が必要な場合は、アクセルペダルを素早くいっぱい（キックダウンの位置まで）踏み込んでください。

車速とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンされます。そのギヤでのエンジン回転数の許容上限に達するまで、シフトアップされません。

## 惰性走行モードで走行する

惰性走行モードでは、締結ギヤが自動的に切り離され、エンジンブレーキによる減速を防止します。車両はニュートラルで惰性走行します。ドライバーは、手動の惰性走行モードを開始できます。

ドライバーは自動惰性走行モードを要求することができます。このモードはシステムによって自動的に開始されます。

## 自動惰性走行モードの要求(モデルおよび国別仕様による)

- ✓ オートスタート/ストップ機能がONになっている。
- ✓ ノーマル走行モードが選択されている。
- ✓ セレクターレバーがD位置で走行している。
- ✓ ポルシェスタビリティマネージメント(PSM)が有効になっている。
- ✓ クルーズコントロールが有効になっていない。
- ✓ アダプティブクルーズコントロール(ACC)が有効になっていない。
- ✓ 車両が作動温度に達している。
- ✓ 急な上り勾配/下り勾配ではない。
- ✓ 市街地外での走行。
- ▶ アクセルペダルからゆっくりと足を離します。システムは走行データを評価し、適切な走行状況で自動的に惰性走行モードを開始します。

## 惰性走行モードを手動で開始する

- ✓ オートスタート/ストップ機能がONになっている。
- ✓ ノーマル走行モードが選択されている。
- ✓ セレクターレバーがD位置で走行している。

- ✓ ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が有効になっている。
  - ✓ クルーズ コントロールが有効になっていない。
  - ✓ アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) が有効になっていない。
  - ✓ 急な上り勾配 / 下り勾配ではない。
  - 1. アクセル ペダルから完全に足を離します。
  - 2. ギヤシフト パドルまたはセレクター レバーを使用して、可能な限り高いギヤに手でシフトアップします。
- 惰性走行モードが有効になります。

#### 惰性走行モードの終了

- ▶ アクセル ペダルを踏み込んでください。
- または
- シフトパドルまたはセレクター レバーを使用して、ギヤをシフトしてください。
- エンジンが作動し、惰性走行が終了します。

#### ローンチ コントロールを使用した発進

- ✓ PDK 装備車。

ローンチ コントロールは停車状態から最大加速で発進することができるシステムです。



#### 警告

車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

特定の状況 (路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど) では、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険が及んだりする恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチ コントロールを使用してください。
- ▶ ローンチ コントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険が及ばないようにしてください。

#### **i** インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

- ✓ エンジンが作動温度に達している。
  - ✓ スポーツプラスモードがONになっている。
1. 左足でブレーキ ペダルを踏んでください。
  2. 素早くアクセル ペダルをいばいに踏み込んで、そのまま保持してください。
- エンジン回転数が約 6,000 rpm 以上に維持されます。
- マルチファンクションディスプレイにローンチ コントロールが有効であることを示すメッセージが表示されます。
3. 数秒以内にブレーキを解除してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## トランスミッションおよびシャーシコントロールシステム

システム / 名称	適用	ページ
<b>PSM</b> ポルシェ スタビリティ マネージメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ドライビング スタビリティ コントロール</li> <li>- アンチロックブレーキシステム (ABS)</li> <li>- ブレーキシステムプレフィル</li> <li>- ブレーキブースター (油圧ブレーキアシスト)</li> <li>- オートマチックブレーキディファレンシャル (ABD)</li> <li>- アンチスリップコントロール (ASR)</li> <li>- エンジンドラッグトルクコントロール (MSR)</li> <li>- ステアリングトルクパルス</li> <li>- HOLD 機能</li> </ul>	227
<b>PASM</b> ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 無段階補正コントロール付きショックアブソーバーシステム</li> </ul>	215
<b>PADM</b> ポルシェ アクティブ ドライブトレイン マウント	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ダイナミックエンジンマウントは、感じられるほどの振動やドライブトレイン全体の振動を自動的に最小限に抑制します。</li> <li>- スポーツモードをONにすると、ドライブトレイン/ボディ間の結合がより強固な状態になり、スポーティなドライビングスタイルになります。</li> <li>- スポーツプラスモードをONにすると、ドライブトレイン/ボディ間の結合がレースサーキットでの走行に最適となります。</li> </ul>	--
<b>PTV</b> ポルシェ トルクベクトリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>- より俊敏なコーナリングのためのラテラルダイナミックブレーキ制御</li> <li>- ロック率非対称型リヤディファレンシャルロック</li> </ul>	--

## ナビゲーション

## 概要

この概要説明は「ナビゲーション」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(219ページ) を参照してください。



P170\_21

D

図143：目的地入力



P170\_54

E F G H

図144：マップビュー

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
目的地を検索する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ <b>検索</b> または <b>オンライン検索</b> (A を参照) ▶ 目的地を入力 / 選択してください。	180
ポルシェ コンシェルジュ サービスを開始する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ <b>ポルシェ コンシェルジュ</b> (B を参照) ▶ <b>ポルシェ コンシェルジュに連絡</b> を選択してコンシェルジュを呼び出してください。	180
目的地住所を入力する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ <b>県、市区町村</b> (C を参照) ▶ 目的地住所を入力してください。	180
前回の目的地を選択する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ <b>前回の目的地</b> ▶ リストから項目を選択してください。	181
施設情報を入力する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ <b>施設</b> ▶ <b>施設情報オプション</b> を選択 ▶ <b>施設情報</b> を選択してください。	181
マップコードを入力する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ <b>マップコード</b> ▶ <b>マップコード</b> を入力してください。	181
連絡先から目的地を選択する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ <b>登録地</b> ★ (D を参照) ▶ <b>連絡先</b> ページまでブラウズ (スワイプ) ▶ リストから項目を選択してください。	181
すぐにルート案内を開始 / 停止する	▶ <b>MAP</b> ボタン ▶ <b>開始</b> ■ (H を参照) または <b>ストップ</b> ■ (H を参照) を選択してください。	182
経由地を入力する / ツアーを計画する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ 目的地を入力 ▶ <b>新規</b> ■ (E を参照) ▶ 経由地を入力 ▶ <b>追加</b> ■ を選択してください。	181
保存したツアーを開始する	▶ <b>NAV</b> ボタン ▶ <b>登録地</b> ★ (D を参照) ▶ <b>保存された目的地</b> ページまでブラウズ (スワイプ) ▶ <b>ツアー</b> ▶ ツアーを選択 ▶ <b>開始</b> を選択してください。	181
交通情報を表示する	▶ <b>NAV</b> ボタン / <b>MAP</b> ボタン ▶ <b>VICS</b> を選択してください。■ (F を参照)。	184
ルートを表示および編集する	▶ <b>NAV</b> ボタン / <b>MAP</b> ボタン ▶ <b>ルート</b> ■ を選択してください (G を参照)。	183
道路通行料自動徴収システム (ETC) を設定する	▶ <b>CAR</b> ボタン ▶ <b>料金</b> ■	186

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

**警告**

事故を起こす恐れがあります

ポルシェ ナビゲーション システムは、目的地まで快適に到着できる走行ルート案内し、ドライバーを補助します。推奨された走行指示が実際の交通規則と反する場合は、必ず実際の交通規則に従って走行してください。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に周囲の交通状況に注意してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルと速度で走行してください。



P170\_21

図145：目的地入力

## 目的地を検索する（検索/オンライン検索）

検索機能を使用して検索すると、PCMの内部データベースにアクセスします。インターネットで目的地を検索するには、**オンライン検索機能**を利用してください。

- ✓ **オンライン検索**：オンライン検索を行うにはデータ接続を確立します。
  - ▶ 「接続」(131ページ)を参照してください。

1. **NAV** ボタンを押してください。
- 2 **検索**または**オンライン検索**を選択してください(A図145を参照)。
- 3 検索語句を入力してください(県、市/区、名称など)。
- 4 候補のリストから希望の項目を選択してください。
- 5 **開始** を選択してください。

## ポルシェ コンシェルジュを開始する

コンシェルジュ サービスはドライバーのパーソナルアシスタントです。リクエストに応じて、希望の施設や個人住所へのナビゲーションデータをPCMに直接送信し、ドライバーをサポートします。

- ✓ 挿入されたSIMカードにより、データ接続が正常に確立されている。
- ✓ 携帯電話がPCMに接続されている。
  - ▶ 「携帯電話をBluetooth®で接続する（携帯電話の準備）」(164ページ)を参照してください。
- ✓ Apple CarPlay を使用していない。

1. **NAV** ボタンを押してください。
- 2 **ポルシェ コンシェルジュ サービス**を選択してください(B図145を参照)。
- 3 コンシェルジュを呼び出すには、**ポルシェ コンシェルジュに連絡**を選択してください。
- 4 呼び出しを開始することを**承認**してください。

- 5 コンシェルジュ エージェントと会話を開始し、施設情報または個人住所を要求してください。コンシェルジュが通話を終了させた後に、ナビゲーション目的地が送信されます。そのため、先に通話を終了させないでください。
- 6 POI または個人住所を選択してください。
- 7 **開始** を選択してください。



## インフォメーション

- 現在位置、ナビゲーション目的地の地理的位置などのコンシェルジュ サービスデータの使用时は、車両識別データ、言語設定がコンシェルジュ コンタクトセンターに転送される場合があります。
- 1回のコンシェルジュ サービスにつき、最大5つの目的地のナビゲーションデータをPCMに送信することができます。

## 目的地住所の入力

1. **NAV** ボタンを押してください。
- 2 **都道府県**または**市/区町村**を選択してください(C図145を参照)。
- 3 住所を入力してください(県、市/区、施設情報、またはマップコードなど)。
- 4 リストから希望の項目を選択してください。
- 5 **開始** を選択してください。

## 保存した目的地または連絡先の使用 (前回の目的地)

1. **NAV** ボタンを押してください。
2. 前回の目的地を選択してください。
3. 希望のページをブラウズ (スワイプ) してください。
  - 前回の目的地: 最近使用した目的地
  - 保存された目的地: お気に入りとして保存した目的地
  - ▷ 「保存した目的地の呼び出し (お気に入り)」(183ページ) を参照してください。
  - 連絡先: 接続している電話に保存されている連絡先住所
4. リストから項目を選択してください。
5. **開始**  を選択してください。

## 施設情報の入力

1. **NAV** ▶施設情報
2. 希望する施設情報オプションを選択してください (目的地周辺検索など)。
3. 施設情報カテゴリーまたは施設情報を入力または選択してください。
4. **開始**  を選択してください。

### **i** インフォメーション

**NAV** ▶ナビ  ▶施設 ▶希望の施設情報オプション (目的地周辺検索など) ▶ポータルリスト POI を選択して、My Porsche から他の施設情報カテゴリーを読み込んでください。

- ▷ 「ポルシェコネクต์へのログイン」(132ページ) を参照してください。

## マップコードを使用した目的地の入力

1. **NAV** ボタン ▶マップコード
2. 希望する目的地のマップコードを入力してください。
3. マップコードポジションを入力し、**OK** をクリックして確定してください。
4. **開始**  を選択してください。

## 地理座標を使用した目的地入力

✓ ルート案内がまだ開始されていない。

1. **NAV** ボタン ▶**OPT** ボタン ▶GPS座標を入力
2. GPS座標を入力し、**OK** をクリックして確定してください。
3. **開始**  を選択してください。

## 地図からの目的地入力

✓ ルート案内がまだ開始されていない。

1. **MAP** ボタンを押してください。
2. 地図上で目的地を選択してください (必要に応じて、ボタンを長押しする)。
3. ヘッドラインに表示された目的地を選択してください。目的地の詳細が表示されます。
4. **開始**  を選択してください。

## ツアーの計画 (経由地の入力)

ツアーは1つの目的地、および1箇所~8箇所までの経由地で構成されます。

### ツアーの入力および保存

1. **NAV** ボタンを押してください。
2. 目的地を入力し、ルート案内を開始してください。
3. ルート  を選択してください。
4. ツアーを選択してください。
5. **新規**  を選択してください。
6. 経由地を入力してください。
7. **追加**  を選択してください。
8. ツアー名を入力し、**OK** をクリックして確定してください。ツアーが保存されます。

### **i** インフォメーション

経由地は後で変更することができます。

**NAV** ボタン ▶ルート  ▶ツアーを選択し、該当する経由地を押したまま希望の位置に移動させてください。

### 保存したツアーの呼び出し

✓ ツアーが保存されている。

1. **NAV** ボタン ▶登録地 
2. 保存された目的地ページまでブラウズ (スワイプ) してください。
3. ツアーを選択してください。
4. 希望するツアーを選択してください。
5. **開始**  を選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## マルチファンクションディスプレイでの目的地の入力

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション:

- ▶ 「マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」(231ページ)を参照してください。
- ▶ 「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」(231ページ)を参照してください。

### 1. ナビ▶目的地入力

- 希望のリストを選択してください。
  - 前回の目的地: 最近使用した目的地
  - 保存された目的地: 恒久的に保存した目的地
- リストから項目を選択して、ナビゲーションを開始してください。

## ルート案内の開始 / 停止

### 目的地入力メニューでのルート案内の開始

- ✓ 目的地データが入力されている。
- ✓ ルート案内がまだ開始されていない。

▶ **NAV** ボタン ▶ **開始**

### 目的地入力によるルート案内の開始

- ✓ 目的地データが入力されている。
- ✓ ルート案内がまだ開始されていない。
- ✓ 詳細画面で目的地が表示されている。

▶ **開始**  を選択してください。

### 目的地入力メニューでのルート案内の停止

- ✓ ルート案内を開始している。

▶ **NAV** ボタン ▶ **ストップ** を選択してください。 

### マルチファンクションディスプレイによるルート案内の開始および停止

- ✓ 目的地データが入力されている。
- ✓ ルート案内がまだ開始されていない。

- ナビメニューを選択してください。
- 希望のオプションを選択してください。

- ルート案内の開始: ルートを計算します。
- ルート案内の停止: ルート案内を停止します。

## 目的地の保存、および保存した目的地の呼び出し (お気に入り)

### 目的地の保存 (お気に入り)

- ✓ 目的地データが入力されている。
- ✓ ルート案内が開始されていない。

- 保存**  を選択してください。
- OK** をクリックして目的地名を確定してください。目的地が保存されます。  
または  
目的地名を変更し、**OK** をクリックして確定してください。  
目的地は、入力した名前で保存されます。  
または  
既に割り当てられている名前 (自宅など) をリストから選択し、**OK** をクリックして確定してください。  
既存の名前の目的地情報は、新しい情報で上書きされます。

### インフォメーション

目的地は、ボタン **NAV** ▶ **登録地**  ▶ **保存された目的地** ▶ **お気に入り** として保存を使用して保存することもできます。

## 保存した目的地の呼び出し(お気に入り)

1. **NAV** ボタンまたは **MAP** ボタン ▶ **登録地** ★
2. 希望のページをブラウズ(スワイプ)してください。
  - 前回の目的地: 最近使用した目的地
  - 保存された目的地: お気に入りとして保存した目的地またはツアー
  - 連絡先: 接続している電話に保存されている連絡先住所
3. リストから項目を選択してください。

## i インフォメーション

My Porsche から他の目的地を読み取るには、**NAV** または **MAP** ボタン ▶ **登録地** ★ ▶ **保存された目的地** ▶ **パーソナル施設情報** を使用してください。

▷ 「ポルシェコネクストへのログイン」(132 ページ) を参照してください。

## 目的地およびツアーの消去または編集

1. **NAV** ボタンまたは **MAP** ボタン ▶ **登録地** ★
2. 希望のページをブラウズ(スワイプ)してください。
  - 前回の目的地: 最近使用した目的地
  - 保存された目的地: お気に入りとして保存した目的地
  - 連絡先: 接続している電話に保存されている連絡先住所

3. リストから項目を選択してください。
4. **OPT** ボタンを押してください。
5. 希望のオプションを選択してください。
  - 削除
  - 住所を地図上に表示

## i インフォメーション

保存したすべての目的地またはツアーを消去するには、リストから項目を選択する前に、**NAV** ボタンまたは **MAP** ボタン ▶ **登録地** ★ ▶ **OPT** ボタンを選択してください。

## ルートの表示および編集

✓ ルート案内が開始されている。

1. **NAV** ボタンまたは **MAP** ボタン ▶ **ルート** ≡
2. オプションを選択して、設定を変更してください。

- **ルートオプション:**
  - **ルートの設定条件:** ルートの計算方法(推奨、有料回避、時間優先)を設定します。
  - **ルート回避オプション設定:** ルート計算をするとき、フェリーおよび季節規制道路を除外するか、または含めるかを設定します。
  - **ダイナミック リルート:** 動的なルート管理を使用して、渋滞や障害を回避します。
  - **手動ダイナミック リルート:** 確認後に、動的なルート管理が作動
- **リスト表示:** 次の特徴的なルート地点(施設情報、分岐点など)が表示されます。

- **ツアー:** 開始されたツアー ルート案内の目的地および距離が表示されます。
- **代替ルート:** ここでは、現在の案内中のルートに代わるルートを選択することができます。代替ルートを開始するには、**開始** を選択してください。

マップビューを開いて設定する  
マップビューを開く

図146: 表示および機能要素を含むマップビュー

- ▶ **MAP** ボタンを押してください。**地図** ≡ メニューおよび現在地のマップビュー、およびルート案内中の場合は、現在のルートが表示されます。
- **A:** 車両位置を地図の中央に置きます。
- **B:** ルート案内情報、目的地までの時間および距離、または到着時間。
- **C:** 縮尺表示とオートズームを切り替えます。
- **D:** 地図サイドメニューを開きます。
  - ▷ 「地図コンテンツの設定」(184 ページ) を参照してください。
- **E:** 地図の向きを北向きまたは進行方向に切り替えます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 地図コンテンツの設定



図147：地図サイドメニューを含む地図コンテンツ

1. **MAP** ボタン▶サイドメニュー  を選択してください。
2. 希望の地図コンテンツを選択してください。必要に応じてロータリープッシュボタン、またはタッチスクリーンを使用してサイドメニュー内をスワイプダウン（スクロール）し、追加メニューを表示してください。

- ✓ インターネットからデータを読み込むマップビューの利用には、有効なデータ接続が必要です。
  - ▶ 「接続」(131ページ)を参照してください。

有効な地図コンテンツは赤色、無効なコンテンツは白色で表示されます。

- **3D**：3Dビュー(または2Dビュー)。
- **オンライン交通情報**：インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関するリアルタイム交通情報の表示/非表示を切り替えます。
- **ルート情報**：現在のルートプランが表示されます。
- **POI表示**：地図上の施設情報の表示/非表示を切り替えます。

- **コンパス**：地図上のコンパスの表示/非表示を切り替えます。
- **天気**：地図上の天気情報の表示/非表示を切り替えます。
- **オートズーム**：地図上のオートズーム機能の表示/非表示を切り替えます。

## インフォメーション

地図のサイドメニューから各種機能に素早くアクセスすることができます。これらの機能を設定するには、**MAP** ボタン▶**OPT** ボタン▶**マップ設定**▶**マップビュー**▶**マップレイヤー**を選択してください。

## マルチファンクションディスプレイによるマップビューの表示および設定

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▶ 「マルチファンクションディスプレイ」(231ページ)を参照してください。

1. **地図メニュー**を選択してください。
2. 希望する表示オプションを選択してください。

- **オートズーム**：現在地点から次の注意点までの距離に応じて、地図の縮尺が自動的に切り替わります。
- **3Dマップ**：3次元地図を表示します。
- **北向き**：常に地図の上方が北になります。
- **マニュアルズーム**：地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
- **目的地を表示**：地図上でナビゲーション目的地を選択し、拡大表示します。

- **現在地を表示**：地図上で車両の現在地を選択し、拡大表示します。

## 交通情報の表示



図148：交通情報の表示

**NAV** メニューおよび **MAP** メニューで、現在地または選択したルートに関する交通情報を取得することができます。

以下の情報が表示されます。

- **斜線区間**：交通渋滞の長さを示します。
- **色付き警告シンボル**：選択したルート上に差し迫った交通渋滞ルート案内が有効でない場合は、現在の交通渋滞がカラー表示されます。
- **グレー表示の警告シンボル**：選択したルート上ではない交通渋滞

## VICS 交通情報の表示



図149：DSRC/VICS 交通情報

1. **NAV** ボタンまたは **MAP** ボタンを押してください。
2. **交通**  を選択してください。受信したすべての交通情報通知のリストが表示されます。**交通**  メニューに表示されている数字は、選択されたルートに関する交通情報通知の件数を示します。
3. 希望の交通情報通知を選択してください。またはすべての交通情報を表示させるには、すべての**交通情報通知を表示**を選択してください。

希望する交通情報のカテゴリーを選択してください。

- **DSRC/VICS 交通情報**： アイコンを選択したときは、交通情報が読み上げられます。ミニマップはエリア内の交通情報の概要を提供します。
  - ▷ 「全般的な VICS 設定の変更」(186ページ)を参照してください。

- **FM 図形情報**：ラジオ局によって提供される地図形式、またはスクロール可能なテキスト概要形式の FM 交通情報を表示します。
- **FM テキスト情報**：個別のスクロール可能なテキスト形式で提供される FM 交通情報を表示します。
- **DSRC 交通ボイスメッセージ**：DSRC 交通情報の自動アナウンスの ON/OFF を切り替えます。

交通情報通知は、動的なルート管理により渋滞や障害を避けるのに役立ちます。 **MAP** ボタン ▶ **ルート**  ▶ **ダイナミック リルート** を使用して、迂回のための自動ルート変更機能を ON にすることができます。 **手動ダイナミック リルート** により、動的なルートプランの作成を手動で開始することができます。

## i インフォメーション

ラジオ局には交通情報通知に対する責任があります。従って、この情報の完全性および正確性に対してポルシェ社では責任を負いかねます。

### 交通情報の表示

- ✓ 有効なデータ接続が利用可能。
  - ▷ 「接続」(131ページ)を参照してください。

1. **MAP** ボタン ▶ サイドメニュー  を選択してください
2. **オンライン交通情報**を選択してください。

以下の交通量情報が表示されます。

- 緑色のライン：円滑に流れる交通状態。
- 橙色のライン：流れの遅い交通状態。
- 赤色のライン：渋滞。
- ▷ 「地図コンテンツの設定」(184ページ)を参照してください。

## i インフォメーション

- ポルシェ コネクト サービス (カー コネクト サービスを含む、セーフティおよびセキュリティ サービスを除く) は期間はサービスパッケージにより異なりますが、少なくとも3カ月の無料利用期間を提供しております。無料利用期間についての詳細なインフォメーションおよびそれ以降の費用および各サービスの利用についてのインフォメーションは、www.porsche.com/connect またはポルシェ正規販売店から入手できます。
- データ利用可能な外部 SIM カードからポルシェ コネクト サービスが利用できます。外部 SIM カードは、携帯電話プロバイダーとの料金ベースの個別契約が必要です。

## ナビゲーション設定の変更

1. **NAV** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. 希望のオプションを選択してください。

- **地点情報**：現在の位置情報が表示されます。
- **GPS 座標を入力**：GPS 座標を入力し、OK をクリックして確定してください。
- **ナビゲーション設定**
  - **ナビゲーション案内音量**：ナビゲーション案内の音量を調節、および案内の ON/OFF を切り替えます。
  - **ナビゲーションデータベースアップ** データ：ナビゲーションデータベースを SD カード、CD/DVD または USB デバイスを使用してアップデートします。
    - ▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。
  - **燃料警告**：残可走距離情報の表示 / 非表示を切り替えます。
  - **免責事項非表示**：ナビゲーション情報の表示 / 非表示を切り替えます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 地図設定の変更

1. **MAP** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ マップ設定

2. 希望のオプションを選択してください。

- マップビュー：マップビュー（北向き、3D マップ、3D 建築物）とマップレイヤーを調整します。
- ズーム：拡大縮小を適用します。
  - オートズーム：現在のルート案内におけるズームレベルを自動選択します。
  - 交差点拡大：現在のルート案内で交差点に接近したときのズームレベルの自動選択
  - 交差点詳細地図：交差点に近づいた場合、より詳細な走行案内を表示します。
- 警告：施設に近付いた場合の警告、または燃料警告を設定します。
  - 燃料警告
  - DSRC/VICS 交通情報
  - 交通イベント通知マップ
  - 合流警告
  - 踏み切り
  - レーン警告
  - スピードカメラ
- 全般的な設定
  - 日中/夜間表示：日中/夜間表示を切り替えます。
  - フッターを表示：マップビューにタッチスクリーンフッターを表示します。
  - レイヤー表示：マップビューにレイヤーサイドバーのボタンを表示します。
  - 到着時刻表示：到着時刻と残りの走行時間を切り替えます。
  - 経由地までの走行データ：経由地までの時間および距離を表示します。

## 全般的な VICS 設定の変更

1. **NAV** ボタン ▶ VICS  ▶ **OPT** ボタン  
または

2. **MAP** ボタン ▶ VICS  ▶ **OPT** ボタン

3. 希望のオプションを選択してください。

- ポップアップ設定ポップアップの ON/OFF 切り替え、および：
  - ポップアップ表示時間とポップアップメッセージ割込
  - DSRC 運転支援情報
  - DSRC 一般
  - DSRC 交通ボイスメッセージ
- VICS 受信ステータス：
  - 選択した局 例：東京
  - 受信ステータス：例：検索中
  - 受信時間
  - オンライン/オフライン VICS ステータス
- DSRC 更新機能：ON/OFF を切り替えます。
- ナビゲーション設定：「ナビゲーション設定の変更」（185ページ）を参照してください。
- マップ設定：「地図設定の変更」（186ページ）を参照してください。

## 道路通行料自動徴収システム (ETC) の使用

ETC カードリーダーでのカードの挿入/取り出し

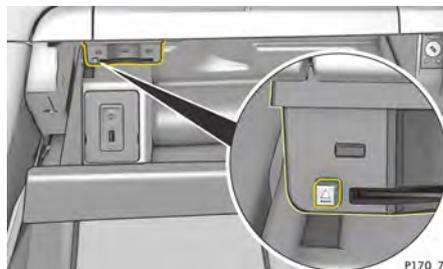


図150：グローブボックス内の ETC カードリーダー

1. 有効な ETC カードを、グローブボックス内のカードリーダーにロックされるまで差し込んでください。  
 アイコンはスクリーンの下部に表示されます。
2. ETC カードを取り出すには、 ボタンを押してください。カードの紛失またはカードのエラーを表示する  アイコンは PCM スクリーンの下部に表示されます。

## 支払履歴の表示

✓ ETCカードが挿入されている。

- ▶ **CAR** ボタン ▶ 料金  ▶ 通行料履歴。  
通行料履歴は、このカードを使用して以前に支払われたすべての金額を表示します。

## **i** インフォメーション

車両から離れるときは、カードをカードリーダーから抜き取ることを推奨いたします。これには**カード取り忘れリマインダー**機能が役に立ちます。

▷ 「一般的な ETC 設定」(187ページ) を参照してください。

### 一般的な ETC 設定

✓ ETC カードが挿入されている。

1. **CAR** ボタン ▶ **料金** ▶ **設定**  
**ETC 設定**
- 2 希望のオプションを選択してください。

- **通行料通知**：現在支払が必要となっている通行料金を表示します。
- **通行料アナウンス**：通行料の音声アナウンスの ON/OFF を切り替えます。
- **ETC 警告**：現在のルート上にある、支払いが必要な通行料に関する警告の表示 / 非表示を切り替えます。
- **カード取り忘れリマインダー**：車両を離れるときに、ETC カードをカードリーダーから抜き取ることを促すメッセージの ON/OFF を切り替えます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## パークアシスト

ドライバーが駐車操作をしているとき、パークアシストが車両と障害物の間の距離を表示(車両装備により異なる)と音で知らせます。

パークアシストのパーキング エイドがPCMに表示されます。車両前後の障害物が色別にフィールド表示されます。このフィールドにより障害物の形や車両との距離が分かります。



**警告**

運転中または駐車中の不注意

パークアシストにより操作の快適性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。パークアシストを使用している場合も、ドライバーには駐車時や障害物に注意を払う責任があります。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

▶ 移動範囲内に人、動物、障害物がないか必ず十分に確認してください。

## 距離の測定

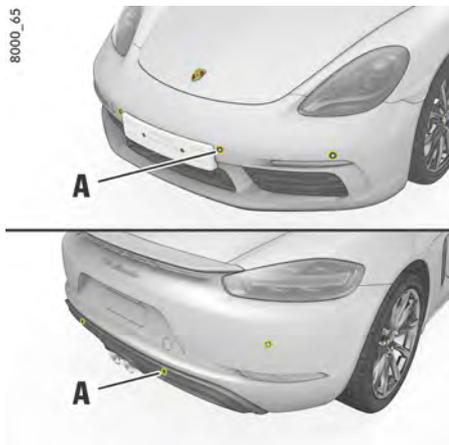


図151：距離測定用超音波センサー

フロントおよびリヤバンパーの超音波センサーAが障害物との距離を測定します(車両装備により異なる)。障害物を検出すると**警告音が断続的に**鳴ります。障害物との距離が近づくにつれて警告音の断続間隔が短くなります。障害物との距離が約30cm以下になると、**警告音が連続して**鳴ります。

天井から吊り下がっている物体や地面の近くにある障害物など、センサーの検出範囲よりも上または下にある物体は、センサーの死角になります。このためパークアシストが障害物として検出できません。

警告音の音量をマルチファンクションディスプレイで変更できます。

▶ 「警告音およびパークアシストの音量調節」(242ページ)を参照してください。

## パークアシストの作動

**自動作動(約15km/hの速度まで)**

- ✓ イグニッションがONになっている。
- ✓ リバース(後退)ギヤに入っている。  
または
- ✓ 前方の距離が約80cm以下。  
または
- ✓ 車両の後退が検知されている。

### 手動での作動

▶ **CAR** ボタン▶アシスト▶パークアシストを表示する

## PCMの表示



図152：色で距離を知らせる

色	フロント側の距離	リヤ側の距離
緑色	< 120 cm	< 180 cm
黄色	< 80 cm	< 80 cm
赤色	< 40 cm	< 45 cm
赤色と連続音	< 30 cm	< 30 cm

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：  
 ▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」 (219ページ) を参照してください。

## パークアシストの停止

### 自動停止

- ✓ リバースから前進にギヤを切り替える (障害物が検出されない場合は約2分後)  
 または
- ✓ PDK 装備車：セレクター レバーが P の位置にある。

### 手動での停止



図153：オーバーヘッド コンソールのボタン

- ▶ オーバーヘッド コンソールのボタン A を押してください。  
 ボタンのインジケーター ライトが点灯します。  
 PCM には何も表示されません。PCM の表示を手動で再度 ON にすることはできません。

## 例外

構造上、パークアシストは以下のものを検出できません。

- 音波を吸収する物体 (例：粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など)
- 音波を反射する物体 (例：ガラス面や平らな塗装面など)
- 非常に細い物体 (細い支柱など)

その他、他車のエアブレーキ、掃除機、エアジャッキなど、超音波を発する機器の近くでは障害物の検出が妨げられる恐れがあります。

## メンテナンス上の諸注意

- ▶ センサーの正常な機能を維持するため、センサーに付着した汚れ、氷、雪などは取り除いてください。
- ▶ センサーを擦ると故障の原因になります。
- ▶ 高圧洗浄機を使用して清掃するときは、センサーとの距離を十分に確保してください。圧力が高すぎるとセンサーが損傷します。
- ▶ ナンバープレートホルダーの改造、またはナンバープレートの移設、曲がり、取り付け不良などはシステムに悪影響を及ぼす恐れがあります。

## リバースカメラ

### リバースカメラの作動

#### 自動

- ✓ リバースギヤに入っており、イグニッションが ON になっている。  
 または
- ✓ 車両の後退が検知されている。

#### 手動

- ▶ **CAR** ボタン ▶アシスト ▶パークアシストを表示する

### リバースカメラの停止

#### 自動

- ✓ リバースから前進にギヤを切り替える (障害物が検出されない場合は約2分後)  
 または
- ✓ PDK 装備車：セレクター レバーが P の位置にある。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## パーソナル設定

### 概要

この概要説明は「パーソナル設定」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



どこでパーソナル設定の保存/呼び出しができますか?	メモリーパッケージでは、どのようなパーソナル設定の保存/呼び出しができますか?	ページ
運転席ドアのメモリー ボタン 1 または 2 を使用します。	<b>人間工学に基づいた設定 (装備仕様による)</b> - 運転席シート、ドアミラー、ステアリングホイール	191
運転席ドアのキー ボタン  を使用します。	<b>人間工学に基づいた設定 (装備仕様による)</b> - 運転席シート、ドアミラー、ステアリングホイール  <b>コンフォート設定 (装備仕様による)</b> - インストルメントパネル - エアコンシステム  設定は運転席ドアのキー ボタン  およびキーに保存されます。	191

## パーソナル設定の保存と呼び出し

### メモリーパッケージ

#### ▲ 注意

シート、ドアミラー、およびステアリングホイールの自動設定の呼び出し

設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫されたりする恐れがあります。

- ▶ メモリー ボタンまたはシート調節ボタンのいずれかを押しと、必要に応じて設定の自動呼び出し機能をキャンセルできます。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。



図154：運転席ドアメモリーボタン(メモリーパッケージ)

車両の装備仕様により、メモリーパッケージではさまざまな設定をキーおよび運転席ドアのメモリーボタンに保存することができます。

#### 人間工学に基づいた設定：

- 運転席シート
- ステアリングホイール
- ドアミラー

#### コンフォート設定：

- インストルメントパネル
- エアコンシステム

#### キーへの設定の保存

人間工学に基づいた設定とコンフォート設定をキーに個別に割り当てることができます。

#### i インフォメーション

各メモリーの情報は最大で4本のキーに保存することができます。さらにキーを追加する場合は、最後に車両に登録されたキーのメモリー情報が適用されます。

#### 運転席ドアの運転席キー ボタン を押す

✓ イグニッションがONになっている。

1. 設定ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーターライトが点灯します。
2. 10秒以内にキー ボタン  を押してください。  
人間工学に基づいた設定およびコンフォート設定(キー特定)が保存されます。  
保存されると確認音が鳴り、設定ボタンのインジケーターライトが消灯します。

#### キーから設定を呼び出す

##### 車両ロック解除による自動呼び出し

- ▶ 車両をロック解除し、運転席ドアを開いてください。  
使用中のキーの設定が呼び出されます。

#### 運転席ドアの運転席キー ボタン を押す

- ▶ すべての設定が呼び出されるまでキー ボタン  を押し続けてください。  
または

- ✓ イグニッションがOFFになっている。
- ✓ 運転席ドアを開く

- ▶ キー ボタン  を短く押してください。  
使用中のキーの設定が呼び出されます。

#### メモリー ボタン1および2への設定の保存

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのメモリーボタン1と2に割り当てることができます。

✓ イグニッションがONになっている。

1. 設定ボタンを押してください。  
ボタンのインジケーターライトが点灯します。
2. メモリー ボタン1または2を10秒以内に押してください。  
人間工学に基づいた設定が保存されます。  
保存されると確認音が鳴り、設定ボタンのインジケーターライトが消灯します。

#### メモリー ボタン1または2による設定の呼び出し

- ▶ すべての設定が呼び出されるまでメモリーボタン1または2を押し続けてください。  
または

- ✓ イグニッションがOFFになっている。
- ✓ 運転席ドアを開く

- ▶ メモリー ボタン1または2を短く押してください。  
設定が自動的に呼び出されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## バッテリー

### ⚠ 警告

感電、ショートまたは火災

車両の通電部品に触れると、感電する恐れがあります。車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー マイナス ケーブルの端子を外してください。
- ▶ 工具や電気を通す装身具（指輪、ネックレス、時計バンドなど）が、車両の電気部品と接触しないように注意してください。

### ⚠ 警告

火災または爆発

燃料、エンジン オイル、トランスミッション オイルなど、車両に使用される油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。燃料蒸発ガスは発火、爆発する危険があります。鉛バッテリー充電時には爆発性の高い混合ガスが発生することがあります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー マイナス ケーブルの端子を外してください。
- ▶ 静電気の帯電を防ぐため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
- ▶ バッテリーを取り扱う前に、車両などに触れて静電気を逃がしてください。
- ▶ バッテリーの近くで喫煙したり、裸火を近づけたりしないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。
- ▶ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。

### ⚠ 注意

腐食性のある電解液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ▶ 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。

### 知識

回路のショート、火災またはオルタネーターおよび電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▶ バッテリーの脱着は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。  
ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー マイナス ケーブルの端子を外してください。



図155：バッテリー

バッテリーはフロント ラゲッジ コンパートメント内のプラスチック カバーの下にあります（図155）。

プラスチック カバーの取り外しに関するインフォメーション：

- ▶ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」（258ページ）を参照してください。
- ▶ ジャンパー ケーブルによるエンジン始動時は、黒色のマイナスケーブルを絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。必ず充電器の黒色のマイナスケーブルをアース箇所（マイナス端子）B（図156）に接続してください。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動に関するインフォメーション：

- ▶ 「ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動」（117ページ）を参照してください。

## 警告シンボルへの対応

バッテリーの充電レベルが低いときは、マルチファンクションディスプレイに  または  シンボルが表示されます。 のシンボルは、オルタネーターの故障を示します。

▷ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

## バッテリーに記載されている安全に関するシンボルに注意してください。



作業の前に取扱説明書をお読みください。



保護眼鏡を必ず着用してください。



お子様を絶対に近づけたりしないでください。



爆発の危険があります。バッテリー充電中は爆発性の高い電解質のガスが発生します。



火気、火花、裸火を近づけたり、そばで喫煙したりすることは絶対に避けてください。  
電気配線や電装品を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。



酸による火傷の危険があります。バッテリー液には極めて強い腐食性があります。保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。ガス抜き穴からバッテリー液が漏れる恐れがあるため、バッテリーを傾けないでください。

### 応急処置

バッテリー液が目にかかった場合、直ちに水で数分間洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚、衣服にかかった場合、直ちに石鹼水で中和し、多量の水で洗い流してください。万一バッテリー液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。



### 廃棄

古いバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。



古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

## バッテリーのお手入れ

### i インフォメーション

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充電状態を維持してください。バッテリーが充電不足のときは温度が0℃であっても凍結することがあります。完全に充電されている場合は-40℃まで凍結しません。

#### 運転者が何をしたいか?

バッテリー上がりを防ぐには

#### その操作方法は?

- ▶ 短距離の運転時は、不要な電気装備類をOFFにしてください。
- ▶ 車両から離れるときはイグニッションをOFFにし、キーを抜いてください。
- ▶ エンジン停止時には、PCMを使用しないでください。

#### 運転者が何をしたいか?

バッテリーのお手入れ

冬季の走行に備えて

バッテリーを充電する

#### その操作方法は?

- ▶ バッテリー表面は清潔で乾いた状態に保ってください。
- ▶ バッテリー端子は必ず確実に接続してください。
- ▶ 冬になる前に、ボルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。
- ▶ 凍結または損傷したバッテリーは決して充電しないでください。
- ▶ 「バッテリーの充電」(194ページ)を参照してください。

## 車両を保管するとき

- ▶ 車両を使用せず、車庫や修理工場に長期間保管する場合は、ドアやリッド類を確実に閉じてください。
- ▶ キーを抜き、必要に応じてバッテリーの端子を外してください。ボルシェエントリー&ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。

### i インフォメーション

バッテリーを切り離している場合、警報装置は作動しません。バッテリーを切り離す前に車両がロックされていた場合、バッテリーを再接続したときに警報システムが作動します。

- ▶ 「警報システム」(101ページ)を参照してください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## **i** インフォメーション

車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。

- ▶ 正常に使用可能な状態を保つには、約6週間ごとの充電またはAGM (Absorbent Glass Mat (アブソーバント ガラス マット)) バッテリーに適したトリクル充電器の使用が必要です。  
ポルシェ社では、Porsche Tequipmentの充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。
- ▶ 取り外したバッテリーは、湿気がなく風通しの良い冷暗所に保管し、凍結に注意してください。

## バッテリーの充電

8000\_80



図156：バッテリー端子

- A プラス端子 +
- B アース箇所 (マイナス端子) -

## **⚠** 警告

凍結または損傷した  
バッテリーの充電

凍結または損傷したバッテリーを充電すると、爆発や酸による火傷の危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーは**決して**充電しないでください。
- 
- ▶ 充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
  - ▶ バッテリーの充電中は必ず十分に換気を行ってください。
1. フロントラゲッジコンパートメントリッドを開いてください。
  - ▶ 「ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除」(263ページ)を参照してください。
  2. ラゲッジコンパートメントカバーを取り外してください。
  - ▶ カバーを取り外すには:「タイヤシーラント (Tire Mobility System - TMS) または工具セットの取り外しおよび収納」(257ページ)を参照してください。
  3. 充電器の赤色のプラスケーブルをバッテリーのプラス端子Aに接続してください。
  4. 充電器の黒色のマイナスケーブルをアース箇所Bに接続してください。
  5. 充電器のスイッチをONにしてください。
  6. バッテリーの充電が完了したら、充電器の電源をOFFにしてから、ケーブルを外してください。
  - ▶ 「バッテリー交換後の車両の作動復帰」(194ページ)を参照してください。
  - ▶ 適切な充電器に関する情報は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## バッテリーの交換

バッテリー本体に表示された規格 / 仕様のみでは、そのバッテリーがポルシェ社の要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

- ▶ バッテリーの交換時は、車両が必要とする要件を満たしたAGM (Absorbent Glass Mat : 浸透ガラス マット) バッテリーを必ず使用してください。ポルシェ純正バッテリーの使用を推奨いたします。
- ▶ バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。
- ▶ バッテリーの脱着は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。
- ▶ 新しいバッテリーを取り付けた後は、コントロールユニットでの初期化が必要です。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## バッテリー交換後の車両の作動復帰

バッテリーを接続した後、または放電してしまったバッテリーを充電した場合、以下の作業を実施してください。

1. パワーウィンドウの停止位置を保存してください。
  - ▶ 「サイドウィンドウ停止位置の保存」(45ページ)を参照してください。
2. タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) にタイヤを登録してください。
  - ▶ 「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」(142ページ)を参照してください。

## パンクしたとき

### 警告シンボルへの対応

 シンボルが警告シンボルとともにマルチファンクションディスプレイに表示された場合、タイヤ空気圧モニタリングシステムが著しい空気圧低下を検出しています。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▶ 安全な場所に停車し、タイヤの損傷を点検してください。
- ▶ 「警告および情報メッセージ」(82 ページ)を参照してください。

### 車両を安全な場所に停車する

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。ジャッキがセットできる固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザードライトを点滅させてください。
3. エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
4. マニュアル トランスミッション装備車：1速ギヤ。  
または  
PDK 装備車：セレクター レバーを P 位置に入れてください。
5. フロント ホイールを直進位置にしてください。
6. ステアリングのロックおよびエンジン始動の防止：キーを抜き取ってください。ポルシェエンタープライズドライブ装備車：リモートコントロールユニット
7. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。このとき、周囲の交通状況に注意してください。
8. 停止表示板を適切な場所に設置してください。
9. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。

## 損傷したタイヤの補修

### 警告

シーラントでふさいだだけのタイヤは、事故の原因となります

タイヤシーラントでふさがれた損傷タイヤは、不適切な速度で走行したり連続的な負荷がかかったりすると、圧力を失ったりバーストしたりする可能性があります。

- ▶ タイヤシーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。
- ▶ タイヤシーラントは 4 mm 以下の切り傷またはパンクにしか使用できません。
- ▶ リムが損傷している場合や、空気圧が低いタイヤや収縮したタイヤで走行した場合は、絶対にタイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 外気温度が -20℃ 未満の場合は、タイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- ▶ 80 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar 未満の場合は、運転を中止してください。
- ▶ シーラントでふさいだタイヤはできるだけ早く修理工場で交換してください。タイヤシーラントを使用したタイヤであることを修理工場に伝えてください。
- ▶ タイヤを**修理しないで**ください。損傷したタイヤは交換します。
- ▶ タイヤシーラントおよびコンプレッサーの各取扱説明書に記載されている安全と操作の指示を読み、それに従ってください。

パンクした場合、タイヤシーラントキット (Tire Mobility System - TMS) を使用して、タイヤ

の傷を一時的にふさぐことができます。損傷したタイヤを適切に補修するには以下が必要です。

- **タイヤシーラントセット** (Tire Mobility System - TMS) は、フロントラゲッジコンパートメント内に収納されており、以下で構成されています。
  - 充填ポトル
  - 充填ホース
  - バルブ回し
  - 交換バルブインサート
  - 許容最高速度表示用ステッカー
  - 操作説明
- ▶ 「タイヤシーラント (Tire Mobility System - TMS) または工具セットの取り外しおよび収納」(257ページ)を参照してください。
- **コンプレッサー**はフロントラゲッジコンパートメント内にあります。
  - ▶ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」(258ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## タイヤシーラントの充填 (Tire Mobility System – TMS)



**警告**

人体に有害な可燃性  
シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。長時間または繰り返し触れていると、刺激、アレルギー反応または臓器の損傷の原因となります。

- ▶ タイヤシーラントを取り扱う際、火炎、裸火、喫煙は禁止されています。
- ▶ お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤシーラントが皮膚に付着したり目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 体調不良やアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ タイヤシーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。



**警告**

タイヤ空気圧の低下

タイヤシーラントが付着したタイヤ空気圧センサーでは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

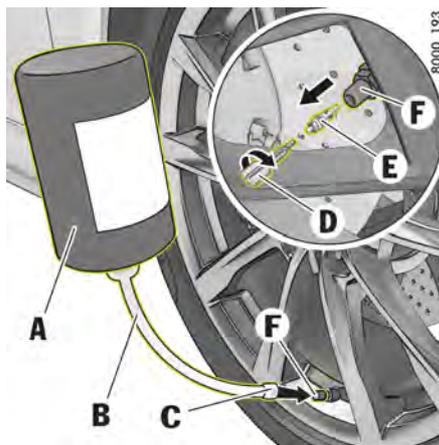


図157：タイヤシーラントの充填 (Tire Mobility System – TMS)

- A 充填ボトル
- B 充填ホース
- C 充填ホースプラグ
- D バルブ回し
- E バルブインサート
- F タイヤバルブ

### 充填作業の準備

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. フロント ラゲッジ コンパートメントからタイヤシーラントおよび同封のステッカーを取り出してください。タイヤシーラントはラゲッジコンパートメント内の右側ボックスに収納されています。コンプレッサーはラゲッジコンパートメント内のカバーの下にあります。
  - ▶ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」(258ページ)を参照してください。

- ▶ 「タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) または工具セットの取り外しおよび収納」(257ページ)を参照してください。

3. 最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

### タイヤシーラントの充填 (Tire Mobility System – TMS)

- ▶ タイヤシーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

1. 充填ボトル A を振ってください。
2. 充填ホース B を充填ボトルに取り付けてください。  
充填ボトルを開封してください。
3. タイヤバルブ F からバルブキャップを取り外してください。
4. バルブ回し D を使用して、バルブインサート E をタイヤバルブから取り外してください。交換用バルブインサートが入手できない場合は、バルブインサートを清潔で乾燥した場所に保管してください。
5. 充填ホース B のプラグ C を取り外してください。
6. 充填ホースをタイヤバルブに押し付けてください。
7. 充填ボトルをタイヤバルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
8. 充填ホースをタイヤバルブから引き抜いてください。
9. 入手可能な場合は、バルブ回し D を使用して、交換用バルブインサートまたはバルブインサート E に確実にねじ込んでください。

### タイヤ空気の充填

- ▶ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。
- ▶ 「タイヤ空気の充填」(145ページ)を参照してください。

1. コンプレッサーを車両のプラグ ソケットに接続し、圧力が2.5bar以上になるまでタイヤに空気を入れてください。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。このようなタイヤで運転を続けしないでください。
2. バルブ キャップをタイヤバルブ Fに取り付けてください。

#### タイヤ空気圧の点検

- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。  
タイヤ空気圧が 1.5 bar 未満の場合は、運転を中止してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar 以上の場合は、指定のタイヤ空気圧に調整してください。
  - ▷ 「タイヤ空気圧」(286 ページ) を参照してください。

#### タイヤ交換

- ▷ 「タイヤおよびリムの交換」(146ページ) を参照してください。

ホイールを交換した後は、マルチファンクションディスプレイのタイヤ設定を必ず更新してください。

- ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」(142 ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ヒューズ

## 警告

ショート

車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー マイナス ケーブルの端子を外してください。

## 警告

不適切な処置および不適切なアクセサリ

ヒューズ ボックスへの不適切な処置、または不適切なアクセサリの使用は、電気 / 電子回路に損傷や不具合を発生させる恐れがあります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェ社が承認した電装品 (アクセサリ) のみを使用してください。認定アクセサリに関するインフォメーション: ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## リレー

リレーの点検と交換はポルシェ正規販売店で行ってください。

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ヒューズの点検および交換



図158: 左側足元のヒューズ ボックスにあるエレメント

- 1 スペアヒューズ
- 2 プラスチック製ヒューズリムーバー

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各々の回路がヒューズで保護されています。ヒューズ ボックスは運転席と助手席の足元側面にあります。ヒューズ リムーバーおよびスペアヒューズは上部カバーの下、両方のヒューズ ボックス内にあります。

1. 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品を OFF にしてください。
2. 穴に指を入れて、プラスチック カバーを外してください。
3. ヒューズを点検するため、プラスチック製ヒューズ リムーバー 2 を使用して、スロットからヒューズを引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。

4. 新しいヒューズを差し込んでください。交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。スペアヒューズ 1 は左側のヒューズ ボックスのプラスチック製ヒューズ リムーバー 2 の隣にあります。

## i インフォメーション

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## 運転席側のヒューズ



図159: 運転席側足元のヒューズ キャリア

<b>A列</b>							<b>C列</b>	
1	左下：エアコンブロー（右ハンドルの車のみ）	40 A ■	4	インテリアライト ホールセンサー オリエンテーションライト リヤウィンドウヒーターリレー セントラルロックLED ドアパネルLED アンビエントライト ライセンスライト リヤフォグライト、左 ハイマウントブレーキライト ブレーキライト、右 リバースライト、右 テールライト、右 デイトタイムドライビングライト、右 Cayman：リヤワイパー電気作動	15 A ■	1	センターコンソールボタンパネル ゲートウェイコントロールユニット 故障診断用ソケット イグニッションロック ステアリングコラムロック ライトスイッチ Cayman：ラゲッジコンパートメントライト	10 A ■
2	左上：PSMコントロールユニット	40 A ■	5	燃料ポンプ リレーおよびコントロールユニット	20 A ■	2	フットウェルライト イグニッションロックの取り外し防止ロック 方向指示器、右フロントおよび右リヤハザードライト ボタンLED イグニッションロックライト 方向指示灯（サイド）、右フロントおよび左フロント ハイビームヘッドライト、右 ロービームヘッドライト、右 車幅灯、左フロント	40 A ■
3	右下：シートおよび運転席シートコントロールユニットの調整	25 A ■	6	フィルラフラップロック ステアリングコラムロック端子 30 ウォッシュポンプ、 フロントおよびリヤ	10 A ■	3	未使用	
4	右上：Boxster：コンバーチブルトップ	40 A ■	7	未使用		4	ホーン	15 A ■
<b>B列</b>			8	エアコンコントロールユニット	7.5 A ■	5	フィルラフラップ リヤスポイラーコントロール （展開 / 格納） Boxster：コンバーチブルトップロック クローズングエイド Boxster：コンバーチブルトップコンパートメントキャッチの開閉	30 A ■
1	右側 / 左側通行のヘッドライトの変更 フロントリッドライト フロントリッドアクチュエーター ハイビームヘッドライト、左 ロービームヘッドライト、左 サイドマーカーライト、右フロント 方向指示器、左リヤおよび左フロント	40 A ■	9	未使用		6	パワーウィンドウコントロールユニット、左 ドアコントロールユニット、左	25 A ■
2	エキゾーストフラップ コントロール ハイマウントブレーキライト、リヤ スポイラー リヤリッドアクチュエーター リヤフォグライト、右 ブレーキライト、左 リバースライト、左 テールライト、左 左側デイトタイムドライビング ライト	15 A ■	10	ステアリングコラム ストップウォッチ	15 A ■	7	ヘッドライトクリーニングシステム	30 A ■
3	アラームホーン	15 A ■				8	PSMコントロールユニット	25 A ■
						9	アラームサイレン	5 A ■
						10	室内モニタリングシステム センサー	5 A ■

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## D列

1	Cayman : リヤワイパー	15 A ■
2	未使用	
3	左ヘッドライト	15 A ■
4	フロントカメラコントロール ユニット PDCコントロールユニット ゲートウェイ/故障診断用ソケット エアクオリティセンサー ヘッドライトコントロールユニット	5 A ■
5	PSMコントロールユニット	5 A ■
6	ステアリングコラムスイッチモ ジュール 電動ステアリングギヤ 冷媒圧力センサー ラジエーターファンリレー	5 A ■
7	セレクターレバーコントロールユ ニット クラッチスイッチセンサー	5 A ■
8	右ヘッドライト	15 A ■
9	ルームミラー	5 A ■
10	シートベンチレーション、左	5 A ■

## 助手席側のヒューズ

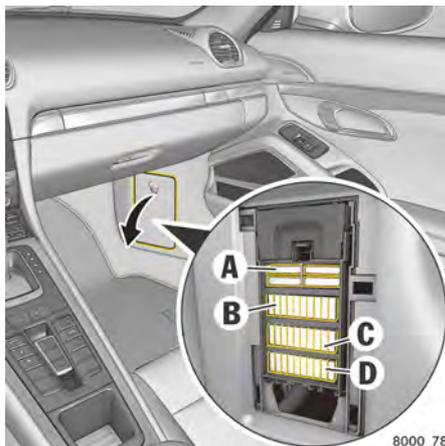


図160 : 助手席側足元のヒューズキャリア

### A列

1	左下 : DC/DCコンバーターPCM	40 A ■
2	未使用	
3	右下 : 外気ブLOWERモーターおよび ファンコントロール(左ハンドル車 のみ)	40 A ■
4	右上 : シートおよび助手席シートコ ントロールユニットの調整	25 A ■

## B列

1	レインセンサー	5 A ■
2	エアコン/シートヒーターコント ロールユニット	25 A ■
3	PCMコンポーネント : (リバースカメラ、アンテナアンプ、 コントロールユニットディスプレイ、 USBハブ、カップリングアンテ ナ、カードリーダー)	5 A ■
4	外部ブースター付きセントラルコ ンピューター	7.5 A ■
	内部ブースター付きセントラルコ ンピューター	20 A ■
5	TPMコントロールユニット エアコンコントロールユニット	5 A ■
6	サウンドシステムアンプ	40 A ■
7	Burmester® サブウーファーブ ース	40 A ■
8	未使用	
9	インストルメントクラスター	10 A ■
10	ドアハンドル近接センサー	5 A ■

## C列

1	未使用	
2	エレクトリックパーキングブ レキスイッチ	5 A ■
3	オーバーヘッドコンソール	5 A ■
4	PDKコントロールユニット	25 A ■
5	未使用	
6	フロントワイパーモーター	30 A ■

7 パワーウィンドウコントロール  
ユニット、右  
右ドアコントロールユニット 25 A 

8 ステアリングコラム調整 25 A 

9 未使用

10 未使用

---

#### D列

1 エアバッグコントロールユニット  
シートセンサーコントロール  
ユニット 5 A 

2 PASM コントロールユニット 5 A 

3 未使用

4 ACC コントロールユニット 5 A 

5 未使用

6 シートベンチレーション、右 5 A 

7 始動関連の電装品  
DME、PDK、リヤBCM 5 A 

8 未使用

9 センターコンソールソケット  
シガーライター 20 A 

10 助手席足元ソケット 20 A 

---

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ブレーキ

## エレクトリックパーキングブレーキ

エレクトリックパーキングブレーキは後輪に作用し、停車中に車両が動き出さないように固定します。



図161：エレクトリックパーキングブレーキスイッチ

## パーキングブレーキを作動させる

- ▶ (P) スイッチを押してください。
- ▶ (P) スイッチのインジケータライトとインストルメントパネルのブレーキ警告灯 (E) が点灯します。

警告灯およびインジケータライトに関するインフォメーション：

- ▶ 「インストルメントパネル」(39ページ)を参照してください。

## パーキングブレーキを手動で解除する

- ✓ イグニッションがONになっている。
- 1. ブレーキペダルを踏んでください。

- 2. (P) スイッチを引いてください。  
インストルメントパネルのブレーキ警告灯 (E) が消灯します。

## パーキングブレーキの自動解除

パーキングブレーキをかけたままでも通常のように発進することができます。

- ✓ エンジンが作動している。
  - ✓ 運転席ドアが閉まっている。
  - ✓ 運転席シートベルトが着用されている。
- エレクトリックパーキングブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキングブレーキを自動解除します。

これらの条件のいずれかが満たされていない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリックパーキングブレーキが自動解除されません。

マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。インストルメントパネルのブレーキ警告灯 (E) および (P) スイッチのインジケータライトが点滅します。

- ▶ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

## パーキングブレーキの自動ロック

- ✓ PDK 装備車

セレクターレバーがD、RまたはMの位置にあり、車両が停止状態で、運転席ドアが開いている場合、エレクトリックパーキングブレーキがロックされます。

(P) スイッチのインジケータライトとインストルメントパネルのブレーキ警告灯 (E) が点灯します。

警告灯およびインジケータライトに関するインフォメーション：

- ▶ 「インストルメントパネル」(39ページ)を参照してください。

## i インフォメーション

パーキングブレーキの自動ロックは手動で無効にすることができます。

- ▶ (P) スイッチを引いてください。  
パーキングブレーキが解除された状態のままになります。

エレクトリックパーキングブレーキの締結を無効にした場合、この機能はドアを再度開いた場合にのみ利用できます。

## 緊急ブレーキ機能を作動させる

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合、エレクトリックパーキングブレーキを使用して急制動をかけ、停車させることができます。

- ▶ (P) スイッチを押し続けてください。  
インストルメントパネルのブレーキ警告灯 (E) と (P) スイッチのインジケータライトが点滅します。

緊急ブレーキ機能を解除するには：

- ▶ (P) スイッチを放してください。

## ▲ 警告

急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失ったりする恐れがあります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用してください。
- ▶ 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

## 警告シンボルへの対応

停車中にエレクトリックパーキングブレーキが完全にかからない場合、(P) スイッチのインジケータライトおよびインストルメントパネルのブレーキ警告灯 (E) が点滅します。

- ▶ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

## フットブレーキ

## ⚠ 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロア マットや正しく固定されていないフロア マットはペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルが不意に作動したり、ブレーキペダルが妨げられたりする可能性があります。これにより、予期しない加速やブレーキ操作が難しくなる場合があります。

- ▶ 車両に適切なフロア マットのみを使用してください。
- ▶ フロア マットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ いくつものフロア マットを重ねて置かないでください。
- ▶ 清掃などの際に、フロア マットを取り外した後、再び正しく固定されていることを確認してください。

## ⚠ 警告

ブレーキブースターの機能停止

ブレーキブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジン OFF 時やブレーキブースターの負圧が低下している場合は、ブレーキペダルを踏み込むときに強い力が必要になります。

- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▶ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(102ページ)を参照してください。

## ⚠ 警告

ブレーキディスクに付着した水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

## ⚠ 警告

制動力の低下

凍結防止剤(塩分)が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

車両を長期に渡り駐車したまま放置した場合、ブレーキディスクの腐食は避けられません。その結果、ブレーキは「引かず」りを発生します。

- ▶ ブレーキディスクの腐食を避けるため、「ブレーキを乾燥させてから」駐車してください(ボルシェセラミック コンポジットブレーキ装備車を除く)。
- ▶ ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ボルシェ正規販売店でブレーキシステムを点検してください。
- ▶ ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ ブレーキの効きを持続するため、下り坂を走行するときは、タイミング良くギヤを落とし、エンジンブレーキを利用してください。急な下り坂でエンジンブレーキの効果のみでは不十分な場合、間隔をおいてブレーキペダルを踏んでください。ブレーキペダルを連続して踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなります。

ブレーキ液とブレーキ液レベルに関するインフォメーション:

- ▶ 「ブレーキ フルード」(204ページ)を参照してください。

## ブレーキパッドおよびブレーキディスク

ブレーキパッドやブレーキディスクの摩耗は、ユーザーの運転の仕方或使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

この車両の高性能ブレーキシステムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

このため、特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境(気温、湿度等)によってブレーキから異音が発生する場合があります。

## 警告シンボルへの対応

ブレーキパッドが摩耗限度に達すると、警告シンボル  が表示されます。

- ▶ 「警告および情報メッセージ」(82 ページ)を参照してください。

- ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ボルシェセラミックコンポジットブレーキ(PCCB)

この車両の高性能ブレーキシステムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

このため、特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境(気温、湿度等)によってブレーキから異音が発生する場合があります。

ブレーキパッドやブレーキディスクなどのブレーキシステムおよび関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方或使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離に依存するとは言えません。

ボルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

## ブレーキフルード



図162：ブレーキ液タンク

### 警告シンボルへの対応

ブレーキ液量が許容範囲を下回ると、インストールパネルに **(C)** シンボルが表示され、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。ブレーキペダルの踏み代が過大になる他、警告灯が点灯してブレーキシステムの故障を示す場合もあります。

- ▶ 直ちに安全な場所に停車し、運転を続けな  
いでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポ  
ルシェ正規販売店のご利用を推奨いたしま  
す。十分なトレーニングを受けた経験豊か  
なスタッフが、最新の技術情報と専用工具  
や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束  
します。
- ▶ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)  
を参照してください。

### ブレーキ液量の点検

- ▶ ブレーキ液タンクのブレーキ液量を読み  
取ってください(図162)。フルード液量は常  
にMINマークとMAXマークの間に維持され  
なければなりません。
- ▶ ブレーキ液量がMINマークより下にある場  
合は、ブレーキ液を補充してください。ポ  
ルシェ正規販売店にご相談ください。ポ  
ルシェ正規販売店のご利用を推奨いたしま  
す。十分なトレーニングを受けた経験豊か  
なスタッフが、最新の技術情報と専用工具  
や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束  
します。

### ブレーキフルードの交換

ブレーキフルードを定期的に点検および交換することは、メンテナンスの一部です。

- ▶ 「サーキット走行」(13ページ)を参照して  
ください。

## フロントワイパー

### 概要

この概要説明は「フロントワイパー」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

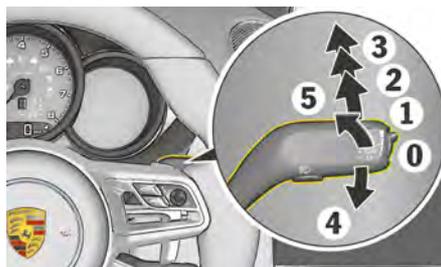


図163：フロントワイパー レバー



図164：レインセンサー/間欠作動感度のスイッチ (A)

運転者が何をしたいか?	操作方法	ページ
フロントワイパー オート作動 (レインセンサー/間欠作動)	レバーを1の位置にしてください。	207
レインセンサー/間欠作動の感度設定	レバー右部のスイッチ A を上 (作動回数が増える) または下 (作動回数が減る) 方向に押してください。	207
フロントワイパー作動	低速：レバーを2の位置にしてください。 高速：レバーを3の位置にしてください。 ワンタッチ：レバーを4の位置に押してください (4の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります)。	206
ワイパー&ウォッシャー作動	レバーをステアリング ホイール方向5に引いて、保持してください。	206
フロントワイパーを立てる	イグニッションをOFFにして、ワイパー レバーを1回下方向4に押してください。フロントワイパーが上方に約45°移動します。	206

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ▲ 警告

ワイパーの不意の作動

レインセンサーモードでは、フロントウィンドウに水滴を検出すると自動的にワイブ作動を行います。

- ▶ 不意に作動することのないよう、フロントウィンドウを清掃する前に必ずワイパーをOFFにしてください。

## 知識

フロントウィンドウおよびワイパーシステムが損傷する恐れがあります。

- ▶ フロントウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ▶ ワイパーブレードが凍結した場合は、走行前に慎重にフロントウィンドウから剥がしてください。
- ▶ 凍結時はヘッドライトウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ [レインセンサー機能により] 不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロントワイパーをOFFにしてください。
- ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライトウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ ワイパーブレードを交換する場合は、ワイパーアームをしっかりと保持してください。
- ▶ ワイパーブレードを交換する場合は、ワイパーブレードの長さが異なるので注意してください。

## フロントウィンドウワイパーの操作



図165：フロントワイパーレバー

- 0 フロントワイパーOFF  
フロントワイパーまたはイグニッションをOFFにすると、ワイパーアームが通常位置からわずかに上方に動きます。この動きにより、ワイパーブレードのウィンドウ接触面の向きを整えます。
- 1 レインセンサー/間欠作動  
フロントワイパー
  - ▶ ワイパーレバーを1段目の位置まで上方に押してください。
- 2 フロントワイパー低速
  - ▶ ワイパーレバーを2段目の位置まで上方に押してください。

- 3 フロントワイパー高速
  - ▶ ワイパーレバーを3段目の位置まで上方に押してください。
- 4 フロントワイパーのワンタッチ機能
  - ▶ ワイパーレバーを下方に押してください。フロントワイパーが1回作動します。
- 5 フロントワイパー/ウォッシャーシステム
  - ▶ ワイパーレバーをステアリングホイールの方向に引いてください。レバーを引いている間、ウォッシャーシステムとワイパーが作動します。レバーを放すとウォッシャーシステムが停止し、その後ワイパーが数回作動します。なお、フロントウィンドウのウォッシャーが10回作動することにより、ヘッドライトウォッシャーシステムが自動的に作動します。

## i インフォメーション

- ▶ 汚れが激しい場合はウォッシャーを繰り返し作動させてください。
- ▶ 頑固な汚れ(昆虫の死骸など)は定期的に清掃してください。

良好な視界を確保するためには、完全な状態のワイパーブレードが不可欠です。

- ▶ 「ワイパーブレード」(273ページ)を参照してください。

車両のお手入れに関するインフォメーション:

- ▶ 「お手入れ」(66ページ)を参照してください。

## アイス/サンシールドの装着とワイパーブレードの交換

- ▶ イグニッションをOFFにして、ワイパーレバーを1回下方4に押してください。フロントワイパーが上方に約45°移動します。

## ワイパー作動間隔の調整



図166：レインセンサー / 間欠作動感度の切り替えスイッチ

レインセンサー非装備車では、フロントワイパーの作動間隔を4段階で調節することができます。

ワイパーの作動間隔を短くする

- ▶ スイッチAを上方向に押してください。フロントワイパーが1回ワイブ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

ワイパーの作動間隔を長くする

- ▶ スイッチAを下方向に押してください。

## レインセンサー作動の調節

レインセンサー装備車の場合、フロントウィンドウに付着する水滴の量を検知して、ワイパーの作動速度を自動調節します。ワイパーの作動間隔は、状況に応じて自動的に調節されます。フロントワイパーをONにしているときに速度が約4 km/h以下になると、レインセンサーが自動的に作動します。

速度が約8 km/hを超えると、ワイパーの動きがレバーで設定した速さに復帰します。

### i インフォメーション

- イグニッションをONにしたとき、ワイパーレバーが既に1の位置にあった場合、速度が4 km/hを超えるまでレインセンサーは作動しません。
- イグニッションをONにしたときに、既にワイパーレバーが2または3の位置にある場合、フロントワイパーはワイパーレバーを操作しなければ作動しません。

### i インフォメーション

ラゲッジコンパートメントリッドを開くとワイパーが停止します。

- ▶ 再度ワイパーをONにするには、フロントワイパーレバーを上方向 / 下方向に動かしてください。

## レインセンサー感度の手動調節

ワイパー速度を手動で設定することができます。

## 感度を高くする

- ▶ スイッチAを上方向に押します。フロントワイパーが1回ワイブ作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

## 感度を低くする

- ▶ スイッチAを下方向に押してください。

## ヘッドライトウォッシャーシステムの操作

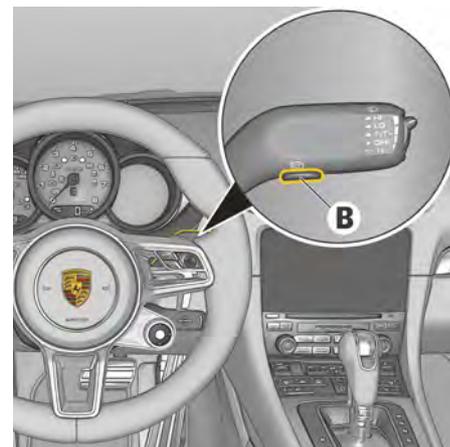


図167：ヘッドライトウォッシャーシステムのボタン

✓ ロー/ハイビームが作動している。

- ▶ ワイパーレバーの下側のボタンBを押してください。

### i インフォメーション

なお、フロントウィンドウのウォッシャーが10回作動するごとに、ヘッドライトウォッシャーシステムが自動的に作動します。ロービームを消灯すると、フロントウィンドウウォッシャーの作動回数カウントがリセットされ、再度ゼロからカウントします。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## リヤワイパー



図168：リヤワイパーのボタンC

✓ 718 Cayman モデル

### リヤワイパーの間欠作動を ON にする

- ▶ レバーのボタンCを上方向 INT 位置まで押してください。

### リヤワイパーの間欠作動を OFF にする

- ▶ レバーのボタンCを下方向に OFF 位置まで押してください。

### ワイパーの手動操作

- ▶ ボタンCを OFF 位置から下に押すか、INT 位置から上へ押し続けてください。

## リバース(後退)ギヤ選択時のリヤワイパーの作動

雨天時やフロントワイパーを作動させているときにリバース(後退)ギヤを選択した場合に、リヤワイパーが自動的に作動するかどうかをマルチファンクションディスプレイで切り替えることができます。

リバース(後退)ギヤ選択時のリヤワイパーの作動設定に関するインフォメーション：

- ▶ 「リバース(後退)ギヤ選択時のリヤワイパーの作動設定」(241ページ)を参照してください。

## ヘッドライト

### 知識

摩擦や過熱によりヘッドライトが損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドライトにカバー（ストーン ガードやフィルムなど）を装着しないでください。

### i インフォメーション

気温と湿度により、ヘッドライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

- ▶ 通気を確保するため、ヘッドライトとボディの隙間にカバーをしないでください。

## ヘッドライト調整

- ▶ ヘッドライトの調整は、専用の調整装置がある整備工場のみで実施してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ヘッドライトの照射方向を右側/左側通行用に切り替える (ダイナミックコーナリングライト装備車)

- ✓ ポルシェダイナミックライトシステム (PDLS) またはポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS Plus) 装備車両

車両通行帯 (右側通行または左側通行) が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトをマルチファンクションディスプレイで切り替える必要があります。これによりロービームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの幻惑を防ぐことができます。

- ▶ 「左側/右側通行でヘッドライトを切り替える」(240ページ) を参照してください。

### i インフォメーション

変更後は、イグニッションを ON にするたびにマルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

- ▶ 帰国した時は、ヘッドライトを元に戻すことを忘れないでください。

### i インフォメーション

**ダイナミックコーナリングライト** (PDLS/PDLS Plus) 非装備車のバイキセノンヘッドライトは左側または右側通行用に切り替えできません。このタイプのヘッドライトの配光は両方の通行帯で共通で、対向車の眩惑を防止します。

## 発光ダイオード (LED) とロングライフバルブの交換

方向指示灯、バイキセノンヘッドライトのガスディスチャージヘッドライト、テールライト、ライセンスライト、およびインテリアライトなど、さまざまなライトに発光ダイオード (LED) とロングライフバルブが使用されています。

LED は個別に交換できません。

ロングライフバルブの交換には専門知識が必要です。

- ▶ 発光ダイオード (LED) とロングライフバルブの交換はポルシェ正規販売店にお任せください。

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ボイスコントロール\*

### ⚠ 警告

事故を起こす恐れがあります

緊急時は緊張のために声が変わり、ボイスコントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。これにより電話接続の要求が認識できずに失敗したり、接続に時間を要したりする恐れがあります。

▶ PCM 経由で緊急電話にダイヤルしてください。

**PHONE**、**TUNER**、**NAV** および **MEDIA** メインメニューの各種機能はボイスコマンドで呼び出すことができます。ボイスコントロールは話者に適応し、最初の会話から登録を開始します。

▶ ボイスコマンドの例は212ページを参照してください。

### i インフォメーション

- サウンドおよび車両のメインメニューはボイスコントロールでは操作できません。
- ボイスコントロールはすべてのシステム言語に対応しているわけではありません。

### i インフォメーション

ポルシェコミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(219ページ) を参照してください。

## ボイスコントロールの呼び出し

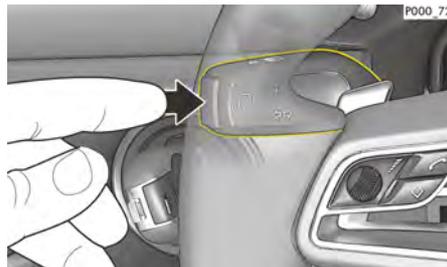


図169: レバーのボイスコントロールボタン

### ボイスコントロールの作動

- ✓ イグニッションがONになっている。
  - ✓ 通話中でない。
  - ✓ パーキングアシスタントを使用していない。
1. レバーの  を押してください(図169)。起動音が鳴り、ボイスコントロールの  アイコンがPCMに表示されます。
  2. ボイスコマンドを発話してください。

### ボイスコントロールを無効にする

- ✓ ボイスコントロールが作動している。
- ▶ レバーの  を押してください(図169)。終了音が鳴ります。
- または
- ▶ ボイスコマンドでキャンセルまたは終了と発話してください。
  - または
  - ▶ PCMの任意のボタンを押してください。

### ボイスコマンドボタンのその他の機能

- レバーの  ボタン(図169)は、アプリケーションに応じてさまざまな機能を開始することができます。
- 短く押すと、PCMのボイスコントロールが有効になります。
  - 長押しすると、Siriボイスコントロールシステムが起動します。

▶ 「Siri音声認識機能を使用してApple CarPlayを操作する」(275ページ)を参照してください。

- ボイスコントロールの現在のアナウンスを終了します。
- アナウンスを次のパートにスキップします。
- 現在の会話を中止します。

### i インフォメーション

- 会話中は、ナビゲーション案内および交通情報通知が中断されます。
- ボイスコントロールが有効のとき、リスト項目をボイスコントロール、ロータリーブッシュボタン、またはタッチスクリーンによって選択することができます。
- 発話されたボイスコマンドが理解できない場合、または意味が解釈できなかった場合、ボイスコントロールはもう一度お願いしなすと応答するので、再度ボイスコマンドを繰り返してください。2回目以降はPCMが操作を支援します。
- 選択したメニュー言語によっては(▶**目的地入力メニュー** **NAV** ボタンで)、目的地入力時に目的地の綴りを発話する必要があります。

ボイスコントロールによる対話を円滑に行うために、以下の点に注意してください。

- 通常通りの声量で、はっきりと分かりやすく発話してください。
- 高速走行時は少し大きな声で発話してください。
- 長い間をおかずむらなくボイスコマンドを強調してください。
- ボイスコントロールがアナウンスをしているときは発話しないでください。
- ドア、ウィンドウ、スライディングルーフを閉じ、混乱の原因となる雑音を低減してください。
- ハンズフリーマイクはドライバー側に向いているため、ドライバーのみがボイスコントロールを操作してください。

\* 日本仕様に設定はありません。

## ボイスコントロールの調節

1. **CAR** ボタン ▶設定  ▶システム ▶ボイスコントロール

2. 以下から希望の設定を選択してください。

- **ショートダイアログ**：この機能が有効のときは、音声応答に短いアナウンスが含まれます。
- **ヘルプ テキスト**：この機能が有効のとき、発話可能なコマンドが表示されます。

## ヘルプの呼び出し

### 文字による入力支援の呼び出し

- レバーの  を押してください (図169)。コマンド例のリストがPCMに表示されます。
- PCMのフッターの  アイコンを選択してください。
- 各メインメニューでコマンド例を表示させるには、PCMの該当するメインメニューのアイコンまたはコマンド例を選択してください。

### インフォメーション

ヘルプテキスト機能が無効になっている場合は、ヘッドラインの  アイコンで視覚的な入力支援を表示することができます。

▶ 「ボイスコントロールの調節」(211ページ)を参照してください。

### 音声による入力支援の呼び出し

- ✓ ボイスコントロールが作動している。
- ▶ **ヘルプ**と発話してください。  
または  
ボイスコントロールの**ヘルプ**と発話してください。  
または

たとえば以下のように話しかけてください。**チューナーのヘルプ**、**メディアのヘルプ**と発話してください。  
各メインメニューで入力支援が得られます。

## ボイスコマンドの発話

基本的に、使用可能なボイスコマンドは3種類あります。

- グローバルボイスコマンド
- 一般ボイスコマンド
- ダイアログ関連ボイスコマンド

表示されるボイスコマンドは使用可能なすべてのコマンド集です。システムは同義語でも認識します。たとえば、**電話**、**山田太郎**と言う代わりに、**電話する**、**山田**または**ダイヤル**、**山田**と発話することもできます。

▶ ボイスコマンドの例は212ページを参照してください。

### グローバルボイスコマンドの発話

特定の機能呼び出すために使用可能なすべてのボイスコマンドは、グローバルボイスコマンドです。グローバルボイスコマンドは、選択したメインメニューに関係なく、いつでも使用することができます。これによって、対応するメインメニューに事前に切り替える必要なく、任意の機能を直接呼び出すことができます。たとえば、**ナビ**メインメニューが表示されているときに、ボイスコマンドで**放送局**(例)**ラジオ放送局 XY**と発話しても放送局が呼び出されます。

以下はグローバルボイスコマンドの例です。

- **放送局**(例) **ラジオ放送局 XY**
- **電話する**(例) **山田**

### 一般ボイスコマンドの発話

一般ボイスコマンドは会話中にいつでも発話することが可能です。

以下は一般ボイスコマンドの例です。

- **新規項目**：ボイスコントロールを再開します。
- **修正**：たとえば、電話番号をいくつかのブロックに分けて発話した場合(0711 911 など)、ボイスコマンドは最後に発話したブロックを取り消します。
- **ヘルプ**：可能なボイスコマンドを示す入力支援が表示されます。
- **キャンセル**：会話を中断します。

### ダイアログ関連ボイスコマンドの発話

ダイアログ関連ボイスコマンドは、PCMとの会話が始まるとすぐに必要になります。たとえば、これには以下のボイスコマンドが含まれています。

- **1行目**
- **次のページ/前のページ**
- **はい/いいえ**

## 音声でリストを使用する

### リストをブラウズする

▶ リストを前 / 後にブラウズするには、**次のページ/前のページ**と発話してください。

または

タッチスクリーンまたはロータリープッシュボタンでリストを使用します。

### リスト項目の発話

青いリスト項目を発話することができます。別の方法として、リスト項目を青い行番号で呼び出すこともできます。

▶ ボイスコマンドで行1と発話してください。

## ラジオのボイスコマンド

運転者が何をしたいか?	どのように発話するのか?	知識
受信範囲を切り替える	(設定 / ON にする) チューナー (例) FM/AM	
放送局を選択する	放送局を選択する	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
現在受信が可能な放送局を選局する	放送局 (例) 放送局 XY (選局)	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
周波数を入力する	周波数 (例) 91.1 (選択)	必要な場合は、周波数の直接選択により、受信範囲が変更されます。
ヘルプの呼び出し	チューナーのヘルプ	チューナー機能で役に立つ音声ヘルプです。

## メディアのボイスコマンド

運転者が何をしたいか?	どのように発話するのか?	知識
メディアソースを変更する	再生 (例) ディスク / SD カード / USB / ジュークボックス / Bluetooth	
アーティストを直接選択する	再生するアーティスト (例) アランテラー	有効なメディアソース内にあるアーティスト / アルバム / トラック / ジャンルのみを発話することができます。
アルバムを直接選択する	再生するアルバム (例) Songs for the Road	
トラックを直接選択する	再生するトラック (例) Let the Music Flow	
ジャンルを直接選択する	再生するジャンル (例) ロック	
現在再生している曲と類似の音楽を選択する	類似の曲を再生	
ヘルプの呼び出し	メディアのヘルプ	メディア機能で役に立つ音声ヘルプです。

## 電話のボイスコマンド

✓ 電話が PCM に接続されている。

▷ 「電話」(163ページ) を参照してください。

運転者が何をしたいか?	どのように発話するのか?	知識
リダイヤル機能を開く	リダイヤル	
電話番号を入力する	番号をダイヤル	次のステップでシステムが電話番号を尋ねます。
ボイス メールに電話する	ボイス メールに電話する	
保存されている連絡先に発信する	連絡先にダイヤル / 電話帳を表示	次のステップでシステムが連絡先の名前を尋ねます。
通話履歴の呼び出し	通話履歴 / 不在着信 / 着信 / 発信	ボイス コマンドは、選択または通話が可能な項目から通話履歴全般を表示します。
保存されている連絡先に発信する	電話(例) 山田(携帯 / プライベート / ビジネス / 一般)	連絡先が 1 つ以上の場合、このコマンドにより会話が開始します。名、姓、またはその両方を発話することができます。連絡先の特定の電話番号を選択することも可能です。
メッセージを読み上げる	(新しい)Eメールを読み上げる / (新しい)テキストを読み上げる	<p>✓ 接続されている携帯電話が Bluetooth® メッセージアクセスプロファイルに対応している。</p> <p>✓ 有効なデータ接続が利用可能。</p> <p>▷ 「接続」(131ページ) を参照してください。</p> <p>これらのサービスはすべての言語およびマーケットで利用できるわけではありません。</p>
ヘルプの呼び出し	電話のヘルプ	電話機能で役に立つ音声ヘルプです。

\* 日本仕様に設定はありません。

## ナビゲーションのボイスコマンド

	運転者が何をしたいか?	どのように発話するのか?	知識
あ	新しい目的地を入力する	ルート案内 (例) 東京都千代田区霞が関1-3-2 住所を入力 / 新しい目的地を入力	ルート案内と一文で発話するか一言ずつ発話することで、ナビゲーションを作動することができます。
か	ポルシェ コンシェルジュ サービスを開始する	コンシェルジュ サービス	
さ	前回の目的地を選択する	前回の目的地 / 保存した目的地	
た	目的地として自宅 / 職場を選択する	自宅へ帰る / 会社へ行く	保存されている住所へのナビゲーションが開始されます。住所の保存方法に関するインフォメーション： ▷ 「目的地の保存 (お気に入り)」 (182ページ) を参照してください。
な	目的地または施設情報を検索する	検索 (施設情報) (例) ポルシェ サービス	ブランド名や施設情報のカテゴリを発話することができます (例 : 空港を探す)。
は	目的地をオンライン検索する	オンライン検索 / インターネット検索	✓ 有効なデータ接続が利用可能。 ▷ 「接続」 (131ページ) を参照してください。 これらのサービスはすべての言語およびマーケットで利用できるわけではありません。
ま	市町村を選択する	都道府県を入力	
や	レストラン / 休憩所 / トイレ / ガソリンスタンドを検索する	次のレストラン / 休憩所 / トイレ / ガソリンスタンド	近隣のそれぞれの検索基準を表示します。
ら	ルート案内を開始 / 終了する	ルート案内を開始 / 停止する	
わ	残りの燃料を計算する	走行可能距離 / 残可走距離 / タンク情報	
A-Z	交通情報呼び出す	交通情報	✓ ルート案内を開始している。
	到着時間を要求する	到着までの残り時間 / 到着時刻	✓ ルート案内を開始している。
	ヘルプの呼び出し	ナビゲーションのヘルプ	最も重要なナビゲーション機能の音声ヘルプを呼び出します。

## ポルシェアクティブサスペンションマネージメント (PASM)

PASM はショックアブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブルダンパーシステムは、走行状態や条件に応じて各タイヤの適切なダンパーレベルを選択します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。ボタンの操作で、2種類のシャーシ設定を選択できます。

- 「ノーマルシャーシ」
- 「スポーツシャーシ」

ノーマルモードでは、車両はスポーティで快適な設定となります。

スポーツモードでは、ショックアブソーバーの調整が非常にスポーティなものになります (例：レースサーキットでの走行などに最適な設定)。

走行状況に合わせて、マニュアルモードに加えて、PASM もショックアブソーバーを調整し、スポーティまたは快適な走行を可能にします。

## PASMモードの選択



図170：センターコンソールのPASMボタン

1. イグニッションを ON にしてください。
2.  ボタンを押してください。

「ノーマルシャーシ」(初期設定) を選択した場合、インジケータライトは点灯しません。

「スポーツシャーシ」を選択した場合、インジケータライトが1つ点灯します。

さらに、選択したシャーシ設定はマルチファンクションディスプレイに短時間表示されます。

### インフォメーション

イグニッションを OFF にすると、そのとき選択しているシャーシ設定がメモリーに保存されます。

## 警告シンボルへの対応

PASM の故障がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

マルチファンクションディスプレイに表示される警告シンボルに関するインフォメーション：

- ▷ 「警告および情報メッセージ」(82ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ポルシェ カー コネクト<sup>1)</sup>

一部の国で使用できるこのアプリを使用すると、移動通信ネットワーク経由で車両と接続できます。これにより、車両の情報をスマートフォン経由で直接読み取ることが可能になり、アプリを使用して選択した設定を車両で実行することが可能になります。

アプリのインストール、機能、管理、契約、およびサービスに関する詳細情報は、[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) またはポルシェ正規販売店から入手できます。

### 車両とアプリ間の通信の停止

車両とアプリ間の通信は、マルチファンクションディスプレイから停止できます。

- ▷ 「ポルシェ カー コネクトの設定」(243ページ)を参照してください。

#### 警告

走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを使用したりすると、運転に対する注意力が低下することがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 操作および設定の変更は、必ず車両を停止させてから行ってください。

#### インフォメーション

このアプリを使用して車両固有データおよびその他の機能にアクセスすることができます。第三者による不正なアクセスを防いでこのデータを保護することが推奨されています。このアプリを使用すると、モバイル通信ネットワークでデータが送信されるため、ご利用のサービスプロバイダーから追加料金を請求される場合があります。

1) 名前と機能の変更は保護されています

## ポルシェ コネクト アプリ<sup>1)</sup>

一部の国で利用可能なアプリを使用して、携帯電話を車両にネットワーク接続できます。これにより、車両の情報を携帯電話経由で直接読み取ることができ、アプリで設定した車両設定を選択することができます。

### 警告

走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを使用したりすると、運転に対する注意力が低下することがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 操作および設定の変更は、必ず車両を停止させてから行ってください。

個人的に設定した POI (施設情報)、アドレス帳から選んだ目的地、カレンダー入力などを、携帯電話から PCM に転送することができます。ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：  
▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」 (219 ページ) を参照してください。

## WiFi を使用したアプリの PCM への接続と PCM での起動

- ✓ アプリが携帯電話にインストールされている (Apple App Store または GOOGLE® Play ストアからダウンロード)。
- ✓ アプリが起動されている。
- ✓ 携帯電話で WiFi が有効になっている。
- ✓ PCM で WiFi が有効になっている。  
▶ 「WiFi 設定の設定」 (170 ページ) を参照してください。



図171：デバイス マネージャーを開く

1. (接続ステータスに応じて) フッターの または を使用してデバイス マネージャーを開いてください。
2. PCM (外部 SIM カードによりデータ接続が確立されています) の WiFi ホットスポット (ワイヤレス インターネット アクセス) により接続を確立してください。  
▶ 「接続」 (131 ページ) を参照してください。
  - a. デバイス マネージャーからポルシェ コネクト アプリ ▶ PCM の WiFi ホットスポット設定を選択してください。
  - b. 携帯電話の WiFi 設定に PCM の WiFi データ (ホットスポット名およびホットスポット パスワード) を入力してください。
3. **HOME** ボタンを押してください。
4. **アプリ** を選択してください。アプリの利用可能なコンテンツが表示されます。

## i インフォメーション

- **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ 電話設定 ▶ **Wi-Fi 設定** ▶ PCM の WiFi ホットスポット設定を順に選択することによっても、PCM の WiFi アクセス データを表示することができます。
- デバイス マネージャーに関するインフォメーション：
  - ▶ 「デバイス マネージャー」 (161 ページ) を参照してください。

## ナビゲーション目的地およびカレンダー入力を PCM に転送する

✓ アプリが PCM に接続されている。

1. アプリで、ナビゲーション目的地またはカレンダー入力を選択してください。
  - a. **オンライン検索**：オンライン検索機能を使用して、目的地を選択してください。
  - b. **連絡先**：住所の詳細を含む連絡先を選択してください。
  - c. **カレンダー**：住所の詳細を含むカレンダーを選択してください。
  - d. **画像**：保存された画像を使用して、目的地を選択してください。
2. アイコンを使用して、目的地を登録目的地お気に入りにリストに追加してください。お気に入りリストに追加済みの項目はチェックマークが付きます。

1) 名前と機能の変更は保護されています

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

3. アプリが PCM に接続されている場合は、**登録目的地**に保存されている内容が PCM に転送されます。  
必要に応じて、**HOME** ボタン ▶ **アプリ**  から PCM ディスプレイ を手動で更新してください。
4. **HOME** ボタン ▶ **アプリ** ▶ から **登録目的地** または **カレンダー** を選択してください。  
または  
**NAV** ボタン ▶ **保存された目的地** ▶ **登録目的地** を選択してください。
5. 転送された目的地へのルート計算を開始してください。

## PCM を使用して音楽を再生する

- ✓ 別途音楽サービス アプリをダウンロードし、音楽サービスの登録手続きを済ませている
  - ▷ 音楽サービスのプロバイダーが提供する情報に従ってください。
- ✓ アプリが PCM に接続されている。
  - ▷ **HOME** ボタン ▶ **アプリ**  ▶ 希望の音楽サービスを選択してください。  
または  
**SOURCE** ボタン ▶ 希望の音楽サービスを選択してください。  
または  
希望の音楽サービスが表示されるまで  
**MEDIA** ボタンを押し続けてください。

## インフォメーション

MyMusic の **MEDIA** メニューで、ユーザーはその他にオフラインで保存された既存のプレイリストおよび楽曲を再生することができます。

## ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)

### 概要

本概要は「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」に記載されている完全な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図172 : PCM



図173 : タッチスクリーン、ホームメニュー

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
PCM を ON にする	▶ イグニッションを ON にするか、ボリューム スイッチ A を押してください。	
PCM を OFF にする	▶ イグニッションを OFF にするか、ボリューム スイッチ A を押し続けてください。	
音量を調節する	▶ ボリューム スイッチ A を回してください。	
オーディオソースのミュート	▶ ボリューム スイッチ A を短く押してください。	
メインメニュー (ラジオなど) を開く	▶ ボタン (例: <b>TUNER</b> ) を押してください。	
音質設定を表示する	▶ <b>HOME</b> ボタン ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ <b>サウンド設定</b> ▶ <b>音量</b> または <b>サウンド</b>	226
デバイスマネージャーを開く / 接続を確認する	▶ フッターの  または  (B を参照) を選択してください。	161/ 132
日付と時刻を変更する	▶ フッターの時刻 <b>9:34</b> (C を参照) を選択してください。	220
個人画面を開いて設定する	▶ <b>HOME</b> ボタン ▶ <b>個人画面</b>	223
システム設定を変更する	▶ <b>HOME</b> ボタン ▶ <b>設定</b>	225
CD/DVD または SD カードから音楽を再生する	▶ CD/DVD または SD カードを挿入します ▶ <b>SOURCE</b> ボタン ▶ 希望のメディアソースを選択してください。	223
外部機器から音楽を再生する	▶ 外部機器を USB または Bluetooth® を介して接続します ▶ <b>SOURCE</b> ボタン ▶ 希望のメディアソースを選択してください。	224

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 操作に関する重要なインフォメーション

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) は、ラジオ、サウンド設定、ナビゲーションシステム、さまざまなメディアや電話を操作するためのセンター コントロール ユニットです。

安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

PCM の操作時に運転者や同乗者が怪我をしたり、危険にさらされたりすることがないように、常に以下の安全に関する指示を遵守してください。

**⚠ 警告** 事故を起こす恐れがあります

PCM を操作すると、道路状況から注意が逸らされる恐れがあります。

- ▶ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限り、PCM の操作を行ってください。安全を確保できない場合は、車両を適切な場所に停車してから PCM の操作を行ってください。
- ▶ 緊急車両 (パトカー、救急車など) のサイレンなど、常に車外の音が聞こえる程度の音量に設定してください。

**⚠ 警告** 事故を起こす恐れがあります

機器を固定しなかったり不適切な位置に載せたりすると、ブレーキやステアリングを操作したとき、急加速時または事故の際に、荷物が飛び出して乗員が怪我をする恐れがあります。

- ▶ 車内に固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

### ⚠ 注意

負傷する恐れがあります

ハウジングが開いている場合や損傷した場合は、目に見えないレーザーが照射される危険があります。

- ▶ PCM はクラス 1 レーザー製品です。ハウジングを分解しないでください。メンテナンス作業が必要になった場合は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。

### i インフォメーション

バッテリーを保護するため、PCM はイグニッションを OFF にしてから数分経過すると自動的に OFF になります。

## PCMのON/OFF



図174：PCMのON/OFF

- ▶ PCM はイグニッションを ON にすると作動します。
- ▶ イグニッションの位置に関係なく、ボリュームスイッチ A を長押しすると PCM の ON/OFF を切り替えることができます。

## 日付と時刻の設定

時刻表示から、日付と時刻の設定に素早くアクセスできます。

- ▶ フッターの時刻 9:34 を選択してください。

- ▶ 「全般的なシステム設定を変更する」(225 ページ) を参照してください。

## タッチスクリーンの操作ボタン



図175：タッチスクリーンの操作ボタン

**A ホーム画面**

**HOME** ボタンを押すと、使用可能な機能が表示されます。

**B 有効なメインメニューの機能**

どのメインメニューが有効になっているかに応じて、ツールバーには異なるメニューが表示されます。

**C フッター**

有効なメインメニューの機能、接続シンボルおよび設定可能な温度または時刻を表示します。

**D 時刻または外気温ディスプレイ**

▶ 「日付と時刻の設定」(220ページ)を参照してください。

**E ヘッドライン**

たとえば、選択されたラジオまたはメディアソースが表示されます。

**F デバイスマネージャーを開く**

(電話を接続する、WiFi 設定を表示してワイヤレス インターネット アクセスを設定する、Bluetooth® 機器を接続する、Apple CarPlay およびアプリの接続状態を表示する)。

▶ 「デバイスマネージャー」(161ページ)を参照してください。

**G コントローラー**

タッチスクリーンに接近すると追加機能を表示します。

**H 他のページを表示**

スクロール(スワイプ)すると、他のページが開きます。

**タッチスクリーンでPCMを操作する**

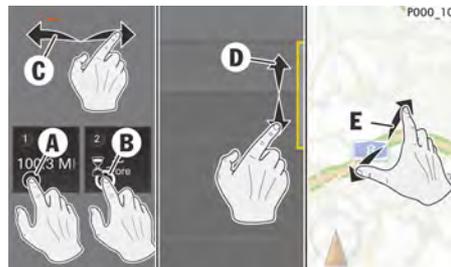


図176：タッチスクリーンでPCMを操作する

**A タッチ(選択)**

タッチスクリーンを指で素早くタッチしてください。例：機能を選択する、またはボックスをチェックする/チェックを外す。

**B 長押し**

タッチスクリーンを長くタッチしてください。例：**TUNER** メインメニューで放送局を保存する。

**C スワイプ**

タッチスクリーンを指で左右にスワイプしてください。例：ラジオ放送局を含む他のページを表示する。

**D スクロール**

タッチスクリーンを指で上下にスワイプしてください。例：リストを手動でスクロールする。

**E ズーム**

2本の指をディスプレイに触れたまま指を広げる、または指を狭めてください。タッチスクリーンを2回タップすると、そのセクションが拡大表示されます。例：地図を拡大表示する。

**ロータリープッシュボタンでPCMを操作する**



図177：ロータリープッシュボタン

1. 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリープッシュボタンを回してください。
2. ハイライトされた機能を有効にするには、ロータリープッシュボタンを押してください。

**メニューを開く**

**直接メインメニューを開く**

▶ PCMのボタン(例：**TUNER**)を押してください。

**i インフォメーション**

いずれかのメインメニューから別のメニューにいつでも切り替えることができます。メインメニューに戻ると、前に開いていた内容が再び表示されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ホームメニューからメインメニューを開く

1. **HOME** ボタン ▶ **メニュー**
2. **メインメニュー** (チューナーなど) を選択してください。

## 有効な機能の設定を開く

- ✓ 希望のメインメニューが選択されている (例: **TUNER**)

- ▶ **OPT** ボタンを押してください。  
該当するメニューの設定および他の機能が表示されます。

## テキストおよび文字を入力する

ナビゲーション目的地や検索語句の入力など、テキストや文字を入力する必要があるときは、入力フィールドが表示されます。



図178: タッチスクリーンキーボード

- A 現在のカーソル位置
- B キーボードを表示する / 隠す
- C 手書き文字認識機能 (タッチスクリーンを使用してアルファベットや文字を入力する)
- D キーボードの調整
- E スペースを挿入する
- F 入力を決定する

- G 文字、数字および特殊文字の入力を切り替える
- H 入力データを削除する
- I Caps Lock の ON/OFF を切り替える (大文字と小文字を切り替える)
- J 候補のリスト

テキストおよび文字を入力するには、3種類の方法があります。

### キーボードによる入力

1. 入力フィールドを選択してタッチスクリーンキーボードを開きます。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。

### ロータリープッシュボタンによる入力

1. 希望のアルファベットや文字がハイライトされるまで、ロータリープッシュボタン (図 177) を回してください。
2. ロータリープッシュボタンを押し、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。

### 手書き入力

手書き入力では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。



図179: 手書き入力

1. を選択して入力フィールドを開いてください。
2. 指で希望のテキストや文字を書いてください。

▶ スペースを入れるには、左から右に指でスワイプしてください。

▶ 入力データを削除するには、右から左に指でスワイプしてください。

## i インフォメーション

- PCM はひらがな、カタカナ、ローマ字、漢字の手書き入力に対応しており、該当する文字を表示します。
- ボイスコントロールを使用して、テキストや数字を入力することも可能です (例: 電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。
  - ▶ 「ボイスコントロール\*」(210 ページ) を参照してください。

## デバイスマネージャーを開く

- ▶ 「デバイスマネージャー」(161ページ) を参照してください。

## アプリを開く

**アプリ** メニューからポルシェ コネクト サービスおよびアプリ機能にアクセスすることができます。

- ▶ **HOME** ボタン ▶ **アプリ**

- ▶ 「ポルシェ コネクト アプリ」(217ページ) を参照してください。

## バックグラウンドイメージを表示する

バックグラウンド イメージは、**HOME** メニューで表示 / 非表示を切り替えることができます。

- ▶ **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **バックグラウンドイメージを表示**

## 個人画面の設定

個人画面メニューでは、さまざまなカテゴリ (NAV や電話など) のタッチスクリーン コンテンツを希望に合わせて個別にグループ分けすることができます。

合計 3 種類の個人画面を設定できます。

### 個人画面を作成する

1. **HOME** ボタン ▶ **個人画面**  ▶ **OPT** ボタン ▶ **個人画面設定**
2. **個人画面 1**、**個人画面 2**、または**個人画面 3**を選択してください。
3. カテゴリ (ソースなど) を選択して、選択可能なタイトルのリストを開いてください。

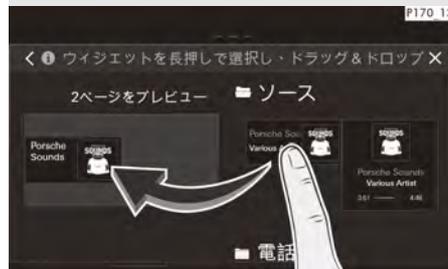


図180: 個人画面の設定

4. 希望のタイトルをクリックし、左側のプレビューにある任意のコンテナにドラッグ & ドロップしてください。タイトルは、緑色のエッジが見えたとすぐにコンテナに挿入することができます。

5.  または  で個人画面を設定メニューを終了してください。

- ▶ 左側のプレビューからタイトルを取り除くには、ドラッグ & ドロップで削除したいタイトルをコンテナから取り除くか、別のタイトルと入れ替えてください。

電話のお気に入りの追加に関するインフォメーション:

- ▶ 「MyScreenにお気に入りを追加」(168ページ) を参照してください。

### 個人画面を開く

1. **HOME** ボタンを押してください。
2. **個人画面**  を選択してください。直前に有効にした個人画面が表示されます。
- ▶ **個人画面 1**、**個人画面 2** および **個人画面 3** を切り替えるには、該当する個人画面が表示されるまで左右にスワイプしてください。

### 個人画面をリセットする

1. **HOME** ボタン ▶ **個人画面**  ▶ **OPT** ボタン ▶ **個人画面設定**
2. **個人画面をリセット** を選択してください。個人画面の 2 ページおよび 3 ページのコンテンツが削除されます。個人画面の 1 ページのコンテンツが初期設定にリセットされます。

## 各種ドライブおよび外部接続機器に関する諸注意

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション:

- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(219ページ) を参照してください。

- 記憶媒体に多くのファイル、フォルダーまたはプレイリストが含まれている場合、最初にトラックを読み込むのに時間がかかる場合があります。

- オーディオ ファイルの再生時は、記録された追加情報 (アーティスト、タイトル、アルバム カバーなど) が自動的に表示されます。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、利用可能なインターネットのデータベースが利用されます。それでも個々の追加情報が表示されない場合があります。

- USB 延長ケーブルまたはアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。

- USB ハブには対応していません。

- ポルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。大切なデータは、SD カード、ジュークボックス、CD/DVD またはポータブルプレイヤーに決めて保存しないでください。

- 外気温が異常に高いまたは低いときは、一時的に CD/DVD が再生できなくなる場合があります。CD/DVD および走査レーザーを保護するために、熱保護回路が搭載されています。

- PCM は、コピープロテクト機能付きの CD/DVD または規格に準拠していない CD/DVD を再生できない場合があります。

- 原則として私的使用を目的とする場合のみ、CD/DVD のコピーを作成することが認められています。コピーされた CD/DVD を第三者に譲渡した場合は、著作権法に定めら

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

れた例外の対象になりません。MP3 ファイルとして作成され MP3 モードで再生可能な音楽トラックは、一般的に該当する国際的および国内の規制に従って著作権保護の対象となります。多くの国では、私的使用が目的であっても著作権保有者に事前の承諾なくしてコピーすることはできません。該当する著作権法を遵守してください。お客様自身が作曲およびレコーディングの著作権保有者である場合、あるいは著作権保有者によって権利を付与された場合は、これらの制約は適用されません。如何なる場合においても、現行の法的な見解が適用されます。

## CD/DVD ドライブにロードする

### 知識

CD/DVD を正しく使用しないと、PCM を損傷する恐れがあります。

- ▶ 直径 12cm の丸型、標準タイプの CD/DVD のみを使用してください。
- ▶ CD/DVD に触れるときは、必ず端を持ってください。ラベルのない面を手で触れないでください。
- ▶ CD/DVD への汚れの付着を避け、必要な場合には清掃してください。
- ▶ CD/DVD には何も貼り付けしないでください。
- ▶ CD/DVD を変形させないでください。
- ▶ CD/DVD をドライブに無理に押し込んだり、取り出したりしないでください。

## CD/DVD を挿入する

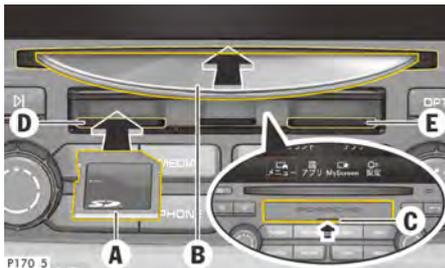


図181：CD/DVD または SD カードのロード

1. CD/DVD のラベル面を上にして、自動的に引き込まれるまでスロット B に押し込んでください。
2. **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディアソースを選択してください。

## CD/DVD を取り出す

- ▶  ボタンを押し、CD/DVD を取り出してください。

## SD カードを挿入する

### 知識

SD カードを正しく使用しないと、PCM を損傷する恐れがあります。

- 一体型以外の SD カードを使用すると、振動により SD カードがアダプターから外れて各カードが SD カードリーダーに詰まる恐れがあります。
- ▶ SD カード アダプターは使用しないでください。

## SD カードを挿入する

1. 指の爪でスロット C (図 181) のカバーを上方向に開いてください。
2. SD カード A をラベル面を上にして、SD カードリーダー 1 (D を参照) または 2 (E を参照) または 2 に、ぴったりと収まるまで押し込みます。

## SD カードを取り出す

✓ SD および SIM カードリーダー カバーが開いている。

1. 挿入されたカードを押し、取り出してください。
2. SD および SIM カードリーダー カバーを閉じてください。

## SIM カードの挿入および取り出し

▶ 「外部SIMカード経由でデータ接続を確立する」(131ページ) を参照してください。

## 外部機器の接続

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション：

▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(219ページ) を参照してください。

## i インフォメーション

一部の外部機器では、音量の個別調節が必要になる場合があります。

1. 外部機器の音量を調節してください。
2. PCM で希望の音量に設定してください。

## USB を介して外部機器を接続する



図182：グローブボックスのUSB (タイプ A) および汎用オーディオ (AUX) ポート (装備仕様による)



図183：センターコンソールのUSBポート (タイプ A)

1. グローブボックスまたはセンターアームレストを開いてください。
2. 外部デバイス (iPod、USB フラッシュドライブなど) をUSBポート (タイプ A) に接続します。
3. **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディアソースを選択してください。

## i インフォメーション

- USBポートは、グローブボックス内およびセンターコンソールに配置されています。Apple CarPlayは、センターコンソールのUSBポートを介してのみ使用できます。
  - ▷ 「Apple CarPlay」(274ページ) を参照してください。
- 外部機器 (携帯電話など) は、USB充電ケーブルを使用して車内で充電することができます。
- 携帯電話をセンターコンソールに置く前に、キーボード/コードロックを有効にすることをお勧めします。

## 外部機器をBluetooth® 経由で接続する

1. フッターの または (接続状態により異なる) を選択してください。または **PHONE** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ デバイスマネージャ
2. **Bluetooth オーディオ** ▶ **新しいデバイスを検索** を選択してください。6桁のBluetooth®コードが生成され、PCMおよび携帯電話に表示されます。
3. PCMと携帯電話に表示されたBluetooth®コードを比較してください。
4. PCMと携帯電話のBluetooth®コードが一致していれば確定してください。機器の接続に成功すると、機器一覧に表示されます。

Bluetooth® 機器の管理に関するインフォメーション：

- ▷ 「Bluetooth® デバイスの削除、またはBluetooth® インフォメーションの表示」(165ページ) を参照してください。

## 全般的なシステム設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **設定** ▶ **システム** または **CAR** ボタン ▶ **設定** ▶ **システム**
2. 希望のオプションを選択してください。

### - 日付 & 時刻

- **自動時間同期**：GPS 信号で時刻、日付、サマタイムを同期します。
- **時刻**
- **日付**
- **自動タイムゾーン**：オートタイムモードでは、タイムゾーンも自動的に設定されます。
- **タイムゾーン**
- **時刻表示**
- **日付表示**

### - 単位

- **速度**
- **温度**
- **圧力** (タイヤ空気圧)
- **燃料消費量**
- **言語**：システム言語を選択してください。
  - **英語**
  - **日本語**

### - ボイスコントロール：

- **ショートダイアログ**：ボイスコントロールはショートボイスコマンドテキストを使用します。
- **ヘルプテキスト**：アクティブボイスコントロールで可能なコマンドを表示します。
- **工場設定**
  - **工場設定**：すべての設定値が規定値にリセットされます。個人データは保持されます。
  - **車両引渡し**：すべての設定値が規定値にリセットされます。住所、目的地、電話番号などの、すべての個人データが削除されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## PCM ディスプレイの設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **設定**  ▶ **PCM を表示** または **CAR** ボタン ▶ **設定**  ▶ **PCM を表示**
2. 希望のオプションを選択してください。

- **ディスプレイを OFF にする**：次にタッチするまでタッチスクリーンがOFFになります。
- **ディスプレイの明るさ**
- **フッター**
  - **温度**：フッターに温度を表示します。
  - **時刻**：フッターに時刻を表示します。
- **近接センサー**：近接センサーを有効 / 無効にします。
- **タッチ操作音設定**：ディスプレイにタッチした時の操作音を有効 / 無効にします。

## 音量および音質の変更

### 音量を調節する

ボリューム スイッチA(図174を参照)を回すと、音量を調節できます。

### オーディオソースのミュート

- ▶ ボリューム スイッチA(図174を参照)を短く押してください。フッターにミュートの  シンボルが表示されます。運転アドバイス、電話の会話および交通情報は聞くことができます。
- ▶ ミュート機能を解除するには、ボリューム スイッチ A を再び短く押してください。

## 音質設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **サウンド設定** ▶ **サウンド** 
2. オプションを選択して、設定を変更してください。

- **低音**：低音域の調節
- **高音**：高音域の調節
- **フェーダー**：前後スピーカーの音量調節
- **バランス**：左右スピーカーの音量調節

## 音量設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **サウンド設定** ▶ **音量** 
2. 希望のオプションを選択してください。

- **ナビゲーション案内**：ナビゲーション案内の音量を設定
- **速度適応音量**：車速に応じた音量調節
- **Bluetooth オーディオ**：Bluetooth®オーディオ再生用の音量を設定
- **マイク音量**：通話中のマイク音量を調整
- **着信音量**：着信音の音量を設定
- **電話中のナビゲーションをミュート**：通話中はナビゲーションアナウンスを再生しない
- **タッチ操作音設定**：ディスプレイにタッチした時の操作音を設定
- **メッセージの受信音**：テキスト メッセージおよびEメール受信時のサウンド ON/OFF を切り替える

## Burmester® 音質設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **サウンド設定**
2. **Burmester** を選択します。
3. 希望のオプションを選択してください。

- **ピュア**：純粹で忠実な音響設定。
- **スムーズ**：リラックスした長時間のリスニングに適した音響設定
- **サラウンド**：非常に開放感を感じる音響設定
- **ライブ**：ライブの臨場感を伴う広がりのある音響設定
- **ポジション**：座席別の音質調整
- **サウンド コンディショナー**：音響を周囲の音量に合わせて適応させます。

## BOSE® 音質設定を変更する

1. **HOME** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **サウンド設定**
2. **BOSE** を選択してください。
3. 希望のオプションを選択してください。

- **サラウンド**：非常に開放感を感じる音響設定
- **リニア**：低音重視の音質設定 (リニア OFF) からニュートラルでバランスのよい音質 (リニア ON) に変更
- **オーディオパイロット®**：この機能を ON にすると、車内のノイズ レベルをモニターし、その変化に合わせて最適なオーディオ再生を行います。

## ボルシェスタビリティマネージメント (PSM)

PSM は、過酷な走行条件下で車体を安定させるためのアクティブコントロールシステムです。エンジンが始動すると自動的に有効になります。PSM は、アンチロックブレーキシステム (ABS) とエンジンドラッグトルクコントロールシステム (MSR) の機能と同様に、オートマチックブレーキディファレンシャル (ABD) とアンチスリップコントロール (ASR) システムの両方を利用します。

### ▲ 警告

車両コントロールの喪失

PSM を過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PSM が装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

PSM は危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

以下の条件で PSM コントロールの作動を知ることができます。

- インstrument パネルの PSM 警告灯が点滅します。
- 油圧作動音が聞こえます。
- PSM がブレーキを制御することで、減速の度合いやステアリング操作力が変化します。
- エンジン出力が低下します。
- ブレーキペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。

最大の制動力を得るため、ブレーキペダルに振動を感じたらさらに強く踏み込んでください。

### オートマチックブレーキディファレンシャル (ABD)

いずれかのアクスルで一方のホイールが空転し始めると、そのホイールにブレーキをかけて、反対側のホイールの駆動力を確保します。

### アンチスリップコントロール (ASR)

アンチスリップコントロールがエンジン出力を制御することで、ホイールのスリップを防ぎ、直進安定性やハンドリング性能が維持されます。

### エンジンドラッグトルクコントロール (MSR)

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい場合、エンジンドラッグトルクコントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

### ステアリングトルクパルス

ステアリングトルクパルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかけた場合に運転者のステアリングアシストを行います。カウンターステアリング中も操舵力を追加して運転者を支援します。

## PSM スポーツの作動

- ✓ スポーツクロノパッケージ装備車
- PSM スポーツが作動すると、システムが特定のスポーツモードに切り替わります。

### ▲ 警告

PSM サポート制限

PSM スポーツモードの場合、ABS 制御の範囲外になるような過酷な走行状況では PSM サポートが制限されます。

- ▶ 「通常」走行では常に PSM スポーツを OFF にすることをお勧めします。

- ▶ 警告ボタンを短く押してください。ボタンのインジケータライトとインstrument パネルの PSM OFF 警告灯が点灯します。

マルチファンクションディスプレイに PSM スポーツが作動していることを示すメッセージが表示されます。

## PSM の解除



図184：センターコンソールの PSM OFF ボタン

### ▲ 警告

PSM アシストの停止

PSM を OFF にすると、ABS 制御の範囲外になるような過酷な走行状況で PSM サポートが行われません。

- ▶ 「通常」走行では常に PSM を ON にすることを推奨いたします。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ▶ ボタンを短く押してください [スポーツ クロノ パッケージ 装備車: ボタンを 2 秒以上押してください)。ボタンを押してから実際に PSM が OFF になるまでには、若干の遅れがあります。ボタンのインジケーター ライトとインストールメント パネルの PSM OFF 警告灯  が点灯します。マルチファンクションディスプレイに PSM が OFF に切り替わったことを示す警告が表示されます。

## インフォメーション

ABS コントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSM が OFF の状態でも車両は安定性を維持します。片方の駆動輪が空転すると、PSM を OFF にしていても空転を抑制します。

ただし次の場合は、例外として一時的に PSM を OFF にすることが有効です。

- むかるんだ路面、または積雪が多い場合。
- スタックした車両を脱出させる場合。

## インフォメーション

PSM スポーツ モードが作動しているとき、PSM を事前に ON にしていた場合のみ PSM OFF モードへの切り替えが可能です。

## PSM を再度 ON にする

- ▶ ボタンを押してください。直ちに PSM が復帰します。ボタンのインジケーター ライトとインストールメント パネルの PSM OFF 警告灯  が消灯します。マルチファンクションディスプレイに PSM が ON に切り替わったことを示すメッセージが表示されます。

## 警告シンボルへの対応

- PSM 警告灯に関するインフォメーション  :  
▶ 「警告および情報メッセージ」(82ページ) を参照してください。

## ABSブレーキ システム (アンチロックブレーキ システム)

### 警告

車両コントロールの喪失

ABS を過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。ABS が装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

ABS は危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

ABS の特徴:

- ステアリングの操作性の確保: 安定したステアリング コントロール性能を維持します。
- 優れた走行安定性: ホイール ロックによるスリップを回避します。
- 制動距離の短縮: ほとんどの状況で、ブレーキをかけたときの制動距離が短くなります。
- ホイール ロックの回避: タイヤのフラット スポットを回避できます。

### 機能

ABS は、緊急回避が必要な状況で最も効果を発揮し、走行安定性とステアリング コントロール性を維持します。

ABS は、あらゆる路面状況下での急ブレーキ時、車両が停止する直前までホイール ロックを回避します。

ホイールのロック点付近でブレーキをかけたときに ABS は作動し始めます。

このブレーキ コントロールは、非常に小刻みなポンピング ブレーキをかけるのと似た状態です。

ブレーキペダルの脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整する警告の役目をします。

最大制動力が必要な場合:

- ▶ 急ブレーキ操作が必要な場面では、ブレーキペダルが振動してもしっかりとブレーキペダルを踏み続けてください。ペダルを踏み力をゆるめないでください。

## 警告シンボルへの対応

- ABS 警告灯  に関するインフォメーション:  
▶ 「警告および情報メッセージ」(82ページ) を参照してください。

## マルチコリジョンブレーキング

マルチコリジョン ブレーキングは、事故が起こった際に自動的にブレーキをかけ、衝突後の車両の横滑りや多重事故のリスクを軽減し、ドライバーを補助します。

### 前提条件

- マルチコリジョン ブレーキングは以下の場合にのみ作動します。
- 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時。
  - エアバッグ コントロール ユニットが事故の際に作動しきい値を検出したとき。
  - 車速約 10 km/h 以上で走行しているときに事故に遭ったとき。

## **i** インフォメーション

事故後に PSM や電気系統に損傷がなく、作動可能な場合、PSM が自動的に油圧ブレーキを作動させます。

---

### 例外

以下の状況では事故の際に自動的にブレーキが作動しません。

- ドライバーが急激にアクセル ペダルを踏んだとき。
- ドライバーがブレーキ ペダルを踏み込んだときのブレーキ油圧がシステムのブレーキ油圧より高いとき。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ポルシェトラックプレジジョンアプリ<sup>1)</sup>

このアプリを使用すると、無線ローカルネットワーク (WiFi) 経由でスマートフォンを車両に接続することができます (一部の国でのみ使用可能)。このアプリにより、スマートフォン上で走行データの表示、保存、分析ができます。

アプリのインストールと機能に関する詳細情報は、アプリ内から入手するか、www.porsche.com またはポルシェ正規販売店から入手できます。

### ⚠ 危険

車両コントロールの喪失

速度の出し過ぎや危険な操作により、車両のコントロールが失われる恐れがあります。

- ▶ 路面、天候など、周囲の交通状況と運転者のドライビングスキルに適したスタイルで走行してください。
- ▶ アプリはサーキット走行するときのみ使用してください。公道では使用しないでください。

### ⚠ 警告

走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを使用したりすると、運転に対する注意力が低下することがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 操作および設定は、必ず車両を停止させてから行ってください。

## i インフォメーション

このアプリを使用して車両固有データにアクセスすることができます。第三者による無断アクセスからこのデータを保護することをお勧めします。

1) 名前と機能の変更は保護されています

## マルチファンクションディスプレイ

この取扱説明書は機能の一部のみを紹介しています。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。

### 警告

走行時の設定と操作

運転中にマルチファンクションディスプレイ、マルチファンクションステアリングホイール、ラジオ、ナビゲーションシステム、電話などの機器の操作、設定を行うと、注意力が散漫になることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください。
- ▶ 複雑な操作、設定は必ず車両を停止してから行ってください。



図185：マルチファンクションディスプレイの位置

### インフォメーション

マルチファンクションディスプレイはイグニッションがONのときのみ操作できます。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

## マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作



図186：ステアリングコラムレバーの機能

メニューおよび機能 / オプションを選択する(スクロール)

- ▶ レバーを下方向3、または上方向4に押ししてください。

選択の決定 (Enter)

- ▶ レバーを前方1に押ししてください。

1つ前、または複数前のメニューに戻る

- ▶ レバーをステアリングホイールの方向2へ1回、または数回引いてください。

電話およびラジオ一覧から希望する項目の冒頭までスキップする

- ▶ レバーを下方向3、または上方向4に押し続けてください。
- ▶ 頭文字を選択する画面が表示されます。
- ▶ 任意の頭文字を選択してください。
- ▶ 選択した頭文字ではじまる登録情報の、最初の項目にスキップします。

## マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作

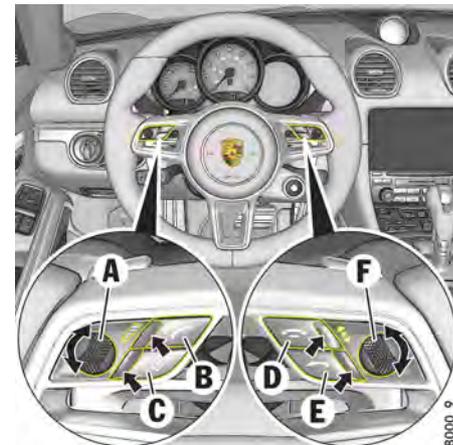


図187：マルチファンクションステアリングホイールのファンクションボタン

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## **i** インフォメーション

マルチファンクション ステアリング ホイールの操作では、ポルシェ コミュニケーション システムの ON/OFF の切り替えはできません。

### 音量を上げる / 下げる

- ▶ ボリューム スイッチ A を上方または下方に回してください。

### ミュート機能の ON/OFF を切り替える

- ▶ ボリューム スイッチ A を押してください。

### メニューおよび機能 / オプションを選択する (スクロール)

- ▶ ロータリー ノブ F を上方向または下方向に回してください。

### 電話およびラジオ一覧から希望する項目の冒頭までスキップする

- ▶ ロータリー ノブ F を上方向または下方向に素早く回してください。頭文字を選択する画面が表示されます。
- ▶ 任意の冒頭文字を選択してください。選択した頭文字ではじまる登録情報の、最初の項目にスキップします。

### 選択の決定 (Enter)

- ▶ ロータリー ノブ F を押してください。

### 保存された機能を有効にする

- ▶ ◇ ボタン C を押してください。

ボタンは個別に割り当てることができます。初期設定ではオーディオ ソースの選択に設定されています。

ボタンの個別設定に関するインフォメーション:

- ▶ 「マルチファンクションステアリングホイールのボタンの割り当て変更」(241ページ)を参照してください。

### 1つ前、または複数前のメニューに戻る

- ▶ バック ボタン E を押してください。

### 着信を受ける

- ▶ ハンドセットピックアップ ボタン B を押してください。

### 通話を終了するまたは着信を拒否する

- ▶ ハンドセットハンガアップ ボタン D を押してください。

## マルチファンクションディスプレイの表示エリア



図188：マルチファンクションディスプレイの表示エリア

### A/D- 上部 / 下部ステータスエリア

上部 / 下部ステータス エリアには、コンパス、時刻、温度などの基本情報が表示されます。ステータス エリア表示は個別の設定ができます。

- ▶ 「マルチファンクションディスプレイの表示を変更する」(237ページ)を参照してください。

### B- タイトルエリア / メニューインジケータ

タイトル エリアには、現在選択しているメニュー項目が表示されます。

右側のメニューインジケータ (灰色のバー) には、選択可能な全メニューにおける現在のメニュー項目の位置および、選択できるメニュー項目の数が表示されます。

メニューインジケータの幅が広いほど、選択できるメニュー項目の数が少ないことを意味します。

### C- インフォメーションエリア

インフォメーション エリアには、現在選択できるメニュー項目が表示されます。メニュー項目を選択した後は、そのメニュー項目に関する情報や、その他の選択肢が表示されます。

## オプションの選択および機能の有効化

各オプションの項目名の前に付いているシンボルマークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

### 複数のオプションから1つを選択する

選択されたオプション

選択されていないオプション

### 機能の作動 / 停止

機能が作動している。

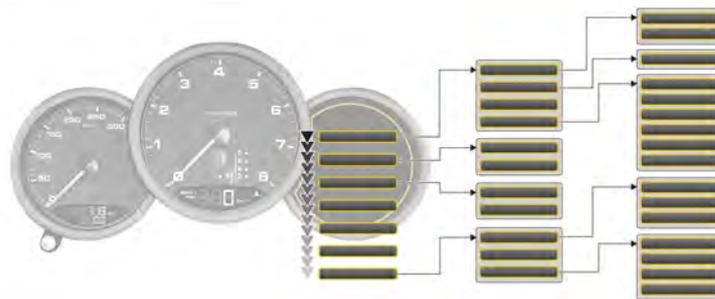
機能が停止している。

## メニュー概要

マルチファンクションディスプレイでは、車両の装備に応じてオーディオ(ラジオ、CD、iPodなど)、オイルレベル、タイヤ空気圧、ストップウォッチ、ナビゲーションシステムといった車両情報を確認することができます。また、さまざまな車両設定を変更することができます。

タイヤ空気圧モニタリングシステム(TPM)の設定など一部のメニューは停車中のみ利用できます。

8000\_214



メニュー	何ができるか	ページ
▶ 車両 ▶ 情報	車両情報を表示する(メッセージ、サービス間隔)	234
▶ 車両 ▶ オイルレベル	エンジン オイルレベルの測定と表示	58
▶ 車両 ▶ 制限	速度制限の設定	234
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 表示	マルチファンクションディスプレイの表示を変更する	237
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻	日付と時刻の調整	239
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム	アシスタンスシステムの調整	239
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ パーソナル	走行モードのパーソナル設定	240
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー	外部ライト、内部ライト、後退時のディスプレイ補助、およびフロントワイパー設定を調整する	240
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ステアリングホイール操作 ▶ ◇ ボタン	マルチファンクションステアリングホイールの◇ボタンを割り当てる	241
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ロック	ロック解除/ロックの設定	242
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ エアコン	エアコンの設定	242
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 音量	警告音およびパークアシストの音量調節	242
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 単位	車両ディスプレイ用測定単位の調整	237
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 言語	言語設定	243
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ カーコネク	車両とアプリ間の通信の停止	243
▶ 車両 ▶ 設定 ▶ リセット	工場出荷時の設定に戻す	243

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

メニュー	何ができるか	ページ
▶ オーディオ	有効なオーディオソースから放送局またはトラックを選択する	264/249
▶ 電話	電話を使用する	163
▶ 地図	地図画面を表示 / 調整する	186
▶ ナビゲーション	ナビゲーションシステムを使用する	179
▶ トリップ	走行データを表示 / リセットする	
▶ タイヤ空気圧	タイヤ空気圧を表示してタイヤ設定を調整する	142
▶ クロノ	ストップウォッチで時間を計る	122
▶ ギヤシフトアシスト	ギヤシフトアシストを使用する	235
▶ G-Force	縦加速度および横加速度を表示する	235
▶ ACC	アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) を使用する	30

## 車両メニュー

### メッセージの表示

- ▶ 車両 ▶ 情報 ▶ メッセージ。

未解決の警告または車両メッセージが表示されません。

下部のステータスエリアに表示される警告シンボルマークは、未解決の警告メッセージの数を示しています。

複数の警告メッセージが未解決の場合、メッセージリストで閲覧できます。

### サービスインターバルの表示

次のサービス (点検) 時期が表示されます。

1. 車両 ▶ 情報 ▶ サービス間隔。
2. 任意のサービス間隔を選択してください。

## 制限速度の設定

制限速度を設定して機能を作動させると、その速度を超えたときに警告シンボルが表示されます。たとえば、装着しているタイヤの許容最高速度に合わせて制限速度を設定するなど、運転者に注意を喚起したいときに利用できます。

1. 車両 ▶ 制限 ▶ 制限1 または 制限2。
2. 任意の制限を選択してください。

- **実際の速度** : 現在の速度を設定してください。
- **手動** : 任意の速度値を設定してください。
- **有効** :
  - 制限速度作動中
  - 制限速度無効

## 車両設定の調節

- ▶ 「マルチファンクションディスプレイを使用した車両設定」(237ページ)を参照してください。

## オーディオメニュー

- ▶ 「マルチファンクションディスプレイを使用して放送局を選択する」(265ページ)を参照してください。
- ▶ 「マルチファンクションディスプレイを使用して、有効なオーディオソースからトラックを選択する」(250ページ)を参照してください。

## 電話メニュー

- ▶ 「マルチファンクションディスプレイで電話を使用する」(167ページ)を参照してください。

## 地図メニュー

- ▶ 「マルチファンクションディスプレイによるマップビューの表示および設定」(184ページ)を参照してください。

## ナビゲーションメニュー

- ▶ 「マルチファンクションディスプレイでの目的地の入力」(182ページ)を参照してください。
- ▶ 「マルチファンクションディスプレイによるルート案内の開始および停止」(182ページ)を参照してください。

## トリップメニュー

- ▶ 「マルチファンクションディスプレイにドライビングデータを表示する」(172ページ)を参照してください。

## クロノメニュー

- ▶ 「スポーツクロノストップウォッチ」(122ページ)を参照してください。

## ギヤシフトアシストメニュー

- ✓ マニュアルトランスミッション装備車

8070\_15



図189：ギヤシフトアシストの例

- ▶ ギヤシフトアシストメニューを選択してください。

性能を重視した走行中にドライバーをアシストするため、シフトアップインジケータが表示されます。ギヤシフトアシストは、次のギヤへのシフト操作のタイミングをセグメントが増加するグラフィックによって事前にドライバーにお知らせします。セグメントが増加するにしたがって、表示色が白、黄色、赤の順番に変化します。

8070\_16



図190：例：ギヤのシフトアップ

すべてのセグメントが赤で表示されると、+サインが現在のギヤ段数の横に表示され、次のギヤへのシフトを促します。

## G-Forceメニュー

8070\_17



図191：加速度の例

- ▶ G-Forceメニューを選択してください。

現在の横および縦加速度が円グラフで表示されます。

**最大縦加速度および横加速度を表示する**

- ▶ G-Force ▶G-Force max.

**最大縦加速度および横加速度をリセットする**

- ▶ G-Force ▶G-Force max ▶リセット。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ACC メニュー

- ▷ 「アダプティブ クルーズ コントロール (ACC)」 (30ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## マルチファンクションディスプレイを使用した車両設定

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、さまざまな車両設定を調整できます。ここではすべての車両設定について記載していますが、これらがすべてのモデル、国別仕様および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

車両設定はイグニッションを OFF にしても保存され続けます。

メモリーパッケージ装備車では、この設定をキーや運転席ドアのメモリーボタンに保存することができます。

▶ 「パーソナル設定」(190ページ)を参照してください。

## オプションの選択および機能の有効化

▶ 「マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」(231ページ)を参照してください。

▶ 「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」(231ページ)を参照してください。

各オプションの項目名の前に付いているシンボルマークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

### 複数のオプションから1つを選択する

選択されたオプション

選択されていないオプション

### 機能の作動 / 停止

機能が作動している。

機能が停止している。

## PCM を介した車両設定

特定の車両設定は PCM から行うことができます。

▶ CAR ▶ 設定  ▶ 車両設定

## マルチファンクションディスプレイの表示を変更する

▶ 「マルチファンクションディスプレイの表示エリア」(232ページ)を参照してください。

### 上部のステータスエリアの表示を変更する

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 上のライン ▶ 残りの距離

機能が有効になると走行可能距離が表示されます。

### 情報エリアを変更する



図192：情報エリアの構成例

- A フィールド1：ブースト圧
- B フィールド2：冷却水温度
- C フィールド3：エンジン油温
- D フィールド4：エンジン油圧

さまざまな車両情報の中から4つを選択して、フィールド1、2、3、および4に表示できます。車両情報の1つの項目を複数のフィールドに同時に割り当てることはできません。

### B - 冷却水温度

バーが左側にあるとき - エンジン冷間時

▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。また、大きな負荷をかけないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

**バーが中央にあるとき - エンジン通常作動温度**  
外気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけるとレッドゾーンを示すことがあります。

**バーがレッドゾーンにあるとき - 作動温度が高すぎる**

## 知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

冷却水温度が異常に高くなると、水温計の指針が最高温度マークまで動きます。エンジン温度が高いことを示す警告シンボルがマルチファンクションディスプレイに表示され、警告灯が点灯または点滅します。

- ▶ レッドゾーンに達した場合は、直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けしないでください。
- ▶ 必要な措置を講じて、冷却水温度を低下させてください。

- ▷ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

クーラントレベルが低い場合、急な坂道など車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなどして長いカーブで走行した場合に横加速度が発生したりすると、警告シンボルが表示されることがあります。車両が「通常」の作動状態に戻っても警告灯が消えない場合、クーラントレベルを点検してください。

- ▷ 「クーラントレベルの点検と補充」(78ページ)を参照してください。

## C - エンジン油温

エンジン油温が高温になりすぎると、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。

- ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

## D - エンジン油圧

エンジン油圧は、エンジンの作動状態に応じて制御されており、エンジン回転数が 5,000 rpm のときに少なくとも 3.5 bar でなければなりません。

エンジン油圧は、エンジンの回転数や油温、エンジンの負荷によって変化します。

## 知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイル圧力が低くなりすぎると、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。

- ▶ オイル圧力が低すぎる場合は、直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けしないでください。
- ▶ 必要な措置を講じて、オイル圧力を上昇させてください。

- ▷ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 車両メニュー ▶ フィールド1またはフィールド2またはフィールド3またはフィールド4

2. 希望する表示項目を選択してください。

- バッテリー電圧
- ブースト圧
- オイル圧力：エンジン油圧
- オイル温度：エンジン油温
- 冷却水温度：冷却水温度

## - 残可走距離

- 目的地：到着：目的地または立ち寄り地への到着時刻および距離
- 目的地：走行時間：目的地または立ち寄り地までの走行時間および距離
- コンパス
- GPS 高度：車両の海拔標高
- 時刻
- 日付
- 放送局/トラック：現在のラジオ放送局または音楽トラック
- 電話情報：信号の強さ/ネットワーク名
- 表示なし：空白

## 下部ステータスエリアの表示を変更する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 下のライン

2. 希望する表示項目を選択してください。

- 時刻
- 温度
- 時刻 & 温度

## メインメニューを変更する

メインメニューの特定の項目を必要に応じて表示する / 非表示にすることができます。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ メニュー種類

2. 希望する表示項目を選択してください。

- オーディオ
- 電話
- 地図
- ナビゲーション
- トリップ
- タイヤ圧力
- クロノ
- ギヤシフトアシスト
- G-Force
- ACC

## マルチファンクションディスプレイに PCM 情報を一時的に表示する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ PCM 表示
2. 希望する PCM 情報を選択してください。

- **地図情報**：ナビゲーション情報を利用すると、ナビゲーション地図が自動的に表示されます。
- **矢印情報**：ナビゲーション情報を利用すると、進行方向を示す矢印が自動的に表示されます。
- **電話情報**：着信/発信電話の情報が表示されます。
- **ボイスコントロール**：ボイスコントロールボタンを押すとヘルプテキストが表示されます。

## マルチファンクションディスプレイの明るさを調節する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ ディスプレイの明るさ
2. 希望の明るさを選択してください。

## メニュー項目のヘルプテキストの表示 / 非表示

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ ヘルプテキスト

機能が有効になっているときにメニュー項目を選択すると、ヘルプテキストが数秒間表示されます。

## 日付と時刻の設定

事前設定された日付と時刻の表示は、車両のすべてのディスプレイに採用されます。

## 時刻の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 時刻 ▶ 時間 / 分
2. 任意の時刻を設定してください。

## 時刻表示の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 時刻 ▶ 形式
2. 任意の時刻表示形式を選択してください。

- 12h：12 時間表示
- 24h：24 時間表示

## GPS 信号により自動的に時刻を同期する

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 時刻 ▶ 自動時刻調整

機能が有効なときは、時刻は GPS 信号と同期されます。

## インフォメーション

時刻を GPS 信号と同期させるよう設定した場合、日時を手動で設定することはできません。衛星電波の受信状態により、いくつかの設定オプションが一時的に利用できないことがあります。

## ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 時刻 - クロノ

機能が有効なとき、ダッシュボードのストップウォッチに時刻が表示されます。

## 日付の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 日付 ▶ 日付
2. 任意の日付を設定してください。

## 日付形式の設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ 日付 & 時刻 ▶ 日付 ▶ 形式
2. 希望の日付表示形式を選択してください。

- DD.MM.YYYY
- MM/DD/YYYY
- YYYY/MM/DD

## アシスタンスシステムの設定

### インフォメーション

設定はイグニッションの ON/OFF を切り替えても保存され続けます。

### ボルシェ アクティブ セーフ (PAS) の ON/OFF

- ✓ アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) 装備車。

- ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム ▶ アクティブ セーフ (PAS) ▶ システム ON

機能が有効なときは、すべてのボルシェ アクティブ セーフ機能が ON になります。



すべてのボルシェ アクティブ セーフ機能を OFF にすると、マルチファンクションディスプレイのステータス エリアに灰色シンボルが表示されます。

- ▶ 「ボルシェ アクティブ セーフ (PAS)」(36 ページ) を参照してください。

あ

## ポルシェアクティブセーフ (PAS) の ON/OFF を切り替える前の事前警告

✓ アダプティブクルーズコントロール (ACC) 装備車。

か

### **i** インフォメーション

潜在のおよび予期警告機能は、初期設定では OFF になっています。緊急警告機能は有効になっており、解除できません。

さ

### ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム ▶ アクティブセーフ (PAS) ▶ 事前警告 ON

機能が有効なとき、ポルシェアクティブセーフの潜在のおよび事前警告機能が ON になります。  
▷ 「ポルシェアクティブセーフ (PAS)」(36ページ) を参照してください。

な

### レーンチェンジアシスト (LCA) の ON/OFF

は

### ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム ▶ レンチェンジアシスト ▶ システム ON

機能が有効なとき、レーンチェンジアシストのインフォメーションおよび警告ステージが ON になります。

### ドアミラーのレーンチェンジアシスト (LCA) の警告表示の明るさを設定する

ら

### **i** インフォメーション

警告インジケーター (インフォメーションおよび警告ステージ) は周囲の明るさによって自動的に調節されます。

わ

A-Z

### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ アシスタンスシステム ▶ レンチェンジアシスト ▶ 明るさ

2. 希望の明るさを選択してください。

- 低
- 中
- 高

設定作業中に新しく設定する明るさが短時間表示されます。これはインフォメーションステージで表示される明るさのレベルです。警告ステージの明るさはインフォメーションステージの明るさに基づきます。

- ▶ インフォメーションステージの明るさは、ドアミラーを見た際に警告インジケーターの点灯がはっきりと確認でき、まっすぐ前方を見ているときには気を取られないように設定してください。
- ▶ 「レーンチェンジアシスト (LCA)」(269ページ) を参照してください。

### パーソナルモードの調整

さまざまな車両設定をパーソナルモードで調整することができます。

### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ パーソナル

2. 希望のオプションを選択してください。

- **スポーツ**：機能が有効になると、スポーツモードが有効になります。
- **スポーツプラス**：機能が有効になると、スポーツプラスモードが有効になります。
- **(A)**：機能が有効になると、オートスタート/ストップ機能が有効になります。
- **スポーツ シャーシ**：機能が有効になると、スポーツシャーシ設定が有効になります。

- **(G)**：機能が有効になると、スポーツエキゾーストシステムが有効になります。
- **スポイラー**：機能が有効になると、リヤスポイラーが展開します。

## ライト、フロントワイパーおよびミラーの調整

### ウェルカムホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整

### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ エクステリアライト ▶ 遅延消灯

2. 任意の遅延消灯を設定してください。

- ▷ 「オートマチック カミング ホーム ライトを ON にする」(253ページ) を参照してください。

### 左側/右側通行でヘッドライトを切り替える

- ✓ ポルシェダイナミックライトシステム (PDLS) またはポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS Plus) 装備車両。
- ✓ 停車しているとき

### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ エクステリアライト ▶ 左/右側通行

2. 希望のオプションを選択してください。

- **標準**：ヘッドライトが左ハンドル車では右側通行、右ハンドル車では左側通行に最適な位置になります。
- **反転**：ヘッドライトが左ハンドル車では左側通行、右ハンドル車では右側通行に最適な位置になります。

## i インフォメーション

ヘッドライトの位置を反転に設定すると、イグニッションまたはロービームをONにするたびに、ライトが反転されたことを示すメッセージが表示されます。

### ダイナミックハイビームの作動/停止

✓ ポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS Plus) 装備車。

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ エクステリアライト ▶ 動的前方照明

機能が有効なとき、ダイナミックハイビームを使用することができます。

▶ 「ダイナミックハイビーム」(254ページ)を参照してください。

### ドアを開いたときのインテリアライト自動点灯の有効/無効

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ インテリアライト ▶ ドアが開いているとき

機能が有効なときは、ドアを開くとインテリアライトが点灯します。

### オリエンテーションライトの明るさを調節する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ インテリアライト ▶ オリエンテーション

2. 希望の明るさを選択してください。

### アンビエントライトの明るさ調節

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ インテリアライト ▶ 明るさ調整

2. 希望の明るさを選択してください。

### インテリアライトの遅延消灯モードを設定する

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ インテリアライト ▶ 消灯遅延

2. 任意の遅延消灯を設定してください。

### リバース(後退)ギヤ選択時のリヤワイパーの作動設定

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ ワイパー ▶ リヤワイパー

2. 希望のオプションを選択してください。

- 自動：雨天時にリバースギヤを選択すると、リヤワイパーが自動的に作動します。
- 手動：リバース(後退)ギヤを選択しても、リヤワイパーは自動的に作動しません。

### リバースギヤ選択時に助手席ドアミラーを下向きにする

✓ メモリーパッケージ装着車

▶ 車両 ▶ 設定 ▶ ライト & ビュー ▶ 後退オプション ▶ ミラー下向き

機能が有効なとき、リバースギヤが締結すると助手席側のドアミラーが下向きになります。

### マルチファンクションステアリングホイールのボタンの割り当て変更

マルチファンクションステアリングホイールの◇ボタンに、マルチファンクションディスプレイまたはPCMの任意の機能を割り当てることができます。

1. 車両 ▶ 設定 ▶ ステアリングホイール操作 ▶ ◇キー ▶ PCM機能または組み合わせ機能
2. 希望のオプションを選択してください。

### PCM機能：

- ソースの切り替え：オーディオを切り替えます。
- ボイスコントロール：ボイスコントロールの作動
- リピート：ナビゲーションの音声案内を繰り返します。
- 放送局/トラック<：前の放送局またはトラックを選択します。
- 放送局/トラック>：次の放送局またはトラックを選択します。
- 地図：PCMにナビゲーション地図を表示します。

### 組み合わせ機能：

- 計時開始/停止：計時を開始または停止します。
- 車両メニュー：車両メニューを表示します。
- オーディオメニュー：オーディオメニューを表示します。
- 電話メニュー：電話メニューを表示します。
- 地図メニュー：マルチファンクションディスプレイにナビゲーション地図を表示します。
- ナビメニュー：ナビゲーションメニューを表示します。
- トリップメニュー：トリップメニューを表示します。
- TPMメニュー：TPMメニューを表示します。
- クロノメニュー：スポーツクロノメニューを表示します。
- ACCメニュー：ACCメニューを表示します。
- G-Forceメニュー：G-Forceメニューを表示する
- ギヤシフトアシスト：ギヤシフトアシストメニューを表示します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ドア ロック機能を設定する

### ドアのロック解除機能の設定

1. 車両 ▶設定 ▶ロック ▶ドアロック解除
2. 希望のオプションを選択してください。

- すべてのドア：車両のロックを解除すると、すべてのドアのロックが解除されます。
- 運転席ドア：車両のロックを解除すると、運転席ドアのロックが解除されます。

### ドアのロック機能の設定

1. 車両 ▶設定 ▶ロック ▶ドアロック
2. 希望のオプションを選択してください。

- OFF：乗車後にドアは自動でロックされません。
- イグニッション ON の後：イグニッションを ON にすると、ドアが自動的にロックされます。
- 発進後：車両を発進させると、ドアが自動的にロックされます。

### ドアミラーの自動格納の ON/OFF

- ▶ 車両 ▶設定 ▶ロック ▶ミラー格納

機能を有効にすると、車両をロックしたときにドアミラーが自動的に格納します。

### イージーエントリーの ON/OFF

- ▶ 車両 ▶設定 ▶ロック ▶ボルシェエントリー&ドライブ

機能を有効にすると、運転者の乗降性を高めるために運転席シートとステアリングホイールを自動的に遠ざけることができます。

## オートメモリーの ON/OFF

- ▶ 車両 ▶設定 ▶ロック ▶オートメモリー

この機能が有効な場合、車両をロックしたときにパーソナル設定が自動的にキーに保存されます。

▷ 「パーソナル設定の保存と呼び出し」(191 ページ) を参照してください。

## エアコン設定

- ✓ 2ゾーンエアコン装備車

### 送風の強さと送風量を調節する

1. 車両 ▶設定 ▶エアコン ▶エアフロー
2. 希望のオプションを選択してください。

- 弱：エア ベントからの送風が和らぎます。空気の流れに敏感な乗員に適しています。
- 中：標準の設定です。
- 強：車内への送風が強くなります。風の流れをはっきりと感じられるようになります。

### アッパーベンチレーションパネルの ON/OFF

- ▶ 車両 ▶設定 ▶エアコン ▶ベンチレーションパネル

機能を有効にすると、ダッシュボードのアッパーベンチレーションパネルが ON になります。

### 内気循環モードの ON/OFF

- ▶ 車両 ▶設定 ▶エアコン ▶自動内気循環

機能を有効にすると、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。

## 警告音およびパークアシストの音量調節

1. 車両 ▶設定 ▶音量 ▶パークアシストまたは警告トーン
2. 希望のオプションを選択してください。

- 高
- 中
- 低

## 単位の設定

### スピードメーターの単位の設定

1. 車両 ▶設定 ▶単位 ▶スピードメーター
2. 希望のオプションを選択してください。

- km / km/h
- マイル / mph

### インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。

- 合計距離およびトリップ表示
- デジタルスピードメーター
- マルチファンクションディスプレイ
- PCM

## 温度計の単位の設定

### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 温度

### 2. 希望のオプションを選択してください。

- °C
- °F

### **i** インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。

- マルチファンクションディスプレイ
- PCM

## 圧力計の単位の設定

### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 圧力

### 2. 希望のオプションを選択してください。

- bar
- psi

### **i** インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。

- マルチファンクションディスプレイ
- PCM

## 平均燃費の表示単位の設定

### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ 単位 ▶ 燃費

### 2. 希望のオプションを選択してください。

- L/100 km
- mpg (米国)
- mpg (英国)
- km/L

### **i** インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。

- マルチファンクションディスプレイ
- PCM

## 言語設定

### 1. 車両 ▶ 設定 ▶ 言語

### 2. 希望の言語を選択してください。

### **i** インフォメーション

マルチファンクションディスプレイの言語が調整されます。

## ポルシェ カー コネクトの設定<sup>1)</sup>

### ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ カー コネクト ▶ プライバシー

機能を有効にすると、車両とアプリ間の通信が制限されます。車両固有の情報がアプリに送信されません。このアプリを使用した車両設定は実施できません。

車両の契約が有効でない場合、**カー コネクト** メニュー項目は使用できません。

▶ 「ポルシェ カー コネクト」(216ページ)を参照してください。

詳しい情報は、[www.porsche.com/connect](http://www.porsche.com/connect) またはポルシェ正規販売店から入手できます。

### **i** インフォメーション

**プライバシー**機能を有効にしても、車両が故障したとき、緊急電話をかけたとき、または盗難に遭遇したときなどは、車両の位置情報が送信されます。

▶ 車両を使用するすべての人に、**プライバシー**機能が解除される場合があることを伝えてください。

## 工場出荷時の設定に戻す

### **i** インフォメーション

工場出荷時の設定に戻すと、マルチファンクションディスプレイで選択した**すべての設定**が削除されます。

### ▶ 車両 ▶ 設定 ▶ リセット ▶ 工場設定 ▶ はい

1) 名前と機能の変更は保護されています

## ミラー

## ドアミラーの使用

## ▲ 警告

ドアミラーには周囲がゆがんで映るため、交通状況を正しく評価できないことがあります

凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。走行状況を正しく評価できず、事故につながる場合があります。

- ▶ 後方の車両との距離を推測する際や駐車する際、ミラーにはゆがんで映るということを考慮に入れてください。
- ▶ 距離の判断はルームミラーと併用して行ってください。

## ▲ 注意

## 電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- ▶ 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

## 知識

塗装面、本革部品、プラスチック部品および着衣などに損傷を与える恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

## 知識

洗車機で洗車を行う場合にドアミラーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗車機を使用する前にドアミラーを格納してください。

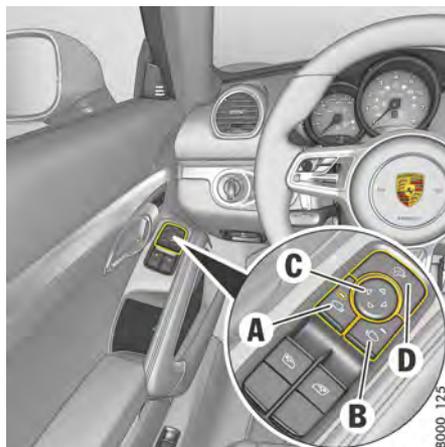


図193：ドアミラーの操作

- A ドアミラーの選択 - 運転席側
- B ドアミラーの選択 - 助手席側
- C ドアミラーの調節
- D ドアミラーの格納 / 復帰

## ドアミラーの調節



図194：ドアミラーの調節

- ✓ イグニッションが ON になっている。  
または
  - ✓ イグニッションを OFF にして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態 (最大 10 分以内)。
1. 運転席側のドアミラーを調節するときはボタン A を、助手席側を調節するときはボタン B を押してください。  
選択したボタンのインジケータライトが点灯します。
  2. 調節ボタン C を操作して、ドアミラーの角度を希望の位置に調節してください。

## 電動調節機能が故障した場合

- ▶ ドアミラー表面を手で押して角度を調節してください。

## ドアミラーの格納 / 復帰



図195：ドアミラーの格納 / 復帰

### ドアミラーの手動格納

- ▶ ミラーハウジングを手でいっぱいまで上方に回転させてください。

### ドアミラーの手動復帰

- ▶ ミラーハウジングを手でいっぱいまで下方に回転させてください。

### ドアミラーの電動格納 / 復帰

- ✓ 速度が 50 km/h 以下のとき。
- ▶ ボタン **D** を押してください (図193を参照)。両方のドアミラーが格納または復帰します。

### 電動格納機能が故障した場合

- ▶ ドアミラーを手動で格納または復帰します。

### 車外からのドアミラーの格納 / 復帰

車両をロックするときに、ドアミラーを自動的に格納することができます。

- ▶ キーのボタン  を少なくとも1秒間押し続けてください。  
ポルシェ エントリー & ドライブ 装備車：  
運転席側のドアハンドルのタッチセンサーに1秒以上触れてください。  
ドアミラーが格納されます。

### ドアミラーの自動復帰

- ▶ イグニッションを ON にしてください。  
ドアミラーが自動的に復帰します。

### ドアミラーの自動格納 / 復帰

- ✓ 機能が作動している。
- ▶ 「ドアミラーの自動格納の ON/OFF」 (242ページ) を参照してください。

### ドアミラーの自動格納

- ▶ 車両をロックしてください。  
ドアミラーが自動的に格納します。

### ドアミラーの自動復帰

- ▶ イグニッションを ON にしてください。  
ドアミラーが自動的に復帰します。

## インフォメーション

ボタン **D** を押して手動でドアミラーを格納した場合は、イグニッションを ON にした後、自動的に元の位置に復帰しません (図193)。

## ドアミラー設定の保存

メモリーパッケージ装備車では、個々のドアミラーの設定を、そのとき使用しているキーや運転席ドアのメモリーボタンに保存することができます。

- ▶ 「パーソナル設定」 (190ページ) を参照してください。

## ドアミラーの自動防眩機能の ON/OFF

ルームミラーの自動防眩機能の切り替えに合わせて、ドアミラーの防眩機能が作動します。  
▶ 「ルームミラーの自動防眩機能の ON/OFF」 (246ページ) を参照してください。

## 駐車時の助手席ドアミラー下向き自動切り替え

メモリーパッケージ装備車では、リバース (後退) ギヤを選択すると、**助手席側** ドアミラーが自動的に少し下向きになり、助手席側の車両後方下部にある障害物を視認しやすくなります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

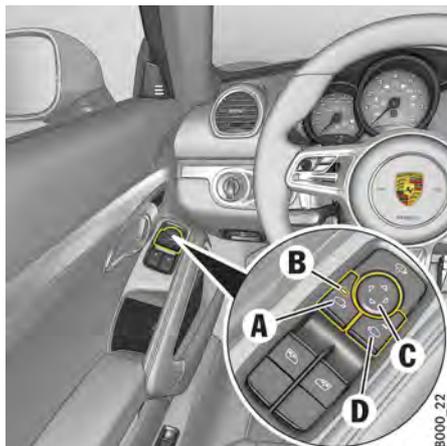


図196：駐車時の助手席ドアミラー下向き自動切り替え

### ドアミラーを自動で下向きにする

- ✓ イグニッションがONになっている。
- ✓ 機能が作動している。

▶ 「リバーズ ギヤ選択時に助手席ドアミラーを下向きにする」(241ページ)を参照してください。

### ドアミラーを手動で下向きにする

1. ギヤをリバーズ(後退)に入れてください。  
運転席側ドアミラーを調節するためのボタンAのインジケータライトBが点灯します。
2. 助手席側ドアミラーを調節するにはボタンDを押してください。  
助手席のドアミラーが下向きになります。

### ドアミラーの下向き角度の個別調整：

- ▶ 調節ボタンCを操作して、ドアミラーの角度を希望の位置に調節してください。

メモリーパッケージ装備車では、この設定をそのとき使用しているキーや運転席ドアのメモリーボタンに保存することができます。  
復帰および車両設定の保存に関するインフォメーション：

- ▶ 「パーソナル設定」(190ページ)を参照してください。

### ドアミラーを通常位置に戻す

次の場合、ドアミラーが通常的位置に戻ります。

- リバーズ(後退)以外のギヤを選択してから一定時間が経過した後、または
- 速度が15 km/h以上になったとき。

### 手動操作で助手席のドアミラーを通常位置に戻す：

- ▶ 運転席ドアミラーのボタンAを押してください。

## ルームミラー防眩機能の手動操作



図197：ルームミラー防眩機能の手動操作

ミラーを調節するときは、防眩機能のレバーAを車内側に向けてください。

- ▶ 基本設定 - レバーを車内側向けます。
- ▶ 防眩位置 - レバーをフロントウィンドウ側向けます。

## ルームミラーの自動防眩機能のON/OFF

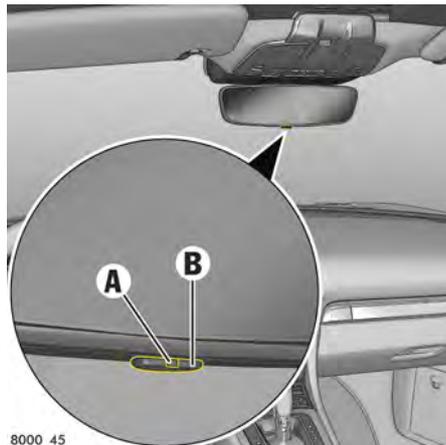


図198：ルームミラーの自動防眩機能

### 自動防眩機能をONにする

- ▶ ボタンBを押します。  
インジケータライトAが点灯します。  
光の強さに応じて防眩機能が自動的に作動し、ルームミラーが暗くなったり、明るくなったりします。

**i** インフォメーション

リバースギヤに入れた場合、またはインテリアライトが点灯している場合は、ルームミラーの自動防眩機能は作動しません。

**自動防眩機能を OFF にする**

- ▶ ボタン B を押します。  
インジケーターライト A が消灯します。

**▲ 注意**

自動防眩ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出すことがあります

ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出す恐れがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。

- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やかにきれいな水で洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて医師の診察を受けてください。

**知識**

塗装面、本革部品、プラスチック部品および着衣などに損傷を与える恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

**i** インフォメーション

ルームミラーに投射する光を妨げないでください(リヤウィンドウにステッカーを貼り付けたり、後方視界を妨げるほど大きな荷物をラゲッジコンパートメントまたはラゲッジコンパートメントカバーに積んだりするなど)。同様に、フロントウィンドウを通してフロント照度センサーに当たる光をステッカー等で妨げないようにしてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## メディア

## 概要

この概要説明は「メディア」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

- ▶ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(219ページ) を参照してください。

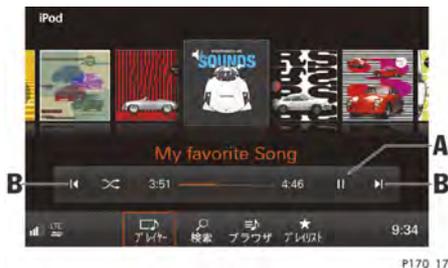


図199：メディアソース、iPod など

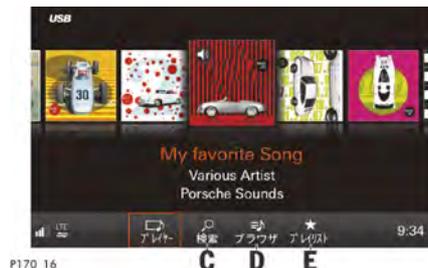


図200：メディアソース、USB など

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
メディアソースから音楽やビデオファイルを再生する	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ CD/DVD を挿入してください。</li> <li>▶ メディアの内容をジュークボックス (内部メモリー) にインポートしてください。</li> <li>▶ SD カードを挿入してください。</li> <li>▶ USB を介して外部機器を接続してください。</li> <li>▶ 外部デバイスを Bluetooth® 経由で接続してください。</li> <li>▶ アプリでオンライン ラジオ サービスを開きます。</li> </ul>	224 251 224 225 217
メディアソースを選択する	▶ <b>SOURCE</b> ボタン ▶ 希望のメディアソースを選択してください。 または <b>MEDIA</b> ボタンを繰り返し押してください。	249
音楽を再生 / 一時停止する	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ プレーヤー  ▶  または  を選択してください (A を参照)。	249
再生中に次の / 前のトラックの頭出しをする	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ プレーヤー  ▶  または  を選択してください (B を参照)。	249
メディアライブラリー内を検索する	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ 検索  (C を参照) または ブラウザ  (D を参照) を選択してください。	250
プレイリストを開く	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ 再生リスト  (E を参照) を選択してください。	250
類似の音楽を聴く	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ 類似の曲を再生	250
オーディオ / ビデオファイルをジュークボックスにインポートする	▶ <b>MEDIA</b> ボタン ▶ <b>OPT</b> ボタン ▶ ジュークボックスにインポート	251

## メディアソースの挿入 / 接続

- ▶ 「CD/DVDドライブにロードする」(224ページ)を参照してください。
- ▶ 「SDカードを挿入する」(224ページ)を参照してください。
- ▶ 「外部機器の接続」(224ページ)を参照してください。

## メディアソースの選択

- ▶ **SOURCE** ボタンを押し、希望のメディアソースを選択してください。

または

- ▶ 希望のメディアソースが選択されるまで **MEDIA** ボタンを押ししてください。

または

1. ヘッドラインに表示されたメディアソースを押してください。  
選択可能なソースが表示されます。
2. メディアソースを選択してください。

## メディアを再生する

メディア機能を使用して再生するには、オーディオおよびビデオフォーマットが特定の要件を満たしている必要があります。対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション：

- ▶ 「ポルシェコミュニケーションマネジメント (PCM)」(219ページ)を参照してください。

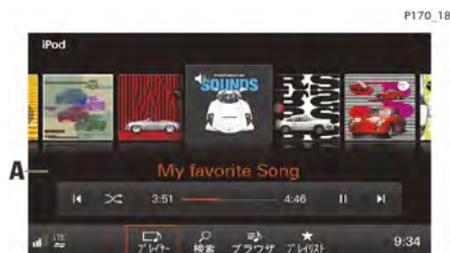


図201：音楽の再生

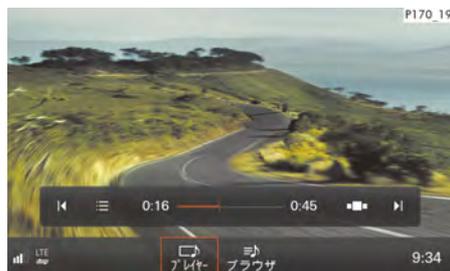


図202：ビデオの再生

機能	ボタン
メディアを再生する	
メディアを一時停止する	
次のトラック / チャプターへ進む	
前のトラック / チャプターに戻る	
音楽をランダムに再生する	
カバーフロービューを表示する	

機能	ボタン
ビデオをフルスクリーンモードで表示する	
カバーフロービューまたは用意されたビデオソースを開く	
ビデオメインメニューに戻る	

## 音楽を再生する

- ✓ オーディオソースが選択されている。

1. **MEDIA** ボタン ▶ **プレーヤー**
2. カバーフロービューA(図201)で、希望のアルバムが中央に拡大表示されるまで左または右にスワイプしてください。  
または  
アルバムを再生するには、 を選択してください。  
または  
ロータリープッシュボタンを押してください。  
または  
アルバムおよび希望の楽曲を選択してください。  
オーディオソースを選択すると、メディアの最初の曲が自動的に再生されます。ジュークボックスを使用する場合は、最近再生された曲が再生されます。

## 次の / 前のトラックの頭出しをする

- ✓ メディアソースが選択されている。
- ▶ 前にスキップするには、 を選択するか ボタンを押ししてください。  
トラックの再生が始まった直後であれば、前のトラックの先頭に戻ります。トラックの再生が始まって3秒以上経過していれば、再生中のトラックの先頭に戻ります。
- ▶ 次にスキップするには、 を選択するか ボタンを押ししてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 早送り / 早戻し

✓ メディアソースが選択されている。

- ▶ 希望の位置になるまで  /  または  /  ボタンを押し続けてください。  
または  
タイムバーを希望の位置までスライドさせてください。

## ランダム再生の ON/OFF

✓ メディアソースが選択されている。

- ▶  を選択してください。  
ランダム再生が ON になります。
- ▶ ランダム再生を OFF にするには、もう一度ボタンを押してください。

## 類似の音楽を表示する

1.  ボタンを押してください。
2. 類似の曲を再生を選択してください。

## 曲を繰り返し再生する

✓ メディアソースが選択されている。  
✓ アルバムまたはプレイリストが選択されている。

1.  ボタンを押してください。
  2. **トラックをリピート**を選択してください。  
ヘッドラインにリピートモードが表示されます。
- ▶ リピートモードを OFF にするには、 ボタンを押して **リピート OFF** を選択してください。

## ビデオの再生

✓ ビデオソースが選択されている。

- ▶  を選択してください。  
または  
希望するビデオを選択してください。  
または  
 および希望のチャプターを選択してください。
- ▶ ビデオのメインメニューに戻るには、 を選択してください。

## マルチファンクションディスプレイを使用して、有効なオーディオソースからトラックを選択する

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▶ 「マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」(231ページ)を参照してください。
- ▶ 「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」(231ページ)を参照してください。

1. **オーディオメニュー**を選択してください。
2. 有効なオーディオソース(ディスクなど)からトラックを選択してください。

## メディアソースの検索

## トラックまたはビデオを検索する

✓ メディアソースが選択されている。

1. **検索**  を選択してください。
2. **検索**を選択し、テキスト検索フィールドに希望のトラックを入力してください。  
または  
検索に使用するカテゴリー(ジャンル、アーティスト、アルバム、トラック、ビデオ)を選択してください。
3. 希望のトラックを選択してください。

## メディアの閲覧

✓ メディアソースが選択されている。

1. **ブラウザ**  を選択してください。
2. 希望のフォルダーおよびメディアトラックを選択してください。

- ▶ フォルダー構成に戻るには、ヘッドラインにある希望のメディアフォルダーを選択してください。

## プレイリストを開く

選択したメディアソースに応じて、追加のプレイリストを使用してメディアを再生できます。

## プレイリストを開く

✓ オーディオソースが選択されている。

1. **再生リスト**  を選択してください。
2. 希望のオプションを選択してください。

- **現在の再生リスト**：選択したソースのフォルダー構成またはトラック / チャプターリストが表示されます。
- **最近再生された曲**
- **再生回数が多い曲**
- 星評価を含むトラック

## ジュークボックスのオーディオ/ビデオファイルのインポートおよび削除

USB フラッシュドライブまたは SD カードのオーディオおよびビデオ ファイルをジュークボックスにインポートすることができます。

現在のトラックまたはアルバムのインポート中

- ✓ ジュークボックスにコピーするトラックまたはアルバムが含まれるメディアソースが選択されている。
- ✓ 希望のトラックまたはアルバムが選択されている。

1. **OPT** ボタン ▶ ジュークボックスにインポート
2. 現在のトラックをコピーまたは現在のアルバムをコピーを選択してください。トラックまたはアルバムがインポートされます。

フォルダーまたはファイルのコピー中

- ✓ メディアソースが選択されている。

1. **OPT** ボタン ▶ ジュークボックスにインポート
2. ファイル/フォルダーをインポートを選択してください。使用可能なすべてのフォルダーおよびファイルが表示されます。
3. 選択/選択解除により、希望のファイルまたはフォルダーを選択してください。
4. メディアのインポートを開始するには、コピーを選択してください。

ジュークボックスからメディアコンテンツを削除する

- ✓ ジュークボックスがメディアソースとして選択されている。

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ ジュークボックス設定

2. 希望のオプションを選択してください。

- 現在のトラックを削除
- 現在のアルバムを削除
- ファイル/フォルダーを削除：選択/選択解除によりファイルまたはフォルダーを選択し、削除を押して決定してください。

記憶容量(空き領域/使用領域)を表示する

- ✓ ジュークボックスがメディアソースとして選択されている。

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ ジュークボックス設定
2. ソースの詳細を選択してください。

## 設定の変更

全般的なメディア設定

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ メディア設定
2. 希望のオプションを選択してください。

- スマートフォンリンク：USB で接続されたスマートフォンを管理します。
- Bluetooth オーディオ：Bluetooth® 接続の ON/OFF を切り替えます。
- Gracenote Online：機能が作動しており、データ接続が有効な場合、インターネットから、アルバムカバーがダウンロードできます。
- Bluetooth：Bluetooth® 機能およびデバイスを管理します。
  - ▷ 「Bluetooth® デバイスの削除、または Bluetooth® インフォメーションの表示」(165ページ) を参照してください。

ビデオの設定

- ✓ ビデオファイルを含む DVD が挿入されている。

1. **MEDIA** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ DVD 設定
2. 希望のオプションを選択してください。

- 画面比率：アスペクト比を設定します。
- 音声トラック：サウンドトラックおよび音質を設定します。
- 字幕：機能を有効化すると、字幕が表示されます(利用可能な場合)。
- チャイルドロック：ビデオファイルの再生を制限するには、パスワードを入力し、OK を選択して確定してください(デフォルトのパスワード：1234)。
- ディスクのセーフティレベル：セーフティレベルを選択してください。セーフティレベル5を選択すると、セーフティレベル1~5のすべてのDVDが再生されます。セーフティレベルがこれより高いDVDの再生はブロックされます。セーフティレベルが必要ない場合は、レベル0を選択してください。
- パスコードを変更：チャイルドロック用の新しいパスワードを入力することができます。

## i インフォメーション

- チャイルドロックは挿入されたDVDに応じてON/OFFを切り替えることができます。
- 誤ったチャイルドロック用パスワードを3回入力した場合：
  - ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ライト ライトスイッチの設定

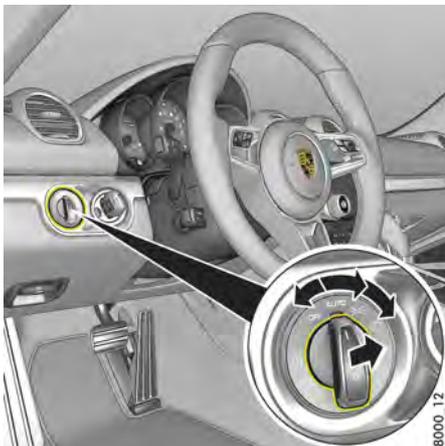


図203：ライトスイッチ

 **ライトスイッチ**  
**OFF**

**ライトの消灯**

イグニッションが ON のとき、デイトタイム ドライビング ライトが点灯します。

**AUTO** **オートマチック ドライビングライトアシスタント**

日中にイグニッションが ON のとき、デイトタイム ドライビング ライトは自動的に点灯します。

 **車幅灯**

ライセンスライト、インストルメントライトおよびデイトタイム ドライビング ライトが点灯します。

 **ロービーム/ドライビングライト**

イグニッションが ON のときのみ、フォグ ライト、モーターウェイ ライトおよびダイナミック ハイビームが非作動となります。

 **リヤフォグライト**

ロービーム位置でスイッチを引いてください。インジケータ ライトが点灯します。

 **インフォメーション**

- 灯火類が点灯した状態でキーを抜いてドアを開くと、警告音が鳴り、バッテリー上がりを防止します。各国の法律等に準拠して、ライトの仕様異なる場合があります。
- 気温と湿度により、車両のエクステリアライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

## ロービーム/ドライビングライト

ライトスイッチを **AUTO** の位置にすると、次の状況でロービームが自動的に点灯します。

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時
- 高速走行 (ポルシェ ダイナミック ライト システム PDL S 装備車)

ロービームの点灯時には、スピードメーターのインジケータ ライト  が点灯します。

 **インフォメーション**

オートマチック ヘッドライトは、霧を感知することができません。

- ▶ 霧が発生したときは、手動でドライビング ライトを点灯させてください。

## 雨天時の作動

ワイパーを連続作動に切り替えてから 5 秒が経過すると、ドライビング ライトが自動的に点灯します。

周囲が明るくワイパーが約 4 分間使用されない状態が続くと、ドライビング ライトが消灯します。

## オートマチック ドライビングライトアシスタント

オートマチック ドライビング ライト アシスタントはコンフォート機能の 1 つです。この車両のドライビング ライト (ロービーム) は、周囲の明るさに応じて自動的に点灯 / 消灯します。オートマチック ヘッドライト機能は、デイトタイム ドライビング ライト、オートマチック カミニング ホーム ライトおよびダイナミック コーナリング ライト (装備仕様による) も制御します。オートマチック ドライビング ライト アシスタントを有効にするには：

- ▶ ライトスイッチを **AUTO** の位置に回してください。

 **インフォメーション**

なおドライビング ライト アシスタントを作動させていても、法律等を遵守し、ライトスイッチの手動操作によってドライビング ライトの点灯 / 消灯することは運転者の責務です。

ドライビング ライト アシスタント機能によるヘッドライトの点灯は、運転者を支援するためのものであり、ドライビング ライトの操作は運転者が正しく行わなければなりません。

## ▲ 警告

無灯火での走行

ライトを点灯しないで走行すると、ドライバーの視界を大きく制限するのみでなく、他のドライバーや歩行者の視認性を大きく妨げることになります。

- ▶ オートマチックライトの作動状況を常に監視して、必要に応じてロービームを手動でONにしてください。
- ▶ 地域の法律などを遵守してロービームで走行してください。

## オートマチックカミングホームライトをONにする

- ▶ ライトスイッチを **AUTO** にしてください。一定時間、次のライトが点灯したままになり、車両に乗降するときの足元を明るく照らして安全性を高めます：
  - デイタイムドライビングライト
  - ドアミラーのカーテシーライト (電動格納式ドアミラー装備車)
  - リヤの車幅灯
  - ライセンスライト

## ウェルカムホーム機能(遅延消灯)

キーを抜き取った場合 (ポルシェ エントリー & ドライブ非装備車) または運転席ドアを開いた場合 (ポルシェ エントリー & ドライブ装備車) は、マルチファンクションディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、ライトが点灯したままになります。エクステリアライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション：

- ▶ 「ウェルカム ホーム / エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整」(240ページ) を参照してください。

## エントリー/イグジット機能

車両をロック解除すると、マルチファンクションディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、車両の周囲が照らされます。

以下の場合、ライトが消灯します。

- イグニッションをONにする
- ライトスイッチを **AUTO** の位置から動かしたとき

エクステリアライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション：

- ▶ 「ウェルカム ホーム / エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整」(240ページ) を参照してください。

## ポルシェダイナミックライトシステム (PDLS)

ダイナミックコーナリングライトおよび夜間の高速道路機能を作動させるには：

- ▶ ライトスイッチを **AUTO** の位置に回してください。

## ダイナミックコーナリングライト

約 8 km/h 以上の速度で走行している場合、そのときの速度やステアリングホイールの切れ角によって、コーナーの先に向けてロービームが向きを変え、進行方向の路面を照らします。ダイナミックコーナリングライトが故障した場合、インストルメントパネルのPDLS警告灯が点滅します。

- ▶ 「警告および情報メッセージ」(82 ページ) を参照してください。

## 夜間の高速道路走行時の作動

夜間は速度が約 130 km/h を超えるとドライビングライトの配光特性が変化します。このときドライビングライトは、より遠くが見渡せるように照射距離を長くします。

## フォグライト

速度が約 70 km/h 以下でリヤフォグライトが点灯している場合、ドライビングライトの配光特性が変化します。

このときドライビングライトは、眩しさを抑えるように照射され、より広範囲が見えるように照射エリアが広がります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLS Plus)

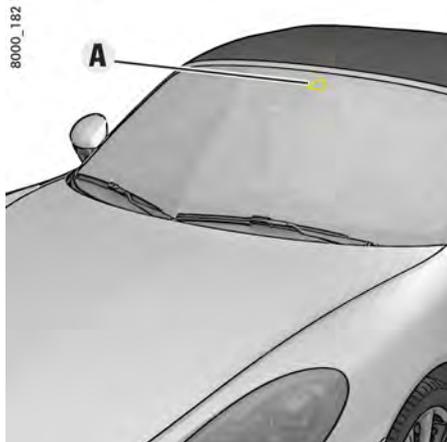


図204：カメラの取り付け位置

### ダイナミックハイビーム

ダイナミックハイビーム装備車では、ルームミラー付近に取り付けられたカメラ A で前方の走行車および対向車の光源を検知し、ドライビングライトの遮光ポイントをハイビームからロービームの間で段階的に調節します。ドライビングライトの遮光ラインは、検出された車両が認識できるように調節されます。

周囲が暗い状態で以下の条件が揃うと、この機能が作動します。

- ✓ ライトスイッチの **AUTO** 位置が選択されている。
- ✓ 速度が約 60 km/h 以上。
- ✓ マルチファンクションディスプレイでダイナミックハイビームを有効にする
  - ▷ 「ダイナミックハイビームの作動/停止」(241ページ) を参照してください。
- ✓ ダイナミックハイビームが ON になっている。
  - ▷ 「ハイビームの作動」(255ページ) を参照してください。

市街地走行時にハイビームに切り替わらないようにするため、ダイナミックハイビームは約 35 km/h 以下の速度では作動しません。

また、カメラが複数の街路灯を検出した場合も自動的にハイビームからロービームに切り替わります。

### 警告

集中力の低下

ダイナミックハイビームを過信せず、走行時の周囲の明るさ、視界、交通状況に応じてハイビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。次のような場合には手動での設定が必要になることがあります。

- 雨、霧、雪、氷、または多量の水しぶきなどの悪天候時。
  - 対向車を確認しにくい道路(高速道路など)。
  - 明るさが弱いライトの他車(自転車など)が走行している場合。
  - 急カーブ、起伏の激しい路面、坂道。
  - 明かりが少ない市街地。
  - 光を強く反射する物体(看板など)がある道路。
  - フロントウィンドウのカメラの視界に曇り、汚れ、凍結がある、またはステッカーで覆われている。
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要な場合、ハイビームを周囲の明るさ、視界、交通状況に合わせて手動で調節してください。

### i

### インフォメーション

- ▶ カメラの作動を干渉する物がないことを確認してください。ルームミラーのカメラの視界(図204を参照)をステッカーなどで遮らないでください。
  - ▶ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
- ▷ 車両のお手入れについて: 「お手入れ」(66ページ) を参照してください。

## 方向指示灯/ハイビームレバーの操作

このレバーを使用して、方向指示灯およびハイビームに加えて、パーキングライトおよびヘッドライトバッシングも操作できます。



図205：方向指示灯およびハイビーム操作レバー

- 1 方向指示灯、左
- 2 方向指示灯、右
- 3 ハイビーム、ダイナミックハイビーム
- 4 ヘッドライトバッシング

### 方向指示灯の操作

- ▶ レバーを1または2段階目まで押してください。方向指示灯は、レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリングホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。

- ▶ レバーを1または2段階目まで1回動かしてください。方向指示灯が3回点滅します。

### ハイビームの作動

#### ハイビームの点灯/消灯(ダイナミックハイビーム非装備車)

- ▶ **点灯**：レバーを3段階目まで1回動かしてください。インジケータライト  が点灯します。
- ▶ **消灯**：レバーを4段階目まで1回動かしてください。

#### ダイナミックハイビームの作動/停止

ダイナミックハイビームを作動させるには、次の条件を満たさなければなりません。

- ✓ 夜間
- ✓ ライトスイッチが **AUTO** 位置に選択されている。
- ✓ 速度が約 60 km/h 以上。
- ✓ マルチファンクションディスプレイでダイナミックハイビームを有効にする
  - ▶ 「ダイナミックハイビームの作動/停止」(241ページ)を参照してください。

- ▶ **作動**：レバーを3段階目まで1回動かしてください。インジケータライト  が点灯します。ロービームとハイビームの間で段階的に配光が自動調節されます。

ハイビームの一時的な点灯時または完全な点灯時には、 インジケータライトが点灯します。

- ▶ **停止**：レバーを4段階目まで1回動かしてください。 インジケータライトが点灯しているときのみダイナミックハイビームを解除できます。

### ダイナミックハイビームの手動点灯/消灯

ダイナミックハイビームを解除した場合、または作動条件が満たされなかった場合、手動でハイビームの点灯/消灯を切り替えることができます。

以下の条件を満たさなければなりません。

- ✓ 夜間
- ✓ ライトスイッチが **AUTO** 位置に選択されている。
- ▶ **点灯**：レバーを3段階目まで2回動かしてください。インジケータライト  が点灯します。
- ▶ **消灯**：レバーを4段階目まで1回動かしてください。

### ヘッドライトバッシングの操作

- ▶ 操作レバーを4段階目まで1回動かしてください。インジケータライト  が短時間点灯します。

### パーキングライトの点灯/消灯

- ✓ イグニッションがOFFになっている。
- ▶ レバーを上方向2または下方向1に押すと、右または左側のパーキングライトが点灯します。パーキングライトが点灯している場合は、イグニッションをOFFにしてドアを開くと、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

- ▶ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

## ハザードライトのON/OFF



図206：センターコンソールのハザードライトボタン

ハザードライトはイグニッションがOFFのときでも機能します。

### ハザードライトのON/OFF

- ▶ センターコンソールのハザードライトボタンを押してください。  
すべての方向指示灯とボタンのインジケータライトが同時に点滅します。

### 緊急ブレーキ後のハザードライトの解除

約70 km/h以上の速度で走行中、目前に渋滞の最後尾が現れたとき、停車するために急ブレーキをかけると、制動中にブレーキライトが点滅し、車両の停車後にハザードライトが自動的に作動します。

- ▶ センターコンソールのボタンを押して、ハザードライトを停止させてください。車両が動き出すと、ハザードライトが自動的に停止します。

### 事故後のハザードライトの解除

衝突時、ハザードライトが自動的に作動します。

- ▶ ハザードライトを停止するためには、イグニッションをOFFにした後、再度イグニッションをONにしてください。

## 発光ダイオード(LED)とロングライフバルブの交換

デイトタイムドライビングライト、フロントサイドライト、方向指示灯、バイキセノンヘッドライトのガスディスチャージバルブ、テールライト、ライセンスライト、ハイマウントブレーキライトインジケータライトおよびルームライトは、発光ダイオード(LED)およびロングライフバルブが使用されています。

LEDは個別に交換できません。

ロングライフバルブの交換には専門知識が必要です。

- ▶ 発光ダイオード(LED)とロングライフバルブの交換はポルシェ正規販売店にお任せください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## ラゲッジコンパートメント 荷物の積載



警告

積載時の車両の操縦性  
の変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

▶ 「重量」(281ページ)を参照してください。

### 停止表示板の取り外し

停止表示板はフロントラゲッジコンパートメントの裏側(図207、A)、に収納されています(国別仕様により異なります)。

### 応急処置セットの固定および 取り外し

応急処置セットは、フロントラゲッジコンパートメント内のカーペット(マジックテープ図208のB)に固定することができます(国別仕様により異なります)。

## タイヤシーラント(Tire Mobility System - TMS)または工具セットの取り外しおよび収納

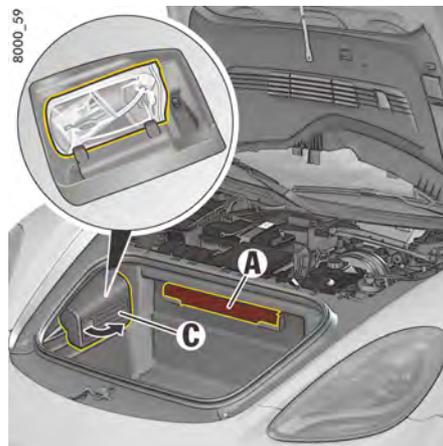


図207：タイヤシーラント(Tire Mobility System - TMS)を収納したプラスチックボックスC

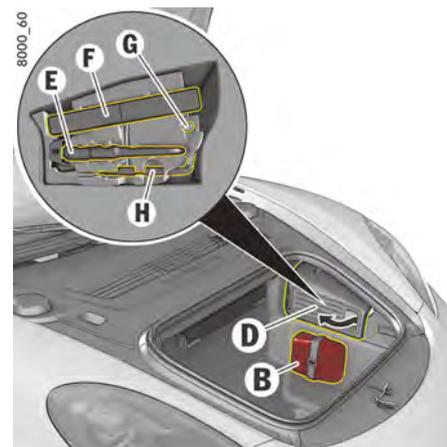


図208：工具セットを収納したプラスチックボックスD

E けん引フック

F 工具セット

G 盗難防止ホイールボルトアダプター

H コンバーチブルトップの緊急操作キー  
(718 Boxster)

### タイヤシーラント/工具セットの取り外し

- ▶ プラスチックボックスの取っ手をつかんで、取り外してください。

### タイヤシーラント/工具セットの収納

1. 後部のラグを挿入してください。
2. プラスチックボックスの前部をはめ込んでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## タイヤ充填コンプレッサーの 取り外しおよび収納

### タイヤ充填コンプレッサーの取り外し

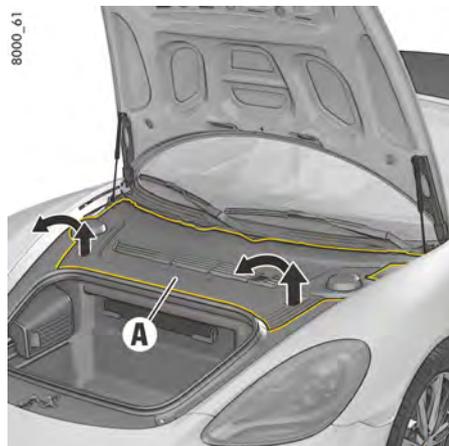


図209：プラスチックカバーの取り外し

1. プラスチックカバー A の取っ手 (矢印) を持って持ち上げ、ラッチを外してください (外れる音が聞こえます)。
2. プラスチックカバーを少し前方に引き、前部を持ち上げてください。

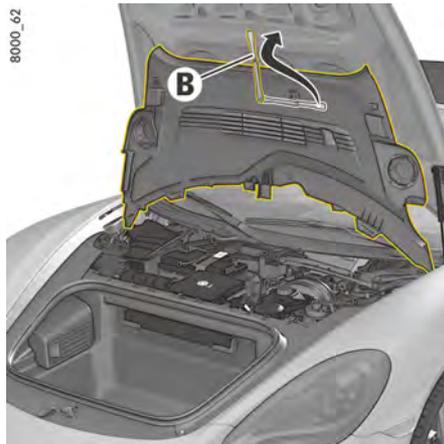


図210：プラスチックカバーの取り付け

3. プラスチックカバー下側の固定ストラップ B を外し、ラゲッジコンパートメントリッドに取り付けてください。

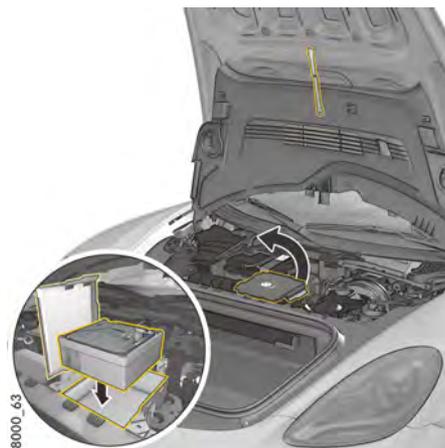


図211：タイヤ充填コンプレッサーの収納ボックスを開く

4. タイヤ充填コンプレッサーの収納ボックスを開いてください (図211)。
5. タイヤ充填コンプレッサーを収納スペースから取り出してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## タイヤ充填コンプレッサーの収納

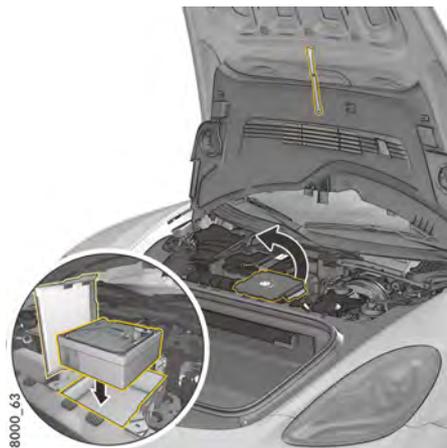


図212：タイヤ充填コンプレッサーの交換

1. タイヤ充填コンプレッサーを収納ボックスに入れてください(図212)。
2. 収納ボックスのカバーを閉じてください。

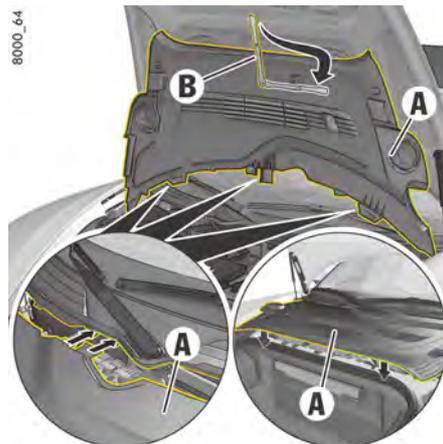


図213：プラスチックカバーを閉じる

3. 固定ストラップ **B**を外し、プラスチックカバーにはめ込んでください。
4. プラスチックカバー **A**の後端部をガイドに差し込み、ホルダー上に置いてください。プラスチックカバーの前部を下げてください。
5. カバー下側のセンタリングピンが各ガイドにはまっていることを確認してください。ラッチのはまる音が聞こえるまで、カバーの取っ手部分を下に押してください。

ラゲッジカバーの取り外し/  
取り付け

✓ 718 Cayman

ラゲッジカバーはラゲッジコンパートメント内の荷物を直射日光や人目から覆い隠します。

## 知識

ラゲッジカバーは鋭利な物や滑った荷物によって損傷する恐れがあります。

- ▶ ラゲッジカバーを損傷する恐れのある荷物を積み込むときは、ラゲッジカバーを取り外してください。

## ラゲッジカバーを取り外す

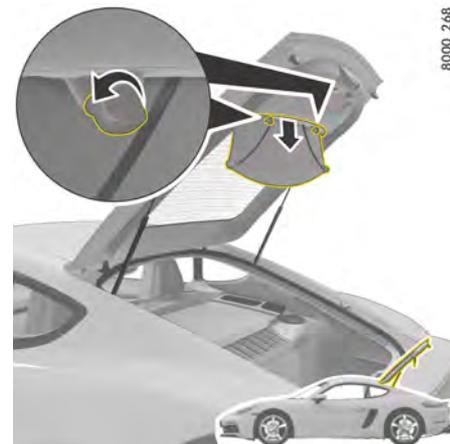


図214：ラゲッジカバーを取り外す

1. 片手でラゲッジカバーを押さえながら、両方のロックを反時計回りに回してください。
2. 両手でラゲッジカバーを取り外してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ラゲッジカバーを取り付ける



図215：ラゲッジカバーを取り付ける

- ▶ 両手でラゲッジカバーをマウントに差し込み、片手で押さえながら両方のロックを時計回りに回してください。

あ  
か  
さ  
た  
な  
は  
ま  
や  
ら  
わ  
A-Z

## ラゲッジコンパートメントリッド

### ラゲッジコンパートメントリッドの開閉操作とロック

車内のボタンでフロントラゲッジコンパートメントリッドを開く

#### 知識

ラゲッジコンパートメントリッドまたはフロントワイパーを損傷する恐れがあります。

- ▶ ラゲッジコンパートメントリッドを開くときは、ワイパーが起きていないことを確認してください。
- ▶ ラゲッジコンパートメントリッドを開く前に、必ずフロントワイパーをOFF(ワイパーレバーを0の位置)にしてください。衝突の恐れがあります。ワイパーアームが停止位置にない場合、ワイパーが停止位置に移動するようにワイパーシステムを一時的にONにしてからOFFに切り替えてください。

- ▶ 「フロントウィンドウワイパーの操作」(206ページ)を参照してください。

#### i インフォメーション

バッテリーが上がってしまった場合、外部電源を接続すればフロントラゲッジコンパートメントリッドを開くことができます。

- ▶ 「ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除」(263ページ)を参照してください。

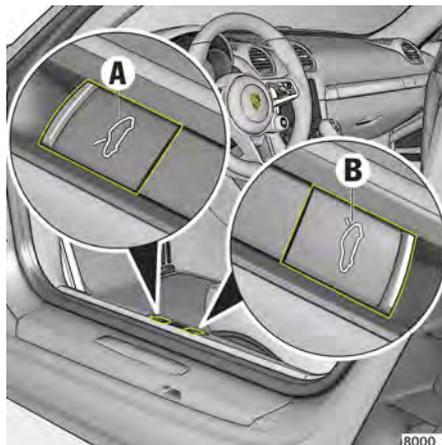


図216：フロントラゲッジコンパートメントリッドのロック解除

- A フロントラゲッジコンパートメントリッドボタン  
B リヤラゲッジコンパートメントリッドボタン

1. ボタンAを引いてください。リッドがロック解除されます。



図217：フロントラゲッジコンパートメントリッドのロック解除

2. リッドを少し持ち上げ、セーフティラッチ(矢印)を解除してください。
3. リッドを完全に開いてください。

### 車内のボタンでリアラゲッジコンパートメントリッドを開く

1. ボタンBを引いてください。リッドがロック解除されます。
2. リッドをわずかに持ち上げ、それから完全に開いてください。

### リアラゲッジコンパートメントリッドのロック

✓ 718 Cayman

ラゲッジコンパートメントリッドは、2箇所の位置で開いたままロックすることができます。

- ▶ **位置1**：ラゲッジコンパートメントリッドを抵抗がある位置まで持ち上げてください。
- ▶ **位置2**：ラゲッジコンパートメントリッドを抵抗がある位置から更に持ち上げてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## キーでラゲッジコンパートメントリッドを開く



図218：キーでラゲッジコンパートメントリッドを開く

1. または ボタンを押してください。リッドがロック解除されます。
2. リッドを少し持ち上げてください。
3. フロントラゲッジコンパートメントリッド：セーフティキャッチを解除してください。
4. リッドを完全に開いてください。

### **i** インフォメーション

キーを使用してラゲッジコンパートメントリッドのロックを解除すると、車両ドアのロックも解除されます。

## ポルシェエントリー&ドライブ(キーレス)でフロントラゲッジコンパートメントリッドを開く



図219：ポルシェエントリー&ドライブでフロントラゲッジコンパートメントリッドを開く

- ✓ キーが車両の前部にある
1. Porsche Crest とライセンスプレートの間に手をかざしてください (図219)。リッドがロック解除されます。
  2. リッドを少し持ち上げ、セーフティラッチを解除してください。
  3. リッドを完全に開いてください。

## ポルシェエントリー&ドライブ(キーレス)でリヤラゲッジコンパートメントリッドを開く



図220：ポルシェエントリー&ドライブでリヤラゲッジコンパートメントリッドを開く

- ✓ キーが車両の後部にある
1. リヤスポイラーとナンバープレートの間に手を置いてください (図220)。リッドがロック解除されます。
  2. リッドをわずかに持ち上がり、開くことができます。

## ラゲッジコンパートメントリッドを閉じる



**注意**

重いラゲッジコンパートメントリッド

半分開いた状態のラゲッジコンパートメントリッドを閉じるとき、それ自体の重さによってロックされます。

▶ 可動部品 (ヒンジ) 付近やラゲッジコンパートメントリッドの下に物を置いたり、指を挟んだりしないように注意してください。

1. リッドが閉じる直前まで手で引き下げ、そこで手を放してリッドを落とし、ロックしてください。ロック部分の真上付近を手のひらで押して、リッドを確実にロックしてください。
2. リッドが確実にロックされていることを確認してください。
3. リッドが正しく閉じていない場合、走行時にマルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。

## ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除

バッテリー上がりの場合、フロントラゲッジコンパートメントリッドを開くには外部バッテリーを使用する必要があります。



図221：ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除 - プラス端子の接続

- A プラスチック製ヒューズリムーバー  
C プラス端子 (赤色)

1. エマージェンシーキーを使用して、ドアロックを解除してください。
  - ▶ 「エマージェンシーキーを使用する場合」(73ページ)を参照してください。
  - ▶ 「緊急ドアロック解除」(139ページ)を参照してください。
2. 左側ヒューズボックスのプラスチックカバーを取り外してください。
3. ヒューズリムーバー A (黄色) を使用して、ヒューズボックスのプラス端子 C (赤色) を引き出してください。
4. 赤いジャンパーケーブルを使用して、外部バッテリーのプラス端子と、ヒューズボックスのプラス端子 C を接続してください。

## インフォメーション

車両がロックされていた場合、マイナス端子を接続したときに警報システムのホーンが鳴ります。

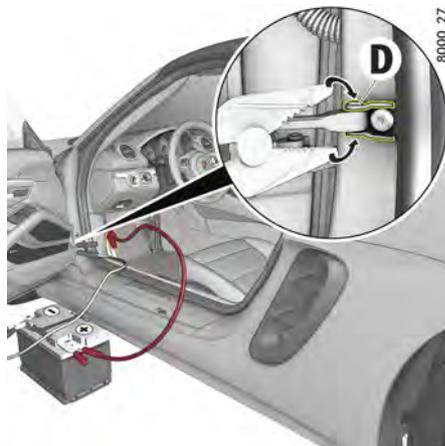


図222：ラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除 - マイナス端子の接続

5. 黒色のジャンパーケーブルを使用して、外部バッテリーのマイナス端子と、ドアラッチ D を接続してください。
6. キーの  ボタンを約 2 秒間押し続けてください。フロントラゲッジコンパートメントリッドがロック解除され、警報システムが OFF になります。
7. マイナスケーブルを先に外し、次にプラスケーブルを外してください。
8. プラス端子 C (図221) をヒューズボックスに押し込み、ヒューズボックスのプラスチックカバーを取り付けてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## ラジオ

## 概要

この概要説明は「ラジオ」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：

- ▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(219ページ) を参照してください。



図223：FM周波数

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
周波数を設定する	▶ 希望する周波数 (AM または FM) がヘッドラインに表示されるまで、 <b>TUNER</b> ボタンを押してください。	265
放送局リストから放送局を選択する	▶ <b>TUNER</b> ボタン ▶ リスト  ▶ 放送局を選択してください。	265
スキップ ボタンで選局する	▶  ボタンまたは  ボタンを希望の放送局が流れるまで何度か押してください。	
放送局リストから放送局を保存する	▶ <b>TUNER</b> ボタン ▶ リスト  ▶ 放送局を選択 ▶ <b>保存</b> ▶ 放送局ボタンを選択してください。	266
保存した局を選択する	▶ <b>TUNER</b> ボタン ▶ <b>プリセット</b> ▶ 希望の放送局ボタンを選択してください (例：A)。	265
放送局の詳細を表示する	▶ <b>TUNER</b> ボタン ▶ <b>プリセット</b> ▶ <b>詳細</b> を選択してください。	266

## 周波数を設定する

1. **SOURCE** ボタンを押してください。
2. **AM** または **FM** を選択してください。  
または  
▶ 希望の周波数 (**AM** または **FM**) が設定されるまで、**TUNER** ボタンを押してください。  
または  
1. **TUNER** ボタンを押してください。
2. ヘッドラインに表示された周波数を選択してください。
3. ソースメニューから **AM** または **FM** の希望する周波数帯を選択してください。

## 選局

保存した放送局を表示および選択する



図224：放送局ボタン

1. **TUNER** ボタン ▶ **プリセット** 
2. 放送局を選択してください。  
選択した放送局ボタン (例：A) がハイライトされます。

計 20 の放送局ボタン (プリセット) を使用して、放送局を割り当てることができます。最初の 3 ページにある放送局ボタンを自由に割り当てることができます (現在選択されているページを表示させるには、B を参照)。受信電波の最も強い 5 つのラジオ放送局が、自動的に 4 ページの放送局ボタンに割り当てられます (ベスト FM レベル)。

### スキップ ボタンで選局する

- ▶ 選択したメインメニューに関わらず、 および  のスキップ ボタンを使用して選局することができます。  
放送局一覧の次 / 前の放送局または利用可能な周波数が設定されます。

### 手動で選局する

1. **TUNER** ボタン ▶ **選局** 
2. 周波数バーを使用して周波数を選択してください。

### 放送局リストから放送局を選択する

1. **TUNER** ボタン ▶ **リスト** 
2. 放送局を選択してください。  
受信可能なすべての放送局が放送局リストに表示されます (最高 100 局まで)。

### 放送局のスキャンと選局

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. **スキャンを開始** を選択してください。  
周波数の各放送局のスキャンには約 5 秒かかります。
3. スキャンした放送局で停止するには、コントローラーで **停止** を選択してください。  
または  
**OPT** ボタン ▶ **スキャンを停止** を選択してください。

### マルチファンクションディスプレイを使用して放送局を選択する

マルチファンクションディスプレイの使用に関するインフォメーション：

- ▶ 「マルチファンクション ステアリング ホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」(231ページ) を参照してください。
- ▶ 「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」(231ページ) を参照してください。

1. **オーディオメニュー** を選択してください。
2. 放送局リストから放送局を選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## 放送局の保存

### 選局した放送局を保存する

1. **TUNER** ボタン ▶ **プリセット** 
2. 希望の放送局ボタンを3秒間押してください。

または

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. **放送局を保存** ▶ 放送局ボタンを選択してください。

または

1. ボタン **TUNER** ▶ **周波数**  / リスト 
2. 放送局を選択して、 を選択してください。
3. 希望の放送局ボタンを選択してください。

### 放送局を自動で保存する

1. **TUNER** ボタン ▶ **プリセット** 
2. AS を1秒以上押し続けてください。検索が開始されます。受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、選択されているページに保存され、最も強い電波で受信された放送局が設定されます。

## 放送局情報の表示

### 放送局の詳細を表示する

1. **TUNER** ボタンを押してください。
2. **プリセット**  ▶ **詳細** を選択してください。または  
リスト  ▶ **OPT** ボタン ▶ を選択 **放送局の詳細** を選択してください。プログラム関連情報が表示されます。

## 設定の変更

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン ▶ **AM 設定** / **FM 設定**
2. 希望のオプションを選択してください。

- **放送局トラッキング** (FM) : 機能が有効でFM周波数の電波品質が低い場合、チューナーが選局した放送局の代替周波数へ自動的に切り替えを試みます。
- **リージョン適応** (FM) : 地域によって、FM周波数のプログラムは一部異っており、内容は地域別のプログラムでそれぞれ配信されています。この機能をONにすると、その地域の代替周波数に切り替えることができません。
- **並べ替え条件**
  - **放送局名** (FM) : 放送局リストがアルファベット順に並び替えられます。
  - **周波数** (FM、AM) : 放送局リストの放送局は、周波数域順にソートされています。
  - **ジャンル** (FM) : 放送局リストはプログラムの種類、またはジャンルによって並び替えられます (例: ポップス、ロック)。
  - **受信状態** (FM、AM) : 放送局リストは放送局の電波の強さによって並び替えられます。受信状態の良い放送局がリストの最上部に表示されます。

- **放送局の表示設定** (FM)
  - **放送局名** : 放送局名が表示されます。
  - **周波数** : 放送局の周波数が表示されます。
- **ステーションイメージデータベース** (FM) :
  - **ステーションイメージ表示地域** : 放送局のロゴを選択する地域の調整
  - **ステーションイメージを表示** : 放送局ロゴの表示 / 非表示を切り替えます。

### 放送局名の固定

1. **TUNER** ボタン ▶ **OPT** ボタン
2. **選曲名** を選択してください。現在表示されている放送局名を固定することができます。このときラジオ局のテキスト放送は表示できなくなります。▶ テキストをもう一度スクロールするには、**リリース名** を選択してください。

## リヤウィンドウヒーター/ ドアミラーヒーター

### リヤウィンドウヒーターおよび ドアミラーヒーター



8100\_166

図225：リヤウィンドウヒーター/ドアミラーヒーター

### リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをONにする

✓ エンジンが作動している。

- ▶  ボタンを押してください。  
ボタンのインジケータライトが点灯します。

外気温度によって、約5~20分後にリヤウィンドウヒーター/ドアミラーヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

### 再度ONにする

- ▶  ボタンをもう一度押してください。  
ボタンのインジケータライトが点灯します。

### リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをOFFにする

- ▶  ボタンを押してください。  
ボタンのインジケータライトが消灯します。

### インフォメーション

バッテリー電圧が低すぎると、リヤウィンドウヒーター/ドアミラーヒーターの作動が制限され、その後OFFになります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## リヤスポイラー

リヤスポイラーは高速走行時の走行安定性を向上させます。

## オートマチックモード

リヤスポイラーは約 125 km/h を超えると自動的に展開し、約 80 km/h を下回ると格納します。オートコントロールシステムに不具合がある場合、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。

- ▶ 「警告および情報メッセージ」(82ページ)を参照してください。

### ▲ 警告

格納式リヤスポイラーの故障

格納式リヤスポイラーが故障すると、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。高速走行時にリヤアクスルが浮き気味になるために走行安定性が妨げられます。

- ▶ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。  
ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

## マニュアルモード



図226：センターコンソールのリヤスポイラー操作ボタン

リヤスポイラーは、イグニッションを ON にして、センターコンソールのボタンを操作することにより、手動で展開/格納することができます。

リヤスポイラーがマニュアルモードの場合、ボタンのインジケータライトが点灯します。

### 手動でのリヤスポイラーの展開

- ▶ ボタンを短く押してください。  
リヤスポイラーが展開します。  
ボタンのインジケータライトが点灯します。  
リヤスポイラーはマニュアルモードに切り替わります。

### 手動での格納

0~15 km/h :

- ▶ ボタンのインジケータライトが消灯するまで、 ボタンを押し続けてください。

15 km/h を超える速度 :

- ▶ ボタンを短く押してください。  
ボタンを押した後、すぐにインジケータライトは消灯します。  
リヤスポイラーはオートマチックモードに切り替わります。

### ▲ 注意

リヤスポイラーの展開/格納

車両を停車させてリヤスポイラーを手動で展開/格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分との間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ リヤスポイラーが稼動する範囲に人や物がいないことを確認してください。

### 知識

リヤスポイラーを損傷する危険があります。

- ▶ リヤスポイラーを持って車両を動かさないでください。

## レーンチェンジアシスト (LCA)

レーンチェンジアシスト (LCA) は、後方から接近する車両や死角にある車両をドライバーに警告します。これは、他車を追い越すときや追い越されるときにも作動します。危険な状況や車線変更が不可避な状況を検出すると、両側のドアミラー取付部フィニッシャーに一体化されている警告インジケーターが直ちに点灯します。



図227：ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーター A

### 警告

集中力の低下

レーンチェンジアシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。車線変更の際は、特に注意を払ってください。

- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

### 警告

レーダーセンサーの視界の妨げ

レーダーセンサーの視界は急カーブ、急勾配への接近、および悪天候（雨、雪、氷、強い水しぶき）では低下することがあります。車両を正しく検出できないことや、まったく検出できなくなることがあります。

- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

### 警告

車両が検出されない

- レーンチェンジアシストは高速で後方から接近する車両や遠ざかる車両に対しては、タイミング良く警告できない場合があります。
- レーンチェンジアシストは急カーブ（半径約100m未満のカーブ）では機能しません。
- レーンチェンジアシストは約30km/h以上の速度で走行しているときにのみ、接近車両や死角エリアの車両をドライバーに警告します。
- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

## 一般的なインフォメーション

- システムは約30km/h～250km/hでの走行中に機能します。
- この警告インジケーターはドライバーがドアミラー取付部フィニッシャーを一目見ただけで気づくよう設計されています。
- レーンチェンジアシストのレーダーセンサーが覆われていることをシステムが検出した場合は、レーンチェンジアシストは利用できません。
- レーダーセンサーは車両以外の他の障害物（高いまたは隆起した中央分離帯など）を検出することがあります。

### インフォメーション

- ▶ 衝突修理後などレーダーセンサーの位置が変更された場合は、安全上の理由から必ずポルシェ正規販売店でレーンチェンジアシストシステムを点検してください。

## レーンチェンジアシストの作動/停止

レーンチェンジアシストはマルチファンクションディスプレイで作動/停止します。

- ▶ 「レーンチェンジアシスト (LCA) のON/OFF」(240ページ) を参照してください。

### インフォメーション

レーンチェンジアシストを適切に機能させるには：

- ▶ リヤバンパーのレーダーセンサー部（図228）をステッカーなどで覆わないでください。この周囲から汚れや雪、氷も取り除いてください。
- ▶ ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターをステッカーなどで覆わないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

8000\_206



図228：リヤバンパー内のレーダーセンサー

## 作動原理

レーンチェンジアシストは、リヤバンパー内に組み込まれたレーダーセンサーを使用して、自車と検出した車両との距離および速度差を測定します。レーダーセンサーは後方約 70 m の範囲および死角を監視しています。

レーンチェンジアシストがその速度差および距離から車線変更が危険と判断した場合、該当するドアミラー取付部フィニッシャーに表示します。

車両の右側および左側は個別に表示されます。たとえば、左ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターはドライバーが左車線に車線変更する際に役立ちます。

危険と判断された車両が方向指示灯を操作した場合、該当するドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。

他車をゆっくり (速度差約 15 km/h 未満) と追いつき越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーンチェンジアシストが検出すると、直ちに

警告インジケーターが点灯します。速度差がそれ以上の場合、ドアミラーには表示されません。

## i インフォメーション

レーダーセンサーは左右の隣接する車線を検出します。その他の車線は、レーダーセンサーで検出されません。

## インフォメーションおよび警告ステージ

レーンチェンジアシストには方向指示灯を操作するかしないかによって、2段階の警告インジケーター作動ステージがあります。

### インフォメーションステージ

ドライバーが方向指示灯を操作していない場合、レーンチェンジアシストは、検出した車両が車線変更の際に危険となりうると判断すると、ドライバーに知らせます。レーンチェンジアシストが検出した車両との速度差および距離を危険と判断すると、該当するドアミラーの警告インジケーターが弱い光で点灯します。

### 警告ステージ

レーンチェンジアシストは、ドライバーが方向指示灯を操作した側に危険と見なされる車両を検出した場合、検出した側のドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが明るく点滅を開始します。警告ステージが数回明るく点滅する場合、ドアミラーを見るかまたは肩越しに確認するなど、再度周囲の交通状況を確認するよう促しています。

## i インフォメーション

ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの明るさは変更可能です。

▷ 「ドアミラーのレーンチェンジアシスト (LCA) の警告表示の明るさを設定する」 (240ページ) を参照してください。

## i インフォメーション

- 車両がより高速で接近してくると、ドアミラーの警告インジケーターはより早いタイミングで点灯します。レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。
- ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターがまだ表示されていない場合、高速で接近する車両がある場合は、車線変更は危険であると考えられます。

## 運転状況：

起こりうるケースとそれに関連するレーンチェンジアシストの警告インジケーターを、運転状況に応じて以下に説明します。

運転状況 - 高速で接近する車両

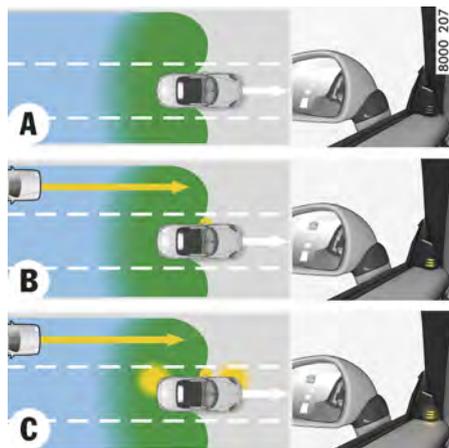


図229：高速で接近する車両

**A - ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯していない**

センサーは車両を検出していません。ドアミラーの警告インジケーターは点灯しません。

**B - 警告インジケーターがインフォメーションステージで点灯する**

センサーが高速で接近する車両を検出していますが(図の例は左車線を示しています)。車両との距離はまだ離れています。著しい速度差があるため、この車両は既に車速変更を行うには危険と判断されます。ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯します。

**C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する**

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

運転状況 - ゆっくりと接近する車両

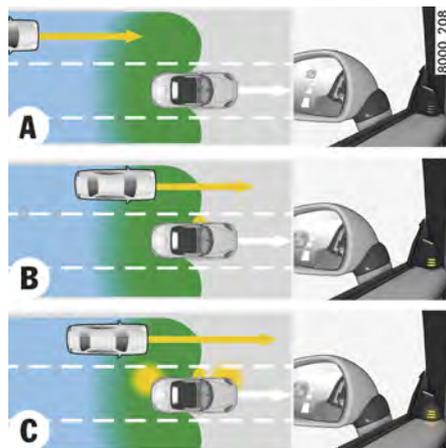


図230：ゆっくりと接近する車両

**A - ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯していない**

センサーがゆっくりと接近する車両を検出しています(図の例は左側車線を示しています)。速度差が小さくて車間距離が長い場合は、ドアミラー取付部フィニッシャーに表示されません。

**B - 警告インジケーターがインフォメーションステージで点灯する**

車両がゆっくりと接近してきています。ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯します。

レーンチェンジアシストがその速度差および距離から車線変更は危険と判断する場合のみ、ドアミラー取付部フィニッシャーに表示されます。レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも「死角エリア」に入るまでにドライバーに警告されます。

**C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する**

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

運転状況 - ゆっくりと遠ざかる車両

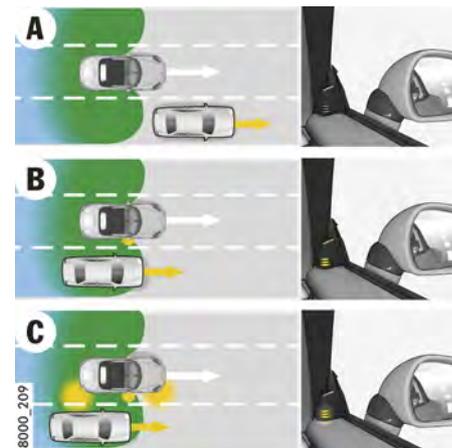


図231：ゆっくりと遠ざかる車両

**A - ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターは点灯していない**

レーンチェンジアシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの表示はありません。

**B - 警告インジケーターがインフォメーションステージで点灯する**

レーンチェンジアシストはゆっくりと遠ざかる車両(速度差約 15 km/h 未満)を右側車線で検出しています。ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## C-警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストはドライバーが車両を見落としている可能性があることを知らせます。

## 運転状況 - 高速で遠ざかる車両

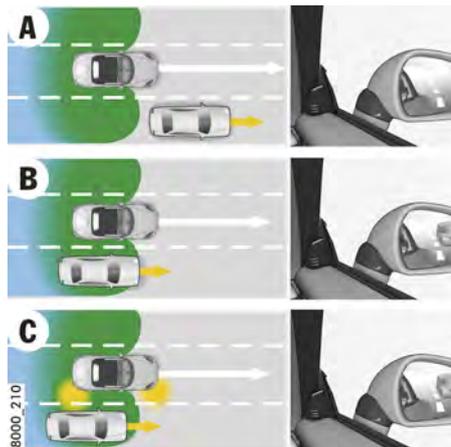


図232：高速で遠ざかる車両

## A-ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯していない

レーンチェンジアシストは追い越される車両をまだ検出していません。ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの表示はありません。

## B-ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターは点灯していない

この例では、レーンチェンジアシストは高速で遠ざかる車両(速度差約 15 km/h 以上)を右側車線で検出しますが、高速で遠ざかっている

ため車線変更を行う際の危険とはみなされません。ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの表示はありません。

## C-ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターが点灯していない

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作しても、ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターは点灯しません。

## カーブを走行する

カーブを走行する場合、レーンチェンジアシストは1つ離れた車線を走行する車両に反応し、ドアミラーの警告インジケーターを点灯することがあります。

レーンチェンジアシストは急カーブでは車両を検出できません(約 100m 未満の半径のカーブ)。

▶ カーブを走行するとき、および標準的な幅でない車線を走行するときは特に注意してください。

## 車線の幅

標準的な幅の車線の場合、ドライバーが車線の中央部または車線の端を走行しているかに関わらず、レーンチェンジアシストの検出エリアには隣接した車線(左/右)が含まれます。

狭い車線を走行する場合、検出エリアにはより多くの車線が含まれることがあります(特に車線の端を走行している場合)。このような状況では1つ離れた車線を走行する車両が検出されることもあり、レーンチェンジアシストがインフォメーションまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。

同様に、非常に幅の広い車線の場合、隣の車線の車両であっても、検出エリアの範囲外であれば検出されないことがあります。

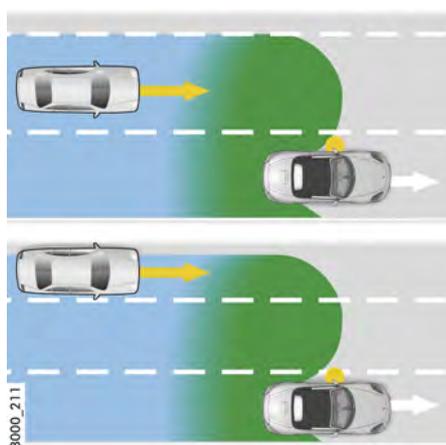


図233：車線の幅と検出エリア

## ドアミラー取付部フィニッシャーの警告インジケーターの明るさの設定

警告インジケーター(インフォメーションおよび警告)は周囲の明るさによって自動的に調節されます。

必要に応じて、基本となる明るさをマルチファンクションディスプレイで調節することもできます：

- ▶ 「ドアミラーのレーンチェンジアシスト(LCA)の警告表示の明るさを設定する」(240ページ)を参照してください。

## i インフォメーション

明るさを調整している間はレーンチェンジアシストが作動しません。警告インジケーターは明るさ設定の補助として短時間のみ点灯します。

## ワイパーブレード

### 知識

ワイパーアームが不意に倒れるとフロントウィンドウを損傷する恐れがあります。

- ▶ ワイパーブレードを交換する場合は、ワイパーアームをしっかりと保持してください。

### 知識

ワイパーブレードは低温で凍結することがあります。

- ▶ 走行する前にワイパーブレードの凍結を溶かしてください。

### 知識

不適切な清掃をすると、ワイパーブレードのグラフィット層が損傷する恐れがあります。

- ▶ 高圧洗浄水をワイパーブレードに向けて直接噴射しないでください。
- ▶ ワイパーブレードは布やスポンジで清掃しないでください。
- ▶ ワイパーブレードは必ずきれいな水で洗浄してください。

## ワイパーブレードのお手入れ

良好な視界を確保するためには、完全な状態のワイパーブレードが不可欠です。

- ▶ ウィンドウクリーナーを使用してフロントウィンドウを定期的に清掃してください（「ウィンドウの清掃」（68ページ）を参照してください。）。特に洗車機を使用した後は清掃してください。ボルシェ社では、ボルシェテックアップメント製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

- ▶ 汚れがひどい場合（虫の残骸などによって）、スポンジまたは布を使用してフロントウィンドウを清掃してください。

## ワイパーブレードの交換

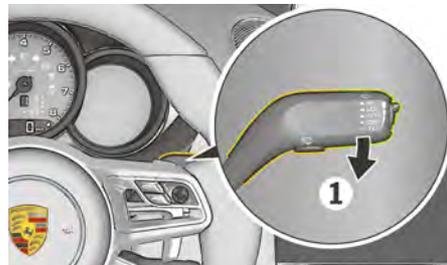


図234：ワイパーレバー

### 知識

ワイパーブレードを交換したときに、ブレードが確実に取り付けられていないと、走行中に脱落することがあります。

- ▶ ワイパーブレードは、ワイパーアームに正しく固定されていなければなりません。
- ▶ ワイパーブレードがしっかりと取り付けられているか確認してください。

ワイパーブレードは、1年に2回（冬季の前後）またはワイパーの払拭性能が低下したときや、ワイパーブレードが損傷した場合に交換してください。

- ✓ イグニッションがOFFになっている。
- 1. ワイパーレバーを下方向（図234、1）に1度押しってください。フロントワイパーが上方に約45°移動します。

- 2. ワイパーブレードの交換は、メーカーより提供の別紙の取扱説明書を参照してください。ワイパーブレードを交換する場合は、左右でワイパーブレードの長さが異なるので注意してください。

### i インフォメーション

必要な場合は、ボルシェ正規販売店で交換作業を行ってください。

ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## Apple CarPlay

### PCM で Apple CarPlay を開く

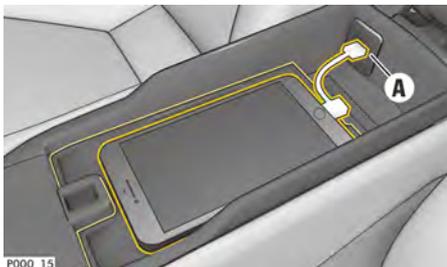


図235：センター コンソールの USB ポート (タイプ A)

- ✓ iPhone 7 以降、iOS 12.2 以上。
- ✓ Siri および Apple CarPlay がお使いの iPhone の設定で有効になっている。

1. iPhone をセンター コンソールの USB ポート A (タイプ A) に接続してください。
  - ▷ 「USB を介して外部機器を接続する」 (225ページ) を参照してください。
2. Apple CarPlay の使用を希望していることを確認してください。利用可能なアプリが表示されます。
3. **HOME** ボタン ▶ **メニュー**  ▶ **Apple CarPlay**

### i インフォメーション

- 最新バージョンの iOS をインストールすることをお勧めします。
- Apple CarPlay に対応している iPhone 内のアプリのみが表示されます。対応アプリに関するインフォメーション：
  - ▷ [www.apple.com/ios/carplay](http://www.apple.com/ios/carplay) を参照してください。
- Apple CarPlay の表示コンテンツおよび機能は、接続済みの iPhone でのみ提供されます。
- Apple CarPlay をご使用の場合、通話に使用できるのは接続されている iPhone のみになりません。PCM に Bluetooth® 経由で接続された携帯電話は、自動的に接続が切断されます。
- 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。お使いの携帯電話の料金体系に応じて、追加料金が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。

### i インフォメーション

- ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション：
- ▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」 (219ページ) を参照してください。

## PCM で Apple CarPlay を操作する

利用可能なすべてのアプリは、PCM のタッチスクリーン、ロータリープッシュ ボタンおよびバック ボタンで使用できます。

- ▷ **Apple CarPlay** のメイン メニューを開くには、PCM のタッチスクリーンでホーム ボタン  を押してください。

- ▷ PCM のメイン機能に変更するには、**HOME** ボタン ▶ **Porsche** を押します。  
または  
いずれかのワンタッチ ボタン (例：**TUNER**) を押してください。

## Siri音声認識機能を使用して Apple CarPlayを操作する

### Siriを有効にする

- ✓ Siriがお使いのiPhoneの設定で有効になっている。
- ✓ イグニッションおよびPCMがONになっている。
- ✓ 通話中でない。
- ✓ パーキングエイドを使用していない。
- ✓ PCMボイスコントロールが作動していない。

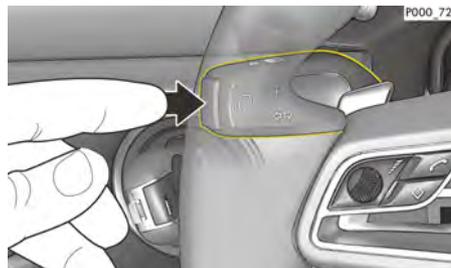


図236：レバーのボイスコントロールボタン

1. レバーの  ボタンを押し続けてください。  
または  
PCMタッチスクリーンのホームボタン  を押し続けてください。
2. 希望のボイスコマンドを発話してください。

### Siriを解除する

- ✓ ボイスコントロールが作動していて、ボイスコマンドを待機している。

- ▶ レバーの  ボタンを押してください。終了音が鳴ります。  
または  
ボイスコマンドでキャンセルまたは終了と発話してください。  
または  
PCMの任意のボタンを押してください。該当する機能が開きます。

### インフォメーション

レバーの  ボタンを素早く押すと、PCMの音声認識機能が有効になります。

- ▶ 「ボイスコントロール\*」(210ページ)を参照してください。

## iPhoneをiPodとして使用する 場合およびApple CarPlayモード で使用する場合の切り替え

iPhoneをセンターコンソールのUSBポートに接続した後にiPodとして接続した場合、Apple CarPlayは使用できません。

デバイスマネージャーを使用して、iPhoneをiPodとして使用するか、またはApple CarPlayモードで使用するかを切り替えることができます。



図237：デバイスマネージャーを開く

1. フッターの  または  (接続状態により異なる) を選択してください。
2. スマートフォンリンクを選択してください。
3. ご使用中のiPhoneを選択してください。
4. iPodとして使用  
または  
Apple CarPlayモードで使用。

\* 日本仕様に設定はありません。

## HOLD 機能

HOLD 機能は、上り坂での停車時や発進時に、ドライバーの運転操作を支援します。

この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

HOLD 機能が作動すると、インストルメントパネルの **HOLD** インジケータライトが点灯します。

HOLD 機能の作動中にドライバーのシートベルトが外され、運転席ドアが開いた場合、車両は動き出さないように自動的に固定されます。

### ⚠ 警告

車両コントロールの喪失

HOLD 機能にかかわらず、勾配での停止および始動の責任はドライバーにあります。

滑りやすい路面（凍結している、またはぬかるんだ路面など）での停止および始動時には、HOLD 機能によるアシストは保証されません。車両が不意に動き出す恐れがあります。

▶ 常に走行スタイルを路面状態および車両荷重に合わせて調整してください。必要な場合はフットブレーキを使用します。

HOLD 機能が作動しないと、ドライバーは坂道発進アシストを受けられません。

▶ フットブレーキをかけて停車してください。

## マニュアルトランスミッション装備車の HOLD

✓ エンジンが作動している。

1. フットブレーキをかけて坂道で停車してください。
2. クラッチペダルをいっばいに踏み込んでください。
3. 坂道に登るために適切なギヤに変速します（1速またはリバースギヤ）。

4. クラッチペダルを踏んだまま、フットブレーキから足を放してください。  
このとき発進アシスタントが作動して、車両は坂道での停車状態を維持し、後退を防いで発進を容易にします。
5. 通常の操作で車両を発進させてください。

### i インフォメーション

マニュアルトランスミッション装備車の HOLD 機能は、以下の条件では作動**しません**。

- クラッチを踏んでいないとき。
- 作動モードが N のとき。
- 車両が停止していないとき。
- エンジンが手動で OFF にされたとき。
- 坂道の勾配率が 5% 以下のとき。
- 運転席ドアが開いており、運転席シートベルトが着用されていない場合。

## PDK 装備車の HOLD

車両が停止状態にあるときに HOLD 機能が作動します。

この機能により、ブレーキペダルを踏んでいないときでも、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

アダプティブクルーズコントロールが正常に機能している場合、HOLD 機能は自動ブレーキ後に車両を停車状態に維持します。

車両が HOLD 機能により保持されている場合は、通常の運転操作で発進できます。

### i インフォメーション

PDK 装備車の HOLD 機能は、以下の条件では作動**しません**。

- 作動モードが P および N のとき。
- 車両が停止していないとき。
- エンジンが手動で OFF にされたとき。
- 坂道の勾配率が 5% 以下のとき。
- 運転席ドアが開いており、運転席シートベルトが着用されていない場合。

### i インフォメーション

車両が停止している間に素早くブレーキペダルを踏み込むと、勾配に関係なく HOLD 機能が作動します。この機能により、ブレーキペダルを踏んでいないときでも、車両が動き出すことを防ぎます。この場合、セレクトアーレバーを操作しても、HOLD 機能は解除されません。

### ⚠ 警告

上り坂での車両の後退

ドライバーがブレーキペダルを作動させずに急な勾配で車両が停止すると、HOLD 機能が止めるまで車両が後退することがあります。この場合、ブレーキペダルを踏むことで後退を少なくすることができます。

▶ フットブレーキをかけて制動力を上げることで、車両の停止維持を補助してください。

**i** インフォメーション

HOLD 機能作動時に、ドライバーはブレーキペダルで違いを感じ、油圧作動音が聞こえることがあります。

これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

---

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

## テクニカルデータ

以降のページには、車両に関するテクニカルデータが掲載されていますメーカー参考値。

## テクニカルデータ 車両の識別データ

### 車台番号

8000\_85



図238：車台番号

車台番号はフロント ウィンドウ枠の左下と助手席シートの下にあります。

- ▶ スペア パーツの注文をする場合は、必ず車台番号を明示してください。

### ビークルプレート



図239：ビークルプレート固定位置

ビークル プレートは助手席側ドア シル(ドア開口部)に取り付けられています。

### タイヤ空気圧プレート



図240：タイヤ空気圧プレート固定位置

タイヤ空気圧プレートは運転席側ドア シル(ドア開口部)に貼られています。

### データバンク

車両の大切な情報が記載されているデータバンクは、整備手帳の中に添付されています。

データバンクは、紛失したり破損したりしても再注文することはできません。

## 車両寸法

全長(装備仕様により異なる)	4,379 mm~4,405 mm
全幅	1,801 mm
ドアミラーを含む全幅	1,994 mm
DIN 規格空車重量での車高 装備によって異なります	1,261 mm~1,295 mm
DIN 規定空車重量時の地上高 装備によって異なります	112 mm~133 mm

## 充填容量

▶ ポルシェ社が承認したフルード、燃料のみを使用してください。詳細なインフォメーションについては：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

燃料	<b>718 Boxster、718 Boxster T、718 Cayman、718 Cayman T：</b> 約 54 リットル(オプション：約 64 L)、予備用の約 8 リットルを含む <b>718 Boxster S、718 Boxster GTS モデル、718 Cayman S、718 Cayman GTS モデル：</b> 約 64 L(予備用の約 8 Lを含む)
----	---

フロントウィンドウ/ヘッドライトウォッシャー液	約 2.5 L(ヘッドライトウォッシャーシステム装備車は約 5 L)
-------------------------	------------------------------------

## 燃料消費量とCO<sub>2</sub>排出量

CO<sub>2</sub> 排出量は燃費に直接影響されます。安全運転や定期点検によって、CO<sub>2</sub> 排出量を最小限に抑制できます。

### **i** インフォメーション

国により、車両の燃費と排出値が納車時に提供された書類に記載されている場合があります(例：「適合証明」)。所定の測定方法による値を表示しています(Euro 6:現行バージョンの Regulation (EC) 715/2007。Euro 5：現行バージョンの ECE-R 101 と ECE-R.83)。

## 重量

EU 規格 1230/2012 に基づく空車重量 (運転者 1 名 + 荷物分 (75 kg) を含む)。

- ▶ 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加アクセサリなどが装備されている場合は、それに応じて積載重量が減少します。

	718 Boxster マニュアルトランス ミッション	718 Boxster PDK	718 Boxster T マニュアルトランス ミッション	718 Boxster T PDK
<b>車両重量 (装備による)</b>				
DIN 70020 規格	1,335 kg~1,465 kg	1,365 kg~1,495 kg	1,350 kg~1,465 kg	1,380 kg~1,495 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,410 kg~1,540 kg	1,440 kg~1,570 kg	1,425 kg~1,540 kg	1,455 kg~1,570 kg
<b>最大軸荷重、フロント</b>	770 kg	775 kg	770 kg	775 kg
<b>最大軸荷重、リヤ</b>	915 kg	940 kg	915 kg	940 kg
<b>最大総重量</b>	1,655 kg	1,685 kg	1,655 kg	1,685 kg

	718 Boxster S マニュアルトランス ミッション	718 Boxster S PDK	718 Boxster GTS マニュアルトランス ミッション	718 Boxster GTS PDK
<b>車両重量 (装備による)</b>				
DIN 70020 規格	1,355 kg~1,475 kg	1,385 kg~1,505 kg	1,375 kg~1,475 kg	1,405 kg~1,505 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,430 kg~1,550 kg	1,460 kg~1,580 kg	1,450 kg~1,550 kg	1,480 kg~1,580 kg
<b>最大軸荷重、フロント</b>	780 kg	785 kg	785 kg	785 kg
<b>最大軸荷重、リヤ</b>	915 kg	940 kg	915 kg	940 kg
<b>最大総重量</b>	1,665 kg	1,695 kg	1,675 kg	1,705 kg

	718 Boxster GTS 4.0 マニュアルトランス ミッション	718 Boxster GTS 4.0 PDK
<b>車両重量(装備による)</b>		
DIN 70020 規格	1,405 kg~1,505 kg	1,435 kg~1,535 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,480 kg~1,580 kg	1,510 kg~1,610 kg
<b>最大軸荷重、フロント</b>	795 kg	795 kg
<b>最大軸荷重、リヤ</b>	945 kg	975 kg
<b>最大総重量</b>	1,700 kg	1,730 kg

	718 Cayman マニュアルトランス ミッション	718 Cayman PDK	718 Cayman T マニュアルトランス ミッション	718 Cayman T PDK
<b>車両重量(装備による)</b>				
DIN 70020 規格	1,335 kg~1,465 kg	1,365 kg~1,495 kg	1,350 kg~1,465 kg	1,380 kg~1,495 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,410 kg~1,540 kg	1,440 kg~1,570 kg	1,425 kg~1,540 kg	1,455 kg~1,570 kg
<b>最大軸荷重、フロント</b>	765 kg	770 kg	765 kg	770 kg
<b>最大軸荷重、リヤ</b>	930 kg	955 kg	930 kg	955 kg
<b>最大総重量</b>	1,655 kg	1,685 kg	1,655 kg	1,685 kg

	718 Cayman S マニュアルトランス ミッション	718 Cayman S PDK	718 Cayman (GTS装備車) マニュアルトランス ミッション	718 Cayman (GTS装備車) PDK
<b>車両重量(装備による)</b>				
DIN 70020 規格	1,355 kg~1,475 kg	1,385 kg~1,505 kg	1,375 kg~1,475 kg	1,405 kg~1,505 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,430 kg~1,550 kg	1,460 kg~1,580 kg	1,450 kg~1,550 kg	1,480 kg~1,580 kg

	718 Cayman S マニュアルトランス ミッション	718 Cayman S PDK	718 Cayman (GTS装備車) マニュアルトランス ミッション	718 Cayman (GTS装備車) PDK
最大軸荷重、フロント	775 kg	780 kg	780 kg	780 kg
最大軸荷重、リヤ	930 kg	955 kg	930 kg	955 kg
最大総重量	1,665 kg	1,695 kg	1,675 kg	1,705 kg

	718 Cayman (GTS 4.0装備車) マニュアルトランス ミッション	718 Cayman (GTS 4.0装備車) PDK
車両重量(装備による)		
DIN 70020 規格	1,405 kg~1,505 kg	1,435 kg~1,535 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	1,480 kg~1,580 kg	1,510 kg~1,610 kg
最大軸荷重、フロント	775 kg	775 kg
最大軸荷重、リヤ	965 kg	995 kg
最大総重量	1,700 kg	1,730 kg

## タイヤとホイール

### タイヤ/ホイールサイズ

ポルシェ社が承認したタイヤにより、この車両に最適な走行性能が得られます。記載されている荷重指数〔「94」など〕と速度記号〔「Y」など〕以上の性能のタイヤを使用してください。新しいタイヤを装着するときやタイヤ交換時は：

▶ 「タイヤおよびホイール」(142ページ)を参照してください。

- ▶ スノーチェーンは適切なマークが付いたタイヤ/ホイールサイズにのみ、またリヤホイールにのみ装着してください。スノーチェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ポルシェ社が認可したフィンリンクエッジチェーンのみを使用してください。
- ▶ 交換するタイヤ/ホイールがEU規格に適合しているか確認してください。必要であればホイール/タイヤの組み合わせがこの車両に適合するか参照してください。詳細なインフォメーションについては：ポルシェ正規販売店にご相談ください。

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
<b>718 Boxster、718 Boxster T、718 Cayman、718 Cayman T</b>			
サマータイヤ	FA : 235/45 ZR 18 94Y RA : 265/45 ZR 18 101Y	FA : 8J x 18、RO 57 RA : 9.5J x 18、RO 49	不可
	FA : 235/40 ZR 19 (92Y) RA : 265/40 ZR 19 (98Y)	FA : 8J x 19、RO 57 RA : 10J x 19、RO 45	不可
	FA : 235/35 ZR 20 (88Y) RA : 265/35 ZR 20 (95Y)	FA : 8J x 20、RO 57 RA : 10J x 20、RO 45	不可
	FA : 235/35 ZR 20 (88Y) RA : 265/35 ZR 20 (95Y)	FA : 8.5J x 20、RO 57 RA : 10.5J x 20、RO 47	不可
ウインタータイヤ	FA : 235/45 R 18 94V M+S RA : 265/45 R 18 101V M+S	FA : 8J x 18、RO 57 RA : 9.5J x 18、RO 49	可
	FA : 235/40 R 19 92V M+S RA : 265/40 R 19 98V M+S	FA : 8J x 19、RO 57 RA : 10J x 19、RO 45	不可
<b>718 Boxster S、718 Cayman S</b>			
サマータイヤ	FA : 235/40 ZR 19 (92Y) RA : 265/40 ZR 19 (98Y)	FA : 8J x 19、RO 57 RA : 10J x 19、RO 45	不可
	FA : 235/35 ZR 20 (88Y) RA : 265/35 ZR 20 (95Y)	FA : 8J x 20、RO 57 RA : 10J x 20、RO 45	不可
	FA : 235/35 ZR 20 (88Y) RA : 265/35 ZR 20 (95Y)	FA : 8.5J x 20、RO 57 RA : 10.5J x 20、RO 47	不可
ウインタータイヤ	FA : 235/45 R 18 94V M+S RA : 265/45 R 18 101V M+S	FA : 8J x 18、RO 57 RA : 9.5J x 18、RO 49	可
	FA : 235/40 R 19 92V M+S RA : 265/40 R 19 98V M+S	FA : 8J x 19、RO 57 RA : 10J x 19、RO 45	不可

タイヤ種類	タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
<b>718 Boxster GTS、718 Cayman GTS</b>			
サマータイヤ	FA : 235/35 ZR 20 (88Y) RA : 265/35 ZR 20 (95Y)	FA : 8J x 20、RO 57 RA : 10J x 20、RO 45	不可
	FA : 235/35 ZR 20 (88Y) RA : 265/35 ZR 20 (95Y)	FA : 8.5J x 20、RO 57 RA : 10.5J x 20、RO 47	不可
ウインタータイヤ	FA : 235/45 R 18 94V M+S RA : 265/45 R 18 101V M+S	FA : 8J x 18、RO 57 RA : 9.5J x 18、RO 49	可
	FA : 235/40 R 19 92V M+S RA : 265/40 R 19 98V M+S	FA : 8J x 19、RO 57 RA : 10J x 19、RO 45	不可
<b>718 Boxster GTS 4.0、718 Cayman GTS 4.0</b>			
サマータイヤ	FA : 235/35 ZR 20 (88Y) RA : 265/35 ZR 20 (95Y)	FA : 8.5J x 20、RO 57 RA : 10.5J x 20、RO 47	不可
ウインタータイヤ	FA : 235/45 R 18 94V M+S RA : 265/45 R 18 101V M+S	FA : 8J x 18、RO 57 RA : 9.5J x 18、RO 49	可
	FA : 235/40 R 19 92V M+S RA : 265/40 R 19 98V M+S	FA : 8J x 19、RO 57 RA : 10J x 19、RO 45	不可

FA = フロントアクスル、RA = リヤアクスル、  
RO = リムオフセット

## タイヤ空気圧

これらの標準およびコンフォートタイヤ空気圧は、冷間時のタイヤ空気圧 (20 °C) として、ポルシェ社が認可したメーカーおよび仕様のタイヤのみに適用します。

- ▶ マルチファンクションディスプレイで、コンフォートプレッシャー / 標準空気圧を選択してタイヤ空気圧を調整してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」 (142ページ) を参照してください。
- ▷ 「タイヤおよびホイール」 (142ページ) を参照してください。

## 標準タイヤ空気圧

タイヤ	718 Boxster, 718 Boxster T, 718 Cayman, 718 Cayman T		718 Boxster S, 718 Cayman S		718 Boxster GTS, 718 Cayman GTS		718 Boxster GTS 4.0, 718 Cayman (GTS 4.0装備車)	
	FA	RA	FA	RA	FA	RA	FA	RA
<b>サマータイヤ</b> 235/45 ZR 18 / 265/45 ZR 18	2.0 bar 200 kPa 29 psi	2.0 bar 200 kPa 29 psi	-	-	-	-	-	-
<b>サマータイヤ</b> 235/40 ZR 19 / 265/40 ZR 19	2.0 bar 200 kPa 29 psi	2.1 bar 210 kPa 30 psi	2.0 bar 200 kPa 29 psi	2.1 bar 210 kPa 30 psi	-	-	-	-
<b>サマータイヤ</b> 235/35 ZR 20 / 265/35 ZR 20	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.3 bar 230 kPa 33 psi	2.4 bar 240 kPa 35 psi	2.4 bar 240 kPa 35 psi
<b>ウィンタータイヤ</b> 235/45 R 18 / 265/45 R 18	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi
<b>ウィンタータイヤ</b> 235/40 R 19 / 265/40 R 19	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi	2.2 bar 220 kPa 31 psi

FA = フロントアクスル、RA = リヤアクスル

**270 km/hの速度までに適用するコンフォートタイヤ空気圧**

- ✓ マルチファンクションディスプレイで「コンフォートプレッシャー」を設定した車両
- ✓ 20インチ サマータイヤ装備車



**警告**

タイヤ空気圧の不足

「コンフォート」メニューは仕向け国によって異なるため、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。

タイヤ空気圧が低い状態で高速走行すると、タイヤが破損します。

- ▶ マルチファンクションディスプレイで「コンフォートプレッシャー」を設定した車両にのみ、コンフォートタイヤ空気圧を設定してください。

タイヤ	FA	RA
<b>サマータイヤ</b>	2.1 bar	2.1 bar
235/35 ZR 20 / 265/35 ZR 20	210 kPa	210 kPa
	30 psi	30 psi

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル

## ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)

テクニカルデータ：オーディオおよびビデオファイル	
対応するメディア	<p><b>SDカード</b> (最大 128 GB)</p> <p><b>DVDドライブ</b> オーディオ CD (最大 80 分)、CD-ROM (最大 700 MB)、DVD±R/RW、標準ビデオ DVD、DVD オーディオ互換ビデオ DVD</p> <p><b>ポータブルプレーヤー</b> MTP プレーヤー、USB スティック、専用ドライバー不要の USB MP3 プレーヤー、外部 USB フラッシュメモリーおよびハードディスクなどの「USB デバイス サブクラス 1 および 6」の USB 2.0 デバイス</p>
ファイルシステム	<p><b>SD/SDHC/SDXC/MMC</b> メモリーカード</p> <p><b>USB 大容量記憶装置</b> exFAT、FAT、または FAT32、NTFS ファイルシステム (最大 4 パーティション)</p> <p><b>DVD ドライブ</b> ISO9660、Joliet、UDF</p>
フォーマット	MPEG 1/2 Layer 3; Windows Media Audio 9 および 10; MPEG 2/4; FLAC; MPEG 1/2; ISO-MPEG4; DivX 3, 4 および 5; Xvid; ISO-MPEG4 H.264 (MPEG4 AVC); Windows Media Video 9
ファイル拡張子	.mp3; .wma; .asf; .m4a; .m4b; .aac; .flac; .mpg; .mpeg; .avi; .mp4; .m4v; .mov; .wmv
プレイリスト	.M3U; .PLS; .WPL; .M3U8; .ASX
特徴	最大 320 kbit/s および 48 kHz サンプリング周波数、最大 2,000 kbit/s および 720x576 px.(最大 25 fps 時)
ファイル数	<p><b>DVD ドライブ</b> 最大 1,000 ファイル DVD</p> <p><b>ジュークボックス</b> (最大 10 GB ストレージ容量) 最大 3,000 ファイルをコピー可</p> <p><b>USB 大容量記憶装置およびメモリーカード</b> 最大 10,000 ファイル (1 メディアあたり)、最大 1,000 ファイル (1 ディレクトリ / プレイリストあたり)</p>
メタデータ	アルバム カバー最大 800 x 800 ピクセル、GIF、JPG、および PNG フォーマット、または Gracenote® <sup>1)</sup> データベース経由
ビデオ DVD リージョンコード	<p>コード 1 : USA、カナダおよび米国自治領</p> <p>コード 2 : ヨーロッパ、グリーンランド、南アフリカ、エジプトおよび中東、日本</p> <p>コード 3 : 東南アジア、韓国、香港、インドネシア、フィリピン、台湾</p> <p>コード 4 : オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ</p> <p>コード 5 : ロシアおよび他の旧ソ連諸国、東ヨーロッパ、インド、アフリカ</p> <p>コード 6 : 中華人民共和国</p> <p>コード 8 : 国際領土 (船舶、航空機)</p>

1) Gracenote ロゴは米国およびその他の国における Gracenote の商標または登録商標です。

テクニカルデータ：接続

<b>携帯ネットワーク</b>	GSM/GPRS/EDGE：デュアルバンド、900 MHz/1800 MHz UMTS/HSPA+：トリプルバンド、900 MHz (Band VIII) / 1800 MHz (Band III) / 2100 MHz (Band I) LTE：クワッドバンド、800 MHz (Band 20) / 900 MHz (Band 8) / 1800 MHz (Band 3) / 2600 MHz (Band 7)
<b>WiFi</b>	IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz)
<b>Bluetooth®</b>	Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス 2、通信範囲約 10 m
<b>SIM カードの挿入および取り出し</b>	ミニ SIM、寸法：25 x 15 mm

テクニカルデータ：ラジオ

<b>周波数範囲 / 規格</b>	UKW (FM)：87.5~108 MHz (100 kHz ごとの手動調節) MW (AM)：531~1,602 KHz (1 kHz ごとの手動調節)
<b>自動選局付きチューニンググリッド</b>	UKW (FM)：100 kHz MW (AM)：9 kHz

テクニカルデータ：CD/DVD ドライブ

<b>一般的なインフォメーション</b>	製造時に、このレーザー製品はドイツ / 国際規格 DIN EN 60825-1：2008-05 および DHHS ルール 21 CFR Subchapter J に準拠して製造されており、クラス 1 レーザー製品として分類されています。クラス 1 レーザー製品のレーザー光線は、通常の作動条件下では危険を生じない程度の弱いものです。この製品は、レーザー光線がデバイス内部に完全に密閉されるように設計されています。
<b>レーザー光線出力</b>	DVD：0.68 mW CD：0.85 mW
<b>レーザー光線波長</b>	DVD：665 nm CD：795 nm

ライセンスについて

<b>Bluetooth®</b>	Bluetooth® マークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、AISIN AW CO., LTD. は認可を受けてこれらを使用しています。他の登録商標および商品名はそれぞれの所有者により所有されています。
<b>Dolby Digital</b>	Dolby Laboratories のライセンスの下で製作Dolby およびダブル D シンボルは Dolby Laboratories の登録商標です。
<b>DTS Digital Surround</b>	 DTS 特許については、 <a href="http://patents.dts.com">http://patents.dts.com</a> を参照してください。DTS Licensing Limited のライセンスの下で製作。DTS、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital Surround は DTS, Inc. の登録商標です。 © DTS, Inc. 全権利は保護されています。
<b>Gracenote</b>	 Gracenote ロゴおよび「Powered by Gracenote」ロゴは、米国またはその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

## エンドユーザーライセンス合意

## Gracenote®

このアプリケーションまたは機器には Gracenote, Inc. (カリフォルニア州エメリービル) (「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。このアプリケーションは Gracenote のソフトウェア (「Gracenote Software」) を利用し、ディスクおよび/またはファイルを識別し、名前、アーティスト名、トラック名、タイトル情報など音楽関連の情報 (「Gracenote Data」) をオンライン サーバーまたは実装データベース (総称として「Gracenote Servers」) から入手するとともに、その他の機能も実現しています。このアプリケーションまたは機器の本来のエンドユーザー機能によってのみ Gracenote データを使用することができます。

Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを個人目的および非営利目的でのみ使用することに同意するものとします。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データを第三者に譲渡、コピー、転送または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

これらの制限に反した場合は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの通常使用権約が解除されることに同意するものとします。ライセンスが停止すると、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。全所有権を含めた Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーについての全ての所有権を含む、全ての権利を Gracenote が保有します。いかなる状況においても Gracenote はお客様が提供した情報についてお客様に対して支払いの責任を持ちません。Gracenote, Inc. が自己の名義をもってお客様に対してこの合意に基づいた権利を執行できることに同意するものとします。

Gracenote サービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用します。ランダムに割り当てた数字による識別子の目的は Gracenote サービスが質問者については何も情報を得ないでクエリをカウントすることを可能にします。より詳細な情報については、Gracenote サービスの Gracenote プライバシー ポリシーのウェブページを参照してください。

Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データの各アイテムは、お客様に対して「現状のまま」提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は Gracenote サーバーからの Gracenote データの正確性について、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーにエラーがない、または Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断しないことは保証されていません。Gracenote は Gracenote が提供可能な新しい拡張または追加データ タイプまたはカテゴリーを提供する義務を持ちません。またいつでもサービスを中断することができます。

Gracenote は明示的または暗示的にかかわらず、商品性および特定目的に対する適合性、所有権および非侵害などで暗示されている保証も含め (限定はしない)、いかなる保証も行いません。Gracenote は、お客様が Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーを使用することにより入手した結果について保証しません。結果的なまたは付随的な損害、または利益や収益の損失について、Gracenote は一切責任を負いません。

© 2000 to present Gracenote, Inc.

## Bluetooth®認証 (抜粋)

- Albania
- Andorra
- Angola
- Aruba
- Australia
- Austria
- Bahamas
- Bahrain
- Barbados
- Belarus
- Belgium
- Belize
- Bolivia
- Bonaire
- Bosnia and Herzegovina
- Brazil
- Brunei
- Bulgaria
- Burkina Faso
- Canada
- Chile
- China
- Colombia
- Costa Rica
- Croatia
- Curacao
- Cyprus
- Czech Republic
- Denmark
- Dominican Republic
- Ecuador
- Egypt
- El Salvador
- Estonia
- Ethiopia
- Finland
- France
- French Guyana
- French Polynesia
- Gabon
- Germany
- Ghana
- Gibraltar
- Guadeloupe
- Guatemala
- Greece
- Greenland
- Hong Kong
- Hungary
- Iceland
- India
- Indonesia
- Ireland
- Iraq
- Israel
- Italy
- Ivory Coast
- Jamaica
- Japan
- Jordan
- Kenya
- Kosovo
- Kuwait
- Latvia
- Lebanon
- Lesotho
- Liberia
- Libya
- Liechtenstein
- Lithuania
- Luxembourg
- Macau
- Macedonia
- Madagascar
- Malaysia
- Malta
- Martinique
- Mauritius
- Mexico
- Monaco
- Mongolia
- Morocco
- Mozambique
- Netherlands
- New Caledonia
- New Zealand
- Nigeria
- Norway
- Oman
- Pakistan
- Panama
- Peru
- Poland
- Portugal
- Puerto Rico
- Qatar
- Reunion
- Romania
- Russia
- San Marino
- Saudi Arabia
- Senegal
- Serbia
- Singapore
- Slovakia
- South Africa
- Spain

- St. Lucia
- Sweden
- Switzerland
- Tahiti
- Taiwan
- Thailand
- United Arab Emirates
- United Kingdom
- Uruguay
- USA
- Venezuela
- Vietnam
- Yemen
- Zimbabwe

## リサイクル

### エアバッグおよびシートベルト テンショナー ユニット

未作動のガス発生器、エアバッグが付いたままの車両、エアバッグユニット、シートベルトテンショナーユニットは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

適切な廃棄に関する詳細情報について：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。

### 電気 / 電子部品および使用済みバッテリー

ゴミ箱にバツマークがある絵文字のラベルが付いている電気 / 電子部品および使用済みバッテリーは、家庭ごみと一緒に廃棄できません。適切な方法で廃棄してください。

- ▶ 各国の廃棄に関する法規を遵守してください。
- ▶ 電気 / 電子部品および使用済みバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

適切な廃棄に関する詳細情報について：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。

## 欧州化学物質規制 (REACH) に基づく表示

欧州化学物質規制 REACH により、ポルシェ社は車両に含まれる物質についての情報を開示します。

この情報はインターネット上で確認することができます。

- ▷ <https://www.porsche.com/international/reach-regulation/>

## 無線装置 (EU の地域外)

### 検査マークおよび適合宣言書

Albania, Bahrain, Bosnia and Herzegovina, French Guyana, Georgia, Gibraltar, Guadeloupe, Iceland, Israel, Ivory Coast, Kuwait, Macedonia, Martinique, Monaco, Montenegro, New Caledonia, Norway, Reunion, Sri Lanka, St. Lucia, Switzerland, Trinidad & Tobago, Turkey.



Australia



### Bahamas

Continental Automotive GmbH  
PAG-BCU-433-180528  
SN (Serial Number)  
FCC ID: KR5315-140930  
Continental Automotive GmbH  
PAG-BCU-434-180528  
SN (Serial Number)  
FCC ID: KR5315-140930

### Brazil

SA1-363

"Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."



Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos requisitos técnicos aplicados.

Para maiores informações, consulte o site da ANATEL [www.anatel.gov.br](http://www.anatel.gov.br)

### Hong Kong

HKCA 1035: Automotive radar: radio equipment exempted from licensing.



### Indonesia

40556/R/1/SDPPI/2018  
4211



63118/SDPPI/2019  
2692

### Israel

Model Name: TSSRE4Dg  
Manufacturer: Huf Electronics Bretten

שם הדגם (Hebrew : Model name)  
28416031/2 / 28-4003-61004-3-00 / 7PP905865

SA1-366

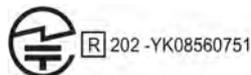
שם היצרן וכתובתו (Hebrew : Manufacturer and address)  
Continental AG  
Siemensstraße 12  
93055 Regensburg

SA1-367

### Jamaica

This product has been Type Approved by Jamaica:  
**SMA - PAG-BCU-433-180528.**

This product has been Type Approved by Jamaica:  
**SMA - PAG-BCU-434-180528.**

**Japan**

Japanese Radio Law Compliance. This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

**Jordan**

TRC No. T/4/11/11/6679  
Continental Automotive GmbH  
PAG-BCU-433-180528  
SN (Serial Number)  
TRC/LPD/2018/58  
Continental Automotive GmbH  
PAG-BCU-434-180528  
SN (Serial Number)  
TRC/LPD/2017/546

**Malaysia**

Continental  
28416032 / 28416031  
RAAW/33A/0512/S(12-0755)

**Marocco**

AGREE PAR L'ANRT MAROC  
Numéro d'agrément : MR 5371 ANRT 2010  
Date d'agrément : 2019/12/05  
Numéro d'agrément : MR 9186 ANRT 2014  
Date d'agrément : 22/04/2014  
Numéro d'agrément : MR 15787 ANRT 2018  
Date d'agrément : 12/02/2018

**Mexico**

Radar de largo alcance, 77GHz,  
MARCA: BOSCH, MODELO: LRR3,  
MoldaCOFETEL: (RCPBOLR09-0828)  
IFETEL: RCPBOMP14-0922

Continental  
PAG-BCU-315-180528

Para su uso en México, la operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:  
(1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y  
(2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

**Moldova****Oman**

Oman - TRA/TA-R/1049/09

**Paraguay****Philippines**

**NTC**  
Type Approval No:  
ESD-1408917C

**Qatar**

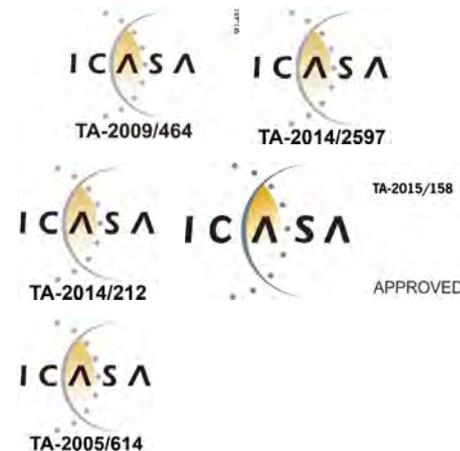
Approval Ref.: CRA/SA/2015/R-4714

**Russia**

Declaration of Conformity Based on Technical Regulation of Customs Union 020/2011 No. EA?C No RU ?-DE?M03.B.00128 valid from 10.11.2017 until 09.11.2022, registered by Certification Body- Branch of the FSUE NIIR TESTING CENTRE "OMEGA".

**Serbia****Singapore**

Complies with IMDA Standards DB101762  
Complies with IMDA Standards DB106879

**South Africa**

## South Korea



This equipment has been approved under EMC Registration as a Class B device (for domestic use) and can be used in both residential and commercial areas.



MSIP-RRM-TAL-433-140930  
 Model name: PAG-BCU-433-180528  
 R-RRM-TAL-434-140930  
 Model name: PAG-BCU-434-180528  
 Applicant: Continental Automotive GmbH  
 Date of Manufacturing: 12/2017  
 Country of Origin: Romania

## Taiwan

### 低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條: 經型式認證合格之低功率射頻電機, 非經許可, 公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條: 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信; 經發現有干擾現象時, 應立即停用, 並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信, 指依電信法規定作業之無線電信。

低功率射頻電機需忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

CCAB10LP3800T1

CCAK15LP0801T1

Regulations for the low-power radio wave radiation devices:

Without permission, for the approved low-power radio-frequency devices, any companies, firms or users are not allowed to change the frequency band, increase the power or change the specifications and functionality of the original design.

The low power radio-frequency devices are not allowed to influence aircraft safety or interfere any legal communications. In case any interference phenomenon is detected, the use of this device should stop immediately, and it is allowed to continue to use until it is improved to be without interference any more.

The term legal communications stated in last paragraph refers to the operating radio communication system which is in compliance with the Regulations for the Telecommunications.

The low power radio-frequency devices should be able to tolerate the interferences from any legal communications or industrial, scientific and medical radio wave radiation devices or equipment.

## Thailand



Importer No.: 6550000

Dealer No.: 6550001 (Bangkok)

Dealer No.: 6550002 (Pattanakarn)

- 1) เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์ที่มีความสอดคล้องตามมาตรฐานหรือข้อกำหนดของ กสทช.
- 2) เครื่องวิทยุคมนาคมที่มีระดับการแผ่คลื่นแม่เหล็กไฟฟ้าสอดคล้องตามมาตรฐานความปลอดภัยต่อสุขภาพของมนุษย์จากการใช้เครื่องวิทยุคมนาคมที่คณะกรรมการกิจการโทรคมนาคมแห่งชาติประกาศกำหนด

## Ukraine

Your vehicle features a variety of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that it complies with the specifications for its use pursuant to the Technical Regulation on Radio Equipment of Ukraine (Decree 355/2017). This information contains details of the manufacturers and the transmission characteristics of the radio equipment from April 2019. The full text of the relevant Declarations of Conformity is available at the following website:

<https://porsche.ua/accessoriesandservice/porscheservice/>



## United Arab Emirates

TRA REGISTERED No: 0016889/09,  
 DEALER No: 0014972/08

TRA REGISTERED No: 0016889/09,  
 DEALER No: DA36785/14

TRA REGISTERED No: ER39135/15,  
 DEALER No: DA36785/14

TRA REGISTERED No: ER38964/15,  
 DEALER: HUF ELECTRONICS GmbH

TRA REGISTERED No: ER39739  
 DEALER No: DA36758

## 索引

## 符号

◇ボタンの設定	241	ISOFIX システム		PCM の設定	
<b>A-Z</b>		規定のチャイルドシート取り付け方向	152	音量および音質	226
A/C MAX ボタン		助手席エアバッグの ON/OFF	157	概要	225
2ゾーンエアコン	54	推奨するチャイルドシート	155	地図	186
マニュアルエアコン	48	OFF/ON の切り替え (PCM)	220	電話を接続する	169
A/C ボタン		ON/OFF の切り替え (PCM)	220	ナビゲーション	185
2ゾーンエアコン	53	PADM	178	日付と時刻	220
マニュアルエアコン	48	PASM ( ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント )		メディア	251
ABS ( アンチロックブレーキシステム )		シャーシ設定の選択	215	ラジオ	266
機能説明	228	PCCB ( ボルシェ セラミック コンポジットブレーキ )		PCM の操作	
ACC		一般的なインフォメーション	203	ON/OFF	220
アダプティブ クルーズ コントロール	30	PCM		概要	219
Alcantara®/ Race-Tex / その他の生地、お手入れ	70	Apple CarPlay	274	タッチスクリーンから	221
Apple CarPlay		CD/DVD ドライブにロードする	224	タッチスクリーンの要素	220
PCM で開く	274	PCM ホットスポットの使用	133	テキストおよび文字を入力する	222
Siri	275	SD カードの挿入および取り出し	224	ボイスコントロール	210
AUTO ( ライトスイッチ )	252	お手入れの諸注意	70	ロータリープッシュ ボタンで	221
ドライビングライトアシスタント	252	外部機器の接続	224	PDK	174
Bluetooth®		個人画面の設定	223	シフトアップ インジケーター	176
デバイスの管理	165	システム設定	225	ステアリング ホイールでのギヤ シフト	175
電話を接続する	164	接続 ( データ接続 )	131	Porsche Doppelkupplung ( PDK )	174
Boxster		電話	163	ステアリング ホイールでのギヤ シフト	175
ウィンドデфлекター	105	ドライビングデータ ( トリップ情報 )		セレクター レバー ポジション	174
コンバーチブルトップ	67	を表示する	172	PSM	
コンバーチブルトップの開閉	104	ナビゲーション	179	OFF にする	227
CD/DVD ドライブにロードする	224	パークアシスト	188	PSM ( ボルシェ スタビリティ マネージメント )	
ETC 受信機	118	ボイス コントロール	210	OFF にする	227
E メール		メディア	248	機能説明	227
作成	169	ラジオ	264	PSM スポーツ	227
表示および消去	168	PCM システム設定	225	作動	227
G-Force ディスプレイ	235	PCM ドライブ		PTV	178
HOLD 機能	276	CD/DVD をロード	224	SD カードの挿入および取り出し	224
( オート スタート / ストップ機能 )	63	SD カードの挿入および取り出し	224	SIM カードの挿入および取り出し	
		外部機器の接続	224	挿入および取り出し	165
		知識	223	Siri	275
		PCM ドライブに関する諸注意	223	TPM ( タイヤ空気圧モニタリング )	142
		PCM にドライビングデータを表示する	172	WiFi ( PCM )	
		PCM にバックグラウンドイメージを表示する	223	PCM WiFi ホットスポットの使用	133
				WiFi を使用してアプリを PCM に接続する	217
				設定	170

## あ

アームレスト	
ドアポケットを開く	119
アイス/サンシールドの装着	206
アシスタンスシステム	
ボルシェアクティブセーフの設定	239
レーンチェンジアシスト(LCA)設定	240
アダプティブクルーズコントロール	30
ON/OFF	32
機能説明	30
クルーズコントロールの中断/再開	34
作動原理	31
車間距離の設定	33
操作ステータス	32
速度の設定/設定速度の変更	33
ボルシェアクティブセーフ	36
レーダーセンサー	30
例外	35
アダプティブシリンダーコントロール	
3気筒休止機能	63
エンジンノイズ	63
アダプティブライトシステム、ドライビング	
ライトアシスタント	252
アッパーベンチレーションパネル	
2ゾーンエアコン	53
圧力	
タイヤ	285
アプリ	
デバイスマネージャー	161
ボルシェカーコネク	216
ボルシェコネク	217
ボルシェトラックプレジジョン	230
アルミニウムリム	
お手入れの諸注意	69
アンダーコーティング、お手入れの諸注意	68
アンチロックブレーキシステム(ABS)	
機能説明	228
い	
イグニッションロック	
キーの緊急操作	74
機能説明	61

イモビライザー	
機能説明	171
インジケータライト	40
インストルメントクラスター	
オドメーター	39
概要	39
クーリングシステム、水温計	237
警告灯および表示灯	40
合計距離およびトリップ表示	39
スピードメーター	39
タコメーター(回転計)	39
燃料計	40
油温計	238
インストルメントパネル	
オドメーター	39
概要	39
クーリングシステム、水温計	237
警告灯および表示灯	40
合計距離およびトリップ表示	39
スピードメーター	39
タコメーター(回転計)	39
燃料計	40
油温計	238
ライト調節	42
インストルメントライト	42
ディスプレイの明るさを調節する	39
インターネット	
データ接続を確認する(PCM)	131
インテリアライト	
ON/OFF	42
オリエンテーションライト	43
う	
ウインタータイヤ	
一般的なインフォメーション	147
タイヤ交換	148
ウィンドデフレクター	
取り外し/取り付け	105
ウィンドウ	
お手入れの諸注意	68
ウェルカムホーム機能	
ONにする	253

ウォッシャー液	
充填容量	280
不凍液	46
補充	46
運転席	
オドメーター	39
クーリングシステム、水温計	237
警告灯および表示灯	40
合計距離およびトリップ表示	39
スピードメーター	39
タコメーター(回転計)	39
燃料計	40
油温計	238
ライト調節	42
運搬(カートレイン、フェリーなど)	
車両の固定	103

## え

エアベント	
開閉(2ゾーンエアコン)	53
開閉(マニュアルエアコン)	48
調整	53
調整(2ゾーンエアコン)	53
調整(マニュアルエアコン)	48
エアコンコンプレッサー	
2ゾーンエアコン	51
マニュアルエアコン	47
エアコンシステム	
送風量の設定	47
内気循環モードのON/OFF	54
フロントウィンドウデフロスター	55
エアコンシステム(マニュアル)	
A/G MAXモードのON/OFF	48
A/GモードのON/OFF	48
エアコンコンプレッサーに関する	
インフォメーション	47
エアコンコンプレッサーのON/OFF	48
温度の設定	47
内気循環モードのON/OFF	49
バッテリー電圧低下時の自動OFF	47
フロントウィンドウデフロスター	49
冷房機能のON/OFF	48

エアバッグ		エンジンノイズ		マルチファンクションディスプレイの	
安全に関する注意事項	56	3気筒休止機能	63	オイルレベル表示	58
お手入れの諸注意	70	部分負荷状態	63	レベルゲージ	58
機能	56	エントリー & ドライブ		レベルの点検	58
タコメーターの警告灯	56	ボルシェ エントリー & ドライブによるドアの		応急処置セット	257
取り付け位置	56	ロック	138	オクタン価、燃料	76
廃棄	293	作動原理	136	お手入れ	
エキゾーストシステム		エントリー機能、乗車時のカーテシー ライトの		Alcantara®/ Race-Tex / その他の生地	70
スポーツ	121	点灯	253	アンダーコーティング	68
エマージェンシーキー	73			ウィンドウ	68
エミッションコントロール(チェックエンジン)		<b>お</b>		エアバッグ	70
機能説明	41	オートエアコン		革製品	69
エミッションコントロール警告灯	41	A/C MAX モードの ON/OFF	54	軽合金製ホイール	69
エミッション値	280	A/C モードの ON/OFF	53	高圧洗浄機の使用	66
エレクトリックパーキングブレーキ		アッパーベンチレーションパネル	53	シートベルト	70
解除する	202	エアコンコンプレッサーに関するインフォ		シール	69
緊急ブレーキ機能	202	メーション	51	車両の保管	71
警告灯	202	エアコンコンプレッサーの ON/OFF	53	洗車	66
操作	202	オートモードの ON/OFF	51	知識	66
発進時のパーキングブレーキ自動解除	202	温度の設定	52	塗装	67
ブレーキテストスタンドでの測定	160	自動内気循環モードの設定	54	ファブリックライニング	70
エンジン		送風量の設定	52	ヘッドライト、プラスチック製部品	69
オイルレベルゲージ	58	バッテリー電圧低下時の自動 OFF	51	ホイールボルト	149
オイルレベルの測定と表示	58	冷房機能の ON/OFF	53	お手入れの諸注意	
オイルの補充	59	オートスタート/ストップ機能		Alcantara®/ Race-Tex / その他の生地	70
クーリングシステム	237	ON/OFF	65	PCM	70
始動	62	エンジンの自動始動	63	アンダーコーティング	68
自動停止(オートスタート/ストップ機能)	63	作動原理	63	ウィンドウ	68
停止	62	前提条件	63	エアバッグ	70
エンジンオイル		表示	65	カーペット	70
圧力計	238	例外	63	革製品	69
一般的なインフォメーション	59	オートマチックカミングホームライト	253	軽合金製ホイール	69
温度計	238	オートマチックドライビングライト		シートベルト	70
給油口	59	アシスタント	252	シール	69
交換容量	280	オートマチックトランスミッション	174	車両の保管	71
補充	59	オイル		洗車	66
マルチファンクションディスプレイでの		圧力計	238	塗装	67
オイル圧力の警告	88	一般的なインフォメーション	59	ファブリックライニング	70
マルチファンクションディスプレイの		温度計	238	フロアマット	70
オイルレベル表示	58	給油口	59	ホイールボルト	149
レベルゲージ	58	交換容量	280	オドメーター	
レベルの点検	58	補充	59	表示	39
		マルチファンクションディスプレイでの		リセット	39
		オイル圧力の警告	88	オリエンテーションライト	43

オルタネーター					
車両電気システム警告	92				
音楽 (PCM)					
CD/DVD をロード	224				
SD カードの挿入および取り出し	224				
外部機器の接続	224				
再生	249				
ジュークボックスに入れる	251				
設定	251				
対応するメディア形式	288				
プレイリストを開く	250				
メディアソースの検索	250				
メディアソースの選択	249				
音質と音量の調節 (PCM)	226				
温度の設定					
2ゾーンエアコン	52				
マニュアルエアコン	47				
オンボードコンピューター					
オイルレベルの測定	58				
項目数の多いリストの閲覧	231				
作動原理	231				
タイヤ空気圧モニタリング	142				
電話の使用	167				
ドライビングデータの表示 (トリップ情報)	172				
マップビュー	184				
マルチファンクションステアリングホイールの操作	231				
マルチファンクションディスプレイ	231				
メニュー概要	233				
ラジオ放送局の選択	265				
オンラインサービス					
データ接続を確立する (PCM)	131				
音量と音質の調節 (PCM)	226				
<b>か</b>					
カーテシーライト、エントリー機能	253				
カーペット、お手入れの諸注意	70				
会議 (電話)	167				
外部機器 (PCM) の接続	224				
開閉操作					
コンバーチブルトップ	104				
開閉操作とロック					
概要	135				
キーによるドアロックの解除 (リモートコントロール)	136				
サイドウィンドウ	44				
車内からのドアの開閉操作とロック	138				
パーソナル設定の保存/呼び出し	190				
ボルシェエントリー&ドライブによるドアのロック	138				
ボルシェエントリー&ドライブ装備車	138				
概要					
ドアの開閉	135				
格納式リヤスポイラー					
展開/格納	268				
確立する					
データ接続 (PCM)	131				
カップホルダー	72				
革、お手入れの諸注意	69				
<b>き</b>					
キー	73				
エマージェンシーキーを取り外す	73				
キー	73				
コンバーチブルトップの開閉	105				
スペアキー	75				
ドアのロック	137				
ドアのロック解除	136				
パーソナル設定の保存と呼び出し	190				
キー (リモートコントロール)					
イグニッションロック内のキー/コントロールユニットの緊急操作	74				
ウィンドウの開閉 (ボルシェエントリー&ドライブ非装備車)	45				
コンバーチブルトップの開閉	105				
ドアのロック解除	136				
バッテリーの交換	73				
ギヤシフトアシスト	235				
ギヤシフトインジケーター					
PDK トランスミッション	39				
ギヤポジションディスプレイ	39				
ギヤシフト					
Porsche Doppelkupplung (PDK)	174				
ギヤシフトアシスト	235				
シフトアップインジケーター	39				
マニュアルトランスミッション	173				
曲の再生 (PCM)	249				
緊急解除					
ラゲッジコンパートメントリッドの	263				
緊急操作					
コンバーチブルトップ	106				
フィルターフラップ	77				
緊急ブレーキ機能	202				
<b>く</b>					
クーラント					
不凍液	78				
レベルの点検	78				
クーリングシステム					
マルチファンクションディスプレイの警告	89				
クラッチ					
マニュアルトランスミッション	173				
クルーズコントロール					
OFF にする	81				
ON にする	80				
機能説明	80				
速度の保存	80				
中断操作	80				
車台番号、位置	279				
グローブボックス					
閉じる	118				
開く	118				
ロック	118				
<b>け</b>					
軽合金製ホイール					
お手入れの諸注意	69				
警告およびインフォメーションメッセージ					
安全性	82				
エンジン	87				
車両	92				
ドライビングシステム	97				

警告シンボル			
タイヤ空気圧	.....	145	
警告灯	.....	40	
軽修理			
けん引	.....	102	
パンクしたとき	.....	195	
携帯電話			
Bluetooth® 経由で接続する	.....	164	
接続ステータスの表示	.....	165	
警報システム			
ON/OFF	.....	101	
機能説明	.....	101	
室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーをOFFにする	.....	101	
言語			
PCMの設定	.....	225	
マルチファンクションディスプレイで変更する	.....	243	
検査マーク			
無線装置	.....	294	
けん引			
一般的なインフォメーション	.....	102	
けん引フック	.....	103	
けん引ロープまたはけん引バーの使用	.....	102	
けん引フック			
工具セット内	.....	257	
<b>こ</b>			
コーナリングライト			
ダイナミック	.....	253	
高圧洗浄機			
取扱説明書	.....	66	
工具	.....	257	
工具セット			
取り外しおよび収納	.....	257	
合計距離およびトリップ			
表示	.....	39	
リセット	.....	39	
交通 (交通情報の表示)	.....	184	
交通情報の表示 (ナビゲーション、PCM)	.....	184	
故障			
イグニッションロック内のイグニッションキー / コントロールユニットの緊急操作	.....	74	
緊急時のフィルターフラップの操作	.....	77	
警告およびインフォメーションメッセージ	.....	82	
コンバーチブルトップ	.....	106	
サイドウィンドウ停止位置の保存	.....	45	
パワーウィンドウ	.....	45	
故障診断用ソケット	.....	4	
個人画面 (PCM)			
設定 (PCM)	.....	223	
電話のお気に入りを追加する (PCM)	.....	168	
小物入れ			
グローブボックス	.....	118	
シート後方、開く	.....	119	
収納スペース	.....	118	
フロントアームレスト、開く	.....	119	
コントローラー (PCM)	.....	220	
コントロールシステム			
概要 (PSM、PASM、PADM、PTV)	.....	178	
コンバーチブルトップ			
ウィンドディフレクターの取り外し / 取り付け	.....	105	
お手入れ	.....	67	
開閉操作	.....	104	
キーによる開閉 (リモートコントロール)	.....	105	
緊急操作	.....	106	
コンフォートプレッシャー			
車速警告	.....	144	
選択	.....	144	
テクニカルデータ	.....	287	
<b>さ</b>			
サイドウィンドウ			
キーによる開閉 (リモートコントロール)	.....	45	
停止位置の保存	.....	45	
ドアハンドルの近接センサーでサイドウィンドウを閉じる (ボルシェ エントリー & ドライブ装備車)	.....	45	
サマータイヤ			
収納スペース	.....	148	
タイヤ交換	.....	148	
サンバイザー	.....	109	
<b>し</b>			
シート			
シート位置の調節	.....	110	
シート位置の保存 / 呼び出し	.....	190	
推奨するチャイルドシート	.....	153	
チャイルドシート	.....	151	
バックレストを前方または後方へ倒す	.....	111	
フロントシート位置の調節	.....	110	
ベビーシート、ベビーキャリア	.....	157	
シートヒーターをON/OFFにする	.....	112	
シートベルト			
お手入れの諸注意	.....	70	
警告	.....	114	
警告シンボル	.....	114	
シートベルトプリテンショナー	.....	114	
シートベルトを外す	.....	115	
タコメーターの警告灯	.....	114	
知識	.....	114	
着用	.....	115	
シートベルトプリテンショナー	.....	114	
廃棄	.....	293	
シートベンチレーターをON/OFFにする	.....	112	
シートメモリー	.....	190	
シート位置の調節	.....	110	
シーラント / シーラントセット			
パンクしたタイヤ用	.....	195	
シール、車両のお手入れ	.....	69	
シガーライター	.....	130	
施設情報 (ナビゲーション、PCM) の入力	.....	181	
始動			
エンジン	.....	62	
自動内気循環モードの設定			
2ゾーンエアコン	.....	54	
自動防眩機能のON/OFF	.....	246	
シフトアップインジケーター	.....	39	
締め付けトルク			
ホイールボルト	.....	149	
シャーシコントロールシステム			
概要 (PSM、PASM、PADM、PTV)	.....	178	
シャーシ設定			
選択	.....	215	

ジャッキ					
車両のリフトアップ	116				
車幅灯					
ONにする	252				
車両情報					
マルチファンクションディスプレイの呼び出し	234				
車両設定					
アシスタンスシステムの設定	239				
エアコン設定	242				
キーへの保存	190				
警告音およびパークアシストの音量調節	242				
言語設定	243				
工場出荷時の設定に戻す	243				
パーソナルモードの調整	240				
単位の設定	242				
ドアロック機能を設定する	242				
パーソナルボタンへの保存	190				
日付と時刻の設定	239				
ボルシェ アクティブ セーフの設定	239				
マルチファンクションステアリングホイールのボタンの割り当て変更	241				
マルチファンクションディスプレイの調節	237				
マルチファンクションディスプレイの表示を変更する	237				
ライト、フロントワイパーおよびミラーの調整	240				
レーンチェンジアシスト(LCA)設定	240				
車両データ	279				
車両ドア					
キーによるロック(リモートコントロール)	137				
緊急ロック	140				
車内からの開閉操作とロック	138				
車内からのロック	138				
車内からのロック解除	139				
開く	139				
ボルシェ エントリー&ドライブによるロック(キーレス操作)	138				
車両の洗浄	66				
車両の保管	71				
ジャンパーケーブルによるエンジンの始動、外部電源	117				
ジュークボックスに入れ管理する(PCM)	251				
渋滞メッセージ	184				
充填容量					
ウォッシュ液	280				
エンジンオイル	280				
クーラント	280				
燃料	280				
フルードおよび燃料の概要	280				
収納スペース					
グローブボックス	118				
シート後方の外側の小物入れを開く	119				
収納オプション	118				
フロントアームレストの小物入れを開く	119				
重量					
テクニカルデータ	281				
消火器					
警告	10				
収納位置	10				
取り外し	10				
助手席エアバッグ OFF 警告灯	57				
助手席ミラー					
格納/復帰する	245				
調整	244				
パーキングエイドの調節	245				
<b>す</b>					
スタート/ストップ機能	63				
ステアリングコラムロック	171				
ステアリングホイール					
◇ボタンの設定	241				
ステアリングロック	62				
調整	120				
ヒーターのON/OFF	120				
ステアリングホイールヒーターのON/OFF	120				
ステアリングロック	171				
ストップウォッチ	122				
スノーチェーン					
一般的なインフォメーション	147				
スピードメーター	39				
スペアキー	75				
スポーツエキゾーストシステム	121				
スポーツクロノ					
PCMでのスポーツクロノストップウォッチの表示	123				
スポーツクロノストップウォッチ	122				
スポーツレスポンスの作動	126				
モードスイッチでモードを選択する	126				
スポーツプラス	126				
スポーツモード					
ON/OFF	129				
スポーツレスポンスの作動	126				
スマートフォン					
Bluetooth® 経由で接続する	164				
接続ステータスの表示	165				
スマートフォンパッケージ	130				
<b>せ</b>					
セーフロック	137				
接続ステータスの表示(PCM)	165				
接続する					
デバイスマネージャー	161				
ボルシェ コネクトへのログイン	132				
接続マネージャー	161				
設定					
キーへの保存	190				
個人画面(PCM)	223				
車両ドアを開いたときに呼び出す	191				
パーソナル設定の保存	190				
マルチファンクションディスプレイの調節	237				
セレクトアーレバーポジションディスプレイ	174				
セレクトアーレバーの緊急解除	134				
セレクトアーレバーポジションインジケーター	39				
選局(ラジオ)	265				
洗車	66				
センターアームレスト					
ドアポケットを開く	119				
セントラルロック					
概要	135				
キーによるドアロックの解除(リモートコントロール)	136				
キーによるドアのロック解除(リモートコントロール)	137				
機能説明	136				
車内からのドアの開閉操作とロック	138				
セーフロック	137				
ボルシェ エントリー&ドライブによるドアのロック	138				





<b>ね</b>			
燃料		発進	
オクタン価	76	ローンチコントロール	177
燃料計	40	バッテリー	
燃料残量警告灯	40	一般的なインフォメーション	192
燃料消費量	280	交換	192
燃料タンクの容量	280	車両エレクトリカルシステムの警告	92
品質	76	ジャンパーケーブルによるエンジンの始動	117
補給	76	充電	192
燃料インジケーターライト		接続後の作業	194
燃料計	40	取り付け位置	192
燃料計	40	バッテリーの注意事項	193
<b>は</b>		バッテリー上がり時のジャンパー ケーブルによるエンジンの始動	117
パーキングエイド		パニティーミラー	109
ドアミラー下向き切り替え	245	バルブの交換	256
パーキングブレーキ		パワーウィンドウ	
解除する	202	車両キーによるサイドウィンドウの開閉 (リモートコントロール)	45
操作	202	停止位置の保存	45
ブレーキテストスタンドでの測定	160	ドアハンドルの近接センサーでサイド ウィンドウを閉じる(ボルシェエントリー& ドライブ装備車)	45
パーキングブレーキ (エレクトリックパーキングブレーキ)		パワーウィンドウ停止位置の保存	45
自動解除	202	番号をダイヤルする(電話)	165
手動解除	202	<b>ひ</b>	
操作	202	ビークルプレート、位置	279
パークアシスト		引き出し/駐車	
機能説明	188	機能説明、パークアシスト	188
ハイビームヘッドライト		左側通行(ヘッドライトの切り替え)	209
スイッチ	255	日付と時刻の設定(PCM)	220
ハイビーム操作レバー	255	日付と時刻の設定 (マルチファンクションディスプレイ)	239
廃棄		ビデオの再生(PCM)	249
エアバッグ	293	ヒューズ	
シートベルトブリティンショナー	293	ヒューズの交換	198
灰皿		<b>ふ</b>	
掃除する	130	ファブリックライニング(お手入れの諸注意)	70
開く	130	ファン設定	
排出ガス	280	2ゾーンエアコン	52
バケットシート	111	マニュアルエアコン	47
ハザードライトのON/OFF	256	フィルターフラップ	
バックレストを前方または後方へ倒す	111	フィルターフラップの位置の表示	39
		フィルターフラップ、緊急操作	77
		フットブレーキ	
		安全に関する注意事項	203
		不凍液	
		ウォッシャー液の割合	46
		クーラントの割合	78
		部分積載時	
		3気筒休止機能	63
		エンジンノイズ	63
		フルードおよび燃料	
		ウォッシャー液	280
		エンジンオイル	280
		燃料	280
		ブレーキ	
		テストスタンド	160
		フットブレーキ	203
		ブレーキパッドの警告シンボル	203
		マルチコリジョンブレーキング	228
		ブレーキパッド	
		警告シンボル、ブレーキ	203
		ブレーキフルード	204
		ブレイリストを開く(PCM)	250
		フロアマット、お手入れの諸注意	70
		フロントウィンドウウォッシャーシステム	
		ウォッシャー液の補充	46
		充填容量	280
		不凍液	46
		フロントウィンドウデフロスター	
		2ゾーンエアコン	55
		エアコンシステム	55
		マニュアルエアコン	49
		フロントシート	
		調整	110
		バックレストを前方または後方へ倒す	111
		フロントワイパー	
		お手入れの諸注意	273
		概要	205
		操作	206
		フロントワイパー/ウォッシャーシステム	206
		リヤワイパー	208

レインセンサーをONにする	206	ボイスコントロール		マルチコリジョンブレーキング	
ワイパーブレードの交換	206	Siri	275	機能説明	228
ワンタッチ機能	206	調整	211	マルチファンクションステアリングホイール	
<b>へ</b>					
平均速度の表示	172	電話のボイスコマンド	213	◇ボタンの設定	241
平均燃費の表示	172	ナビゲーションのボイスコマンド	214	マルチファンクションステアリングホイールの	
<b>へ</b>					
ヘッドライト		メディアのボイスコマンド	212	ボタンの割り当て変更	241
ウォッシャーシステムの操作	207	呼び出し	210	マルチファンクションディスプレイ	
お手入れの諸注意	69	ラジオのボイスコマンド	212	オイルレベルの点検	58
左側/右側通行の切り替え	209	ボイスメール(電話)を聞く	166	オプションの選択および機能の有効化	232
<b>べ</b>					
ベビーシート	157	方向指示灯操作レバー	255	項目数の多いリストの閲覧	231
規定の取り付け方向	152	放送局情報の表示(ラジオ)	266	作動原理	231
助手席エアバッグのON/OFF	157	放送局を保存する(ラジオ)	266	車両情報の呼び出し	234
推奨するチャイルドシート	153	補給	76	スポーツクロノ	122
<b>べ</b>					
ベントパネル		フィルラフラップの位置の表示	39	タイヤ空気圧警告	145
アッパー	53	保存		タイヤ空気圧モニタリング	142
<b>ほ</b>					
ホーン	17	パーソナル設定	190	電話の使用	167
<b>ほ</b>					
ホイール		ホットスポット		ドライビングデータの表示(トリップ情報)	172
ウインタータイヤ		PCM WiFi ホットスポットの使用	133	表示エリア	232
(一般的なインフォメーション)	147	ボルシェ アクティブ サスペンション		マップビュー	184
概要	283	マネージメント(PASM)		マルチファンクションステアリング	
交換	148	機能説明	215	ホイールの操作	231
サイズ	283	ボルシェ アクティブ セーフ	36	メニュー概要	233
締め付けトルク	149	ボルシェ エントリ&ドライブ		ラジオ放送局の選択	265
収納スペース	148	ロックする	138	マルチファンクションディスプレイの	
スノーチェーン		作動原理	136	ドライビングデータ	172
(一般的なインフォメーション)	147	ボルシェ コネクト		<b>み</b>	
タイヤシラント	195	ログイン	132	右側通行(ヘッドライトの切り替え)	209
タイヤ空気圧	285	ボルシェ コネクト アプリ		<b>み</b>	
タイヤ空気圧プレート	279	デバイスマネージャー	161	ミラー	
タイヤ交換(一般的なインフォメーション)	146	ボルシェ スタビリティ マネージメント(PSM)		自動防眩機能のON/OFF	246
タイヤ表記	145	OFFにする	227	ドアミラーヒーター	267
盗難防止ホイールボルト(ソケットレンチ)	149	機能説明	227	ドアミラー設定の保存(メモリー機能)	245
パンク修理	195	ボルシェ セラミック コンポジットブレーキ(PCCB)		ドアミラーの格納/復帰	245
ホイールバランス	148	一般的なインフォメーション	203	ドアミラーの調節	244
ホイールボルト(お手入れの諸注意)	149	ボルシェ ダイナミック ライト システム(PDLS)	253	パーキングエイド使用時のドアミラーの調節	245
ホイール表記	146	ボルシェ ダイナミック ライト システム プラス		パニティーミラー	109
リムオフセット	283	(PDLS Plus)	254	<b>む</b>	
<b>ま</b>					
ホイールボルト	149	マニュアルトランスミッション		無線装置	
ホイールのお手入れ	69	シフトアップインジケーター	173	検査マーク	294

<b>め</b>			
メッセージ			
作成	169		
表示および消去	168		
メディア (PCM)			
CD/DVD をロード	224		
SD カードの挿入および取り出し	224		
外部機器の接続	224		
再生	249		
ジュークボックスに入れる	251		
設定	251		
対応するメディア形式	288		
プレイリストを開く	250		
メディアソースの検索	250		
メディアソースの選択	249		
メモリー	190		
メモリーパッケージ	190		
メンテナンス			
ウォッシュ液の補充	46		
エンジンオイルレベルの点検	58		
エンジンオイルの補充	59		
クーラントレベルの点検と補充	78		
メンテナンス位置	206		
<b>も</b>			
モードスイッチ	126		
目的地住所の入力 (ナビゲーション、PCM)	180		
目的地の検索 (ナビゲーション、PCM)	180		
目的の保存および使用 (お気に入り) (ナビゲーション、PCM)	182		
<b>よ</b>			
横方向の加速度 表示	235		
<b>ら</b>			
ライト			
雨天時の作動	252		
お手入れの諸注意	69		
車両から離れるときに点灯する	253		
乗車時に点灯	253		
乗車時のカーテシーライトの点灯	253		
バルブの交換	256		
ヘッドライトバッシング	255		
ライトスイッチ			
AUTO 機能	252		
概要	252		
ラゲッジカバー	259		
ラゲッジカバーの取り外し / 取り付け	259		
ラゲッジコンパートメント	257		
緊急解除	263		
閉じる	263		
開く	261		
ラゲッジカバー	259		
ラゲッジコンパートメントリッド	261		
緊急解除	263		
閉じる	263		
開く	261		
ラジオ (PCM)			
周波数を設定する	265		
設定	266		
選局	265		
放送局情報の表示	266		
放送局の保存	266		
<b>り</b>			
リモートコントロール	73		
コンバーチブルトップの開閉	105		
ドアのロック	137		
ドアのロック解除	136		
リヤウィンドウヒーターの ON/OFF を切り替える	267		
リヤスポイラー			
作動原理	268		
リヤフォグライト			
ON にする	252		
ドライビングライトの調節	253		
リヤワイパー	208		
リレー			
交換	198		
履歴 (電話)	167		
<b>る</b>			
ルート情報の表示 (ナビゲーション、PCM)	183		
ルームミラー			
減光	246		
自動防眩機能の ON/OFF	246		
調整	246		
<b>れ</b>			
レーダーセンサー	30		
レーンチェンジアシスト (LCA)	269		
ドアミラーの警告表示の明るさを調節する	240		
冷房機能			
2ゾーンエアコン	53		
マニュアルエアコン	48		
レインセンサー作動	207		
連絡先 (電話)	167		
<b>ろ</b>			
ローンチコントロール	177		
ロック			
キーによるドアのロック解除 (リモートコントロール)	137		
車内からのドアロック	138		
車両ドアとキー (リモートコントロール)	137		
車両ドアとボルシェントリー&ドライブ (キーレス操作)	138		
ボルシェントリー&ドライブによるドアの ロック	138		
ボルシェントリー&ドライブ装備車	138		
ロック解除			
キーからパーソナル設定を呼び出す	190		
キーによるドアロックの解除 (リモートコントロール)	136		
車内からのドアロックの解除	139		
ラゲッジコンパートメントリッドの ロックを解除してリッドを開く	261		
<b>わ</b>			
ワイパー			
操作	206		
ワイパーブレード			
お手入れの諸注意	273		
交換	273		
ワイパー作動間隔の調整	207		
ワイヤレスインターネットアクセス	133		

- 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

ポルシェ・カスタマーケアセンター

フリーダイヤル：0120-846-911



車両受領証  
(販売店で保管)

VIN：車両識別ナンバー

エンジンナンバー

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

---

販売店スタンプ

---

日時

お客様の署名

